

基本計画書

基本計画								
事項		記入欄						備考
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更						
フリガナ設置者		ガッコウホウジン アイチガクイン 学校法人愛知学院						
フリガナ大学の名称		アイチガクインダイガク 愛知学院大学 (Aichi Gakuin University)						
大学本部の位置		愛知県日進市岩崎町阿良池12						
大学の目的		本大学は学校法人愛知学院の経営により、教育基本法の趣旨に則り、学校教育法の規定に基づき、学問の独立を全うし真理の探究と、学理の応用につとめ深く専門の学芸を教授研究し、その普及を図ることを目的とし、併せて愛知学院設立の趣旨である仏教精神、とくに禪的教養を身につけた個性ゆたかにして教養高く、国家および社会の形成者として有能な人材を育成し、もって文化の創造発展と人類の福祉に貢献することを使命とする。						
新設学部等の目的		心理学は1970年に文学部内に創設され、心身科学部心理学への改組を経て、現在50年の歴史を迎えている。今日までの教育活動において、心理学の幅広い分野における基礎教育を基盤に、臨床心理士や公認心理師の育成を継続的に行ってきた。しかし、近年の少子高齢化、グローバル化、デジタル化の影響を受け、産業構造の変化や働き方改革による生活様式の変化により、従来では把握されなかった新たな心理的諸問題が発生し、社会問題は多面化・複合化している。こうした状況下で、心理学に対する教育ニーズも時代とともに変化してきており、心理学の高等教育においても更なる多様性が求められている。現代社会の抱える課題を解決できる有為な人材の育成という社会的ニーズに積極的に応える学部として、今般の心理学部設置に伴う収容定員の変更は必要不可欠なものである。故に、令和4年度により、心理学部心理学科を設置し、入学定員を140名（収容定員：565名）から入学定員160名（収容定員：645名）とする。						
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	文学部 【Faculty of Letters】	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	宗教文化学科 【Department of Religious Culture】	4	70	2年次 1 3年次 1	285	学士 (文学) 【Bachelor of Arts】	昭和45年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	愛知県日進市岩崎町 阿良池12番地
	歴史学科 【Department of History】	4	130	2年次 1 3年次 1	525	学士 (文学) 【Bachelor of Arts】	昭和49年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上
	英語英米文化学科 【Department of English and Cultures】	4	110	2年次 1 3年次 1	445	学士 (文学) 【Bachelor of Arts】	昭和61年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上
	日本文化学科 【Department of Japanese Culture】	4	110	2年次 1 3年次 1	445	学士 (文学) 【Bachelor of Arts】	昭和63年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上
	グローバル英語学科 【Department of Global English】	4	110	2年次 1 3年次 1	445	学士 (文学) 【Bachelor of Arts】	平成13年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上
	商学部 【Faculty of Business and Commerce】							
	商学科 【Department of Commerce】	4	250	2年次 1 3年次 1	1,005	学士 (商学) 【Bachelor of Arts in Business and Commerce】	昭和28年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	愛知県名古屋市中区 名城3丁目1番1号
	経営学部 【Faculty of Management】							
	経営学科 【Department of Management】	4	290	2年次 1 3年次 1	1,165	学士 (経営学) 【Bachelor of Business Administration】	平成2年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上

新設学部等の概要	経済学部 【Faculty of Economics】 経済学科 【Department of Economics】	4	250	2年次 1 3年次 1	1,005	学士 (経済学) 【Bachelor of Arts in Economic】	平成25年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上	
	法学部 【Faculty of Law】 法律学科 【Department of Law】	4	190	2年次 1 3年次 1	765	学士 (法学) 【Bachelor of Laws】	昭和32年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上	
	現代社会法学科 【Department of Law and Contemporary Society】	4	105	2年次 1 3年次 1	425	学士 (法学) 【Bachelor of Laws】	平成14年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上	
	総合政策学部 【Faculty of Policy Studies】 総合政策学科 【Department of Policy Studies】	4	210	2年次 1 3年次 1	845	学士 (総合政策) 【Bachelor of Policy Studies】	平成10年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	愛知県日進市岩崎町 阿良池12番地	
	心身科学部 【Faculty of Psychological and Physical Science】 心理学科 【Department of Psychology】	4	0 (140)	2年次 0 (1) 3年次 0 (1)	0 (565)	学士 (心身科学) 【Bachelor of Psychological and Physical Science】	平成15年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上	
	健康科学科 【Department of Health Science】	4	180	2年次 1 3年次 1	725	学士 (心身科学) 【Bachelor of Psychological and Physical Science】	平成16年4月 第1年次 平成31年4月 第2年次 第3年次	同上	
	健康栄養学科 【Department of Health and Nutrition】	4	80	—	320	学士 (心身科学) 【Bachelor of Psychological and Physical Science】	平成20年4月 第1年次	同上	
	心理学部 【Faculty of Psychology】 心理学科 【Department of Psychology】	4	160 (0)	2年次 1 (0) 3年次 1 (0)	645 (0)	学士 (心理学) 【Bachelor of Psychology】	令和4年4月 第1年次 令和5年4月 第2年次 令和6年4月 第3年次	同上	※令和3年4月 学部設置届出予定
	薬学部 【School of Pharmacy】 医療薬学科 【Department of Pharmaceutical Health Care and Science】	6	145	—	870	学士 (薬学) 【Bachelor of Pharmacy】	平成17年4月 1年次	愛知県日進市岩崎町 阿良池12番地 (1年次) 愛知県名古屋市中千種区楠 元町1丁目100番地 (2～6年次)	
	歯学部 【School of Dentistry】 歯学科 【Department of Dentistry】	6	125	—	750	学士 (歯学) 【Bachelor of Dental Science】	昭和36年4月 1年次	愛知県名古屋市中千種区楠 元町1丁目100番地 (1～4年次) 愛知県名古屋市中千種区末 盛通2丁目11番地 (5～6年次)	
	計		2,515 (2,495)	2年次 13 (13) 3年次 13 (13)	10,665 (10,585)				

同一設置者内における 変更（定員の移行等） （名称の変更等）		○学部の設置（令和3年4月届出予定） 心理学部心理学科（160） （2年次編入学定員）（1） （3学年編入学定員）（1） ○学生募集停止 心身科学部 心理学科（△140） （2年次編入学定員）（△1） （3年次編入学定員）（△1） ※令和4年4月学生募集停止 （2年次編入学定員は令和5年4月学生募集停止） （3年次編入学定員は令和6年4月学生募集停止）							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位			
教員 組 織 の 分 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等						兼 任 教 員 等
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新 								

令和3年4月学部設置届出
（予定）

大学全体

校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知学院大学短期大学部(必要面積2,800㎡)、愛知高等学校・中学校(収容定員：高校1,680名、中学480名)、愛知学院大学歯科技工専門学校(収容定員：110名)と共用。			
	校 舎 敷 地		69336.77㎡	14774.77㎡	34637.76㎡	118749.3㎡				
	運 動 場 用 地		78699.35㎡	4967.93㎡	35474.84㎡	119142.12㎡				
	小 計		148036.12㎡	19742.70㎡	70112.60㎡	237891.42㎡				
	そ の 他		366760.58㎡	8704.74㎡	3667.73㎡	379133.05㎡				
合 計		514796.70㎡	28447.44㎡	73780.33㎡	617024.47㎡					
校 舎			専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知学院大学短期大学部(必要面積2,250㎡)、愛知高等学校・中学校(収容定員：高校1,680名、中学480名)、愛知学院大学歯科技工専門学校(収容定員：110名)と共用。			
			194096.80㎡	11343.44㎡	29288.85㎡	234729.09㎡				
			(66.7 ㎡)	(1678.9 ㎡)	(- ㎡)	(1745.6 ㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	199室	188室	118室	24室 (補助職員 9人)	2室 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数	大学全体				
		大学全体			364 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	機械・器具の数は利用 者が使用できるパソコン の数		
	大学全体	1153802〔343136〕 (1153802〔343136〕)	26407〔17004〕 (26407〔17004〕)	15075〔13587〕 (15075〔13587〕)	25044 (25044)	93 (93)	0 (0)			
	計	1153802〔343136〕 (1153802〔343136〕)	26407〔17004〕 (26407〔17004〕)	15075〔13587〕 (15075〔13587〕)	25044 (25044)	93 (93)	0 (0)			
図書館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数	大学全体				
		22422㎡	1567		1,275,000					
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体				
		15,579㎡	テニスコート		プール					
経費の見積り 及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員1人当り研究費等		660千円	660千円	660千円	660千円	660千円	660千円	
		共同研究費等		29,000千円	29,000千円	29,000千円	29,000千円	29,000千円	29,000千円	
		図 書 購 入 費	173,000千円	173,000千円	173,000千円	173,000千円	173,000千円	173,000千円		
		設 備 購 入 費	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円	70,000千円		
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		文学部	1,280千円	1,060千円	1,080千円	1,100千円	― 千円	― 千円		
		商・経営 経済・法学部	1,250千円	1,030千円	1,050千円	1,070千円	― 千円	― 千円		
		総合政策学部	1,300千円	1,080千円	1,100千円	1,120千円	― 千円	― 千円		
		心身科学部 (健康科学科)	1,370千円	1,100千円	1,120千円	1,140千円	― 千円	― 千円		
		心身科学部 (健康栄養学科)	1,450千円	1,180千円	1,200千円	1,220千円	― 千円	― 千円		
		心理学部	1,350千円	1,080千円	1,100千円	1,120千円	― 千円	― 千円		
		薬学部	2,300千円	2,200千円	2,200千円	2,200千円	2,300千円	2,300千円		
	歯学部	7,200千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入・寄付金収入・補助金収入・資産運用収入等により充当する。						
既設大学等の 状況	大 学 の 名 称		愛 知 学 院 大 学							平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減(△5人) 平成15年度より学生募集停止 平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減(△2人)
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	文学部 宗教文化学科	4	70	2年次 1 3年次 1	285	学士 (文学)	1.02 1.05	昭和45年度	愛知県日進市岩崎町 阿良池12番地	
	心理学科	4	―	―	―	学士 (文学)	―	昭和45年度	同上	
歴史学科	4	130	2年次 1 3年次 1	525	学士 (文学)	1.03	昭和49年度	同上		

既設大学等の状況	英語英米文化学科	4	110	2年次 ₁ 3年次 ₁	445	学士 (文学)	1. 02	昭和61年度	同上	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△2人)
	日本文学科	4	110	2年次 ₁ 3年次 ₁	445	学士 (文学)	1. 05	昭和63年度	同上	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△2人)
	グローバル英語学科	4	110	2年次 ₁ 3年次 ₁	445	学士 (文学)	0. 97	平成13年度	同上	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△5人)
	商学部 商学科	4	250	2年次 ₁ 3年次 ₁	1, 005	学士 (商学)	1. 05	昭和28年度	愛知県名古屋市北区名城3丁目1番1号	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△6人)
	ビジネス情報学科	4	—	—	—	学士 (商学)	—	平成13年度		平成25年度より学生募集停止
	経営学部 経営学科	4	290	2年次 ₁ 3年次 ₁	1, 165	学士 (経営学)	1. 07	平成2年度	愛知県名古屋市北区名城3丁目1番1号	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△13人)
	現代企業学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	平成13年度		平成25年度より学生募集停止
	経済学部 経済学科	4	250	2年次 ₁ 2年次 ₁	1, 005	学士 (経済学)	1. 05	平成25年度	愛知県名古屋市北区名城3丁目1番1号	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△9人)
	法学部 法律学科	4	190	2年次 ₁ 3年次 ₁	765	学士 (法学)	1. 02 1. 00	昭和32年度	同上	平成30年度収容定員減 (△40人) 平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△9人)
	現代社会法学科	4	105	2年次 ₁ 3年次 ₁	425	学士 (法学)	1. 05	平成14年度	同上	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△4人)
	総合政策学部 総合政策学科	4	210	2年次 ₁ 3年次 ₁	845	学士 (総合政策)	1. 03	平成10年度	愛知県日進市岩崎町阿良池12番地	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△12人)
	心身科学部 心理学科	4	160	2年次 ₁ 3年次 ₁	645	学士 (心身科学)	1. 04 1. 04	平成15年度	同上	平成31年度編入学定員減に伴う収容定員減 (△15人)
	健康科学科	4	180	2年次 ₁ 3年次 ₁	700	学士 (心身科学)	1. 02	平成16年度	同上	平成31年度収容定員増 (86人)
	健康栄養学科	4	80		320	学士 (心身科学)	1. 08	平成20年度	同上	
	薬学部 医療薬学科	6	145	—	870	学士 (薬学)	1. 02	平成17年度	愛知県日進市岩崎町阿良池12番地 (1年次) 愛知県名古屋市中千種区楠元町1丁目100番地 (2～6年次)	
	歯学部 歯学科	6	125	—	750	学士 (歯学)	1. 02	昭和36年度	愛知県名古屋市中千種区楠元町1丁目100番地 (1～4年次) 愛知県名古屋市中千種区末盛通2丁目11番地 (5～6年次)	

	大 学 の 名 称	愛知学院大学大学院								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
既 設 大 学 等 の 状 況	文学研究科	年	人	年次 人	人		倍			
	宗教学仏教学専攻									
	博士前期課程	2	10	—	20	修士（文学）	0.25	昭和49年度	愛知県日進市岩崎町	
	博士後期課程	3	4	—	12	博士（文学）	0.25	昭和51年度	阿良池12番地	
	歴史学専攻								同上	
	博士前期課程	2	10	—	20	修士（文学）	0.40	昭和53年度		
	博士後期課程	3	5	—	15	博士（文学）	0.13	昭和55年度		
	英語圏文化専攻								同上	
	博士前期課程	2	10	—	20	修士（文学）	0.00	平成2年度		
	博士後期課程	3	5	—	15	博士（文学）	0.00	平成4年度		
	日本文化専攻								同上	
	博士前期課程	2	10	—	20	修士（文学）	0.10	平成4年度		
	博士後期課程	3	5	—	15	博士（文学）	0.00	平成6年度		
	心身科学研究科								同上	
	心理学専攻									
	博士前期課程	2	20	—	40	修士（心理学）	0.70	昭和49年度		
	博士後期課程	3	4	—	12	博士（心理学）	0.16	昭和51年度		
	健康科学専攻								同上	
	博士前期課程	2	10	—	20	修士（健康科学）	0.25	平成20年度		
	博士後期課程	3	4	—	12	博士（健康科学）	0.50	平成22年度		
	商学研究科									
	商学専攻									
	博士前期課程	2	10	—	20	修士（商学）	0.60	昭和39年度	愛知県名古屋市中区	
	博士後期課程	3	5	—	15	修士（博士）	0.13	昭和41年度	名城3丁目1番1号	
既 設 大 学 等 の 状 況	経営学研究科								同上	
	経営学専攻									
	博士前期課程	2	20	—	40	修士（経営学）	0.37	平成5年度		
	博士後期課程	3	10	—	30	博士（経営学）	0.00	平成6年度		
	経済学研究科								同上	
	経済学専攻									
	修士課程	2	7	—	14	修士（経済学）	0.28	平成29年度		
	法学研究科								同上	
	法律学専攻									
	博士前期課程	2	15	—	30	修士（法学）	0.33	昭和39年度		
	博士後期課程	3	2	—	6	博士（法学）	0.16	昭和41年度		
	総合政策研究科									
	総合政策専攻									
	博士前期課程	2	6	—	12	修士（総合政策）	0.08	平成14年度	愛知県日進市岩崎町	
既 設 大 学 等 の 状 況	博士後期課程	3	4	—	12	博士（総合政策）	0.00	平成14年度	阿良池12番地	
	薬科学研究科									
	薬科学専攻									
	修士課程	2	—	—	—	修士（薬科学）	—	平成21年度	愛知県名古屋市千種区楠元町1丁目100番地	
	薬学研究科									
	医療薬学専攻									
	博士課程	4	3	—	12	博士（薬学）	0.49	平成24年度	愛知県名古屋市千種区楠元町1丁目100番地	
	歯学研究科								同上	
	歯科基礎系・歯科臨床系									
	博士課程	4	18	—	72	博士（歯学）	0.85	昭和43年度		
既 設 大 学 等 の 状 況	法務研究科									
	法務専攻									
	専門職学位課程	3	—	—	—	法務博士（専門職）	—	平成17年度	愛知県日進市岩崎町 阿良池12番地	平成28年度より学生募集停止
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	愛知学院大学短期大学部								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	歯科衛生学科	3	100	—	300	短期大学士（歯科衛生）	1.02	平成18年度	愛知県名古屋市千種区楠元町1丁目100番	

附属施設の概要	名称：愛知学院大学歯学部附属病院 目的：教育活動・研究活動・医療活動 所在地：愛知県名古屋市末盛通2-11 設置年月：昭和35年6月30日（北館）、平成10年3月2日（西館）、平成12年11月10日（南館） 規模等：10755.50㎡（北館）、6404.45㎡（西館）、5045.17㎡（南館） 名称：心理臨床センター 目的：心の悩みや問題行動を扱い、面接・相談助言・指導などを通じた支援 所在地：愛知県日進市岩崎町阿良池12 設置年月：平成9年（心理臨床・教育相談室として開設） 規模等：1500.00㎡（日進キャンパス3号館2階）	
----------------	---	--

学校法人愛知学院 収容定員変更に関わる組織の移行表

令和3年度	入学 定員	編入学定員 2年次 3年次	収容 定員	令和4年度	入学 定員	編入学定員 2年次 3年次	収容 定員	変更の事由
愛知学院大学				愛知学院大学				
文学部				文学部				
宗教文化学科	70	1	1	285	70	1	1	285
歴史学科	130	1	1	525	130	1	1	525
英語英米文化学科	110	1	1	445	110	1	1	445
日本文化学科	110	1	1	445	110	1	1	445
グローバル英語学科	110	1	1	445	110	1	1	445
商学部				商学部				
商学科	250	1	1	1,005	250	1	1	1,005
経営学部				経営学部				
経営学科	290	1	1	1,165	290	1	1	1,165
経済学部				経済学部				
経済学科	250	1	1	1,005	250	1	1	1,005
法学部				法学部				
法律学科	190	1	1	765	190	1	1	765
現代社会法学科	105	1	1	425	105	1	1	425
総合政策学部				総合政策学部				
総合政策学科	210	1	1	845	210	1	1	845
心身科学部				心身科学部				
心理学科	140	1	1	565	0	0	0	令和4年4月学生募集停止
健康科学学科	180	1	1	725	180	1	1	
健康栄養学科	80	-	-	320	80	-	-	320
				<u>心理学部</u>				学部の設置(届出) 定員変更(20)
				<u>心理学科</u>	160	1	1	645
薬学部				薬学部				
医療薬学科	145	-	-	870	145	-	-	870
歯学部				歯学部				
歯学科	125	-	-	750	125	-	-	750
計	2,495	13	13	10,585	2,515	13	13	10,665
愛知学院大学大学院				愛知学院大学大学院				
文学研究科				文学研究科				
宗教学仏教学専攻(M)	10	-	-	20	10	-	-	20
宗教学仏教学専攻(D)	4	-	-	12	4	-	-	12
歴史学専攻(M)	10	-	-	20	10	-	-	20
歴史学専攻(D)	5	-	-	15	5	-	-	15
英語圏文化専攻(M)	10	-	-	20	10	-	-	20
英語圏文化専攻(D)	5	-	-	15	5	-	-	15
日本文化専攻(M)	10	-	-	20	10	-	-	20
日本文化専攻(D)	5	-	-	15	5	-	-	15
商学研究科				商学研究科				
商学専攻(M)	10	-	-	20	10	-	-	20
商学専攻(D)	5	-	-	15	5	-	-	15
経営学研究科				経営学研究科				
経営学専攻(M)	20	-	-	40	20	-	-	40
経営学専攻(D)	10	-	-	30	10	-	-	30
経済学研究科				経済学研究科				
経済学専攻(M)	7	-	-	14	7	-	-	14
法学研究科				法学研究科				
法律学専攻(M)	15	-	-	30	15	-	-	30
法律学専攻(D)	2	-	-	6	2	-	-	6
総合政策研究科				総合政策研究科				
総合政策専攻(M)	6	-	-	12	6	-	-	12
総合政策専攻(D)	4	-	-	12	4	-	-	12
心身科学研究科				心身科学研究科				
心理学専攻(M)	20	-	-	40	20	-	-	40
心理学専攻(D)	4	-	-	12	4	-	-	12
健康科学専攻(M)	10	-	-	20	10	-	-	20
健康科学専攻(D)	4	-	-	12	4	-	-	12
薬学研究科				薬学研究科				
医療薬学専攻(D)	3	-	-	12	3	-	-	12
歯学研究科				歯学研究科				
歯科基礎系・ 歯科臨床系(D)	18	-	-	72	18	-	-	72
計	197	-	-	484	197	-	-	484
愛知学院大学短期大学部				愛知学院大学短期大学部				
歯科衛生学科	100	-	-	300	100	-	-	300
専攻科(口腔保健学専攻)	10	-	-	10	10	-	-	10
計	110	-	-	310	110	-	-	310
愛知学院大学歯科技工専門学校				愛知学院大学歯科技工専門学校				
本科	35	-	-	70	35	-	-	70
専修科	20	-	-	40	20	-	-	40
計	55	-	-	110	55	-	-	110

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

校地校舎等の図面

都道府県内における位置関係の図面（1 ページ）

「愛知学院大学 日進キャンパス／名城公園キャンパス／楠元キャンパス」

2（出典）

愛知県公式 WEB サイト

3（引用範囲）

愛知県 WEB サイト

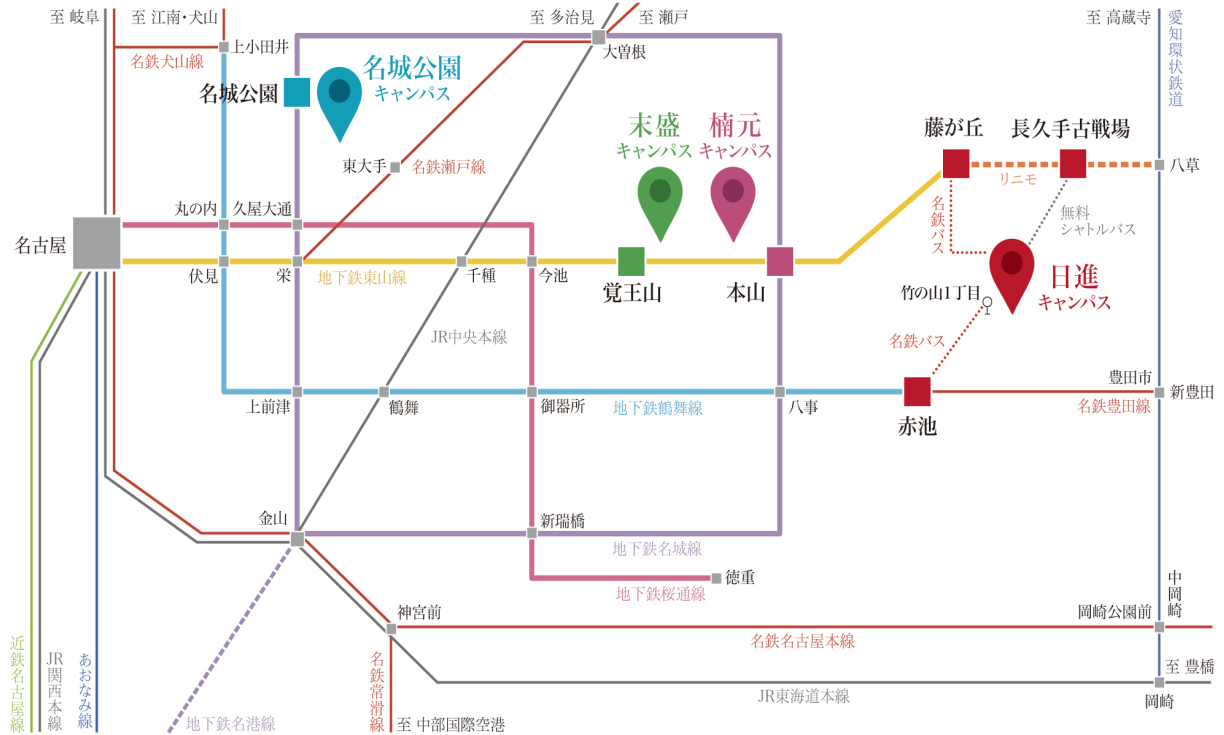
<http://www.pref.aichi.jp/site/userguide/link-citytown.html>から画像を引用

4（その他の説明）

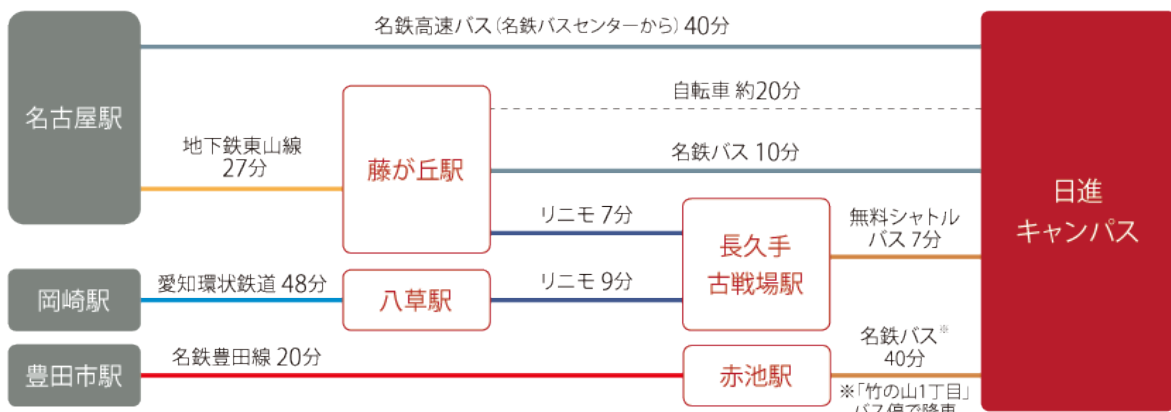
日進キャンパス、名城公園キャンパス、楠元キャンパスの位置関係を示すため、愛知県公式WEBサイトの地図画像を利用し、所要の事項を記入した。

最寄り駅からの距離や交通機関が分かる図面

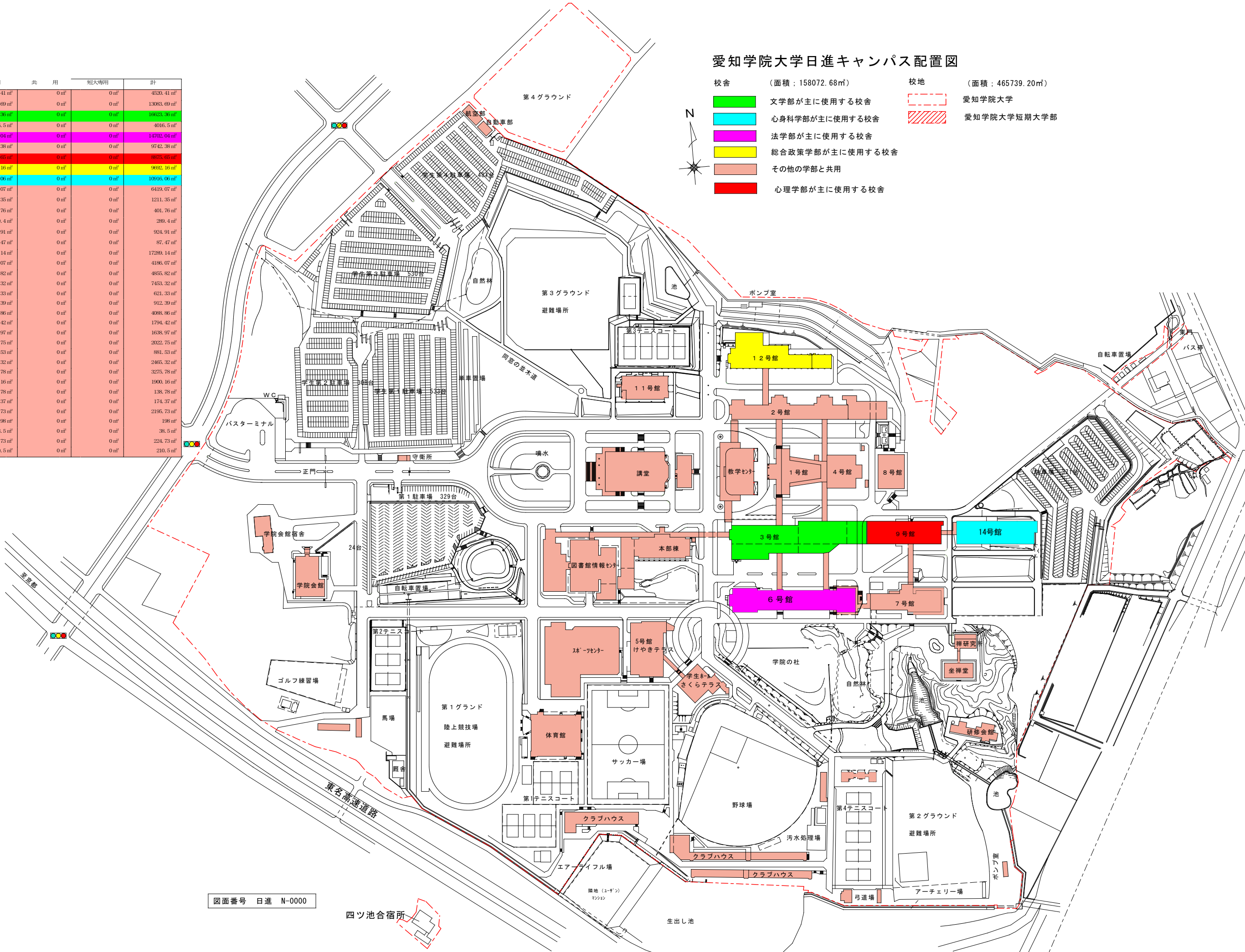
<全体アクセス>



<日進キャンパス>



種別	備考	大学専用	共用	短大専用	計
校舎	1号館	4520.41㎡	0㎡	0㎡	4520.41㎡
	2号館	13083.69㎡	0㎡	0㎡	13083.69㎡
	3号館	10623.36㎡	0㎡	0㎡	10623.36㎡
	4号館	4016.5㎡	0㎡	0㎡	4016.5㎡
	6号館	14702.04㎡	0㎡	0㎡	14702.04㎡
	7号館	9742.38㎡	0㎡	0㎡	9742.38㎡
	8号館	8875.65㎡	0㎡	0㎡	8875.65㎡
	12号館	9692.16㎡	0㎡	0㎡	9692.16㎡
	14号館	10916.06㎡	0㎡	0㎡	10916.06㎡
	本部棟	6419.07㎡	0㎡	0㎡	6419.07㎡
	教学センター	1211.35㎡	0㎡	0㎡	1211.35㎡
	生研室	401.76㎡	0㎡	0㎡	401.76㎡
	神楽所	289.4㎡	0㎡	0㎡	289.4㎡
	健康管理棟	924.91㎡	0㎡	0㎡	924.91㎡
図書館	考古資料庫	87.47㎡	0㎡	0㎡	87.47㎡
		17289.14㎡	0㎡	0㎡	17289.14㎡
	講堂	4186.07㎡	0㎡	0㎡	4186.07㎡
	体育館	4855.82㎡	0㎡	0㎡	4855.82㎡
	10号館	7453.32㎡	0㎡	0㎡	7453.32㎡
	学院会館宿舎	621.33㎡	0㎡	0㎡	621.33㎡
	合宿所	912.39㎡	0㎡	0㎡	912.39㎡
	食堂	4088.86㎡	0㎡	0㎡	4088.86㎡
	さくらテラス（学生対	1794.42㎡	0㎡	0㎡	1794.42㎡
	8号館	1638.97㎡	0㎡	0㎡	1638.97㎡
	11号館	2022.75㎡	0㎡	0㎡	2022.75㎡
	研修	881.53㎡	0㎡	0㎡	881.53㎡
	クラブ	2465.32㎡	0㎡	0㎡	2465.32㎡
	ハウス	3275.78㎡	0㎡	0㎡	3275.78㎡
集会	C棟	1900.16㎡	0㎡	0㎡	1900.16㎡
	野村・ゆかり館図書	138.78㎡	0㎡	0㎡	138.78㎡
	航空部図書室	174.37㎡	0㎡	0㎡	174.37㎡
	学院会館	2195.73㎡	0㎡	0㎡	2195.73㎡
	女子更衣室	198㎡	0㎡	0㎡	198㎡
	守衛室	38.5㎡	0㎡	0㎡	38.5㎡
	汚水処理場	224.73㎡	0㎡	0㎡	224.73㎡
	第4テニスコート、更衣室	210.5㎡	0㎡	0㎡	210.5㎡



図面番号 日進 N-0000

四ツ池合宿所

愛知学院大学学則（案）

第1章 総 則

第1条 本大学は、教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、学問の独立を全うし、真理の探求と学理の応用に努め、深く専門の学芸を教授研究し、その普及を図ることを目的とし、併せて本大学設立の趣旨である仏教精神、とくに禅の教えを身につけた個性豊かにして教養高く、国家及び社会の形成者として有能な人材を育成し、もって文化の創造発展と人類の福祉に貢献することを使命とする。

第1条の2 本大学は、その教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検、評価等に関することは、別にこれを定める。

3 本大学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

第1条の3 本大学は、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、広く社会に公表する。

2 前項の目的は、別にこれを定める。

第1条の4 本大学は、その教育研究活動等の状況について、広く社会に周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供する。

第1条の5 本大学は、その教育研究成果を広く社会に提供し、社会の発展に寄与する。

第2条 本大学は、愛知学院大学と称する。

第3条 本大学に、学部、大学院、留学生別科その他の教育研究組織を置く。

第3条の2 大学院、留学生別科その他の教育研究組織に関する学則及び規程は、別にこれを定める。

第4条 本大学に下記の学部及び学科を置き、修業年限は次のとおりとする。

学 部	学 科	修業年限
文 学 部	宗教文化学科 歴史学科 英語英米文化学科 日本文化学科 グローバル英語学科	4 年
商 学 部	商 学 科	4 年
経 営 学 部	経営学科	4 年
経 済 学 部	経済学科	4 年
法 学 部	法律学科 現代社会法学科	4 年
総 合 政 策 学 部	総合政策学科	4 年
心 身 科 学 部	心理学科（注） 健康科学科 健康栄養学科	4 年
心 理 学 部	心理学科	4 年
薬 学 部	医療薬学科	6 年
歯 学 部	歯 学 科	6 年

(注) 令和4年4月から心身科学部心理学科の学生募集を停止し、在学生の卒業を待って廃止。なお、令和5年4月から同2年次編入、令和6年4月から同3年次編入の学生募集を停止する。

第5条 本大学に各学部に通ずる教養教育科目等の教育を一括して行うための組織として教養部を置く。

第6条 本大学各学部の第1年次に入学を許可する学生の定員、第2年次・第3年次に編入学を許可する学生の定員及び収容定員は次のとおりとする。

		入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
文 学 部	宗 教 文 化 学 科	70名	1名	1名	285名
	歴 史 学 科	130名	1名	1名	525名
	英 語 英 米 文 化 学 科	110名	1名	1名	445名
	日 本 文 化 学 科	110名	1名	1名	445名
	グ ローバル英語学科	110名	1名	1名	445名
商 学 部	商 学 科	250名	1名	1名	1,005名
経 営 学 部	経 営 学 科	290名	1名	1名	1,165名
経 済 学 部	経 済 学 科	250名	1名	1名	1,005名
法 学 部	法 律 学 科	190名	1名	1名	765名
	現 代 社 会 法 学 科	105名	1名	1名	425名
総合政策学部	総 合 政 策 学 科	210名	1名	1名	845名
心身科学部	健 康 科 学 科	180名	1名	1名	725名
	健 康 栄 養 学 科	80名			320名
心 理 学 部	心 理 学 科	160名	1名	1名	645名
薬 学 部	医 療 薬 学 科	145名	若干名		870名
歯 学 部	歯 学 科	125名	若干名		750名

第2章 教育課程（授業科目・単位数）

第7条 各授業科目の単位は、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とすることを原則とし、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修を考慮して、次の基準によって計算する。

- (1) 講義については、15時間の講義をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の演習をもって1単位とする。ただし、授業科目の種類によっては15時間の演習をもって1単位とすることができる。
- (3) 実験・実習については、45時間の実験・実習をもって1単位とする。ただし、授業科目の種類によっては30時間の実験・実習をもって1単位とすることができる。
- (4) 実技については、45時間の実技をもって1単位とする。
- (5) 卒業論文・卒業制作等については、その学修の成果を評価するものとし所定の単位を与える。

2 薬学部専門教育科目については、前項各号の規定にかかわらず次のとおりとする。

- (1) 講義については、15時間の講義をもって1単位とする。
- (2) 実習・演習については30時間の実習・演習をもって1単位とする。
- (3) 卒業研究については、その学修の成果を評価するものとし所定の単位を与える。
- (4) 臨床実習については、45時間をもって1単位とする。

3 歯学部専門教育科目については、第1項各号の規定にかかわらず次のとおりとする。

- (1) 講義については、15時間の講義をもって1単位とする。
- (2) 実習（臨床実習を除く）については、30時間の実習をもって1単位とする。
- (3) 臨床実習については、45時間をもって1単位とする。

第7条の2 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施する。

第7条の3 本大学は、講義、演習、実験・実習又は実技による授業を多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室以外の場所で履修させることができる。

第8条 本大学の授業科目の区分は、次のとおりとする。

(1) 文学部（宗教文化学科・英語英米文化学科・日本文化学科）・経営学部・心身科学部（心理学科）の授業科目については、教養教育科目及び専門教育科目、商学部・法学部の授業科目については、教養教育科目、専門教育科目及びキャリア教育科目に分ける。

①教養教育科目

授業科目及びその単位数は、別表1のとおりとする。

②専門教育科目

授業科目及びその単位数は、別表2（甲・丁・戊）、3、4、6、7（甲）のとおりとする。

③キャリア教育科目

授業科目及びその単位数は、別表3、6のとおりとする。

(2) 経済学部の授業科目の区分は、別表5のとおりとする。

(3) 総合政策学部の授業科目の区分は、別表8のとおりとする。

(4) 心身科学部健康科学科の授業科目の区分は、別表7（乙）のとおりとする。

(5) 心身科学部健康栄養学科の授業科目の区分は、別表7（丙）のとおりとする。

(6) 心理学部心理学科の授業科目の区分は、別表9のとおりとする。

(7) 薬学部の授業科目の区分は、別表10のとおりとする。

(8) 歯学部の授業科目の区分は、別表11のとおりとする。

(9) 文学部歴史学科の授業科目の区分は、別表2（丙）のとおりとする。

(10) 文学部グローバル英語学科の授業科目の区分は、別表2（己）のとおりとする。

(11) 全学部の授業科目に自由選択科目を置く。自由選択科目及びその単位数は、別表12のとおりとする。

2 本大学の卒業要件単位は、次のとおりとする。

(1) 文学部

宗教文化学科・英語英米文化学科・日本文化学科の卒業に必要な単位数は、教養教育科目36単位以上、専門教育科目76単位以上を含め、128単位以上とする。

歴史学科の卒業に必要な単位数は、教養教育科目40単位以上、専門教育科目80単位以上を含め、128単位以上とする。

グローバル英語学科の卒業に必要な単位数は、教養教育科目30単位以上、専門教育科目82単位以上を含め、128単位以上とする。

(2) 商学部・経済学部・法学部

商学部・経済学部・法学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目36単位以上、専門教育科目76単位以上、キャリア教育科目2単位以上を含め、128単位以上とする。

(3) 経営学部

経営学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目36単位以上、専門教育科目76単位以上を含め、128単位以上とする。

(4) 総合政策学部

総合政策学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目20単位以上、リテラシー科目34単位以上、基盤科目22単位以上、展開科目24単位以上、リサーチ・プロジェクト16単位を含め、128単位以上とする。

(5) 心身科学部

心理学科の卒業に必要な単位数は、教養教育科目36単位以上、専門教育科目76単位以上を含め、128単位以上とする。

健康科学科の卒業に必要な単位数は、教養教育科目 24 単位以上、専門教育科目 92 単位以上を含め、128 単位以上とする。

健康栄養学科の卒業に必要な単位数は、教養教育科目 24 単位以上、専門教育科目 80 単位以上を含め、128 単位以上とする。

(6) 心理学部

心理学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目 36 単位以上、専門教育科目 76 単位以上を含め、128 単位以上とする。

(7) 薬学部

薬学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目 46 単位以上、専門教育科目 140 単位以上を含め、186 単位以上とする。

(8) 歯学部

歯学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目 46 単位、専門教育科目 165 単位、計 211 単位とする。
なお、履修等に関する取り決めは別に定める。

第 8 条の 2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合、その修得した単位を、前項により認定した単位と合わせて 60 単位を超えない範囲で認定することができる。

第 8 条の 3 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項の単位数は、前条第 1 項及び第 2 項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 8 条の 4 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に大学又は短期大学(いずれも外国の大学又は短期大学を含む。)において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生制度により修得した単位を含む。)を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、本大学の定めるところにより単位を与えることができる。

3 前 2 項の単位数は、編入学、転入学、学士入学及び再入学の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第 8 条の 2 第 1 項及び第 2 項並びに前条第 1 項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 8 条の 5 編入学者、転入学者又は学士入学者にあつては、前条の規定により、入学以前の大学等において修得した単位を本大学において履修し、修得したものとみなすことができる。

2 本大学は、教育上有益と認めたときは、編入学、転入学又は学士入学以前の大学等において修得した教職及び教科に関する科目、図書館司書に関する科目、博物館学芸員に関する科目並びに社会教育主事に関する科目の単位を本大学において履修し、修得したものとみなすことができる。この場合、卒業要件単位に算入されない科目の単位については、前項に規定する上限を超えて単位を認定することができる。

3 第 1 項の単位の認定に関することは、別にこれを定める。

第 8 条の 6 本大学は、教育上有益と認めるときは、他の学部又は他の学科の授業科目を履修させることができる。

第9条 授業科目の成績評価は、A・A・B・C・D・Eで表し、A・A・B・Cを合格とし、D・Eを不合格とする。

第10条 本学で取得できる教員免許状の種類及び教科は、別表13（甲）のとおりとする。なお、教員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、別表13（乙）（丙）により教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目を履修しなければならない。

第10条の2 （削除）

第11条 図書館司書の所要資格を得ようとする者は、別表14（甲）（乙）により図書館法及び同法施行規則に定める科目を履修しなければならない。

第12条 博物館学芸員の所要資格を得ようとする者は、別表15（甲）（乙）により博物館法及び同法施行規則に定める科目を履修しなければならない。

第12条の2 社会教育主事の所要資格を得ようとする者は、別表15（丙）（丁）（戊）により社会教育法及び社会教育主事講習等規程に定める科目を履修しなければならない。

第3章 学年・学期・休日

第13条 本大学の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年は、春学期と秋学期にわけ次の通りとする。ただし、教育上必要な場合は、春学期の終了日及び秋学期の開始日を変更することができる。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から3月31日まで

第14条 本大学の定期休業日は、次のとおりとする。

（1）国民の祝日に関する法律に規定する休日

（2）日曜日

（3）創立記念日 10月15日

（4）春期休業日

（5）夏期休業日

（6）冬期休業日

2 前項第4号から第6号の休業の期間に関しては、別にこれを定める。

3 必要がある場合は、学長は代表教授会の議を経て第1項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学・休学・退学・転学・留学・復学・再入学・編入学・除籍・転籍

第15条 入学時期は、毎年4月とする。ただし、教育上有益と認めるときは、9月に入学を認めることができる。

第16条 本大学の学部第1年次に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

（1）高等学校又は中等教育学校を卒業した者

（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者

（3）学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認め

られる者

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ③ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧課程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑥ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により他の大学に入学した者で、その後本大学において、大学教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑦ 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

第 16 条の 2 本大学の学部第 2 年次に編入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

(1) 文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部(健康栄養学科を除く)・心理学部

- ① 学校教育法による短期大学を卒業した者
- ② 学校教育法による大学に 1 年以上在学し、32 単位以上を修得した者
- ③ 学校教育法による高等専門学校、旧国立養護教諭養成所及び旧国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者
- ④ 学校教育法による専修学校の専門課程修了者で「専門士」の称号を有する者
- ⑤ 学校教育法による専修学校の修業年限 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上の専門課程を修了した者
- ⑥ 学校教育法による大学への編入学資格基準を満たした専攻科の修業年限 2 年以上で、62 単位以上修得した者

(2) 薬学部・歯学部

- ① 学校教育法による大学を卒業した者
- ② 学校教育法による大学に 2 年以上在学し 54 単位以上を修得した者

第 16 条の 3 本大学の学部第 3 年次に編入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- (1) 学校教育法による短期大学を卒業した者
- (2) 学校教育法による大学に 2 年以上在学し、62 単位以上を修得した者
- (3) 学校教育法による高等専門学校、旧国立養護教諭養成所及び旧国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者
- (4) 学校教育法による専修学校の専門課程修了者で「専門士」の称号を有する者
- (5) 学校教育法による専修学校の修業年限 2 年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上の専門課程を修了した者
- (6) 学校教育法による大学への編入学資格基準を満たした専攻科の修業年限 2 年以上で、62 単位以上修得した者

第 17 条 本大学に入学を志願できる者は、前 3 条の資格を有する者又はその年度の 3 月 31 日までにこれらの資格の取得を見込める者とする。

第 18 条 入学試験は、別に定める入学者受入方針に従ってこれを行う。

第 19 条 入学志願者は、所定の書類に別表 16 - 1 に定める入学検定料を添えて学長に提出しなければならない。

2 既納の入学検定料は、いかなる理由があってもこれを返還しない。

第 20 条 第 16 条から第 16 条の 3 までの入学志願者につき、選考のうえ合格者を定める。

2 合格者は、所定の期日までに入学学納金を納め、保証人連署の在学誓書その他所定の書類を提出しなければならない。

3 前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

第 21 条 保証人は、日本国内に居住する成人であり、かつ、学生の父母その他の親族又は独立して生計を営む者であって、学生の在学中の一切の責任を負う者でなければならない。

第 22 条 学生又は保証人が、改名又は転居したときは、直ちに届けなければならない。ただし、改名した場合には、氏名変更を証明できる書類を添付し届出なければならない。

第 23 条 保証人が死亡し又は第 21 条の資格を失ったときは、直ちに他の人を以ってこれに替え、所定の手続きを取らなければならない。

第 24 条 学生が疾病又は避けることができない事由によって欠席するときは、直接授業担当教員に届出なければならない。欠席が 2 週間以上に亘るときは所定の欠席届に保証人が連署し、証明書類を添付し届出なければならない。ただし、歯学部 2 年生以上については別に定めることができる。

第 25 条 学生が疾病又はやむを得ない事由によって、3 ヶ月以上修学することのできない場合は、保証人連署を以って所定の期間内に願い出て、学長の許可を得て休学することができる。

2 休学は同一年次において 1 年以内に限る。なお特別の事情がある者には、更に 1 年以内の休学を許可することができる。

3 休学の事由が解決したときは、遅滞なく復学を申し出て、その許可を得なければならない。

4 休学の願い出は、学期毎に行うこととする。

第 25 条の 2 通算して休学できる期間は、文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部については 4 年、薬学部・歯学部については 6 年とする。

第 26 条 学生が疾病その他の事由により退学しようとするときは、理由を付し保証人連署を以って学長に願い出て、その許可を受けなければならない。

第 26 条の 2 次の各号のいずれかに該当する者は除籍とする。

- (1) 学納金の納入を怠り、督促を受けてもなおこれを納入しない者
- (2) 学納金納入期間を過ぎて、退学を願い出た際、学納金の納入がなされていない者
- (3) 第 25 条第 2 項又は第 25 条の 2 に定める休学期間を超えてなお復学できない者
- (4) 第 31 条に定める在学年限を超えた者
- (5) 死亡または長期にわたって行方不明の者

第 27 条 退学又は除籍された者が、その日から 2 年以内に再入学を願い出たときは選考のうえ、これを許可することがある。

2 再入学の取扱いに関する事項は、別にこれを定める。

第 28 条 (削除)

第 29 条 学生は、学長の許可を受けなければ他の学校に入学し、又は他の学校の入学試験を受けることがで

きない。

第29条の2 学生は、本大学在学中、本人の教育上有益と認められ、学長が許可した場合に限り、本大学の認定する外国の大学又は短期大学に留学することができる。

2 留学の期間は、第4条及び第31条に定める修業年限に算入できる。

3 留学に関する規程は、別にこれを定める。

第30条 他の学部又は学科に転籍を希望する者は、選考のうえこれを許可することができる。

2 転籍に関する規程は、別にこれを定める。

第31条 学生は、文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部・心理学部においては8年をこえて、薬学部・歯学部においては12年をこえて、在学することができない。ただし、休学期間はこれを算入しない。なお、薬学部・歯学部の進級不可及び卒業不可による、同一学年に在学できる期間は、別に定める。

2 第2年次に編入学することを許可された学生の修業年限は3年とし、在学年限は6年をこえることができない。ただし、薬学部・歯学部の第2年次に編入学することを許可された学生の修業年限は5年とし、在学年限は10年をこえることができない。

3 第3年次に編入学することを許可された学生の修業年限は2年とし、在学年限は4年をこえることができない。

第32条 学生の心得に関する規定は、別にこれを定める。

第5章 賞 罰

第33条 本大学学生で品行方正、学術優秀な者又は学生の模範となるべき行いをした者は、学長がこれを表彰することができる。

第34条 学生が本学の定める諸規則に違反し、または学生としての本分に反する行為があったときは、学長は、教授会の議を経て、これを懲戒する。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する学生に対して行うことができる。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められる者

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第35条 校舎及び器具等を破損したときは、相当の賠償をしなければならない。

第6章 試験・卒業及び称号

第36条 試験に関する規定は、別にこれを定める。

第37条 文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部・心理学部においては4年以上、薬学部・歯学部においては6年以上在学し、第8条に定める単位を修得した者には、別に定めるところにより、学位を授与する。

第38条 各学部の卒業生には、下記の区別に従い、学士の学位を授与する。

文学部卒業生は 学士（文学）

商学部卒業生は	学士（商学）
経営学部卒業生は	学士（経営学）
経済学部卒業生は	学士（経済学）
法学部卒業生は	学士（法学）
総合政策学部卒業生は	学士（総合政策学）
心身科学部卒業生は	学士（心身科学）
心理学部卒業生は	学士（心理学）
薬学部卒業生は	学士（薬学）
歯学部卒業生は	学士（歯学）

第7章 学 納 金

第39条 学納金は、別表 16・2 及び別表 16・3 の定めるとおりとする。

2 学納金の納入方法や納入期限などに関する事項については、別にこれを定める。

第39条の2 前条のほか、実験及び実習等に要する経費は、別にこれを定める。

第40条 休学の許可を受けた者については、休学期間中の学納金を徴収しない。ただし、別に定める在籍料を納入しなければならない。

第40条の2 各学期の学納金の納入期限を過ぎてから休学又は退学する者は、その期の学納金を納入しなければならない。

第41条 学費の支弁が極めて困難であると認められるに至った学生に対しては、学業成績、操行、勤怠等を斟酌して授業料の全部又は一部を免除し、又は学年末まで猶予することがある。

第42条 すでに納めた授業料その他の学納金は、別に定める場合を除き返還しない。

第43条 （削除）

第8章 教 職 員 組 織

第44条 本大学に学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、司書、事務職員、技術職員、校医の教職員を置く。

2 本大学には、前項のほか、副学長、その他必要な教職員を置くことができる。

第44条の2 学長は、大学の教育・研究の水準の向上に努めるとともに大学全体の校務をつかさどり、所属教職員を統督する。

第44条の3 学部長（教養部長を含む。）は、学長の命を受けて、その学部（教養部を含む。）の業務を掌理し、所属教職員を監督する。

第45条 本大学に、その事務を遂行するため、必要な事務組織を置く。

2 事務組織に関する規程は、別に定める。

第46条 本大学の職制に関しては、別に定めるところによる。

第9章 教授会

第47条 本大学に代表教授会及び学部教授会（教養部教授会を含む。以下同じ。）を置く。

2 代表教授会及び学部教授会に関する規程は、別にこれを定める。

第47条の2 代表教授会は、学長、副学長、教務部長、学生部長、キャリアセンター部長、入試センター部長、図書館情報センター館長、各学部長（教養部長を含む。）及び各学部（教養部を含む。以下同じ。）より選出された、別に定める員数の教授を以て組織する。ただし、必要に応じて他の教職員の出席を求めることができる。

2 学部教授会は、各学部の専任教授を以て組織する。ただし、各学部教授会の定めるところにより、准教授等の教育職員を加え若しくはその出席を求め、又はその他の職員の出席を求めることができる。

第47条の3 代表教授会及び学部教授会は、下記の事項について審議する。ただし、代表教授会は全学的な調整の立場から、学部教授会は当該学部の立場から審議するものとする。

- (1) 教育課程に関する事項
- (2) 学生の入学、退学、転籍、卒業、除籍及び賞罰に関する事項
- (3) 学生の試験及び単位に関する事項
- (4) 卒業論文及び学士号に関する事項
- (5) 学年暦に関する事項
- (6) 学生補導に関する事項
- (7) 学術研究に関する事項
- (8) 教育職員の採用及び資格昇任の選考に関する事項
- (9) 教育研究に関する規程の制定及び改廃に関する事項
- (10) その他の教育研究に関する事項

第47条の4 削除

第10章 図書館情報センター

第48条 本大学に図書館情報センターを置く。

第49条 図書館情報センターに関する規定は、別にこれを定める。

第11章 附属病院

第50条 本大学歯学部附属病院を置く。

第51条 附属病院に関する規定は、別にこれを定める。

第12章 科目等履修生・単位互換履修生（特別聴講学生）・開放講座聴講生・ 歯学部専攻生及び研究生

第52条 本大学所定の授業科目のうち一科目又は数科目につき履修を志願する者については、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生、単位互換履修生（特別聴講学生）及び開放講座聴講生としてその科目の履修又は聴講を許可することがある。

第52条の2 科目等履修生、単位互換履修生（特別聴講学生）及び開放講座聴講生に関する規程は、別にこ

れを定める。

第53条 本学歯学部において教授の指導を受け特に専門教育科目につき研究しようとする者は、歯学部専攻生（以下専攻生という）・歯学部研究生（以下研究生という）として入学を許可することがある。

第53条の2 専攻生・研究生を志願する者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- （1）大学の歯学部又は歯科大学を卒業した者
- （2）大学の医学部又は医科大学を卒業した者
- （3）前2号以外の大学又は専門学校卒業者で、これと同等以上の学力があると認めた者

第53条の3 専攻生・研究生は、別表17により納付金を前納しなければならない。既納の納付金は、いかなる事由があってもこれを返還しない。

第53条の4 第53条から第53条の3までに定めるもののほか、専攻生・研究生に関する規程は、別にこれを定める。ただし、特に規程に定めのない場合は、本学則を準用する。

第13章 外国人留学生・帰国学生

第54条 外国人・帰国生徒で本学に入学を志願する者があるときは、特別の選考によって入学を許可することがある。

2 前項の選考によって入学を許可された学生を外国人留学生・帰国学生とする。

3 外国人留学生・帰国学生のうち、教育上必要があると認めた者の授業科目履修に関しては、特例として別表18（甲）（乙）に定める日本語及び別表19（甲）（乙）に定める日本事情に関する科目を開設する。

4 外国人留学生・帰国学生については、本学則を準用する。

第14章 公開講座

第55条 本大学は、必要に応じて公開講座を設ける。

第15章 厚生保健

第56条 本大学に厚生保健に関する施設を置き、これを学生の利用に供する。

第57条 学生は、毎年所定の健康診断を受けなければならない。学長は、学生の保健を管理し、必要に応じて治療を命じ又は登校を停止することがある。

第58条 学生が本大学の施設を利用しようとするときは、所定の手続を経なければならない。

第16章 改正手続

第59条 この学則の改正は、代表教授会の議を経て、理事会の承認を得なければならない。

附 則

本学則は、昭和28年4月1日から実施する。

本学則は、昭和32年4月1日から実施する。

本学則は、昭和35年4月1日から実施する。

本学則は、昭和36年4月1日から実施する。

本学則は、昭和37年4月1日から実施する。

本学則は、昭和39年4月1日から実施する。

本学則は、昭和43年4月1日から実施する。

本学則は、昭和44年4月1日から実施する。

本学則は、昭和45年4月1日から実施する。

本学則は、昭和46年4月1日から実施する。

本学則は、昭和48年4月1日から実施する。

本学則は、昭和49年4月1日から実施する。

本学則は、昭和50年4月1日から実施する。

本学則は、昭和51年4月1日から実施する。

本学則は、昭和56年4月1日から実施する。

本学則は、昭和57年4月1日から実施する。

（昭和57年度入学生から適用する）

本学則は、昭和58年4月1日から実施する。

本学則は、昭和59年4月1日から実施する。

本学則は、昭和60年4月1日から実施する。

本学則は、昭和61年4月1日から実施する。

（昭和61年度入学生から適用する）

ただし、第6条の規定にかかわらず、昭和61年度から平成11年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
文 学 部	人
宗 教 学 科	100
心 理 学 科	120
歴 史 学 科	120
国 際 文 化 学 科	100
日 本 文 化 学 科	100
商 学 部	
商 学 科	500
経 営 学 部	
経 営 学 科	500
法 学 部	
法 律 学 科	500

本学則は、昭和62年4月1日から実施する。

（昭和62年度入学生から適用する）

本学則は、昭和63年4月1日から実施する。

（昭和63年度入学生から適用する）

本学則は、平成元年4月1日から実施する。

（平成元年度入学生から適用する）

本学則は、平成2年4月1日から実施する。

（平成2年度入学生から適用する）

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成2年度から平成10年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
文 学 部	人
宗 教 学 科	120
心 理 学 科	120
歴 史 学 科	120
国 際 文 化 学 科	120
日 本 文 化 学 科	100
商 学 部	
商 学 科	500
経 営 学 部	
経 営 学 科	500
法 学 部	
法 律 学 科	500

本学則は、平成3年4月1日から実施する。

(平成3年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成3年度から平成10年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
文 学 部	人
宗 教 学 科	120
心 理 学 科	120
歴 史 学 科	120
国 際 文 化 学 科	120
日 本 文 化 学 科	120
商 学 部	
商 学 科	550
経 営 学 部	
経 営 学 科	550
法 学 部	
法 律 学 科	550

本学則は、平成3年7月1日から実施する。

本学則は、平成4年4月1日から実施する。

(平成4年度入学生から適用する)

本学則は、平成5年4月1日から実施する。

(平成5年度入学生から適用する)

本学則は、平成6年4月1日から実施する。

(平成6年度入学生から適用する)

本学則は、平成7年4月1日から実施する。

(平成7年度入学生から適用する)

本学則は、平成8年4月1日から実施する。

(平成8年度入学生から適用する)

本学則は、平成9年4月1日から実施する。

(平成9年度入学生から適用する)

本学則は、平成10年4月1日から実施する。

(平成10年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成10年度及び平成11年度の入学定員は、次のとおりとする。

年 度 学部・学科等	平成11年度	平成10年度
	入学定員	入学定員
文 学 部	人	人
宗 教 学 科	100	120
心 理 学 科	120	120
歴 史 学 科	120	120
国 際 文 化 学 科	100	120
日 本 文 化 学 科	100	120
商 学 部		
商 学 科	400	450
経 営 学 部		
経 営 学 科	400	450
法 学 部		
法 律 学 科	400	450

本学則は、平成11年4月1日から実施する。

(平成11年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成11年度における入学定員は、次のとおりとする。

学 部 ・ 学 科 等	入 学 定 員
文 学 部	人
宗 教 学 科	120
心 理 学 科	120
歴 史 学 科	120
国 際 文 化 学 科	120
日 本 文 化 学 科	120
商 学 部	
商 学 科	450
経 営 学 部	
経 営 学 科	450
法 学 部	
法 律 学 科	450

本学則は、平成12年4月1日から実施する。

(平成12年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部	人	人	人	人	人
宗 教 学 科	120 (530)	119 (529)	116 (525)	113 (518)	110 (508)
歴 史 学 科	120 (515)	119 (514)	116 (510)	113 (503)	110 (493)
国 際 文 化 学 科	120 (525)	119 (524)	116 (520)	113 (513)	110 (503)
日 本 文 化 学 科	120 (515)	119 (514)	116 (510)	113 (503)	110 (493)
商 学 部					
商 学 科	448 (1,988)	440 (1,878)	435 (1,863)	430 (1,843)	425 (1,820)
経 営 学 部					
経 営 学 科	448 (1,988)	440 (1,878)	435 (1,863)	430 (1,843)	425 (1,820)
法 学 部					
法 律 学 科	447 (1,987)	440 (1,877)	435 (1,862)	430 (1,842)	425 (1,820)

※編入学定員

	第 2 学 年	第 3 学 年		第 2 学 年	第 3 学 年
文 学 部			商 学 部		
宗 教 学 科	10	10	商 学 科	10	30
歴 史 学 科	5	10	経 営 学 部		
国 際 文 化 学 科	5	15	経 営 学 科	10	30
日 本 文 化 学 科	5	10	法 学 部		
			法 律 学 科	10	30

本学則は、平成13年4月1日から実施する。

(平成13年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成13年度から平成19年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部							
宗 教 学 科	116 (526)	104 (510)	100 (490)	100 (470)	80 (434)	80 (410)	80 (390)
心 理 学 科	130 (545)	130 (560)	130 (570)	130 (570)	130 (570)	130 (570)	130 (570)
歴 史 学 科	120 (515)	120 (515)	120 (515)	120 (515)	100 (495)	100 (475)	100 (455)
国 際 文 化 学 科	120 (525)	120 (525)	116 (521)	110 (511)	100 (491)	100 (471)	100 (455)
日 本 文 化 学 科	120 (515)	120 (515)	116 (511)	110 (501)	100 (481)	100 (461)	100 (445)
商 学 部							
商 学 科	270 (1,708)	265 (1,518)	260 (1,313)	255 (1,105)	230 (1,065)	230 (1,030)	230 (1,000)
産 業 情 報 学 科	170 (170)	170 (345)	170 (530)	170 (715)	170 (715)	170 (715)	170 (715)
経 営 学 部							
経 営 学 科	270 (1,708)	265 (1,518)	260 (1,313)	255 (1,105)	230 (1,065)	230 (1,030)	230 (1,000)
国 際 経 営 学 科	170 (170)	170 (345)	170 (530)	170 (715)	170 (715)	170 (715)	170 (715)
法 学 部							
法 律 学 科	440 (1,877)	435 (1,862)	430 (1,842)	425 (1,820)	400 (1,780)	400 (1,745)	400 (1,715)

※編入学定員

	第 2 学 年	第 3 学 年		第 2 学 年	第 3 学 年
文 学 部			商 学 部		
宗 教 学 科	10	10	商 学 科	* 10	30
心 理 学 科	10	10	産 業 情 報 学 科	5	10
歴 史 学 科	5	10	経 営 学 部		
国 際 文 化 学 科	5	15	経 営 学 科	* 10	30
日 本 文 化 学 科	5	10	国 際 経 営 学 科	5	10
			法 学 部		
			法 律 学 科	10	30

＊ 第2学年編入は平成14年度より5名、第3学年編入は平成15年度より20名とする。

本学則は、平成14年4月1日から実施する。

(平成14年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成14年度から平成19年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部						
宗 教 学 科	94 (500)	90 (470)	90 (440)	70 (394)	70 (370)	70 (350)
心 理 学 科	150 (580)	150 (610)	150 (630)	150 (650)	150 (650)	150 (650)
歴 史 学 科	130 (525)	130 (535)	130 (545)	110 (535)	110 (515)	110 (495)
法 学 部						
法 律 学 科	295 (1,722)	290 (1,558)	285 (1,382)	260 (1,188)	260 (1,153)	260 (1,128)
現 代 社 会 法 学 科	140 (140)	140 (284)	140 (438)	140 (592)	140 (592)	140 (592)

※編入学定員

第 2 学 年 第 3 学 年

法 学 部

法律学科 * 10 30

現代社会法学科 4 10

＊ 第2学年編入は平成15年度より6名、第3学年編入は平成16年度より20名とする。

本学則は、平成15年4月1日から実施する。

(平成15年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成15年度から平成19年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部					
宗 教 学 科	90 (470)	90 (440)	70 (394)	70 (370)	70 (350)
心 理 学 科	— (460)	— (320)	— (170)	— (0)	— (0)
歴 史 学 科	130 (535)	130 (545)	110 (535)	110 (515)	110 (495)
法 学 部					
法 律 学 科	290 (1,558)	285 (1,382)	260 (1,188)	260 (1,153)	260 (1,128)
現 代 社 会 法 学 科	140 (284)	140 (438)	140 (592)	140 (592)	140 (592)
心 身 科 学 部					
心 理 学 科	150 (150)	150 (310)	150 (480)	150 (650)	150 (650)

※編入学定員

第 2 学 年 第 3 学 年

法 学 部

法 律 学 科 * 10 30

現 代 社 会 法 学 科 4 10

心 身 科 学 部

心 理 学 科 10 10

＊ 第2学年編入は平成15年度より6名、第3学年編入は平成16年度より20名とする。

本学則は、平成16年4月1日から実施する。

(平成16年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成16年度から平成19年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部				
宗 教 学 科	90 (440)	90 (414)	90 (410)	90 (410)
心 理 学 科	— (320)	— (170)	— (0)	— (0)
歴 史 学 科	130 (545)	130 (555)	130 (555)	130 (555)
国 際 文 化 学 科	110 (511)	110 (501)	110 (491)	110 (485)
日 本 文 化 学 科	110 (501)	110 (491)	110 (481)	110 (475)
商 学 部				
商 学 科	225 (1,075)	225 (1,030)	225 (990)	225 (955)
経 営 学 部				
経 営 学 科	235 (1,085)	235 (1,050)	235 (1,020)	235 (995)
法 学 部				
法 律 学 科	265 (1,362)	265 (1,173)	265 (1,143)	265 (1,118)
現 代 社 会 法 学 科	140 (438)	140 (592)	140 (592)	140 (592)
情報社会政策学部				
情 報 社 会 政 策 学 科	280 (1,480)	280 (1,390)	280 (1,290)	280 (1,190)
心 身 科 学 部				
心 理 学 科	150 (310)	150 (480)	150 (650)	150 (650)
健 康 科 学 科	150 (150)	150 (310)	150 (480)	150 (650)

※編入学定員

	第 2 学 年	第 3 学 年
法 学 部		
法 律 学 科	* 10	30
現 代 社 会 法 学 科	4	10
心 身 科 学 部		
心 理 学 科	10	10
健 康 科 学 科	10	10

* 第2学年編入は平成15年度より6名、第3学年編入は平成16年度より20名とする。

	第 2 学 年	第 3 学 年
情報社会政策学部		
情 報 社 会 政 策 学 科	* 20	30

* 第2学年編入は平成17年度より10名、第3学年編入は平成18年度より20名とする。

本学則は、平成17年4月1日から実施する。

(平成17年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成17年度から平成20年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部				
宗 教 学 科	80 (404)	80 (390)	80 (380)	80 (370)
商 学 部				
商 学 科	215 (1,020)	215 (970)	215 (925)	215 (915)
産 業 情 報 学 科	130 (675)	130 (635)	130 (595)	130 (555)
経 営 学 部				
経 営 学 科	225 (1,040)	225 (1,000)	225 (965)	225 (955)
国 際 経 営 学 科	140 (685)	140 (655)	140 (625)	140 (595)
法 学 部				
法 律 学 科	225 (1,133)	225 (1,063)	225 (998)	225 (958)
情報社会政策学部				
情 報 社 会 政 策 学 科	270 (1,380)	270 (1,270)	270 (1,160)	270 (1,150)

※編入学定員

	第 2 学 年	第 3 学 年
情報社会政策学部		
情 報 社 会 政 策 学 科	* 20	30

* 第2学年編入は平成17年度より10名、第3学年編入は平成18年度より20名とする。

本学則は、平成18年4月1日から実施する。

(平成18年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成18年度から平成23年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部						
宗 教 学 科	80 (390)	80 (380)	80 (370)	80 (370)	80 (370)	80 (370)
商 学 部						
商 学 科	215 (970)	215 (925)	215 (915)	215 (915)	215 (915)	215 (915)
産 業 情 報 学 科	130 (635)	130 (595)	130 (555)	130 (555)	130 (555)	130 (555)
経 営 学 部						
経 営 学 科	225 (1,000)	225 (965)	225 (955)	225 (955)	225 (955)	225 (955)
国 際 経 営 学 科	140 (655)	140 (625)	140 (595)	140 (595)	140 (595)	140 (595)
法 学 部						
法 律 学 科	225 (1,063)	225 (998)	225 (958)	225 (958)	225 (958)	225 (958)
情報社会政策学部						
情 報 社 会 政 策 学 科	270 (1,270)	270 (1,160)	270 (1,150)	270 (1,150)	270 (1,150)	270 (1,150)
薬学部						
医 療 薬 学 科	150 (150)	150 (300)	150 (450)	150 (600)	150 (750)	150 (900)

※編入学定員

第 2 学 年 第 3 学 年

情報社会政策学部

情 報 社 会 政 策 学 科 * 20 30

* 第2学年編入は平成17年度より10名、第3学年編入は平成18年度より20名とする。

本学則は、平成19年4月1日から実施する。

(平成19年度入学生から適用する)

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成19年度から平成22年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部				
宗 教 学 科	80 (364)	80 (338)	80 (330)	80 (330)
歴 史 学 科	130 (543)	130 (531)	130 (527)	130 (527)
日 本 文 化 学 科	110 (463)	110 (451)	110 (447)	110 (447)
国 際 文 化 学 科	110 (468)	110 (451)	110 (447)	110 (447)
グローバル英語学科	110 (110)	110 (222)	110 (336)	110 (450)
商 学 部				
商 学 科	215 (906)	215 (877)	215 (874)	215 (874)
ビジネス情報学科	130 (584)	130 (533)	130 (529)	130 (529)
経 営 学 部				
経 営 学 科	225 (946)	225 (917)	225 (914)	225 (914)
現 代 企 業 学 科	140 (614)	140 (533)	140 (569)	140 (569)
法 学 部				
法 律 学 科	225 (978)	225 (918)	225 (914)	225 (914)
現 代 社 会 法 学 科	140 (582)	140 (572)	140 (569)	140 (569)
総合政策学部				
総 合 政 策 学 科	270 (1,137)	270 (1,104)	270 (1,097)	270 (1,097)
心身科学部				
心 理 学 科	150 (638)	150 (626)	150 (619)	150 (619)
健 康 科 学 科	150 (638)	150 (626)	150 (619)	150 (619)

※編入学定員

第 2 学 年 第 3 学 年

文 学 部
宗 教 学 科 * 10 10

* 第2学年編入は平成19年度より2名、第3学年編入は平成20年度より2名とする。

文 学 部
歴 史 学 科 * 5 10

日 本 文 化 学 科 * 5 10

国 際 文 化 学 科 * 5 15

* 第2学年編入は平成19年度より1名、第3学年編入は平成20年度より2名とする。

文 学 部
グ ロー ブ ル 英 語 学 科 2 2

※編入学定員

		第 2 学 年	第 3 学 年
商 学 部			
商 学 科	* 5	20	
経 営 学 部			
経 営 学 科	* 5	20	
法 学 部			
法 律 学 科	* 6	20	

* 第2学年編入は平成19年度より2名、第3学年編入は平成20年度より4名とする。

商 学 部			
ビ ジ ネ ス 情 報 学 科	* 5	10	
経 営 学 部			
現 代 企 業 学 科	* 5	10	
法 学 部			
現 代 社 会 法 学 科	* 4	10	

* 第2学年編入は平成19年度より1名、第3学年編入は平成20年度より3名とする。

総 合 政 策 学 部			
総 合 政 策 学 科	* 10	20	

* 第2学年編入は平成19年度より2名、第3学年編入は平成20年度より4名とする。

心 身 科 学 部			
心 理 学 科	* 10	10	
健 康 科 学 科	* 10	10	

* 第2学年編入は平成19年度より3名、第3学年編入は平成20年度より5名とする。

本学則は、平成 2 0 年 4 月 1 日から実施する。

(平成 2 0 年度入学生から適用する)

ただし、第 6 条の規定にかかわらず、平成 2 0 年度から平成 2 3 年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成 20 年 度	平成 21 年 度	平成 22 年 度	平成 23 年 度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部				
宗 教 文 化 学 科	70 (328)	70 (310)	70 (300)	70 (290)
商 学 部				
商 学 科	210 (872)	210 (864)	210 (859)	210 (854)
ビ ジ ネ ス 情 報 学 科	120 (523)	120 (509)	120 (499)	120 (489)
経 営 学 部				
現 代 企 業 学 科	130 (563)	130 (549)	130 (539)	130 (529)
法 学 部				
法 律 学 科	220 (913)	220 (904)	220 (899)	220 (894)
現 代 社 会 法 学 科	125 (557)	125 (539)	125 (524)	125 (509)
総合政策学部				
総 合 政 策 学 科	245 (1, 079)	245 (1, 047)	245 (1, 022)	245 (997)
心身科学部				
健 康 栄 養 学 科	80 (80)	80 (160)	80 (240)	80 (320)

本学則は、平成 2 1 年 4 月 1 日から実施する。

本学則は、平成 2 2 年 4 月 1 日から実施する。

本学則は、平成 2 3 年 4 月 1 日から実施する。

本学則は、平成 2 4 年 4 月 1 日から実施する。

本学則は、平成25年4月1日から実施する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成25年度から平成30年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
心身科学部						
心 理 学 科	140 (609)	140 (599)	140 (589)	140 (579)	140 (579)	140 (579)
健 康 科 学 科	145 (614)	145 (609)	145 (604)	145 (599)	145 (599)	145 (599)
商 学 部						
商 学 科	250 (894)	250 (934)	250 (974)	250 (1,014)	250 (1,014)	250 (1,014)
ビ ジ ネ ス 情 報 学 科	0 (369)	0 (248)	0 (124)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
経 営 学 部						
経 営 学 科	290 (979)	290 (1,044)	290 (1,111)	290 (1,178)	290 (1,178)	290 (1,178)
現 代 企 業 学 科	0 (399)	0 (268)	0 (134)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
経済学部						
経 済 学 科	250 (250)	250 (502)	250 (758)	250 (1,014)	250 (1,014)	250 (1,014)
法 学 部						
法 律 学 科	200 (874)	200 (854)	200 (834)	200 (814)	200 (814)	200 (814)
現 代 社 会 法 学 科	105 (489)	105 (469)	105 (449)	105 (429)	105 (429)	105 (429)
総合政策学部						
総 合 政 策 学 科	210 (962)	210 (927)	210 (892)	210 (857)	210 (857)	210 (857)
薬学部						
医 療 薬 学 科	145 (895)	145 (890)	145 (885)	145 (880)	145 (875)	145 (870)
歯学部						
歯 学 科	125 (775)	125 (770)	125 (765)	125 (760)	125 (755)	125 (750)

※編入学定員

第 2 学 年 第 3 学 年

商 学 部

商 学 科 2 4

ビ ジ ネ ス 情 報 学 科 ※1 ※3

* ビジネス情報学科の第2学年編入は平成26年度より、第3学年編入は平成27年度より0名とする。

経 営 学 部

経 営 学 科 2 ※4

現 代 企 業 学 科 ※1 ※3

* 経営学科の第3学年編入は平成27年度より6名とする。

* 現代企業学科の第2学年編入は平成26年度より、第3学年編入は平成27年度より0名とする。

経 済 学 部

経 済 学 科 ※2 ※4

* 第2学年編入は平成26年度より2名、第3学年編入は平成27年度より4名とする。

本学則は、平成26年4月1日から実施する。

本学則は、平成27年4月1日から実施する。

本学則は、平成28年4月1日から実施する。

本学則は、平成29年4月1日から実施する。

本学則は、平成29年10月1日から実施する。

本学則は、平成30年4月1日から実施する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成30年度から平成33年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
心身科学部				
健 康 科 学 科	155 (609)	155 (619)	155 (629)	155 (639)
法 学 部				
法 律 学 科	190 (804)	190 (794)	190 (784)	190 (774)

本学則は、平成30年10月1日から実施する。
 本学則は、平成31年4月1日から実施する。
 ただし、第6条の規定にかかわらず、平成31年度から平成34年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
文 学 部				
宗 教 学 科	70 (288)	70 (286)	70 (285)	70 (285)
歴 史 学 科	130 (526)	130 (525)	130 (525)	130 (525)
日 本 文 化 学 科	110 (446)	110 (445)	110 (445)	110 (445)
英 語 英 米 文 化 学 科	110 (446)	110 (445)	110 (445)	110 (445)
グ ロー バ ル 英 語 学 科	110 (448)	110 (446)	110 (445)	110 (445)
商 学 部				
商 学 科	250 (1,010)	250 (1,006)	250 (1,005)	250 (1,005)
経営学部				
経 営 学 科	290 (1,172)	290 (1,166)	290 (1,165)	290 (1,165)
経済学部				
経 済 学 科	250 (1,010)	250 (1,006)	250 (1,005)	250 (1,005)
法 学 部				
法 律 学 科	190 (790)	190 (776)	190 (765)	190 (765)
現 代 社 会 法 学 科	105 (427)	105 (425)	105 (425)	105 (425)
総合政策学部				
総 合 政 策 学 科	210 (852)	210 (847)	210 (845)	210 (845)
心身科学部				
心 理 学 科	140 (573)	140 (567)	140 (565)	140 (565)
健 康 科 学 科	180 (638)	180 (667)	180 (700)	180 (725)

※編入学定員

第 2 学 年 第 3 学 年

文 学 部		
宗 教 文 化 学 科	1	1
歴 史 学 科	1	1
英 語 英 米 文 化 学 科	1	1
日 本 文 化 学 科	1	1
グ ロー バ ル 英 語 学 科	1	1
商 学 部		
商 学 科	1	1
経営学部		
経 営 学 科	1	1
経済学部		
経 済 学 科	1	1
法 学 部		
法 律 学 科	1	1
現 代 社 会 法 学 科	1	1
総合政策学部		
総 合 政 策 学 科	1	1
心身科学学部		
心 理 学 科	1	1
健 康 科 学 科	1	1

本学則は、令和2年4月1日から実施する。
 本学則は、令和3年4月1日から実施する。
 本学則は、令和4年4月1日から実施する。
 ただし、第6条の規定にかかわらず、令和4年度から令和7年度までの入学定員は、次のとおりとする。

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学部・学科等	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)
心身科学部				
心 理 学 科	(425)	(284)	(142)	(0)
心理学部				
心 理 学 科	160 (160)	160 (321)	160 (483)	160 (645)

※編入学定員

第 2 学 年 第 3 学 年

心 理 学 部		
心 理 学 科	1	1

別 表 1

文学部(宗教文化学科・英語英米文化学科・日本文化学科)・商学部・法学部・経営学部・心身科学部(心理学科) 共通

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考
教 養 教 育 科 目	宗 教	宗 教 学 I	2		4単位修得すること
		宗 教 学 II	2		
	人 文 系	教養セミナー「学問の発見」I		1	4単位以上修得すること
		教養セミナー「学問の発見」II		1	
		教養セミナー「学問の発見」III		1	
		教養セミナー「学問の発見」IV		1	
		心 理 学 I		2	
		心 理 学 II		2	
		哲 学 I		2	
		哲 学 II		2	
		論 理 学 I		2	
		論 理 学 II		2	
		文 学 I		2	
		文 学 II		2	
		美 術 I		2	
		美 術 II		2	
	社 会 系	法 学 I		2	
		法 学 II		2	
		政 治 学 I		2	
		政 治 学 II		2	
		経 済 学 I		2	
		経 済 学 II		2	
		社 会 学 I		2	
		社 会 学 II		2	
		教 育 学 I		2	
		教 育 学 II		2	
		歴 史 学 I		2	
		歴 史 学 II		2	
		地 理 学 I		2	
		地 理 学 II		2	
	自 然 系	数 学 I		2	4単位以上修得すること
		数 学 II		2	
		統 計 学 I		2	
		統 計 学 II		2	
		物 理 学 I		2	
		物 理 学 II		2	
		化 学 I		2	
		化 学 II		2	
		生 物 学 I		2	
		生 物 学 II		2	
	主 題 系	情 報 科 学 I		2	4単位以上修得すること
		情 報 科 学 II		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 I		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 II		2	
		禅 と 人 間 I		2	
		禅 と 人 間 II		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 I		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 II		2	
		人 間 行 動 の 理 解 I		2	
		人 間 行 動 の 理 解 II		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 I		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 II		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 I		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 II		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 I		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 II		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 I		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 II		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 I		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 II		2	
		人 間 と 環 境 I		2	
		人 間 と 環 境 II		2	
		情 報 と 社 会 I		2	
		情 報 と 社 会 II		2	
		産 業 と 科 学 I		2	
		産 業 と 科 学 II		2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 I		2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 II		2	
		健 康 の 科 学		2	

20単位以上
修得すること(注)

部門	分野	授業科目名	必修単位	選択単位	備考
教養 教育 科目	外国語	英語 I a	1		6単位修得すること
		英語 II a	1		
		英語 I b	1		
		英語 II b	1		
		英語 I c	1		
		英語 II c	1		ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語の中から1言語を選択して2単位修得すること
		ドイツ語 I		1	
		ドイツ語 II		1	
		中国語 I		1	
		中国語 II		1	
		フランス語 I		1	
		フランス語 II		1	
		韓国語 I		1	
		韓国語 II		1	
		ドイツ文化事情		2	2単位修得すること
		中国文化事情		2	
		フランス文化事情		2	
		韓国文化事情		2	
	科目	英会話 I		1	(注)
		英会話 II		1	
		英会話 III		1	
		英会話 IV		1	
		メデイヤ英語 I		1	
		メデイヤ英語 II		1	
		メデイヤ英語 III		1	
		メデイヤ英語 IV		1	
		英語表現法 I		1	
		英語表現法 II		1	
		英語表現法 III		1	
		英語表現法 IV		1	
		英語読解法 I		1	
		英語読解法 II		1	
		英語読解法 III		1	
		英語読解法 IV		1	
		実践英語 I		1	
		実践英語 II		1	
		実践英語 III		1	
		実践英語 IV		1	
		ドイツ語 I (基礎)		1	
		ドイツ語 II (基礎)		1	
		ドイツ語 III (読解)		1	
		ドイツ語 IV (読解)		1	
		ドイツ語 III (表現)		1	
		ドイツ語 IV (表現)		1	
		ドイツ語 III (総合)		1	
		ドイツ語 IV (総合)		1	
		ドイツ語会話 I		1	
		ドイツ語会話 II		1	
		中国語 I (基礎)		1	
		中国語 II (基礎)		1	
		中国語 III (読解)		1	
		中国語 IV (読解)		1	
		中国語 III (表現)		1	
		中国語 IV (表現)		1	
		中国語 III (総合)		1	
		中国語 IV (総合)		1	
		中国語会話 I		1	
		中国語会話 II		1	
		フランス語 I (基礎)		1	
		フランス語 II (基礎)		1	
		フランス語 III (読解)		1	
		フランス語 IV (読解)		1	
		フランス語 III (表現)		1	
		フランス語 IV (表現)		1	
		フランス語 III (総合)		1	
		フランス語 IV (総合)		1	
		フランス語会話 I		1	
		フランス語会話 II		1	

部門	分野	授業科目名	必修単位	選択単位	備考
教養教育科目	外国語科目	韓国語Ⅰ（基礎）		1	（注）
		韓国語Ⅱ（基礎）		1	
		韓国語Ⅲ（読解）		1	
		韓国語Ⅳ（読解）		1	
		韓国語Ⅲ（表現）		1	
		韓国語Ⅳ（表現）		1	
		韓国語Ⅲ（総合）		1	
		韓国語Ⅳ（総合）		1	
		韓国語会話Ⅰ		1	
		韓国語会話Ⅱ		1	
	健康総合科目	スポーツ科学Ⅰ	1		} 2単位修得すること
		スポーツ科学Ⅱ	1		
		スポーツ科学Ⅲ		1	} （注）
		スポーツ科学Ⅳ		1	
	海外事情科目	海外事情Ⅰ		2	} （注）
		海外事情Ⅱ		2	
		海外事情Ⅲ		1	
		海外事情Ⅳ		1	

- （注）
- ・ 教養基幹科目
 - ・ エレクティブ科目
 - ・ 健康総合科学科目の中の必修科目として開講されていない科目
 - ・ 海外事情科目

はそれぞれ表中に示された修得単位以外に履修することができ、16単位まで卒業要件単位となる。

別表 2
(甲) 文学部 宗教文化学科

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考	
教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	宗 教 学 入 門 I		2	8単位修得	76単位 以上修得
		宗 教 学 入 門 II		2		
		仏 教 学 入 門 I		2		
		仏 教 学 入 門 II		2		
		禅 学 入 門 I		2		
		禅 学 入 門 II		2		
		地 域 宗 教 文 化 I - I		2	4単位修得	
		地 域 宗 教 文 化 I - II		2		
		地 域 宗 教 文 化 II - I		2		
		地 域 宗 教 文 化 II - II		2		
		地 域 宗 教 文 化 III - I		2		
		地 域 宗 教 文 化 III - II		2		
		宗 教 文 化 史 I		2		
		宗 教 文 化 史 II		2		
		仏 教 の 歴 史 I		2		
		仏 教 の 歴 史 II		2		
		禅 宗 史 I		2		
		禅 宗 史 II		2		
	専 門 基 礎 語 学	宗 教 学 英 書 入 門 I		2	4単位修得	
		宗 教 学 英 書 入 門 II		2		
		仏 教 漢 文 入 門 I		2		
		仏 教 漢 文 入 門 II		2		
		パ ー リ 語 入 門 I		2		
		パ ー リ 語 入 門 II		2		
		サンスクリット語入 門 I		2		
		サンスクリット語入 門 II		2		
	専 門 一 般 科 目	現 代 社 会 と 宗 教 I		2		
		現 代 社 会 と 宗 教 II		2		
		宗 教 と 民 俗 文 化 I		2		
		宗 教 と 民 俗 文 化 II		2		
		比 較 宗 教 史 I		2		
		比 較 宗 教 史 II		2		
		比 較 宗 教 思 想 I		2		
		比 較 宗 教 思 想 II		2		
		宗 教 社 会 学 I		2		
		宗 教 社 会 学 II		2		
		宗 教 心 理 学 I		2		
		宗 教 心 理 学 II		2		
		宗 教 人 類 学 I		2		
		宗 教 人 類 学 II		2		
		宗 教 教 理 学 I		2		
		宗 教 教 理 学 II		2		
		仏 典 講 読 I		2		
		仏 典 講 読 II		2		
		インド仏教の思想 I		2		
		インド仏教の思想 II		2		
仏教の中国的展開 I			2			
仏教の中国的展開 II			2			
中国仏教の思想 I			2			
中国仏教の思想 II			2			
仏教の日本的展開 I			2			
仏教の日本的展開 II			2			
日本仏教の思想 I			2			
日本仏教の思想 II			2			
現代社会と仏教 I			2			
現代社会と仏教 II			2			
仏 教 美 術 I			2			
仏 教 美 術 II			2			
禅 語 録 講 読 I			2			
禅 語 録 講 読 II			2			
禅 の 思 想 I - I			2			
禅 の 思 想 I - II			2			

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考
専 門 教 育 科 目	専 門 一 般 科 目	禅 の 思 想 II - I		2	
		禅 の 思 想 II - II		2	
		禅 と 芸 術 I		2	
		禅 と 芸 術 II		2	
		教 化 布 教 特 講		2	
		行 持 の 基 礎		2	
		坐 禅 I		2	
		坐 禅 II		2	
		西 洋 古 典 の 文 化 I		2	
		西 洋 古 典 の 文 化 II		2	
		西 洋 の 思 想 I		2	
		西 洋 の 思 想 II		2	
		イ ン ド の 思 想 I		2	
		イ ン ド の 思 想 II		2	
		中 国 の 思 想 I		2	
		中 国 の 思 想 II		2	
		日 本 の 思 想 I		2	
		日 本 の 思 想 II		2	
		日 本 の 仏 教 I		2	
		日 本 の 仏 教 II		2	
		基 礎 セ ミ ナ ー I		2	
		基 礎 セ ミ ナ ー II		2	
		宗 教 文 化 セ ミ ナ ー I		2	
		宗 教 文 化 セ ミ ナ ー II		2	
		仏 教 文 化 セ ミ ナ ー I		2	
		仏 教 文 化 セ ミ ナ ー II		2	
		禅 文 化 セ ミ ナ ー I		2	
		禅 文 化 セ ミ ナ ー II		2	
		総 合 セ ミ ナ ー I	2		
		総 合 セ ミ ナ ー II	2		
		卒 業 論 文	4		

別 表 2
(丙) 文学部 歴史学科

部 門	分 野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考
教 養 教 育 科 目	宗 教	宗 教 学 I	2		4単位修得すること
		宗 教 学 II	2		
	教 養 セ ミ ナ ー	「学問の発見」I		1	
		「学問の発見」II		1	
		「学問の発見」III		1	
		「学問の発見」IV		1	
	人 文 系	心 理 学 I		2	4単位以上修得 すること
		心 理 学 II		2	
		哲 学 I		2	
		哲 学 II		2	
		論 理 学 I		2	
		論 理 学 II		2	
		文 学 I		2	
		文 学 II		2	
	社 会 系	美 術 I		2	4単位以上修得 すること
		美 術 II		2	
		法 学 I		2	} 日本国憲法 2単位含む
		法 学 II		2	
		政 治 学 I		2	4単位以上 修得すること
		政 治 学 II		2	
		経 済 学 I		2	
		経 済 学 II		2	
	基 幹 系	社 会 学 I		2	4単位以上 修得すること
		社 会 学 II		2	
		教 育 学 I		2	
		教 育 学 II		2	
		歴 史 学 I		2	
		歴 史 学 II		2	
		地 理 学 I		2	
		地 理 学 II		2	
	自 然 系	数 学 I		2	4単位以上 修得すること
		数 学 II		2	
		統 計 学 I		2	
		統 計 学 II		2	
		物 理 学 I		2	
		物 理 学 II		2	
		化 学 I		2	
		化 学 II		2	
	主 題 系	生 物 学 I		2	4単位以上 修得すること(注)
		生 物 学 II		2	
		情 報 科 学 I		2	
		情 報 科 学 II		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 I		2	4単位以上 修得すること(注)
		仏 教 と 現 代 社 会 II		2	
		禅 と 人 間 I		2	
		禅 と 人 間 II		2	
		生命に関する諸問題 I		2	
		生命に関する諸問題 II		2	
		人間行動の理解 I		2	
		人間行動の理解 II		2	
		人間の尊厳と平等 I		2	
		人間の尊厳と平等 II		2	
		日本の文化と社会 I		2	
		日本の文化と社会 II		2	
		アジアの文化と社会 I		2	
		アジアの文化と社会 II		2	
		ヨーロッパの文化と社会 I		2	
		ヨーロッパの文化と社会 II		2	
		英語圏の文化と社会 I		2	
		英語圏の文化と社会 II		2	
		人間と環境 I		2	
		人間と環境 II		2	
	系	情 報 と 社 会 I		2	
		情 報 と 社 会 II		2	
		産 業 と 科 学 I		2	
		産 業 と 科 学 II		2	
		ソフトウェア概論 I		2	
		ソフトウェア概論 II		2	
		健 康 の 科 学		2	

部門	分野		授業科目名		必修単位	選択単位	備考	
教養教育科目	外国語	英語	英語Ⅰa	1		6単位修得すること		
			英語Ⅱa	1				
			英語Ⅰb	1				
			英語Ⅱb	1				
			英語Ⅰc	1				
			英語Ⅱc	1				
		ドイツ語	ドイツ語Ⅰ		1	ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語の中から1言語を選択して2単位修得すること		
			ドイツ語Ⅱ		1			
		中国語	中国語Ⅰ		1			
			中国語Ⅱ		1			
		フランス語	フランス語Ⅰ		1			
			フランス語Ⅱ		1			
		韓国語	韓国語Ⅰ		1			
			韓国語Ⅱ		1			
		文化事情	ドイツ文化事情		2			2単位修得すること
			中国文化事情		2			
			フランス文化事情		2			
			韓国文化事情		2			
		科目目	英語	英会話	英会話Ⅰ	1		
					英会話Ⅱ	1		
					英会話Ⅲ	1		
					英会話Ⅳ	1		
				メディア英語	メディア英語Ⅰ	1		
					メディア英語Ⅱ	1		
	メディア英語Ⅲ				1			
	メディア英語Ⅳ				1			
	英語表現法			英語表現法Ⅰ	1			
				英語表現法Ⅱ	1			
				英語表現法Ⅲ	1			
				英語表現法Ⅳ	1			
	英語読解法			英語読解法Ⅰ	1			
				英語読解法Ⅱ	1			
				英語読解法Ⅲ	1			
				英語読解法Ⅳ	1			
	実践英語			実践英語Ⅰ	1			
				実践英語Ⅱ	1			
				実践英語Ⅲ	1			
				実践英語Ⅳ	1			
	ドイツ語		ドイツ語Ⅰ（基礎）	1				
			ドイツ語Ⅱ（基礎）	1				
			ドイツ語Ⅲ（読解）	1				
			ドイツ語Ⅳ（読解）	1				
			ドイツ語Ⅲ（表現）	1				
			ドイツ語Ⅳ（表現）	1				
			ドイツ語Ⅲ（総合）	1				
			ドイツ語Ⅳ（総合）	1				
	ドイツ語会話		ドイツ語会話Ⅰ	1				
			ドイツ語会話Ⅱ	1				
中国語	中国語Ⅰ（基礎）		1					
	中国語Ⅱ（基礎）		1					
	中国語Ⅲ（読解）		1					
	中国語Ⅳ（読解）		1					
	中国語Ⅲ（表現）		1					
	中国語Ⅳ（表現）		1					
	中国語Ⅲ（総合）		1					
	中国語Ⅳ（総合）		1					
	中国語会話Ⅰ		1					
	中国語会話Ⅱ		1					
	フランス語	フランス語Ⅰ（基礎）	1					
		フランス語Ⅱ（基礎）	1					
フランス語Ⅲ（読解）		1						
フランス語Ⅳ（読解）		1						
フランス語Ⅲ（表現）		1						
フランス語Ⅳ（表現）		1						
フランス語Ⅲ（総合）		1						
フランス語Ⅳ（総合）		1						
フランス語会話	フランス語会話Ⅰ	1						
	フランス語会話Ⅱ	1						

部門	分野		授 業 科 目 名	必修単位	選択単位	備 考	
教 養 教 育 科 目	外国語科目	エレクトィブ科目	韓 国 語 I (基 礎)		1		
			韓 国 語 II (基 礎)		1		
			韓 国 語 III (読 解)		1		
			韓 国 語 IV (読 解)		1		
			韓 国 語 III (表 現)		1		
			韓 国 語 IV (表 現)		1		
			韓 国 語 III (総 合)		1		
			韓 国 語 IV (総 合)		1		
			韓 国 語 会 話 I		1		
	韓 国 語 会 話 II		1				
	健康総合科目		ス ポ ー ツ 科 学 I	1		} 2単位修得すること	
			ス ポ ー ツ 科 学 II	1			
			ス ポ ー ツ 科 学 III		1	} (注)	
			ス ポ ー ツ 科 学 IV		1		
	海外事情科目		海 外 事 情 I		2	} (注)	
			海 外 事 情 II		2		
			海 外 事 情 III		1		
			海 外 事 情 IV		1		
(注)	・ 教養基幹科目 ・ エレクトィブ科目 ・ 健康総合科学科目の中の必修科目として開講されていない科目 ・ 海外事情科目					} はそれぞれ表中に示された修得単位以外に履修することができ、8単位まで卒業要件単位となる。	

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考		
専門基礎科目	専 門 基 礎 科 目	日 本 史 概 説 I	2		18単位修得		
		日 本 史 概 説 II	2				
		東 洋 史 概 説 I	2				
		東 洋 史 概 説 II	2				
		西 洋 史 概 説 I	2				
		西 洋 史 概 説 II	2				
		イスラム圏史概説	2				
		考古学概説 I	2				
		考古学概説 II	2				
		史 学 概 論 I	2		10単位修得		
		史 学 概 論 II	2				
		考 古 学 概 論	2				
		東 西 交 渉 史 I		2			
		東 西 交 渉 史 II		2			
		国 際 関 係 史 I		2			
		国 際 関 係 史 II		2			
教育一般科目	専 門 一 般 科 目	日 本 史 基 礎 講 読 A - I		2	4単位修得		
		日 本 史 基 礎 講 読 A - II		2			
		日 本 史 基 礎 講 読 B - I		2			
		日 本 史 基 礎 講 読 B - II		2			
		東 洋 史 基 礎 講 読 A - I		2			
		東 洋 史 基 礎 講 読 A - II		2			
		東 洋 史 基 礎 講 読 B - I		2			
		東 洋 史 基 礎 講 読 B - II		2			
		西 洋 史 基 礎 講 読 A - I		2			
		西 洋 史 基 礎 講 読 A - II		2			
		西 洋 史 基 礎 講 読 B - I		2			
		西 洋 史 基 礎 講 読 B - II		2			
		イスラム圏史基礎講読 I		2			
		イスラム圏史基礎講読 II		2			
		考 古 学 基 礎 講 読 A- I		2			
		考 古 学 基 礎 講 読 A- II		2			
		考 古 学 基 礎 講 読 B- I		2			
		考 古 学 基 礎 講 読 B- II		2			
		日 本 史 特 殊 講 義 A - I		2	8単位修得		
		日 本 史 特 殊 講 義 A - II		2			
		日 本 史 特 殊 講 義 B - I		2			
		日 本 史 特 殊 講 義 B - II		2			
		東 洋 史 特 殊 講 義 A - I		2			
		東 洋 史 特 殊 講 義 A - II		2			
		東 洋 史 特 殊 講 義 B - I		2			
		東 洋 史 特 殊 講 義 B - II		2			
		西 洋 史 特 殊 講 義 A - I		2			
		西 洋 史 特 殊 講 義 A - II		2			
		西 洋 史 特 殊 講 義 B - I		2			
		西 洋 史 特 殊 講 義 B - II		2			
		イスラム圏史特殊講義 I		2			
		イスラム圏史特殊講義 II		2			
考 古 学 特 殊 講 義 A- I		2					
考 古 学 特 殊 講 義 A- II		2					
考 古 学 特 殊 講 義 B- I		2					
考 古 学 特 殊 講 義 B- II		2					
地 域 史 特 殊 講 義 C - I		2					
地 域 史 特 殊 講 義 C - II		2					
世 界 史 特 殊 講 義 C - I		2					
世 界 史 特 殊 講 義 C - II		2					
文 化 財 科 学 特 殊 講 義 C- I		2					
文 化 財 科 学 特 殊 講 義 C- II		2					

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考
専 門 教 育 科 目	専 門	日 本 史 専 門 講 読 A - I		2	4単位修得
		日 本 史 専 門 講 読 A - II		2	
		日 本 史 専 門 講 読 B - I		2	
		日 本 史 専 門 講 読 B - II		2	
		東 洋 史 専 門 講 読 A - I		2	
		東 洋 史 専 門 講 読 A - II		2	
		東 洋 史 専 門 講 読 B - I		2	
		東 洋 史 専 門 講 読 B - II		2	
		西 洋 史 専 門 講 読 A - I		2	
		西 洋 史 専 門 講 読 A - II		2	
		西 洋 史 専 門 講 読 B - I		2	
		西 洋 史 専 門 講 読 B - II		2	
		イスラム圏史専門講読Ⅰ		2	
		イスラム圏史専門講読Ⅱ		2	
		考 古 学 専 門 講 読 A- I		2	
		考 古 学 専 門 講 読 A- II		2	
	門	考 古 学 専 門 講 読 B- I		2	4単位修得
		考 古 学 専 門 講 読 B- II		2	
	一 般	日 本 史 基 礎 演 習 A- I		2	
		日 本 史 基 礎 演 習 A- II		2	
		日 本 史 基 礎 演 習 B- I		2	
		日 本 史 基 礎 演 習 B- II		2	
		東 洋 史 基 礎 演 習 A- I		2	
		東 洋 史 基 礎 演 習 A- II		2	
		東 洋 史 基 礎 演 習 B- I		2	
		東 洋 史 基 礎 演 習 B- II		2	
	科	西 洋 史 基 礎 演 習 A- I		2	
		西 洋 史 基 礎 演 習 A- II		2	
		西 洋 史 基 礎 演 習 B- I		2	
		西 洋 史 基 礎 演 習 B- II		2	
		イスラム圏史基礎演習Ⅰ		2	
		イスラム圏史基礎演習Ⅱ		2	
		考 古 学 基 礎 演 習 A- I		2	
		考 古 学 基 礎 演 習 A- II		2	
	目	考 古 学 基 礎 演 習 B- I		2	8単位修得
		考 古 学 基 礎 演 習 B- II		2	
	目	日 本 史 特 殊 研 究 A - I		2	
		日 本 史 特 殊 研 究 A - II		2	
		日 本 史 特 殊 研 究 B - I		2	
		日 本 史 特 殊 研 究 B - II		2	
		東 洋 史 特 殊 研 究 A - I		2	
		東 洋 史 特 殊 研 究 A - II		2	
		東 洋 史 特 殊 研 究 B - I		2	
		東 洋 史 特 殊 研 究 B - II		2	
		西 洋 史 特 殊 研 究 A - I		2	
		西 洋 史 特 殊 研 究 A - II		2	
		西 洋 史 特 殊 研 究 B - I		2	
		西 洋 史 特 殊 研 究 B - II		2	
		イスラム圏史特殊研究Ⅰ		2	
		イスラム圏史特殊研究Ⅱ		2	
		考 古 学 特 殊 研 究 A- I		2	
		考 古 学 特 殊 研 究 A- II		2	
		考 古 学 特 殊 研 究 B- I		2	
		考 古 学 特 殊 研 究 B- II		2	
		地 域 史 特 殊 研 究 C - I		2	
		地 域 史 特 殊 研 究 C - II		2	
		世 界 史 特 殊 研 究 C - I		2	
		世 界 史 特 殊 研 究 C - II		2	
		文 化 財 科 学 特 殊 研 究 C- I		2	
		文 化 財 科 学 特 殊 研 究 C- II		2	

80単位以上
修得

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考
専 門 一 般 科 目	専 門 一 般 科 目	日 本 史 専 門 演 習 A-Ⅰ		2	4単位修得
		日 本 史 専 門 演 習 A-Ⅱ		2	
		日 本 史 専 門 演 習 B-Ⅰ		2	
		日 本 史 専 門 演 習 B-Ⅱ		2	
		東 洋 史 専 門 演 習 A-Ⅰ		2	
		東 洋 史 専 門 演 習 A-Ⅱ		2	
		東 洋 史 専 門 演 習 B-Ⅰ		2	
		東 洋 史 専 門 演 習 B-Ⅱ		2	
		西 洋 史 専 門 演 習 A-Ⅰ		2	
		西 洋 史 専 門 演 習 A-Ⅱ		2	
		西 洋 史 専 門 演 習 B-Ⅰ		2	
		西 洋 史 専 門 演 習 B-Ⅱ		2	
		イスラム圏史専門演習Ⅰ		2	
		イスラム圏史専門演習Ⅱ		2	
		考 古 学 専 門 演 習 A-Ⅰ		2	
		考 古 学 専 門 演 習 A-Ⅱ		2	
	考 古 学 専 門 演 習 B-Ⅰ		2		
	考 古 学 専 門 演 習 B-Ⅱ		2		
	卒業論文	卒 業 論 文	8		8単位修得
選 択 科 目		地 理 学 A		2	12単位修得、但し、 専門一般科目から 4単位振替可能
	地 理 学 B		2		
	地 誌		2		
	組 織 社 会 学 Ⅰ		2		
	組 織 社 会 学 Ⅱ		2		
	文 化 人 類 学 Ⅰ		2		
	文 化 人 類 学 Ⅱ		2		
	中 国 文 化 史 入 門		2		
	韓 国・朝 鮮 文 化 史 入 門		2		
	自 然 地 理 学 Ⅰ		2		
	自 然 地 理 学 Ⅱ		2		
	古 文 書 学 Ⅰ		2		
	古 文 書 学 Ⅱ		2		
	日 本 民 俗 学 Ⅰ		2		
	日 本 民 俗 学 Ⅱ		2		
	日 本 の 思 想 Ⅰ		2		
	日 本 の 思 想 Ⅱ		2		
	中 国 の 思 想 Ⅰ		2		
	中 国 の 思 想 Ⅱ		2		
	東 ア ジ ア 史 Ⅰ		2		
	東 ア ジ ア 史 Ⅱ		2		
	ア ジ ア 諸 国 史		2		
	西 洋 の 思 想 Ⅰ		2		
	西 洋 の 思 想 Ⅱ		2		
	美 術 の 歴 史 Ⅰ		2		
	美 術 の 歴 史 Ⅱ		2		
	西洋古典の文化(ラテン語)Ⅰ		2		
	西洋古典の文化(ラテン語)Ⅱ		2		
	地 域 考 古 学 Ⅰ		2		
	地 域 考 古 学 Ⅱ		2		
	西 欧 文 明 史 Ⅰ		2		
	西 欧 文 明 史 Ⅱ		2		
	欧 米 諸 国 史 Ⅰ		2		
	欧 米 諸 国 史 Ⅱ		2		
考 古 学 基 礎 野 外 演 習 A		2			
考 古 学 基 礎 野 外 演 習 B		2			
考 古 学 専 門 野 外 演 習 A		2			
考 古 学 専 門 野 外 演 習 B		2			
海 外 の 考 古 学 Ⅰ		2			
海 外 の 考 古 学 Ⅱ		2			

(注)・「古文書学Ⅰ・Ⅱ」は日本史専攻者のみ4単位必修。

・「考古学基礎実習A・B」「考古学専門実習A・B」は考古学専攻者のみ履修可能とし、4単位必修。

別 表 2

(丁) 文学部 英語英米文化学科

部門	分野	授業科目名	単位数		備考	
			必修	選択		
英語科目	英語基礎科目	Culture through English Ia	2		26単位修得	76単位以上修得
		Culture through English Ib	2			
		Culture through English II a	2			
		Culture through English II b	2			
		Japanese Culture through English a	1			
		Japanese Culture through English b	1			
		Oral Communication I a	1			
		Oral Communication I b	1			
		Oral Communication II a	1			
		Oral Communication II b	1			
		English for TOEIC I a	1			
		English for TOEIC I b	1			
		English for TOEIC II a	1			
		English for TOEIC II b	1			
		Reading I a	1			
		Reading I b	1			
		Reading II a	1			
		Reading II b	1			
		Writing I a	1			
		Writing I b	1			
		Writing II a	1			
		Writing II b	1			
	英語発展科目	English Camp		2	4単位以上修得	
		English for TOEIC III a		1		
		English for TOEIC III b		1		
		TOEFL I		1		
		TOEFL II		1		
		TOEFL III		1		
		Online Communication in English		1		
		Current Affairs		1		
		Historical Affairs		1		
		English through Movies		1		
		Business English		1		
		Reading Fiction in English		1		
		Introduction to Living Overseas		1		
		Power-Up English I		1		
		Power-Up English II		1		
		Power-Up English III		1		
専門専攻科目	Study Tour I		2	20単位以上修得		
	Study Tour II		2			
	Study Tour III		2			
	キャリアデザインa		2			
	キャリアデザインb		2			
	英語学概論a		2			
	英語学概論b		2			
	日英語比較a		2			
	日英語比較b		2			
	英語の歴史a		2			
	英語の歴史b		2			
	アメリカ文化研究 I a		2			
	アメリカ文化研究 I b		2			
	アメリカ文化研究 II a		2			
	アメリカ文化研究 II b		2			
	アメリカ文学研究a		2			
	アメリカ文学研究b		2			
	イギリス文化研究 I a		2			
	イギリス文化研究 I b		2			
	イギリス文化研究 II a		2			
	イギリス文化研究 II b		2			

部門	分野	授業科目名	単位数		備 考		
			必修	選択			
専門専攻科目		イギリス文学研究a		2			
		イギリス文学研究b		2			
		アジア・オセアニア文化研究Ⅰa		2			
		アジア・オセアニア文化研究Ⅰb		2			
		アジア・オセアニア文化研究Ⅱa		2			
		アジア・オセアニア文化研究Ⅱb		2			
		国際研究Ⅰa		2			
		国際研究Ⅰb		2			
		国際研究Ⅱa		2			
		国際研究Ⅱb		2			
		比較文化論		2			
		大衆文化論		2			
		英語研究特講Ⅰa		2	10単位以上修得		
		英語研究特講Ⅰb		2			
		英語研究特講Ⅱa		2			
		英語研究特講Ⅱb		2			
		アメリカ文化特講Ⅰa		2			
		アメリカ文化特講Ⅰb		2			
		アメリカ文化特講Ⅱa		2			
		アメリカ文化特講Ⅱb		2			
		イギリス文化特講Ⅰa		2			
		イギリス文化特講Ⅰb		2			
		イギリス文化特講Ⅱa		2			
		イギリス文化特講Ⅱb		2			
		アジア・オセアニア文化特講Ⅰa		2			
		アジア・オセアニア文化特講Ⅰb		2			
		国際研究特講Ⅰa		2			
		国際研究特講Ⅰb		2			
		国際研究特講Ⅱa		2			
		国際研究特講Ⅱb		2			
専門演習科目		基礎演習Ⅰ	2		12単位修得		
		基礎演習Ⅱ	2				
		英米文化演習a	2				
		英米文化演習b	2				
		総合演習a	2				
		総合演習b	2				
卒業論文		卒業論文	4		4単位修得		

別 表 2
(戊) 文学部 日本文化学科

部門	群別	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考
専 門 教 育 科 目	一 群	(A・言語)			4 単位以上修得 4 単位以上修得 4 単位以上修得 24 単位以上修得
		言 語 学 I		2	
		言 語 学 II		2	
		日 本 語 学 I		2	
		日 本 語 学 II		2	
		言 語 と 文 化 I		2	
		言 語 と 文 化 II		2	
		(B・文学)			
		日 本 文 学 の 歴 史 I		2	
		日 本 文 学 の 歴 史 II		2	
		日 本 の 古 典 文 学 I		2	
		日 本 の 古 典 文 学 II		2	
		日 本 の 近 代 文 学 I		2	
		日 本 の 近 代 文 学 II		2	
		(C・思想と芸術)			
		日 本 の 思 想 I		2	
		日 本 の 思 想 II		2	
		仏 教 と 文 化 I		2	
		仏 教 と 文 化 II		2	
		美 術 の 歴 史 I		2	
		美 術 の 歴 史 II		2	
		書 道 の 歴 史		2	
		書 論		2	
		(D・社会と民俗)			
		現 代 社 会 学 I		2	
		現 代 社 会 学 II		2	
		文 化 人 類 学 I		2	
		文 化 人 類 学 II		2	
		日 本 民 俗 学 I		2	
		日 本 民 俗 学 II		2	
		(英語特別科目)			
		フレッシュマン英会話 I		1	
		フレッシュマン英会話 II		1	
		上 級 英 会 話 I		1	
		上 級 英 会 話 II		1	
	二 群	(特講 A)			76 単位以上修得
		日 本 語 の 音 声 I		2	
		日 本 語 の 音 声 II		2	
		日 本 語 の 文 法 I		2	
		日 本 語 の 文 法 II		2	
		日 本 語 の 表 現 I		2	
		日 本 語 の 表 現 II		2	
		日 本 語 の 教 育 I		2	
		日 本 語 の 教 育 II		2	
		(特講 B)			
		古 典 文 学 研 究 I		2	
		古 典 文 学 研 究 II		2	
		近 代 文 学 研 究 I		2	
		近 代 文 学 研 究 II		2	
		中 国 の 古 典 I		2	
		中 国 の 古 典 II		2	
		(特講 C)			
		日 本 文 化 史 I		2	
		日 本 文 化 史 II		2	
		仏 教 と 芸 術 I		2	
		仏 教 と 芸 術 II		2	
		禅と日本文化 I		2	
		禅と日本文化 II		2	
		書道文化 1 I		1	
		書道文化 1 II		1	

部門	群別	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考
専 門 教 育 科 目	二 群	書 道 文 化 2 I		1	30単位以上修得
		書 道 文 化 2 II		1	
		書 道 文 化 3 I		1	
		書 道 文 化 3 II		1	
		書 道 文 化 4 I		1	
		書 道 文 化 4 II		1	
		書 道 文 化 5 I		1	
		書 道 文 化 5 II		1	
		(特 講 D)			
		社 会 調 査 法 I		2	
		社 会 調 査 法 II		2	
		家 族 と 社 会 I		2	
		家 族 と 社 会 II		2	
		(広領域特講)			
		日 本 文 化 特 講 1		2	
		日 本 文 化 特 講 2		2	
		日 本 文 化 特 講 3		2	
		日 本 文 化 特 講 4		2	
		日 本 文 化 特 講 5		2	
		日 本 文 化 特 講 6		2	
	三 群	日 本 文 化 特 講 7		2	22単位以上修得
		日 本 文 化 特 講 8		2	
		日 本 文 化 特 講 9		2	
		日 本 文 化 特 講 10		2	
		(講 読)			
		講 読 (言 語) I		2	
		講 読 (言 語) II		2	
		講 読 (文 学) I		2	
		講 読 (文 学) II		2	
		講 読 (思 想 と 芸 術) I		2	
		講 読 (思 想 と 芸 術) II		2	
		講 読 (社 会 と 民 俗) I		2	
		講 読 (社 会 と 民 俗) II		2	
		(演 習)			
		演 習 (言 語) I		2	
		演 習 (言 語) II		2	
		演 習 (文 学) I		2	
		演 習 (文 学) II		2	
		演 習 (思 想 と 芸 術) I		2	
		演 習 (思 想 と 芸 術) II		2	
		演 習 (社 会 と 民 俗) I		2	
		演 習 (社 会 と 民 俗) II		2	
		世界のなかの日本文化 I		2	
		世界のなかの日本文化 II		2	
		アジアのなかの日本文化 I		2	
		アジアのなかの日本文化 II		2	
		(総 合 講 義)			
		総 合 演 習 I	2		
		総 合 演 習 II	2		
		卒 業 論 文	8		

別 表 2
(己) 文学部 グローバル英語学科

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考
教 養 教 育 科 目	宗 教	宗 教 学 I	2		4単位必修
		宗 教 学 II	2		
		教養セミナー「学問の発見」I		1	
		教養セミナー「学問の発見」II		1	
		教養セミナー「学問の発見」III		1	
		教養セミナー「学問の発見」IV		1	
	人 文 系	心 理 学 I		2	4単位修得
		心 理 学 II		2	
		哲 学 I		2	
		哲 学 II		2	
		論 理 学 I		2	
		論 理 学 II		2	
		文 学 I		2	
		文 学 II		2	
	社 会 系	美 術 I		2	日本国憲法 2単位含む
		美 術 II		2	
		法 学 I		2	
		法 学 II		2	
		政 治 学 I		2	
		政 治 学 II		2	
		経 済 学 I		2	
		経 済 学 II		2	
		社 会 学 I		2	
		社 会 学 II		2	
	自 然 系	教 育 学 I		2	4単位修得
		教 育 学 II		2	
		歴 史 学 I		2	
		歴 史 学 II		2	
		地 理 学 I		2	
		地 理 学 II		2	
		数 学 I		2	
		数 学 II		2	
		統 計 学 I		2	
		統 計 学 II		2	
	主 題 系	物 理 学 I		2	4単位修得
		物 理 学 II		2	
		化 学 I		2	
		化 学 II		2	
		生 物 学 I		2	
		生 物 学 II		2	
		情 報 科 学 I		2	
		情 報 科 学 II		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 I		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 II		2	
	主 題 系	禅 と 人 間 I		2	4単位修得
		禅 と 人 間 II		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 I		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 II		2	
		人 間 行 動 の 理 解 I		2	
		人 間 行 動 の 理 解 II		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 I		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 II		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 I		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 II		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 I		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 II		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 I		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 II		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 I		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 II		2	
	主 題 系	人 間 と 環 境 I		2	4単位修得
		人 間 と 環 境 II		2	
		情 報 と 社 会 I		2	
		情 報 と 社 会 II		2	
		産 業 と 科 学 I		2	
		産 業 と 科 学 II		2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 I		2	
	主 題 系	ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 II		2	4単位修得
		健 康 の 科 学		2	

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考			
教 養 教 育 科 目	外 国 語	ドイツ語 I		1	ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語の中から1言語を選択して2単位修得	(注)	30単位以上修得	
		ドイツ語 II		1				
		中国語 I		1				
		中国語 II		1				
		フランス語 I		1				
		フランス語 II		1				
		韓国語 I		1				
		韓国語 II		1				
		文化事情		2	2単位修得			
		中国文化事情		2				
		フランス文化事情		2				
		韓国文化事情		2				
		エ	英会話 I		1			
			英会話 II		1			
			英会話 III		1			
			英会話 IV		1			
		メ	メディア英語 I		1			
			メディア英語 II		1			
			メディア英語 III		1			
			メディア英語 IV		1			
	英 語 表 現 法	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	英 語 読 解 法	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	実 践 英 語	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	ド イ ツ 語 (基 礎)	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	ド イ ツ 語 (読 解)	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	ド イ ツ 語 (表 現)	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	ド イ ツ 語 (総 合)	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	ド イ ツ 語 会 話	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	中 国 語 (基 礎)	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	中 国 語 (読 解)	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	中 国 語 (表 現)	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	中 国 語 (総 合)	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
	中 国 語 会 話	I		1				
		II		1				
		III		1				
		IV		1				
フ ラ ン ス 語 (基 礎)	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					
フ ラ ン ス 語 (読 解)	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					
フ ラ ン ス 語 (表 現)	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					
フ ラ ン ス 語 (総 合)	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					
フ ラ ン ス 語 会 話	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					
韓 国 語 (基 礎)	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					
韓 国 語 (読 解)	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					
韓 国 語 (表 現)	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					
韓 国 語 会 話	I		1					
	II		1					
	III		1					
	IV		1					

部門	分野	授業科目名	必修 単位	選択 単位	備考		
教養 教育 科目	健康総合 科学科目	スポーツ科学Ⅰ	1		2単位修得		
		スポーツ科学Ⅱ	1				
		スポーツ科学Ⅲ		1	(注)		
		スポーツ科学Ⅳ		1			
	海外事情 科目	海外事情Ⅰ		2	(注)		
		海外事情Ⅱ		2			
		海外事情Ⅲ		1			
		海外事情Ⅳ		1			

- (注)・教養基幹科目
・エレクトیف科目
・健康総合科学科目の中の必修科目として開講されていない科目
・海外事情科目

はそれぞれ表中に示され
た修得単位以外に履修
することができ、16単位ま
で卒業要件単位となる。

部門	分野	授業科目名	単位数		英語 キャリア	観 光	備考		
			必須	選択					
専門 教育 科目	英 語 技 能	Oral Communication I a	1				3 6 単 位 修 得		
		Oral Communication I b	1						
		Oral Communication II a	1						
		Oral Communication II b	1						
		Oral Communication III a	1						
		Oral Communication III b	1						
		Listening I a	1						
		Listening I b	1						
		Listening II a	1						
		Listening II b	1						
		Discussion & Debate a		1					
		Discussion & Debate b		1					
		Writing I a	1						
		Writing I b	1						
		Writing II a	1						
		Writing II b	1						
		Writing III a	1						
		Writing III b	1						
		Reading&Writing a		1					
		Reading&Writing b		1					
		Intensive Reading I a	1						
		Intensive Reading I b	1						
		Intensive Reading II a	1						
		Intensive Reading II b	1						
		Intensive Reading III a	1						
		Intensive Reading III b	1						
		Extensive Reading I a	1						
		Extensive Reading I b	1						
		Extensive Reading II a	1						
		Extensive Reading II b	1						
		Comprehensive Reading a	1						
		Comprehensive Reading b	1						
		英文法a	2						
		英文法b	2						
		TOEIC I a	1						
		TOEIC I b	1						
		TOEIC II a	1						
		TOEIC II b	1						
		TOEFL I a		1					
		TOEFL I b		1					
		TOEFL II a		1					
		TOEFL II b		1					
	専 門	異文化理解入門	2				6 単 位 以 上 修 得 2単位 以 上 修 得		8 2 単 位 以 上 修 得
		観光入門		2					
		通訳・翻訳入門		2					
		国際ビジネス入門		2					
		言語・文化と教育入門		2					
		観光地理		2					
		通訳・翻訳基礎		2					
		経済・金融基礎		2					
		英語学入門		2					
		英語学基礎		2					
		北米事情		2					
		イギリス事情		2					
		オセアニア事情		2					
		英語で学ぶ日本事情		2					
		観光法規 a		2					
		観光法規 b		2					
		英語発音法 a		2					
		英語発音法 b		2					

部門	分野	授業科目名	単位数		英語 キャリア	観 光	備 考		
			必須	選択					
専 門 教 育 科 目	専 門	英語文学 a		2	○		選択したコースに応じて○印から16単位以上修得	各選択コースの特定科目（○印）の16単位を含めて28単位以上修得	
		英語文学 b		2	○				
		児童英語教育論 a		2	○				
		児童英語教育論 b		2	○				
		第2言語習得論		2	○				
		日英語比較論		2	○				
		社会言語学		2	○				
		英語教育実践法		2	○				
		Media English a		2	○				
		Media English b		2	○				
		Business English a		2	○				
		Business English b		2	○				
		貿易・実務英語 a		2	○				
		貿易・実務英語 b		2	○				
		国際関係論		2	○				
		翻訳法 a		2	○				
		翻訳法 b		2	○				
		通訳法 a		2	○				
		通訳法 b		2	○				
		Interpreter Guide		2	○	○			
		English for Tourism		2		○			
		観光実務論 a		2		○			
		観光実務論 b		2		○			
		観光ビジネス論 a		2		○			
		観光ビジネス論 b		2		○			
		観光政策論 a		2		○			
		観光政策論 b		2		○			
		ホスピタリティ論		2		○			
		ホテル・旅館論		2		○			
		コンテンツ・ツーリズム		2		○			
	エアライン特別講座Ⅰ		2		○				
	エアライン特別講座Ⅱ		2		○				
	産官学連携講座Ⅰ		2						
	産官学連携講座Ⅱ		2						
	産官学連携講座Ⅲ		2						
	産官学連携講座Ⅳ		2						
語 研 学 修	語学研修事前講座	2				いずれか 2単位	4単位 修得		
	Study Abroad	2							
	海外事情	2							
卒 業 論 文 ・ ゼミ	基礎ゼミ	2					14単位 修得		
	専門ゼミⅠ a	2							
	専門ゼミⅠ b	2							
	専門ゼミⅡ a	2							
	専門ゼミⅡ b	2							
	卒業研究・論文	4							

(注) 「Study Abroad」は感染症の流行、渡航先の政変などの異常事態には開講しない。
「海外事情」は感染症の流行、渡航先の政変などの異常事態にのみ開講する。

別 表 3
(甲) 商学部 商学科

部門	分野	授業科目名	必修 単位	選択 単位	DM コース	AF コース	BI コース	備考
専 門 教 育 科 目	基 礎 科 目	商 学 入 門		2				必修16単位 修得
		経 済 学 A	2					
		経 済 学 B	2					
		流 通 論 A	2					
		流 通 論 B	2					
		会 計 学 A	2					
		会 計 学 B	2					
	基 幹 科 目	情 報 リ テ ラ シ ー A	2					16単位以上修得 (選択コースの特定科目を含む) 8単位以上修得
		情 報 リ テ ラ シ ー B	2					
		マ ー ケ テ ィ ン グ 論 A		2	○		○	
		マ ー ケ テ ィ ン グ 論 B		2	○		○	
		小 売 経 営 論 A		2	○			
		小 売 経 営 論 B		2	○			
		国 際 ビ ジ ネ ス 論 A		2	○			
		国 際 ビ ジ ネ ス 論 B		2	○			
		経 営 学 A		2	○	○		
		経 営 学 B		2	○	○		
		簿 記 I A		2		○	○	
		簿 記 I B		2		○	○	
		金 融 論 A		2		○		
		金 融 論 B		2		○		
		財 務 会 計 論 A		2		○		
		財 務 会 計 論 B		2		○		
		保 険 論 A		2		○		
		保 険 論 B		2		○		
		情 報 社 会 論		2			○	
		情 報 倫 理		2			○	
	応 用 科 目	ビ ジ ネ ス 情 報 論 A		2	○		○	4単位以上 修得
		ビ ジ ネ ス 情 報 論 B		2	○		○	
		デ ー タ 分 析 I		2			○	
		デ ー タ 分 析 II		2			○	
		流 通 政 策 A		2				
		流 通 政 策 B		2				
		製 品 戦 略 論		2				
		ブ ラ ン ド 論		2				
		消 費 者 行 動 論		2				
		サービスマーケティング論		2				
		マーケティング・リサーチ論		2				
		ビ ジ ネ ス ・ リ サ ー チ		2				
		広 告 論		2				
		国 際 商 務 論 A		2				
		国 際 商 務 論 B		2				
		国 際 マーケティング論 A		2				
		国 際 マーケティング論 B		2				
		貿 易 政 策 A		2				
		貿 易 政 策 B		2				
		経 営 管 理 論		2				
		経 営 組 織 論		2				
	科 目	簿 記 II A		2				AFコースは、 12単位以上修 得
		簿 記 II B		2				
		上 級 簿 記 A		4				
		上 級 簿 記 B		4				
		原 価 会 計 論 A		2				
		原 価 会 計 論 B		2				
		管 理 会 計 論 A		2				
		管 理 会 計 論 B		2				
		国 際 会 計 論 A		2				
		国 際 会 計 論 B		2				
		税 務 会 計 論 A		2				
		税 務 会 計 論 B		2				
		会 計 監 査 論		2				
		財 務 諸 表 分 析		2				
		銀 行 論		2				
		証 券 論 A		2				
		証 券 論 B		2				
		生 命 保 険 論		2				
		損 害 保 険 論		2				
		国 際 金 融 論 A		2				
		国 際 金 融 論 B		2				
		ビ ジ ネ ス ・ ファイナンス論		2				

76 単位以上修得

部門	分野		授業科目名	必修 単位	選択 単位	DM コース	AF コース	BI コース	備考		
専 門 教 育 科 目	応 用 科 目	Ⅲ 類	コンピュータシステム論		2				BIコースは、12 単位以上修得		
			情報ネットワーク論		2						
			情報セキュリティ		2						
			データ構造とアルゴリズム		2						
			ソフトウェア開発論		2						
			Web デザイン		2						
			マルチメディア論		2						
			コンピュータグラフィックス		2						
			先端情報システム論		2						
			データベースⅠ		2						
			データベースⅡ		2						
			プログラミング入門		2						
			プログラミングⅠ		2						
			プログラミングⅡ		2						
			プログラミングⅢ		2						
			情報産業論		2						
		Ⅳ 類	商学特論Ⅰ		2						
			商学特論Ⅱ		2						
			商学特論Ⅲ		2						
			商学特論Ⅳ		2						
			商学特論Ⅴ		2						
			商学特論Ⅵ		2						
			商学特論Ⅶ		2						
			商学特論Ⅷ		2						
			商学特論Ⅸ		2						
			商学特論Ⅹ		2						
		経営者講座		2							
		資格取得講座Ⅰ		2							
		資格取得講座Ⅱ		2							
		資格取得講座Ⅲ		2							
		資格取得講座Ⅳ		2							
		Ⅴ 類	ビジネス英語ⅠA		2				4単位以上 修得		
	ビジネス英語ⅠB			2							
	ビジネス英語ⅡA			2							
	ビジネス英語ⅡB			2							
	英書講読A			2							
	英書講読B			2							
	貿易英語			2							
	Business Conversation A			2							
	Business Conversation B		2								
	Ⅵ 類	日本経済論A		2							
		日本経済論B		2							
		財政学A		2							
		財政学B		2							
		イノベーション論		2							
		ベンチャー・ビジネス論		2							
		ロジスティクス論		2							
		中小企業経営論		2							
Ⅶ 類	中部経済論		2				2単位以上 修得				
	公共経営論		2								
	地域ビジネス論		2								
	エリア・リサーチⅠ		2								
	エリア・リサーチⅡ		2								
	エリア・リサーチⅢ		2								
	企業と法		2								
	総合民法		2								
演 習 科 目	租税法A(基礎)		2				10単位以上 修得				
	応用商学Ⅰ		2								
	応用商学Ⅱ		2								
	応用商学Ⅲ		2								
	応用商学Ⅳ		2								
	応用商学Ⅴ		2								
	応用商学Ⅵ		2								
	応用商学Ⅶ		2								
	応用商学Ⅷ		2								
	応用商学Ⅸ		2								
	応用商学Ⅹ		2								
	応用商学Ⅺ		2								
	応用商学Ⅻ		2								
	応用商学Ⅼ		2								
	応用商学Ⅽ		2								
	応用商学Ⅾ		2								
	応用商学Ⅿ		2								
	演習Ⅰ		2								
	演習Ⅱ		4								
	演習Ⅲ		4								
卒業論文		4									

部門	分野	授業科目名	必修 単位	選択 単位	DM コース	AF コース	BI コース	備考	
専門 教育 科目	キャリア 教育 科目	キャリア・デザインⅠ		2				2単位以上 修得	
		キャリア・デザインⅡ		2					
		キャリア・デザインⅢ		2					
		産官民提携講座Ⅰ		2					
		産官民提携講座Ⅱ		2					
		産官民提携講座Ⅲ		2					
		産官民提携講座Ⅳ		2					
		産官民提携講座Ⅴ		2					
		産官民提携講座Ⅵ		2					
		インターンシップ		2					

(注) 流通・マーケティングコースは「DMコース」、会計・金融コースは「AFコース」、ビジネス情報コースは「BIコース」と表記。

別 表 4
(甲) 経営学部 経営学科

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選 単 位	組織マ ネジメン トコース	生産 マーケ ティング コース	会 計 コース	備 考			
専 門 教 育 科 目	基 礎 科 目	経 営 入 門 I	2					20 単 位 以 上 修 得			
		経 営 入 門 II	2								
		会 計 学 入 門 I		2							
		会 計 学 入 門 II		2							
		経 営 と 情 報 I		2							
		経 営 と 情 報 II		2							
		初 級 簿 記 I		2							
		初 級 簿 記 II		2							
		生 産 管 理 論 I		2							
		生 産 管 理 論 II		2							
		マーケティング管理論 I		2							
		マーケティング管理論 II		2							
	人 事 管 理 論 I		2								
	人 事 管 理 論 II		2								
	応 用 科 目	経 営 科 学 I		2	○	○	○	コ ー ス 選 択 科 目 中 か ら 12 単 位 以 上 修 得			
		経 営 科 学 II		2	○	○	○				
		イノベーション論		2	○	○					
		コミュニケーション論		2	○						
		環境ビジネス論		2	○	○					
		経 営 環 境 論		2	○						
		会 計 監 査		2			○				
		ファイナンス分析		2			○				
		管 理 会 計 I		2			○				
		管 理 会 計 II		2			○				
		企 業 画 論		2	○	○					
		事 業 計 画 論		2	○						
		企 業 倫 理		2	○						
		コーポレート・ガバナンス		2	○						
		金 融 論		2			○				
		国 際 金 融 論		2			○				
		グローバル戦略論		2		○					
		経 営 工 学		2		○					
		ロジスティクス論		2		○					
		経 営 心 理 学 I		2							
		経 営 心 理 学 II		2							
		経 営 戦 略 I		2	○	○					
		経 営 戦 略 II		2	○	○					
		経 営 統 計 I		2	○	○	○				
		経 営 統 計 II		2	○	○	○				
		リーダーシップ論		2	○						
		モチベーション論		2	○						
		原 価 計 算 I		2			○				
		原 価 計 算 II		2			○				
		現 代 経 済 学 A		2							
		現 代 経 済 学 B		2							
		国 際 会 計 論 I		2			○				
国 際 会 計 論 II			2			○					
国 際 経 営 論 I			2		○						
国 際 経 営 論 II		2		○							
国 際 マーケティング論		2		○							
多 国 籍 企 業 論		2		○							
サービスマネジメント		2	○	○							
N P O 経 営 論		2	○								
目 群	財 務 会 計 I		2			○					
	財 務 会 計 II		2			○					
	財 務 管 理 論 I		2			○					
	財 務 管 理 論 II		2			○					
	財 務 諸 表 分 析		2			○					
	上 級 簿 記 I		2			○					
	上 級 簿 記 II		2			○					
	プログラミング I		2	○	○	○					
	プログラミング II		2	○	○	○					
	組 織 論 I		2	○							
	組 織 論 II		2	○							
	中 級 簿 記 I		2			○					
	中 級 簿 記 II		2			○					
	中 小 企 業 経 営 論		2		○						
	中 小 企 業 事 例 研 究		2		○						

部門	分野	授 業 科 目 名	必修 単位	選 単	択 位	組織マ ネジメン トコース	生産 マーケ ティング コース	会 計 コース	備 考				
専 門 教 育 科 目	応 用 科 目 I 群	デ ー タ ベ ー ス I		2	○	○	○						
		デ ー タ ベ ー ス II		2	○	○	○						
		ベンチャービジネス実践研究		2	○								
		ベンチャービジネス論		2	○	○							
		マーケティング戦略論 I		2		○							
		マーケティング戦略論 II		2		○							
		国際コミュニケーション I		2									
		国際コミュニケーション II		2									
		企業経営特論 A		2									
		企業経営特論 B		2									
		企業経営特論 C		2									
		企業経営特論 D		2									
		バーチャルカンパニー I A		2	○	○							
		バーチャルカンパニー I B		2	○	○							
		バーチャルカンパニー II A		2	○	○							
		バーチャルカンパニー II B		2	○	○							
		特別経営講座 A		2									
		特別経営講座 B		2									
		特別経営講座 C		2									
		特別経営講座 D		2									
		特別経営講座 E		2									
		財政学 A		2									
		財政学 B		2									
		労働経済学 A		2									
		労働経済学 B		2									
		国際貿易論 A		2									
		国際貿易論 B		2									
	応 用 科 目 II 群	民 社 法		2									
		会 社 法		2									
		税 法		2									
		中 部 経 済 論		2									
		公 共 経 営 論		2									
		地 域 ビ ジ ネ ス 論		2									
		エリア・リサーチ A		2									
		エリア・リサーチ B		2									
		エリア・リサーチ C		2									
	演 習 ・ 外 国 語 科 目	基 礎 演 習	2						2 単位以上修得				
		専 門 演 習 I		2									
		専 門 演 習 II		2									
		専 門 演 習 III		2									
		専 門 演 習 IV		2									
		専 門 演 習 V		2									
		卒 業 論 文		4									
		ビ ジ ネ ス 英 語 I		2									
		ビ ジ ネ ス 英 語 II		2									
		ビ ジ ネ ス 英 語 III		2									
		ビ ジ ネ ス 英 語 IV		2									
		海 外 体 験 演 習		2									
	実 習 科 目	情 報 リ テ ラ シ ー I		1					4 単位以上修得				
		情 報 リ テ ラ シ ー II		1									
		経 営 管 理 実 習 I A		1									
		経 営 管 理 実 習 I B		1									
		経 営 管 理 実 習 I C		1									
		経 営 管 理 実 習 I D		1									
		経 営 管 理 実 習 II A		1									
		経 営 管 理 実 習 II B		1									
		経 営 管 理 実 習 II C		1									
		経 営 管 理 実 習 II D		1									
	キ ャ リ ア ・ デ ザ イ ン 科 目	ビ ジ ネ ス ・ ゲ ー ム 実 習 A		1									
		ビ ジ ネ ス ・ ゲ ー ム 実 習 B		1									
		キ ャ リ ア ・ デ ザ イン I		2									
		キ ャ リ ア ・ デ ザ イン II		2									
		キ ャ リ ア ・ デ ザ イン III		2									
		キ ャ リ ア ・ デ ザ イン IV		2									
		キ ャ リ ア ・ デ ザ イン V		2									
		キ ャ リ ア ・ デ ザ イン VI		2									
		産 官 民 提 携 講 座 I		2									
		産 官 民 提 携 講 座 II		2									
		産 官 民 提 携 講 座 III		2									
		産 官 民 提 携 講 座 IV		2									
		産 官 民 提 携 講 座 V		2									
		産 官 民 提 携 講 座 VI		2									
		ビ ジ ネ ス 能 力		2									
		イ ン タ ー ン シ ッ プ		2									
		基 礎 経 営 実 務		6									

別 表 5
経済学部 経済学科

部 門	分 野	授 業 科 目 名	必 修 単 位	選 択 単 位	備 考
教 育 科 目	宗 教	宗 教 学 I	2		4単位修得すること
		宗 教 学 II	2		
	教 養 セミナー	「学問の発見」I		1	
		「学問の発見」II		1	
		「学問の発見」III		1	
		「学問の発見」IV		1	
	人 文 系	心 理 学 I		2	4単位以上修得すること
		心 理 学 II		2	
		哲 学 I		2	
		哲 学 II		2	
		論 理 学 I		2	
		論 理 学 II		2	
		文 学 I		2	
		文 学 II		2	
	社 会 系	美 術 I		2	日本国憲法 2単位含む
		美 術 II		2	
		法 学 I		2	
		法 学 II		2	
		政 治 学 I		2	
		政 治 学 II		2	
		社 会 学 I		2	
		社 会 学 II		2	
	自 然 系	教 育 学 I		2	4単位以上 修得すること
		教 育 学 II		2	
		歴 史 学 I		2	
		歴 史 学 II		2	
		地 理 学 I		2	
		地 理 学 II		2	
		数 学 I		2	
		数 学 II		2	
	主 題 系	統 計 学 I		2	4単位以上 修得すること
		統 計 学 II		2	
		物 理 学 I		2	
		物 理 学 II		2	
		化 学 I		2	
		化 学 II		2	
		生 物 学 I		2	
		生 物 学 II		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 I		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 II		2	
		禅 と 人 間 I		2	
		禅 と 人 間 II		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 I		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 II		2	
		人 間 行 動 の 理 解 I		2	
		人 間 行 動 の 理 解 II		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 I		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 II		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 I		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 II		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 I		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 II		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 I		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 II		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 I		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 II		2	
		人 間 と 環 境 I		2	
		人 間 と 環 境 II		2	
		情 報 と 社 会 I		2	
		情 報 と 社 会 II		2	
		産 業 と 科 学 I		2	
		産 業 と 科 学 II		2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 I		2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 II		2	
		健 康 の 科 学		2	

部門	分野	授業科目名	必修 単位	選択 単位	備考
教 養 教 育 科 科 目	外 国 語 科 目	英語 I a	1		4単位修得 すること
		英語 II a	1		
		英語 I b	1		
		英語 II b	1		
		ドイツ語 I		1	ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語 の中から1言語を選択して2単位 修得すること
		ドイツ語 II		1	
		中国語 I		1	
		中国語 II		1	
		フランス語 I		1	
		フランス語 II		1	
		韓国語 I		1	
		韓国語 II		1	
		ドイツ文化事情		2	2単位修得すること
		中国文化事情		2	
		フランス文化事情		2	
		韓国文化事情		2	
		英会話 I		1	(注)
		英会話 II		1	
		英会話 III		1	
		英会話 IV		1	
		メデИА英語 I		1	
		メデИА英語 II		1	
		メデИА英語 III		1	
		メデИА英語 IV		1	
		英語表現法 I		1	
		英語表現法 II		1	
		英語表現法 III		1	
		英語表現法 IV		1	
		英語読解法 I		1	
		英語読解法 II		1	
		英語読解法 III		1	
		英語読解法 IV		1	
		実践英語 I		1	
		実践英語 II		1	
		実践英語 III		1	
		実践英語 IV		1	
		ドイツ語 I (基礎)		1	
		ドイツ語 II (基礎)		1	
		ドイツ語 III (読解)		1	
		ドイツ語 IV (読解)		1	
		ドイツ語 III (表現)		1	
		ドイツ語 IV (表現)		1	
		ドイツ語 III (総合)		1	
		ドイツ語 IV (総合)		1	
		ドイツ語会話 I		1	
		ドイツ語会話 II		1	
		中国語 I (基礎)		1	
		中国語 II (基礎)		1	
		中国語 III (読解)		1	
		中国語 IV (読解)		1	
		中国語 III (表現)		1	
		中国語 IV (表現)		1	
		中国語 III (総合)		1	
		中国語 IV (総合)		1	
		中国語会話 I		1	
		中国語会話 II		1	
		フランス語 I (基礎)		1	
		フランス語 II (基礎)		1	
		フランス語 III (読解)		1	
		フランス語 IV (読解)		1	
		フランス語 III (表現)		1	
		フランス語 IV (表現)		1	
		フランス語 III (総合)		1	
		フランス語 IV (総合)		1	
		フランス語会話 I		1	
		フランス語会話 II		1	

部門	分野		授業科目名	必修 単位	選択 単位	備考	
教養教育科目	外国語科目	エレクトイブ科目	韓国語Ⅰ（基礎）		1	（注）	
			韓国語Ⅱ（基礎）		1		
			韓国語Ⅲ（読解）		1		
			韓国語Ⅳ（読解）		1		
			韓国語Ⅲ（表現）		1		
			韓国語Ⅳ（表現）		1		
			韓国語Ⅲ（総合）		1		
			韓国語Ⅳ（総合）		1		
			韓国語会話Ⅰ		1		
	韓国語会話Ⅱ		1				
	健康総合科学科目		スポーツ科学Ⅰ	1		2単位修得すること	
			スポーツ科学Ⅱ	1			
			スポーツ科学Ⅲ		1	（注）	
			スポーツ科学Ⅳ		1		
	海外事情科目		海外事情Ⅰ		2	（注）	
			海外事情Ⅱ		2		
			海外事情Ⅲ		1		
			海外事情Ⅳ		1		
専門教育科目	基礎科目		マクロ経済学Ⅰ	2		20単位修得	
			マクロ経済学Ⅱ	2			
			ミクロ経済学Ⅰ	2			
			ミクロ経済学Ⅱ	2			
			経済数学Ⅰ	2			
			経済数学Ⅱ	2			
			キャリア英語Ⅰ	2			
			キャリア英語Ⅱ	2			
	基礎幹科目		情報リテラシーA	2		16単位以上修得	
			情報リテラシーB	2			
			経済統計学A		2		
			経済統計学B		2		
			経済学史A		2		
			経済学史B		2		
			一般経済史A		2		
			一般経済史B		2		
			経済政策論A		2		
			経済政策論B		2		
			社会政策論A		2		
			社会政策論B		2		
	発展科目		日本経済論A		2	76単位以上修得	
			日本経済論B		2		
			国際経済学A		2		
			国際経済学B		2		
			金融論A		2		
			金融論B		2		
			財政学A		2		
			財政学B		2		
			ミクロ経済学Ⅲ		2		
			マクロ経済学Ⅲ		2		
			計量経済学A		2		
			計量経済学B		2		
			社会思想史		2		
第一類		日本経済史A		2			
		日本経済史B		2			
		西洋経済史A		2			
		西洋経済史B		2			
		労働経済学A		2			
		労働経済学B		2			
		環境経済学A		2			
		環境経済学B		2			
		都市経済学A		2			
		都市経済学B		2			
		公共経済学A		2			
		公共経済学B		2			
第二類		農業経済学A		2			
		農業経済学B		2			
		現代産業論A		2			
		現代産業論B		2			
		社会保障論		2			
		産業組織論		2			
		地域経済論		2			
		中小企業論		2			

部門	分野	授業科目名	必修 単位	選択 単位	備考	
専門 教育 科目	発展 科目	第一類	国際貿易論 A	2		
			国際貿易論 B	2		
			国際金融論 A	2		
			国際金融論 B	2		
			開発経済学 A	2		
			開発経済学 B	2		
			アジア経済論	2		
			欧米経済論	2		
			多国籍企業論	2		
			金融システム論	2		
		第二類	金融政策論	2		
			ファイナンス論	2		
			地方財政論 A	2		
			地方財政論 B	2		
			会計学 A	2		
			会計学 B	2		
			経済情報論 A	2		
			経済情報論 B	2		
			経済情報処理 I	2		
			経済情報処理 II	2		
		第三類	国際法 A	2		
			国際法 B	2		
			財務会計論 A	2		
			財務会計論 B	2		
			国際会計論 A	2		
			国際会計論 B	2		
			マーケティング論 A	2		
			マーケティング論 B	2		
			国際マーケティング論	2		
			環境ビジネス論	2		
		第四類	企業倫理	2		
			総合民法	2		
			租税法 A (基礎)	2		
			企業と法	2		
			行政法 I (総論) A	2		
			行政法 I (総論) B	2		
			行政法 II (各論)	2		
			中部経済論	2		
			地域ビジネス論	2		
			エリア・リサーチ I	2		
		第五類	エリア・リサーチ II	2		
			エリア・リサーチ III	2		
			専門演習 I	2		
			専門演習 II	4		
			専門演習 III	4		
			卒業論文	4		
			専門講読 I (英語)	2		
			専門講読 II (英語)	2		
			専門講読 III (英語)	2		
			経済学特講 I	2		
		第六類	経済学特講 II	2	必修を含め 14単位以上修得	
			経済学特講 III	2		
			経済学特講 IV	2		
			経済学特講 V	2		
			経済学特講 VI	2		
			経済学特講 VII	2		
			キャリア英語 III	2		
			キャリア英語 IV	2		
			ビジネス英語 A	2		
			ビジネス英語 B	2		

部門	分野	授業科目名	必修単位	選択単位	備考	
キャリア教育科目		キャリア・デザインⅠ		2	2単位以上修得	
		キャリア・デザインⅡ		2		
		キャリア・デザインⅢ		2		
		産官民提携講座Ⅰ		2		
		産官民提携講座Ⅱ		2		
		産官民提携講座Ⅲ		2		
		産官民提携講座Ⅳ		2		
		産官民提携講座Ⅴ		2		
		産官民提携講座Ⅵ		2		
		インターンシップ		2		

(注)・教養基幹科目

- ・エレクトイブ科目
- ・健康総合科学科目の中の必修科目として開講されていない科目
- ・海外事情科目

はそれぞれ表中に示された修得単位以外に履修することができ、16単位まで卒業要件単位となる。

別表6

(甲) 法学部 法律学科

部門	分野	授業科目名	必修単位	選択単位	備考				
					総合コース	公法コース	ビジネス法コース		
専門	基 本 科 目	法学		2				22単位以上修得すること。(各コース共通)	
		刑法Ⅰ(総論)A		2					
		民事法入門		2					
		憲法入門		2					
		憲法Ⅰ(統治)		2					
		行政法Ⅰ(総論)A		2					
		刑法Ⅰ(総論)B		2					
		刑法Ⅱ(各論)A		2					
		刑法Ⅱ(各論)B		2					
		民法Ⅰ(総則)		2					
		民法Ⅱ(物権)		2					
		民法Ⅲ(債権総論)		2					
		民法Ⅳ(契約)		2					
		民法Ⅵ(不法行為等)		2					
		民法Ⅶ(親族)		2					
		会社法Ⅰ(機関A)		2					
		会社法Ⅱ(機関B)		2					
		民事訴訟法入門		2					
		国際法Ⅰ(総論)A		2					
		国際法Ⅰ(総論)B		2					
		政治学原論		2					
		政治過程論		2					
教 育 科 目	発 展 科 目	法哲学A		2	○			選択したコースのコース特定科目(○の付いた科目)のうちから10単位以上修得すること。	76単位以上修得
		法哲学B		2	○				
		法制史A		2					
		法制史B		2					
		宗教法		2					
		外国法A		2					
		外国法B		2					
		憲法Ⅱ(人権)A		2	○	○			
		憲法Ⅱ(人権)B		2	○	○			
		行政法Ⅰ(総論)B		2		○			
		行政法Ⅱ(各論)		2		○			
		地方自治法		2		○			
		自治体法務		2					
		刑事訴訟法A		2	○	○			
		刑事訴訟法B		2	○	○			
		少年法		2					
		民法Ⅴ(担保物権)		2	○		○		
		民法Ⅷ(相続)		2	○		○		
		会社法Ⅲ(設立・株式)		2	○		○		
		会社法Ⅳ(資金調達・組織再編)		2	○		○		
		商取引法A		2	○		○		
		商取引法B		2	○		○		
		保険法A		2			○		
		保険法B		2			○		
		民事訴訟法A		2	○		○		
		民事訴訟法B		2	○		○		
		民事執行・保全法		2					
		倒産処理法		2					
		労働法A		2	○		○		
		労働法B		2	○		○		
		経済法A		2		○	○		
		経済法B		2		○	○		
		知的財産法A		2			○		
		知的財産法B		2			○		
		国際法Ⅱ(紛争処理法)A		2		○			
		国際法Ⅱ(紛争処理法)B		2		○			
		国際私法A		2					
		国際私法B		2					

部門	分 野	授 業 科 目 名	必修 単位	選択 単位	備 考					
					総合	公法	ビジネス 法コース			
専 門 教 育 科 目	展 開 目	政治 経済	行 政 学 A	2		○				
			行 政 学 B	2		○				
			財 政 学 A	2		○				
			財 政 学 B	2		○				
			経 済 原 論 A	2						
			経 済 原 論 B	2						
		資格 支援	総 合 民 法	2						
			法 律 実 務 I	4						
			法 律 実 務 II	4						
		特殊 講義	特 殊 講 義 I	2						
			特 殊 講 義 II	2						
			特 殊 講 義 III	2						
			特 殊 講 義 IV	2						
			特 殊 講 義 V	2						
			特 殊 講 義 VI	2						
			特 殊 講 義 VII	2						
			特 殊 講 義 VIII	2						
			特 殊 講 義 IX	2						
			特 殊 講 義 X	2						
			特 殊 講 義 XI	2						
			特 殊 講 義 XII	2						
			特 殊 講 義 XIII	2						
			特 殊 講 義 XIV	2						
			特 殊 講 義 XV	2						
		他学部 連携	保 険 論 A	2						
			保 険 論 B	2						
			企 業 倫 理	2						
			金 融 論 A	2						
			金 融 論 B	2						
		外部 機関連携	法 実 務 概 論 I	2						
			法 実 務 概 論 II	2						
			法 実 務 概 論 III	2						
			法 実 務 概 論 IV	2						
			法 実 務 概 論 V	2						
演習	基 礎 演 習 I	2								6単位以上 修得(各 コース共 通)
	基 礎 演 習 II	2								
	専 門 演 習 I	4								
	専 門 演 習 II	4								
	法 職 演 習 I	2								
	法 職 演 習 II	2								
	法 職 演 習 III	2								
	外 国 書 演 習 I	4								
	外 国 書 演 習 II	4								
キヤ リア 教 育 科 目		キヤリア・デザイン I	2	2単位以上修得(注2)						
		キヤリア・デザイン II A	2							
		キヤリア・デザイン II B	2							
		キヤリア・デザイン III	2							
		インターンシップ	2							
		産官民提携講座 I	2							
		産官民提携講座 II	2							
		産官民提携講座 III	2							
		産官民提携講座 IV	2							
		産官民提携講座 V	2							
		産官民提携講座 VI	2							

(注1) 各科目2コマ4単位まで卒業要件単位に算入できる。

(注2) 2単位を超えて修得した単位は、8単位まで専門教育科目として卒業要件単位に算入できる。

(乙)法学部 現代社会法学科

専門教育科目の合計が
76単位以上
修得

部門	分野	授業科目名	必修 単位	選択 単位	備考	
専門教育科目	国際 発 展 科 目	国際法と平和		2		
		国際機構と法		2		
		国際紛争と法		2		
		国際人権と法		2		
		国際政治史		2		
		国際関係論		2		
		総合民法		2		
		法律実務Ⅰ		4		
		法律実務Ⅱ		4		
		特殊講義Ⅰ		2		
		特殊講義Ⅱ		2		
		特殊講義Ⅲ		2		
		特殊講義Ⅳ		2		
		特殊講義Ⅴ		2		
		特殊講義Ⅵ		2		
		特殊講義Ⅶ		2		
		特殊講義Ⅷ		2		
		特殊講義Ⅸ		2		
		特殊講義Ⅹ		2		
		特殊講義Ⅺ		2		
		特殊講義Ⅻ		2		
		特殊講義Ⅼ		2		
		特殊講義Ⅽ		2		
		金融論A		2		
		金融論B		2		
		コーポレート・ガバナンス		2		
		社会政策論A		2		
		社会政策論B		2		
		社会思想史		2		
		法実務概論Ⅰ		2		
		法実務概論Ⅱ		2		
		法実務概論Ⅲ		2		
		法実務概論Ⅳ		2		
		法実務概論Ⅴ		2		
		基礎演習Ⅰ		2	6単位以上 修得	
		基礎演習Ⅱ		2		
		専門演習Ⅰ		4	(注1)	
		専門演習Ⅱ		4		
		法職演習Ⅰ		2	(注1)	
		法職演習Ⅱ		2		
		法職演習Ⅲ		2		
		外国書演習Ⅰ		4		
		外国書演習Ⅱ		4		
キャリア教育科目		キャリア・デザインⅠ		2	2単位以上修得(注2)	
		キャリア・デザインⅡA		2		
		キャリア・デザインⅡB		2		
		キャリア・デザインⅢ		2		
		インターンシップ		2		
		産官民提携講座Ⅰ		2		
		産官民提携講座Ⅱ		2		
		産官民提携講座Ⅲ		2		
		産官民提携講座Ⅳ		2		
		産官民提携講座Ⅴ		2		
		産官民提携講座Ⅵ		2		

(注1) 各科目2コマ4単位まで卒業要件単位に算入できる。

(注2) 2単位を超えて修得した単位は、8単位まで専門教育科目として卒業要件単位に算入できる。

別 表 7

(甲)心身科学部 心理学科

部門	分野	授業科目名	単位数		備考	
			必修	選択		
専門教育科目	専門基礎科目	心理学概論Ⅰ	2		12単位修得	48単位以上修得
		心理学概論Ⅱ	2			
		心理学統計法Ⅰ	2			
		心理学統計法Ⅱ	2			
		心理学研究法Ⅰ	2			
		心理学研究法Ⅱ	2			
	専門基礎科目	スタートアップ心理学a		2	演習4単位を含め、16単位以上修得	
		スタートアップ心理学b		2		
		精神保健学(精神医学を含む)		2		
		健康・医療心理学		2		
		人体の構造と機能及び疾病		2		
		障害者・障害児心理学		2		
		認知心理学a(知覚・認知心理学)		2		
		認知心理学b		2		
		行動心理学a(学習・言語心理学)		2		
		行動心理学b		2		
		発達心理学a(生涯発達心理学)		2		
		発達心理学b		2		
		教育心理学a(教育・学校心理学)		2		
		教育心理学b		2		
		人格心理学a		2		
		人格心理学b(感情・人格心理学)		2		
		臨床心理学a(臨床心理学概論)		2		
		臨床心理学b(心理学的支援法)		2		
		社会心理学a		2		
		社会心理学b(社会・集団・家族心理学)		2		
		産業心理学a		2		
		産業心理学b(産業・組織心理学)		2		
		計量心理学a		2		
		計量心理学b		2		
		認知心理学演習a		2		
		認知心理学演習b		2		
		行動心理学演習a		2		
		行動心理学演習b		2		
		発達心理学演習a		2		
		発達心理学演習b		2		
		教育心理学演習a		2		
		教育心理学演習b		2		
		人格心理学演習a		2		
		人格心理学演習b		2		
		臨床心理学演習a		2		
		臨床心理学演習b		2		
	社会心理学演習a		2			
	社会心理学演習b		2			
	産業心理学演習a		2			
	産業心理学演習b		2			
	計量心理学演習a		2			
	計量心理学演習b		2			

部門	分野	授 業 科 目 名	単 位 数		備 考				
			必修	選択					
専 門 教 育 科 目	専 門 展 開 科 目	心 理 学 史		2	16 単位以上修得(注4)				76 単位以上修得
		生 理 心 理 学		2					
		神 経 ・ 生 理 心 理 学		2					
		青 年 心 理 学		2					
		乳 幼 児 心 理 学		2					
		心 理 的 ア セ ス メ ン ト a		2					
		心 理 的 ア セ ス メ ン ト b		2					
		精 神 疾 患 と そ の 治 療 a		2					
		精 神 疾 患 と そ の 治 療 b		2					
		社 会 行 動 論 a		2					
		社 会 行 動 論 b		2					
		現 代 社 会 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン a		2					
		現 代 社 会 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン b		2					
		デ ー タ 解 析 a		2					
		デ ー タ 解 析 b		2					
		ス ポ ー ツ 心 理 学		2					
		司 法 ・ 犯 罪 心 理 学		2					
		心 身 科 学 特 論		2					
		発 展 講 義 1a		2					
		発 展 講 義 1b		2					
	目 録	発 展 講 義 2a		2					
		発 展 講 義 2b		2					
		発 展 講 義 3a		2					
		発 展 講 義 3b		2					
		発 展 講 義 4a		2					
		発 展 講 義 4b		2					
		発 展 講 義 5a		2					
		発 展 講 義 5b		2					
		発 展 講 義 6a		2					
		発 展 講 義 6b		2					
	言 語 聴 覚 士 関 連 科 目 A	発 展 講 義 7a		2					
		発 展 講 義 7b		2					
		イ ン タ ー ン シ ッ プ		2					
		健康医学入門(医学総論を含む)		2					
		健 康 医 学 (内 科 学 を 含 む)		2					
		リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学		2					
		社 会 福 祉 ・ 教 育 (社 会 保 障 制 度 、 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 概 論 及 び 関 係 法 規 を 含 む)		2					
		言 語 学 総 論 ・ 各 論		2					
		学 習 認 知 心 理 学		2					
		言 語 発 達 学		2					
		心 理 測 定 法		2					
		音 声 学 総 論 ・ 各 論		2					
		音 響 学 ・ 聴 覚 心 理 学		2					
		失 語 症 I		2					
		失 語 症 II		2					
		高 次 脳 機 能 障 害 学		2					
		言 語 発 達 障 害 学 I		2					
		言 語 発 達 障 害 学 II		2					
		脳 性 麻 痺 ・ 学 習 障 害 論		2					
		小 児 科 学		2					
		音 声 ・ 言 語 ・ 聴 覚 系 神 経 医 学		2					
		臨 床 実 習		12					
	卒業論文	卒 業 論 文		8					

部門	分野	授 業 科 目 名	単 位 数		備 考		
			必修	選択			
専門 教育 科目	実 験 演 習 科 目	基礎実験演習Ⅰ(心理学実験Ⅰ)	2		16 単位 修得		
		基礎実験演習Ⅱ(心理学実験Ⅱ)	2				
		一般実験演習Ⅰ(心理学実験Ⅲ)	2				
		一般実験演習Ⅱ(心理学実験Ⅳ)	2				
		総合研究演習Ⅰ	2				
		総合研究演習Ⅱ	2				
		総合研究演習Ⅲ	2				
資格 取得 科目	公認 心理 師専 用科 目	公認心理師の職責		2	(注3)		
		福祉心理学		2			
		関係行政論		2			
		心理実習Ⅰ		1			
		心理実習Ⅱ		1			
		心理実習Ⅲ		1			
		心理演習		2			
	言語 聴 覚 士 関 連 科 目 B	解剖学		2	(注2)		
		生理学		2			
		病理学		2			
		口腔機能論 (臨床歯科医学を含む)		2			
		耳鼻咽喉学		2			
		臨床神経学		2			
		形成外科学		2			
		口腔外科学		2			
		音声・言語・聴覚医学 (神経系の構造、機能及び病態を含む)		2			
		言語聴覚障害総論		2			
		言語聴覚障害診断学		2			
		発声発語障害学Ⅰ(音声障害)		2			
		発声発語障害学Ⅱ (機能性構音障害総論・各論)		2			
		発声発語障害学Ⅲ (器質性構音障害総論・各論)		2			
		発声発語障害学Ⅳ (運動障害性構音障害総論・各論)		2			
		嚥下障害総論・各論		2			
		吃音		2			
		聴覚障害・視覚聴覚二重障害 (小児聴覚障害、成人聴覚障害を含む)		2			
		聴力検査		2			
		補聴器		2			
		人工内耳		2			
		心理診断学演習		2			
		言語聴覚心理評価学		2			
		言語機能評価学演習		2			
		言語聴覚学基礎演習		2			
		言語聴覚学総合演習		2			
		特殊演習 1a (コミュニケーション障害学)		2			
		特殊演習 1b (コミュニケーション障害学)		2			
		特殊演習 2a (言語聴覚嚥下障害学)		2			
		特殊演習 2b (言語聴覚嚥下障害学)		2			
		健康科学総合演習		2			

部門	分野	授 業 科 目 名	単 位 数		備 考
			必修	選択	
資格取得科目	特別支援教育に関する科目	知的障害者の心理		2	(注1)
		知的障害者の生理・病理		2	
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2	
		病弱者の心理・生理・病理		2	
		知的障害児指導法		2	
		肢体不自由児指導法		2	
		肢体不自由者の自立活動の理論と実際		2	
		病弱児指導法		2	
		視覚障害者の言語障害指導		1	
		聴覚障害者の言語障害指導		1	
		重複障害・軽度発達障害教育総論		2	

(注1)「特別支援教育に関する科目」は、(注4)の科目群として16単位まで卒業要件単位に含むことができる

(注2)「言語聴覚士関連科目B」は、卒業要件単位に含めない

(注3)「公認心理師専用科目」は、卒業要件単位に含めない

別 表 7
(乙) 心身科学部 健康科学科

部 門	分 野	授 業 科 目 の 名 称	単 位 数	備 考
		必修	選択	
教養教育科目	宗 教	宗 教 学 I	2	4単位修得
		宗 教 学 II	2	
	人 文 系	心 理 学 I	2	
		心 理 学 II	2	
		哲 学 I	2	
		哲 学 II	2	
		論 理 学 I	2	
		論 理 学 II	2	
		文 学 I	2	
		文 学 II	2	
		美 術 I	2	
		美 術 II	2	
	社 会 系	法 学 I	2	
		法 学 II	2	
		政 治 学 I	2	
		政 治 学 II	2	
		経 済 学 I	2	
		経 済 学 II	2	
		社 会 学 I	2	
		社 会 学 II	2	
		教 育 学 I	2	
		教 育 学 II	2	
		歴 史 学 I	2	
		歴 史 学 II	2	
	自 然 系	地 理 学 I	2	
		地 理 学 II	2	
		数 学 I	2	
		数 学 II	2	
		統 計 学 I	2	
		統 計 学 II	2	
		物 理 学 I	2	
		物 理 学 II	2	
		化 学 I	2	
		化 学 II	2	
	主 題 系	生 物 学 I	2	24 単位以上修得
		生 物 学 II	2	
		情 報 科 学 I	2	
		情 報 科 学 II	2	
		仏 教 と 現 代 社 会 I	2	
		仏 教 と 現 代 社 会 II	2	
		禪 と 人 間 I	2	
		禪 と 人 間 II	2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 I	2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 II	2	
		人 間 行 動 の 理 解 I	2	
		人 間 行 動 の 理 解 II	2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 I	2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 II	2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 I	2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 II	2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 I	2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 II	2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 I	2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 II	2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 I	2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 II	2	
		人 間 と 環 境 I	2	
		人 間 と 環 境 II	2	
		情 報 と 社 会 I	2	
		情 報 と 社 会 II	2	
		産 業 と 科 学 I	2	
		産 業 と 科 学 II	2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 I	2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 II	2	

部門	分野	授業科目の名称	単位数		備考	
			必修	選択		
教養教育科目	外国語科目	英語	英語 I a	1	6単位修得	
			英語 II a	1		
			英語 I b	1		
			英語 II b	1		
			英語 I c	1		
			英語 II c	1		
		日本語	日本語 I a	1	(注1)	
			日本語 II a	1		
			日本語 I b	1		
			日本語 II b	1		
			日本語 I c	1		
			日本語 II c	1		
		エレクトティブ科目	英会話 I		1	(注2)
			英会話 II		1	
			英会話 III		1	
			英会話 IV		1	
			メデイア英語 I		1	
			メデイア英語 II		1	
	メデイア英語 III			1		
	メデイア英語 IV			1		
	英語表現 現法 I			1		
	英語表現 現法 II			1		
	英語表現 現法 III			1		
	英語表現 現法 IV			1		
	英語読解 法 I			1		
	英語読解 法 II			1		
	英語読解 法 III			1		
	英語読解 法 IV			1		
	実践 英語 I			1		
	実践 英語 II			1		
	実践 英語 III			1		
	実践 英語 IV			1		
	ドイツ語 I (基礎)			1		
	ドイツ語 II (基礎)			1		
	ドイツ語 III (読解)			1		
	ドイツ語 IV (読解)			1		
	ドイツ語 III (表現)			1		
	ドイツ語 IV (表現)			1		
	ドイツ語 III (総合)			1		
	ドイツ語 IV (総合)			1		
	ドイツ語会話 I			1		
	ドイツ語会話 II			1		
	中国語 I (基礎)			1		
	中国語 II (基礎)			1		
	中国語 III (読解)			1		
	中国語 IV (読解)			1		
	中国語 III (表現)		1			
	中国語 IV (表現)		1			
	中国語 III (総合)		1			
	中国語 IV (総合)		1			
中国語会話 I		1				
中国語会話 II		1				
フランス語 I (基礎)		1				
フランス語 II (基礎)		1				
フランス語 III (読解)		1				
フランス語 IV (読解)		1				
フランス語 III (表現)		1				
フランス語 IV (表現)		1				
フランス語 III (総合)		1				
フランス語 IV (総合)		1				
フランス語会話 I		1				
フランス語会話 II		1				

部門	分野	授業科目の名称	単位数	必修	選択	備考
教養教育科目	外国語科目	韓国語Ⅰ（基礎）			1	
		韓国語Ⅱ（基礎）			1	
		韓国語Ⅲ（読解）			1	
		韓国語Ⅳ（読解）			1	
		韓国語Ⅲ（表現）			1	
		韓国語Ⅳ（表現）			1	
		韓国語Ⅲ（総合）			1	
		韓国語Ⅳ（総合）			1	
		韓国語会話Ⅰ			1	
		韓国語会話Ⅱ			1	
	健康総合 科学科目	スポーツ科学Ⅰ			1	
		スポーツ科学Ⅱ			1	
		スポーツ科学Ⅲ			1	
		スポーツ科学Ⅳ			1	
	海外科目	海外事情Ⅰ			2	
		海外事情Ⅱ			2	
		海外事情Ⅲ			1	
		海外事情Ⅳ			1	

部門	分野	授業科目の名称	単位数	必修	選択	備考
専門教育科目	専門基礎科目	健康医学入門(医学総論を含む)	2			12単位修得
		健康心理学入門	2			
		健康スポーツ科学入門	2			
		健康脳科学入門	2			
		プレセミナーⅠ	2			
		プレセミナーⅡ	2			
	専門基幹科目	解剖学	2			24単位以上修得
		学校保健(学校安全等を含む)	2			
		生理学	2			
		衛生学・公衆衛生学	2			
		学習認知心理学	2			
		救急・応急処置	2			
		健康医学(内科学を含む)	2			
		健康統計学	2			
		言語学総論・各論	2			
		生涯発達心理学	2			
		スポーツ栄養学	2			
		スポーツ心理学	2			
		精神医学・精神保健	2			
		病理学	2			
		分子遺伝学	2			
		リハビリテーション医学	2			
		社会福祉・教育 (社会保障制度、リハビリテーション概論及び関係法規を含む)	2			
		小児科学	2			
		ストレス科学論	2			
		生活習慣病論	2			
		救急・応急処置演習	2			
	専門展開科目	薬理概論	2			
		養護概説Ⅰ	2			
		養護概説Ⅱ	2			
		小児保健学	2			
		微生物・免疫学	2			
		予防医学	2			
		健康相談(カウンセリング)	2			
		食物化学(食品学を含む)	2			
		栄養生化学	2			
		学校保健演習	2			
		臨床栄養学	2			
		看護学	2			
		看護演習	2			
		看護実習	4			
		健康情報と医学	2			
		生涯健康論	2			
		環境健康医学	2			
		喫煙と健康	2			
		先端医療概論	2			
		長寿科学	2			
		介護概論	2			
		母性看護学	2			
		メンタルヘルス	2			
	スポーツ科学科目	体育原理	2			
		体力測定・評価	2			
		運動学(運動方法学を含む)	2			
		運動生理学	2			
		障がい者スポーツ論	2			
		スポーツ経営学	2			
		スポーツ情報論	2			
		スポーツ政策論	2			
		トレーニング科学論	2			
		バイオメカニクス	2			
		運動療法論	2			
		スポーツイベント論	2			
		スポーツ指導方法論	2			
		スポーツ社会学	2			
		スポーツ文化論	2			

部門	分野	授業科目の名称	単位数 必修選択	備考
専門教育科目	スポーツ科学科目	スポーツマーケティング	2	36単位以上修得(注3)
		レクリエーションスポーツ論	2	
		体育実技(器械運動)	1	
		体育実技(水泳)	1	
		体育実技(ダンス)	1	
		体育実技(陸上競技)	1	
		体育実技(剣道)	1	
		体育実技(サッカー)	1	
		体育実技(柔道)	1	
		体育実技(ソフトボール)	1	
		体育実技(テニス)	1	
		体育実技(バスケットボール)	1	
		体育実技(バドミントン)	1	
		体育実技(バレーボール)	1	
		体育実技(ラグビー)	1	
		健康運動指導実技(アクアビクス)	1	
		健康運動指導実技(エアロビク)	1	
		健康運動指導実技(ジョギング・ウォーキング)	1	
		身体表現実技(エアロビク)	1	
		身体表現実技(ダンス)	1	
		レクリエーションスポーツ実習Ⅰ	1	
		レクリエーションスポーツ実習Ⅱ	1	
		運動生理学演習	2	
		スポーツ心理学演習	2	
		体力測定・評価演習	2	
		トレーニング演習	2	
		運動療法演習	2	
		健康運動指導演習	2	
		コーチング演習	2	
		障がい者スポーツ演習	2	
		スポーツ栄養学演習	2	
		スポーツコンディショニング演習	2	
		スポーツプログラミング演習	2	
		スポーツリハビリテーション演習	2	
		バイオメカニクス演習	2	
		レクリエーションスポーツ演習	2	
		保健体育指導演習	2	
		保健体育実践演習	2	
		海外の生涯教育	2	
		学習情報の収集と提供	2	
		企業内教育論	2	
		生涯学習社会論	2	
		社会心理学	2	
	言語聴覚科学科目	言語聴覚障害総論	2	
		口腔機能論(臨床歯科医学を含む)	2	
		遺伝・画像診断学	2	
		耳鼻咽喉学	2	
		臨床神経学	2	
		形成外科学	2	
		口腔外科学	2	
		音声・言語・聴覚医学 (神経系の構造、機能及び病態を含む)	2	
		音声・言語・聴覚系神経医学	2	
		臨床心理学	2	
		心理測定法	2	
		音声学総論・各論	2	
		言語発達学	2	
		音響学・聴覚心理学	2	
		言語聴覚障害診断学	2	
		失語症Ⅰ	2	
		失語症Ⅱ	2	
		高次脳機能障害学	2	
		言語発達障害学Ⅰ	2	
		言語発達障害学Ⅱ	2	
		脳性麻痺・学習障害論	2	
		発声発語障害学Ⅰ(音声障害)	2	

92
単位
以上
修得

部門	分野	授業科目の名称	単位数 必修選択	備考	
専門教育科目	専門展開科目	発声発語障害学Ⅱ (機能性構音障害総論・各論)	2		
		発声発語障害学Ⅲ (器質性構音障害総論・各論)	2		
		発声発語障害学Ⅳ (運動障害性構音障害総論・各論)	2		
		嚥下障害総論・各論	2		
		吃音	2		
		聴覚障害・視覚聴覚二重障害 (小児聴覚障害、成人聴覚障害を含む)	2		
		聴力検査	2		
		補聴器	2		
		人工内耳	2		
		言語聴覚学基礎演習	2		
		言語聴覚学総合演習	2		
		言語機能評価学演習	2		
		心理診断学演習	2		
		言語聴覚心理評価学	2		
		特殊演習1a(コミュニケーション障害学)	2		
		特殊演習1b(コミュニケーション障害学)	2		
		特殊演習2a(言語聴覚嚥下障害学)	2		
		特殊演習2b(言語聴覚嚥下障害学)	2		
		特殊演習3a(認知神経心理学)	2		
		特殊演習3b(認知神経心理学)	2		
	専門総合科目	健康科学総合演習Ⅰ	2	16単位以上修得 (注3)	
		健康科学総合演習Ⅱ	2		
		専門セミナー	4		
		卒業論文	8		
		臨床実習	12		
	専門選択科目	健康キャリア論	2	12単位まで卒業要件 単位に算入	
		ボランティア演習	1		
		インターンシップ	2		
		人格心理学	2		
		心理学研究法	2		
		海外健康・スポーツ論	2		
		心身科学特論	2		
		手話	2		
		手話演習	2		
資格取得科目	認定心理士関連科目	基礎実験演習Ⅰ(心理学実験Ⅰ)	2	(注4)	
		基礎実験演習Ⅱ(心理学実験Ⅱ)	2		
		認知心理学b	2		
		発達心理学b	2		

(注1) 日本語科目は外国人留学生適用

(注2) 外国人留学生については、外国語科目を選択する場合に母語を選択することは出来ない。

(注3) 言語聴覚士受験資格取得には、臨床実習と専門展開科目の所定科目38単位以上修得を要する。

(注4) 「認定心理士関連科目」は、卒業要件単位に含めない。

別表 7
心身科学部 健康栄養学科 (丙)

部門	分野	授業科目の名称	単位数		備考
			必修	選択	
健康栄養学科	宗教	宗教学 I	2		4単位修得
	宗教	宗教学 II	2		
	人文系	心理学 I		2	
		心理学 II		2	
		哲学 I		2	
		哲学 II		2	
		論理学 I		2	
		論理学 II		2	
		文学 I		2	
		文学 II		2	
		美術 I		2	
		美術 II		2	
		法学 I		2	
		法学 II		2	
	社会系	政治学 I		2	
		政治学 II		2	
		経済学 I		2	
		経済学 II		2	
		社会学 I		2	
		社会学 II		2	
		教育学 I		2	
		教育学 II		2	
		歴史学 I		2	
		歴史学 II		2	
		地理学 I		2	
		地理学 II		2	
	自然系	数学 I		2	
		数学 II		2	
		統計学 I		2	
		統計学 II		2	
		物理学 I		2	
		物理学 II		2	
		化学 I	2		
		化学 II		2	
		生物 I	2		
		生物 II		2	
	主 題 系	情報科学 I	2		
		情報科学 II		2	
		仏教と現代社会 I		2	
		仏教と現代社会 II		2	
		禅と人間 I		2	
		禅と人間 II		2	
		生命に関する諸問題 I		2	
		生命に関する諸問題 II		2	
		人間行動の理解 I		2	
		人間行動の理解 II		2	
		人間の尊厳と平等 I		2	
		人間の尊厳と平等 II		2	
		日本の文化と社会 I		2	
		日本の文化と社会 II		2	
		アジアの文化と社会 I		2	
		アジアの文化と社会 II		2	
		ヨーロッパの文化と社会 I		2	
		ヨーロッパの文化と社会 II		2	
		英語圏の文化と社会 I		2	
		英語圏の文化と社会 II		2	
		人間と環境 I		2	
		人間と環境 II		2	
		情報と社会 I		2	
		情報と社会 II		2	
		産業と科学 I		2	
		産業と科学 II		2	
		ソフトウェア概論 I		2	
		ソフトウェア概論 II		2	

自然系から必修 6 単位を含め 12 単位以上

部門	分野	授業科目の名称	単位数		備考
			必修	選択	
教養教育科目	外国語	英語 I a	1		6 必修単位以上修得を含め
		英語 II a	1		
		英語 I b	1		
		英語 II b	1		
		英語 I c		1	
		英語 II c		1	
		ドイツ語 I (基礎)		1	(注2)
		ドイツ語 II (基礎)		1	
		中国語 I (基礎)		1	
		中国語 II (基礎)		1	
		フランス語 I (基礎)		1	
		フランス語 II (基礎)		1	
		韓国語 I (基礎)		1	(注1)
		韓国語 II (基礎)		1	
		日本語 I a		1	
		日本語 II a		1	
		日本語 I b		1	
		日本語 II b		1	
		日本語 I c		1	
		日本語 II c		1	
	外国語科目	英会話 I		1	
		英会話 II		1	
		英会話 III		1	
		英会話 IV		1	
		メデイア英語 I		1	
		メデイア英語 II		1	
		メデイア英語 III		1	
		メデイア英語 IV		1	
		英語表現法 I		1	
		英語表現法 II		1	
		英語表現法 III		1	
		英語表現法 IV		1	
		英語読解法 I		1	
		英語読解法 II		1	
		英語読解法 III		1	
		英語読解法 IV		1	
		実践英語 I		1	
		実践英語 II		1	
		実践英語 III		1	
		実践英語 IV		1	
	外国語科目	ドイツ語 III (読解)		1	
		ドイツ語 IV (読解)		1	
		ドイツ語 III (表現)		1	
		ドイツ語 IV (表現)		1	
		ドイツ語 III (総合)		1	
		ドイツ語 IV (総合)		1	
		ドイツ語会話 I		1	
		ドイツ語会話 II		1	
		中国語 III (読解)		1	
		中国語 IV (読解)		1	
	外国語科目	中国語 III (表現)		1	
		中国語 IV (表現)		1	
		中国語 III (総合)		1	
		中国語 IV (総合)		1	
		中国語会話 I		1	
		中国語会話 II		1	
		フランス語 III (読解)		1	
		フランス語 IV (読解)		1	
		フランス語 III (表現)		1	
		フランス語 IV (表現)		1	
	外国語科目	フランス語 III (総合)		1	
		フランス語 IV (総合)		1	
		フランス語会話 I		1	
		フランス語会話 II		1	

24 単位以上修得

部門	分野		授業科目の名称	単位数		備考		
				必修	選択			
教養教育 育課程目	外国語科目	エレクトティブ科目	韓国語Ⅲ（読解）		1			
			韓国語Ⅳ（読解）		1			
			韓国語Ⅲ（表現）		1			
			韓国語Ⅳ（表現）		1			
			韓国語Ⅲ（総合）		1			
			韓国語Ⅳ（総合）		1			
			韓国語会話Ⅰ		1			
			韓国語会話Ⅱ		1	必修を含め 2単位以上修得		
	健康総合科学科目	スポーツ科学Ⅰ	1					
		スポーツ科学Ⅱ	1					
		スポーツ科学Ⅲ		1				
		スポーツ科学Ⅳ		1				
	海外事情科目	海外事情Ⅰ		2				
		海外事情Ⅱ		2				
		海外事情Ⅲ		1				
		海外事情Ⅳ		1				
専門教育 科目	専門基礎科目	環境・社会・健康と健康	医療福祉概論		2	必修を含め 4単位以上修得	80 単位以上修得	
			健康心理学		2			
			公衆衛生学	2				
			公衆衛生学実習		1			
		人体の構造と機能、 疾病の成り立ち	健康概論	2		必修を含め 10単位以上修得		
			人体構造学	2				
			生体機能学	2				
			人体構造機能学実験	1				
			生体化学総論	2				
			生体化学各論	2				
			生体化学基礎実験	1				
			生体化学応用実験		1			
			病理学		2			
			薬理概論		2			
			生活習慣病論		2			
			健康スポーツ医学		2			
	食べ物と健康	医科学Ⅰ（代謝・栄養系等）		2	必修を含め 13単位以上修得			
		医科学Ⅱ（消化器系等）		2				
		医科学Ⅲ（その他の疾患）		2				
		病原微生物学		2				
		食品成分分析学	2					
		食品基礎分析実験法	1					
		食品機能評価法	2					
		食品応用分析実験法		1				
	専門基礎科目	栄養基礎学	食品機能化学		2	必修を含め 3単位以上修得		
			食品健康科学論		2			
			調理科学	2				
			調理科学実験	1				
		栄養応用学	基礎調理実習	1		必修を含め 5単位以上修得		
			応用調理実習	1				
			食品安全管理学	2				
			食品安全学実験	1				
		栄養教育論	基礎栄養学	2		必修を含め 5単位以上修得		
			栄養学実験	1				
			栄養生理学		2			
			母子栄養学	2				
			栄養教育論	加齢栄養学		2		必修を含め 5単位以上修得
				スポーツ栄養学		2		
				応用栄養学実習	1			
				栄養教育論	2			
	栄養教育論	栄養教育各論	2		必修を含め 5単位以上修得			
		栄養教育実習	1					
栄養カウンセリング論			2					
健康・栄養情報演習			1					
		健康行動科学		2				

部門	分野	授業科目の名称	単位数		備考
			必修	選択	
専門 科目 教 育 科 目	専門 基幹 科目	臨床栄養学	臨床栄養学総論	2	必修を含め 5単位以上修得
			臨床栄養学各論	2	
			分子栄養学	2	
			栄養アセスメント論	2	
			栄養ケアマネジメント論	2	
			臨床栄養学実習	1	
			臨床栄養管理実験	1	
			介護概論	2	
			口腔機能論	2	
			運動療法学	2	
		公衆栄養学	公衆栄養学	2	必修を含め 2単位以上修得
			公衆栄養活動論	2	
			環境健康医学	2	
			公衆栄養学実習	1	
		給食経営 管理論	食事調査演習	1	必修を含め 4単位以上修得
			給食経営管理論	2	
			給食経営管理基礎実習	1	
			給食経営管理応用実習	1	
			フードマーケティング論	2	
	専門 発展 科目	総合演習	フードサービス論	2	必修を含め 2単位以上修得
			健康栄養学入門	1	
			健康管理総合演習	1	
			管理栄養士総合基礎演習	1	
			管理栄養士総合応用・臨床演習	1	
		臨地実習	臨地実習事前事後演習	1	必修を含め 2単位以上修得
			臨地実習Ⅰ(校外実習を含む)	1	
			臨地実習Ⅱ	2	
			臨地実習Ⅲ	1	
		総合科目	健康栄養学特論	1	必修を含め 6単位以上修得
			管理栄養士海外研修	2	
			心身科学特論	2	
			健康栄養総合演習	2	
			健康栄養専門セミナー	4	
	関連科目	卒業研究	卒業研究	8	
			有機化学	2	
			分析化学	2	
		管理栄養士 関連科目	管理栄養士セミナー	2	

(注1) 日本語科目は外国人留学生適用

(注2) 外国人留学生については、外国語科目を選択する場合に母語を選択することはできない。

別表 8
総合政策学部 総合政策学科

部門	分野	授業科目名	単位数		備考
			必修	選択	
教養 教育 科目		宗 教 学 I	2		— 必修4単位を含めて、 20単位以上修得
		宗 教 学 II	2		
	人文系 社会系 自然系 主題系	教養セミナー「学問の発見」Ⅲ		1	
		教養セミナー「学問の発見」Ⅳ		1	
		心 理 学 I		2	
		心 理 学 II		2	
		哲 学 I		2	
		哲 学 II		2	
		文 学 I		2	
		文 学 II		2	
		法 学 I		2	
		法 学 II		2	
		政 治 学 I		2	
		政 治 学 II		2	
		経 済 学 I		2	
		経 済 学 II		2	
		社 会 学 I		2	
		社 会 学 II		2	
		教 育 学 I		2	
		教 育 学 II		2	
		歴 史 学 A ー I		2	
		歴 史 学 A ー II		2	
		歴 史 学 B ー I		2	
		歴 史 学 B ー II		2	
		地 理 学 I		2	
		地 理 学 II		2	
		数 学 I		2	
		数 学 II		2	
		統 計 学 I		2	
		統 計 学 II		2	
		物 理 学 I		2	
		物 理 学 II		2	
		化 学 I		2	
		化 学 II		2	
		生 物 学 I		2	
		生 物 学 II		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 I		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 II		2	
		禪 と 人 間 I		2	
		禪 と 人 間 II		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 I		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 II		2	
		人 間 行 動 の 理 解 I		2	
		人 間 行 動 の 理 解 II		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 I		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 II		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 I		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 II		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 I		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 II		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 I		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 II		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 I		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 II		2	
		人 間 と 環 境 I		2	
		人 間 と 環 境 II		2	
		産 業 と 科 学 I		2	
		産 業 と 科 学 II		2	
		健 康 の 科 学		2	

部門	分野	授業科目名	単位数		備考
			必修	選択	
教養教育科目	外国語	ドイツ語Ⅰ（基礎）		1	
		ドイツ語Ⅱ（基礎）		1	
		ドイツ語Ⅲ（読解）		1	
		ドイツ語Ⅳ（読解）		1	
		ドイツ語Ⅲ（表現）		1	
		ドイツ語Ⅳ（表現）		1	
		ドイツ語Ⅲ（総合）		1	
		ドイツ語Ⅳ（総合）		1	
		ドイツ語会話Ⅰ		1	
		ドイツ語会話Ⅱ		1	
		中国語Ⅰ（基礎）		1	
		中国語Ⅱ（基礎）		1	
		中国語Ⅲ（読解）		1	
		中国語Ⅳ（読解）		1	
		中国語Ⅲ（表現）		1	
		中国語Ⅳ（表現）		1	
		中国語Ⅲ（総合）		1	
		中国語Ⅳ（総合）		1	
		中国語会話Ⅰ		1	
		中国語会話Ⅱ		1	
		フランス語Ⅰ（基礎）		1	
		フランス語Ⅱ（基礎）		1	
		フランス語Ⅲ（読解）		1	
		フランス語Ⅳ（読解）		1	
		フランス語Ⅲ（表現）		1	
		フランス語Ⅳ（表現）		1	
		フランス語Ⅲ（総合）		1	
		フランス語Ⅳ（総合）		1	
		フランス語会話Ⅰ		1	
		フランス語会話Ⅱ		1	
		韓国語Ⅰ（基礎）		1	
		韓国語Ⅱ（基礎）		1	
		韓国語Ⅲ（読解）		1	
		韓国語Ⅳ（読解）		1	
		韓国語Ⅲ（表現）		1	
		韓国語Ⅳ（表現）		1	
		韓国語Ⅲ（総合）		1	
		韓国語Ⅳ（総合）		1	
		韓国語会話Ⅰ		1	
		韓国語会話Ⅱ		1	
	日本語	日本語Ⅰa		1	(注)
		日本語Ⅱa		1	
		日本語Ⅰb		1	
		日本語Ⅱb		1	
		日本語Ⅰc		1	
		日本語Ⅱc		1	
		日本語Ⅰd		1	
		日本語Ⅱd		1	
		日本語Ⅰe		1	
		日本語Ⅱe		1	
教養教育科目	健康総合科目	スポーツ科学Ⅰ		1	
		スポーツ科学Ⅱ		1	
		スポーツ科学Ⅲ		1	
		スポーツ科学Ⅳ		1	
	海外事目	海外事情Ⅰ		2	
		海外事情Ⅱ		2	
		海外事情Ⅲ		1	
		海外事情Ⅳ		1	

部門	専攻分野	授業科目名	単位数		演習はそれぞれ表中の単位
			必修	選択	
リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシーⅠ	2		34単位以上修得 (必修26 選択8)
		情報リテラシーⅡ	2		
		プログラミングⅠ		2	
		プログラミングⅡ		2	
		データベース		2	
	言語リテラシー	コミュニケーション英語Ⅰa	1		
		コミュニケーション英語Ⅰb	1		
		コミュニケーション英語Ⅱa	1		
		コミュニケーション英語Ⅱb	1		
		コミュニケーション英語Ⅲa	1		
		コミュニケーション英語Ⅲb	1		
		コミュニケーション英語Ⅳa	1		
		コミュニケーション英語Ⅳb	1		
		プラクティカル英語Ⅰ	2		
		プラクティカル英語Ⅱ	2		
		イングリッシュ・プロジェクトⅠ		2	
		イングリッシュ・プロジェクトⅡ		2	
		イングリッシュ・プロジェクトⅢ		2	
		イングリッシュ・プロジェクトⅣ		2	
	リサーチリテラシー	日本語表現法Ⅰ	2		
		日本語表現法Ⅱ		2	
		社会調査論Ⅰ	2		
		社会調査論Ⅱ		2	
		社会統計学Ⅰ	2		
		社会統計学Ⅱ		2	
	プランニングリテラシー	データ分析Ⅰ	2		
		データ分析Ⅱ		2	
		ロジカルシンキングⅠ	2		
		ロジカルシンキングⅡ		2	
		問題解決技法		2	
		プランニング論		2	
基礎盤科目	基盤科目	ファシリテーション		2	8単位必修 6単位以上必修 14単位以上修得
		空間デザイン		2	
		総合政策概論	2		
		政策規範論	2		
		政策過程論	2		
		政策評価論	2		
		政治学基礎		2	
		経済学基礎		2	
		国際関係学基礎		2	
		社会学基礎		2	
		情報科学基礎		2	
		人間科学基礎		2	
		法学入門		2	
		環境学入門		2	
		グローバリゼーション論		2	
		生命論		2	
		日本現代史		2	
		世界現代史		2	
		組織意思決定		2	
		数理意思決定		2	
展開科目	政治・行政クラスター	政治学入門		2	
		政治過程論		2	
		日本政治論		2	
		比較政治論		2	
		現代行政論		2	
		日本行政論		2	
		地方自治論		2	
		地域政策		2	
		合意形成論		2	
		NPO・NGO論		2	

部門	分野	授業科目名	単位数		備考
			必修	選択	
展開科目	経済・環境 クラスター	経済政策		2	24単位以上修得
		財政学Ⅰ		2	
		財政学Ⅱ		2	
		金融論Ⅰ		2	
		金融論Ⅱ		2	
		環境政策		2	
		環境評価論		2	
		環境マネジメント論		2	
		環境共生論		2	
		国際環境論		2	
	国際 クラスター	国際関係史		2	
		国際関係論		2	
		国際安全保障論		2	
		外交政策		2	
		国際機構論		2	
		人間の安全保障論		2	
		国際開発論		2	
		国際協力論		2	
		国際政治経済論		2	
		国際社会論		2	
	社会・文化 クラスター	表象文化論		2	
		多文化共生社会論		2	
		コミュニティ論		2	
		社会政策		2	
		機会均等論		2	
		格差社会論		2	
		男女共生社会論		2	
		生涯学習社会論		2	
		現代教育論		2	
		教育政策		2	
	情報・ メディア クラスター	情報報法		2	
		情報報倫理		2	
		情報社会論		2	
		マスメディア論		2	
		コミュニケーション論		2	
		情報システム論		2	
		情報ネットワーク論		2	
		情報インタフェース論		2	
		マルチメディア論		2	
		情報産業論		2	
	人間科学 クラスター	生涯発達心理学		2	
		青年心理学		2	
		人格心理学		2	
		メンタルヘルス論		2	
		社会心理学		2	
		対人認知論		2	
		心理診断法		2	
		行動科学		2	
		生命健康科学		2	
		生態学		2	
	総合領域	総合政策 a		2	
		総合政策 b		2	
		総合政策 c		2	
		総合政策 d		2	
		総合政策 e		2	
		総合政策 f		2	

部門	分野	授業科目名	単位数		備考
			必修	選択	
リサーチ・プロジェクト		リサーチ・プロジェクトⅠa	2		16単位必
		リサーチ・プロジェクトⅠb	2		
		リサーチ・プロジェクトⅡa	2		
		リサーチ・プロジェクトⅡb	2		
		リサーチ・プロジェクトⅢa	2		
		リサーチ・プロジェクトⅢb	2		
		リサーチ・プロジェクトⅣa	2		
		リサーチ・プロジェクトⅣb	2		
キャリア・デザイン科目		キャリア・デザインⅠ		2	12単位まで 卒業要件に算入可
		キャリア・デザインⅡ		2	
		インターンシップ		2	
		キャリア対策Ⅰ		2	
		キャリア対策Ⅱ		2	
		キャリア対策Ⅲ		2	
		キャリア対策Ⅳ		2	
		社会と倫理		2	
		心理学実験Ⅰ		1	
		心理学実験Ⅱ		1	

(注) 日本語科目は外国人留学生適用

別 表 9
心理学部心理学科

部 門	分 野	授 業 科 目 名	必 修 単 位	選 択 単 位	備 考
教 養 教 育 科 目		宗 教 学 I	2		4単位修得すること
		宗 教 学 II	2		
	教 文 系	教養セミナー「学問の発見」I		1	4単位以上修得すること
		教養セミナー「学問の発見」II		1	
		教養セミナー「学問の発見」III		1	
		教養セミナー「学問の発見」IV		1	
		心 理 学 I		2	
		心 理 学 II		2	
		哲 学 I		2	
		哲 学 II		2	
		論 理 学 I		2	
		論 理 学 II		2	
		文 学 I		2	
		文 学 II		2	
		美 術 I		2	
		美 術 II		2	
	社 会 系	法 学 I		2	日本国憲法 2単位含む 4単位以上 修得すること
		法 学 II		2	
		政 治 学 I		2	
		政 治 学 II		2	
		経 済 学 I		2	
		経 済 学 II		2	
		社 会 学 I		2	
		社 会 学 II		2	
		教 育 学 I		2	
		教 育 学 II		2	
		歴 史 学 I		2	
		歴 史 学 II		2	
	基 幹 系	地 理 学 I		2	4単位以上 修得すること
		地 理 学 II		2	
		数 学 I		2	
		数 学 II		2	
		統 計 学 I		2	
		統 計 学 II		2	
		物 理 学 I		2	
		物 理 学 II		2	
		化 学 I		2	
		化 学 II		2	
	主 題 系	生 物 学 I		2	4単位以上 修得すること
		生 物 学 II		2	
		情 報 科 学 I		2	
		情 報 科 学 II		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 I		2	
		仏 教 と 現 代 社 会 II		2	
		禅 と 人 間 I		2	
		禅 と 人 間 II		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 I		2	
		生 命 に 関 する 諸 問 題 II		2	
		人 間 行 動 の 理 解 I		2	
		人 間 行 動 の 理 解 II		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 I		2	
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 II		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 I		2	
		日 本 の 文 化 と 社 会 II		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 I		2	
		ア ジ ア の 文 化 と 社 会 II		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 I		2	
		ヨ ー ロ ッ パ の 文 化 と 社 会 II		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 I		2	
		英 語 圏 の 文 化 と 社 会 II		2	
		人 間 と 環 境 I		2	
		人 間 と 環 境 II		2	
		情 報 と 社 会 I		2	
		情 報 と 社 会 II		2	
		産 業 と 科 学 I		2	
		産 業 と 科 学 II		2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 I		2	
		ソ フ ト ウ ェ ア 概 論 II		2	
		健 康 の 科 学		2	

20単位以上
修得すること(注)

部門	分野	授業科目名	必修単位	選択単位	備考
教養教育科目	外国語	英語 I a	1		6単位修得すること
		英語 II a	1		
		英語 I b	1		
		英語 II b	1		
		英語 I c	1		
		英語 II c	1		ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語の中から1言語を選択して2単位修得すること
		ドイツ語 I		1	
		ドイツ語 II		1	
		中国語 I		1	
		中国語 II		1	
		フランス語 I		1	
		フランス語 II		1	
		韓国語 I		1	
		韓国語 II		1	
	文化事情	ドイツ文化事情		2	2単位修得すること
		中国文化事情		2	
		フランス文化事情		2	
		韓国文化事情		2	
	言語科目	英会話 I		1	(注)
		英会話 II		1	
		英会話 III		1	
		英会話 IV		1	
		メデイア英語 I		1	
		メデイア英語 II		1	
		メデイア英語 III		1	
		メデイア英語 IV		1	
		英語表現法 I		1	
		英語表現法 II		1	
		英語表現法 III		1	
		英語表現法 IV		1	
		英語読解法 I		1	
		英語読解法 II		1	
		英語読解法 III		1	
		英語読解法 IV		1	
		実践英語 I		1	
		実践英語 II		1	
		実践英語 III		1	
		実践英語 IV		1	
		ドイツ語 I (基礎)		1	
		ドイツ語 II (基礎)		1	
		ドイツ語 III (読解)		1	
		ドイツ語 IV (読解)		1	
		ドイツ語 III (表現)		1	
		ドイツ語 IV (表現)		1	
		ドイツ語 III (総合)		1	
		ドイツ語 IV (総合)		1	
		ドイツ語会話 I		1	
		ドイツ語会話 II		1	
		中国語 I (基礎)		1	
		中国語 II (基礎)		1	
		中国語 III (読解)		1	
		中国語 IV (読解)		1	
		中国語 III (表現)		1	
		中国語 IV (表現)		1	
		中国語 III (総合)		1	
		中国語 IV (総合)		1	
		中国語会話 I		1	
		中国語会話 II		1	
		フランス語 I (基礎)		1	
		フランス語 II (基礎)		1	
		フランス語 III (読解)		1	
		フランス語 IV (読解)		1	
		フランス語 III (表現)		1	
		フランス語 IV (表現)		1	
		フランス語 III (総合)		1	
		フランス語 IV (総合)		1	
		フランス語会話 I		1	
		フランス語会話 II		1	

部門	分野		授業科目名	必修単位	選択単位	備考
教養 教育 科目	外国語 科目	エレクトイブ 科目	韓国語Ⅰ（基礎）		1	(注)
			韓国語Ⅱ（基礎）		1	
			韓国語Ⅲ（読解）		1	
			韓国語Ⅳ（読解）		1	
			韓国語Ⅲ（表現）		1	
			韓国語Ⅳ（表現）		1	
			韓国語Ⅲ（総合）		1	
			韓国語Ⅳ（総合）		1	
			韓国語会話Ⅰ		1	
			韓国語会話Ⅱ		1	
	健康 科学 総合 科目	科学	スポーツ科学Ⅰ	1		} 2単位修得すること
			スポーツ科学Ⅱ	1		
			スポーツ科学Ⅲ		1	} (注)
			スポーツ科学Ⅳ		1	
	海外 事情 科目	海外 事情	海外事情Ⅰ		2	} (注)
			海外事情Ⅱ		2	
			海外事情Ⅲ		1	
			海外事情Ⅳ		1	

(注)

- ・教養基幹科目
- ・エレクトイブ科目
- ・健康総合科学科目の中の必修科目として開講されていない科目
- ・海外事情科目

はそれぞれ表中に示された修得単位以外に履修することができ、16単位まで卒業要件単位となる。

部門	分野	授 業 科 目 名	単 位 数		備 考
			必修	選択	
	専門基礎科目	心 理 学 概 論 I	2		20単位修得
		心 理 学 概 論 II	2		
		心 理 学 統 計 法 I	2		
		心 理 学 統 計 法 II	2		
		認知心理学I (知覚・認知心理学)	2		
		発 達 心 理 学 I	2		
		人格心理学I (感情・人格心理学)	2		
		社会心理学I (社会・集団・家族心理学)	2		
		ストレスマネジメント入門	2		
		心 理 学 研 究 法	2		
	専門基幹科目	学 習 ・ 言 語 心 理 学		2	
		認 知 心 理 学 II		2	
		発 達 心 理 学 II		2	
		人 格 心 理 学 II		2	
		社 会 心 理 学 II		2	
		生理学I (人体の構造と機能及び疾病)		2	
		生 理 学 II		2	
		神 経 ・ 生 理 心 理 学		2	
		生 理 心 理 学		2	
		心 理 学 史		2	
		ス ポ ー ツ 心 理 学		2	
		ポ ジ テ ィ ブ 心 理 学		2	
		カ レ ン ト ト ピ ッ ク ス a		2	
		カ レ ン ト ト ピ ッ ク ス b		2	
		カ レ ン ト ト ピ ッ ク ス c		2	
		カ レ ン ト ト ピ ッ ク ス d		2	
		カ レ ン ト ト ピ ッ ク ス e		2	
		カ レ ン ト ト ピ ッ ク ス f		2	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ		2	
		調 査 法 I		2	
		調 査 法 II		2	
		ストレスマネジメント演習I		2	
		ストレスマネジメント演習II		2	
		心 理 学 特 殊 演 習 I		2	
		心 理 学 特 殊 演 習 II		2	
	専門展開科目	臨床心理学I (臨床心理学概論)		2	講義科目 4単位以上 修得 自専攻分野の 講義科目4単位 以上を含め、20 単位以上修得
		多 職 種 連 携 論		2	
		健 康 ・ 医 療 心 理 学		2	
		臨床心理学II (心理学的支援法)		2	
		心 理 検 査		2	
		司 法 ・ 犯 罪 心 理 学		2	
		精 神 疾 患 と そ の 治 療 I		2	
		精 神 疾 患 と そ の 治 療 II		2	
		発 展 講 義 a		2	
		発 展 講 義 b		2	
		心 理 検 査 演 習 I		2	
		心 理 検 査 演 習 II		2	
		面接法・介入法 (心理的アセスメント)		2	
		人 格 ・ 臨 床 心 理 学 演 習 I		2	
		人 格 ・ 臨 床 心 理 学 演 習 II		2	
	多文化・共生分野	文 化 心 理 学		2	
		障 害 者 ・ 障 害 児 心 理 学		2	
		教育心理学I (教育・学校心理学)		2	
		教 育 心 理 学 II		2	
		障 害 者 教 育 総 論		2	
		肢体不自由者の自立活動の理論と実際		2	
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2	
		知 的 障 害 児 指 導 法		2	
		異 文 化 理 解		2	
		ケ ア マ ネ ジ メ ン ト		2	

44単位以上
修得

※演習科目
4単位以上を
含むこと

部門	分野	授 業 科 目 名	単 位 数		備 考		
			必修	選択			
専門教育科目	多文化・共生分野	発 展 講 義 c		2	講義科目 4単位以上 修得		
		発 展 講 義 d		2			
		発 展 講 義 e		2			
		発 展 講 義 f		2			
		発 展 講 義 g		2			
		発 展 講 義 h		2			
		発達・教育心理学演習Ⅰ		2			
		発達・教育心理学演習Ⅱ		2			
		社会・産業心理学演習Ⅰ		2			
		社会・産業心理学演習Ⅱ		2			
	専門展開科目 情報・ビジネス分野	産業・組織心理学Ⅰ		2			
		産業・組織心理学Ⅱ		2			
		データサイエンス入門		2			
		感 性 工 学		2			
		消 費 者 行 動 論		2			
		製 品 評 価 の 心 理 学		2			
		多 変 量 解 析 Ⅰ		2			
		多 変 量 解 析 Ⅱ		2			
		行 動 経 済 学		2			
		発 展 講 義 i		2			
		発 展 講 義 j		2			
		実 験 心 理 学 演 習 Ⅰ		2			
		実 験 心 理 学 演 習 Ⅱ		2			
		情報ビジネス心理学演習Ⅰ		2			
		情報ビジネス心理学演習Ⅱ		2			
		デジタルデザイン演習		2			
	専門総合科目	心 理 学 実 験 Ⅰ	2		12単位修得		
		心 理 学 実 験 Ⅱ	2				
		プ レ セ ミ ナ ー	2				
		総 合 研 究 演 習 Ⅰ	2				
		総 合 研 究 演 習 Ⅱ	2				
		総 合 研 究 演 習 Ⅲ	2				
	公認心理師 専用科目	卒 業 研 究		6	(注1)		
		公 認 心 理 師 の 職 責		2			
		福 祉 心 理 学		2			
		関 係 行 政 論		2			
		心 理 演 習		2			
		心 理 実 習 Ⅰ		1			
		心 理 実 習 Ⅱ		1			
	資格取得科目 特別支援教育に関	心 理 実 習 Ⅲ		1	(注2)		
		知的障害者の心理・生理・病理		2			
		病弱者の心理・生理・病理		2			
		肢 体 不 自 由 者 教 育 論		2			
		病 弱 者 教 育 論		2			
		視 覚 障 害 者 教 育 総 論		2			
		聴 覚 障 害 者 教 育 総 論		2			
		重複障害・軽度発達障害教育総論		2			

(注1)「公認心理師専用科目」は、卒業要件単位に含めない

(注2)「特別支援教育に関する科目」は、14単位まで卒業要件単位に含むことができる

別 表 10
薬学部 医療薬学科

部門	分野	授 業 科 目 名	単位数又は 時 間 数		備 考
			必修	選択	
教養教育科目	人 文 社 会 系	宗 教 学 I	2		8単位修得
		宗 教 学 II	2		
		心 理 学 I	2		
		心 理 学 II	2		
		哲 学 I		2	(注1)
		哲 学 II		2	
		論 理 学 I		2	
		論 理 学 II		2	
		文 学 I		2	
		文 学 II		2	
		美 術 I		2	
		美 術 II		2	
		法 学 I		2	
		法 学 II		2	
		政 治 学 I		2	
		政 治 学 II		2	
		経 済 学 I		2	
		経 済 学 II		2	
		社 会 学 I		2	
		社 会 学 II		2	
	薬 学 基 礎 系	教 育 学 I		2	16単位修得
		教 育 学 II		2	
		歴 史 学 I		2	
		歴 史 学 II		2	
		地 理 学 I		2	
		地 理 学 II		2	
		化 学 の 基 礎		2	
		化 学 I	2		
		化 学 II	2		
		生 物 学 I	2		
	薬 学 基 礎 系	生 物 学 II	2		2単位以上修得
		物 理 学 I	2		
		物 理 学 II	2		
		数 学 I	2		
		数 学 II	2		
		情 報 統 計 学 I		2	(注2)
		情 報 統 計 学 II		2	
	語 学 系	物 理 学 入 門 I		2	(注2)
		物 理 学 入 門 II		2	
		英 語 I a	1		5単位修得
		英 語 II a	1		
		英 語 I b	1		
		英 語 II b	1		
		英 語 I c	1		(注1)
		ド イ ツ 語 I (基 礎)		1	
		ド イ ツ 語 II (基 礎)		1	
		中 国 語 I (基 礎)		1	
		中 国 語 II (基 礎)		1	
		フ ラ ン ス 語 I (基 礎)		1	
		フ ラ ン ス 語 II (基 礎)		1	
		韓 国 語 I (基 礎)		1	
		韓 国 語 II (基 礎)		1	
	主 題 系	薬 と 社 会		2	2単位修得
	体 育 系	ス ポ ー ツ 科 学 I	1		
		ス ポ ー ツ 科 学 II	1		
	実 習	化 学 実 習	2		4単位修得
		生 物 学 実 習	2		(注2)
		物 理 学 実 習		2	

(注1)から7単位以上(注2)から2単位以上含めて46単位以上修得

部門	分 野		授 業 科 目 の 名 称	単位数又は時間数		備 考		
				必修	選択			
専門教育科目	基礎系	物理系	薬品物理化学Ⅰ	1		6単位修得		
			薬品物理化学Ⅱ	1				
			薬品分析化学	1				
			機器分析学	1				
			製剤学	1				
		化学系	製剤工学	1		8単位修得		
			基礎有機化学	1				
			有機化学Ⅰ	1				
			有機化学Ⅱ	1				
			薬品合成化学	1				
			薬用植物学	1				
			薬生薬学	1				
			天然物化学	1				
			生体有機化学	1				
			生物系	解剖学	1			
		機能形態学		1				
		生理解学		1				
		免疫学		1				
		生体成分代謝学		1				
		酵素学		1				
		分子生物学		1				
		細胞生物学		1				
		微生物学		1				
		微生物薬品学		1				
		基礎感染症学		1				
		医療統計学		1				
		衛生系		環境衛生学	1			
			食品衛生・栄養学	1				
	公衆衛生学		1					
	環境毒性学・放射化学		1					
	医療系	医学概論Ⅰ		1	16単位以上修得 注3			
		医学概論Ⅱ		1				
		薬学概論	1					
		生命と医の倫理	1					
		介護概論	1					
		病理学	1					
		薬物作用学Ⅰ	1					
		薬物作用学Ⅱ	1					
		薬物作用学Ⅲ	1					
		薬物作用学Ⅳ	1					
		医薬品毒性学	1					
		薬物治療学Ⅰ	1					
		薬物治療学Ⅱ	1					
		疾患病態学Ⅰ	1					
		基礎薬物動態学	1					
		医薬品代謝学	1					
		薬物動態学	1					
薬事・法制	1							
臨床系	医薬品情報学	1		10単位修得				
	日本薬局方概論(実務実習事前学習)	1						
	調剤学(実務実習事前学	1						
	処方解析学(実務実習事前	1						
	救急集中治療学(実務実習事前学習)	1						
	がん化学療法学(実務実習事前学習)	1						
	臨床心理学	1						
	臨床コミュニケーション論	1						
	アドバンスト医療薬学Ⅰ	1						
語学系	アドバンスト医療薬学Ⅱ	1		1科目 1単位以上修得 1科目 1単位以上修得 1科目 1単位以上修得				
	薬学英语(前半)	1						
	薬学英语(後半)	1						
	実用薬学英语(前半)	1						
	実用薬学英语(後半)	1						
	外書講読Ⅰ	1						
	外書講読Ⅱ	1						

部門	分 野	授 業 科 目 の 名 称	単位数又は 時 間 数		備 考			
			必 修	選 択				
専門教育科目	実習・演習	早期体験学習Ⅰ	1		48単位修得			
		早期体験学習Ⅱ	1					
		基礎薬学演習Ⅰ	1					
		基礎薬学演習Ⅱ	1					
		基礎薬学実習Ⅰ	2					
		基礎薬学実習Ⅱ	2					
		基礎薬学実習Ⅲ	2					
		基礎薬学実習Ⅳ	2					
		医療薬学実習Ⅰ	2					
		医療薬学実習Ⅱ	2					
		実務実習事前演習Ⅰ	1					
		実務実習事前演習Ⅱ	2					
		実務実習事前演習Ⅲ	2					
		臨床実務実習	20					
		情報処理解演習	1					
		薬学総合演習Ⅰ	2					
		薬学総合演習Ⅱ	4					
	卒業研究	卒業研究	20		20単位修得			
	発展系	疾患病態学Ⅱ	1		8単位修得			11単位以上 修得
		疾患病態学Ⅲ	1					
		医薬品開発学	1					
		漢方薬学	1					
		先端疾病治療学	1					
		統合型学習	2		1単位以上 修得			
		医療経済学	1					
		皮膚科学・化粧品学		1				
		薬局経営学		1	2単位 以上 修得 注3			
		地域医療薬局学		1				
		創薬化学特論		1				
細胞情報学特論			1					
生体予防薬学特論		1						
薬品動態制御学特論		1						
臨床薬学特論		1						
医療薬学特論		1						
薬学アドバンスト海外研修		1	卒業に必要な単位数に算入されない					

注3: 医学概論Ⅰ・Ⅱおよび特論科目の中から4単位以上修得

別表 11
歯学部 歯学科

部門	分野	授業科目名	必修 単位	選択 単位	卒業要件
教養教育科目	教	宗 教 学 I	2		4単位修得すること。
		宗 教 学 II	2		
	教	心 理 学 I	2		4単位修得すること。
		心 理 学 II	2		
	養	哲 学 I		2	6単位以上修得すること。
		哲 学 II		2	
		論 理 学 I		2	
		論 理 学 II		2	
		文 学 I		2	
		文 学 II		2	
		美 術 I		2	
		美 術 II		2	
		法 学 I		2	
		法 学 II		2	
	基	政 治 学 I		2	
		政 治 学 II		2	
		経 済 学 I		2	
		経 済 学 II		2	
	礎	社 会 学 I		2	
		社 会 学 II		2	
		教 育 学 I		2	
		教 育 学 II		2	
	科	地 理 学 I		2	
		地 理 学 II		2	
		歴 史 学 I		2	
		歴 史 学 II		2	
	目	化 学 の 基 礎		2	
		ド イ ツ 語 I (基 礎)		1	
		ド イ ツ 語 II (基 礎)		1	
		中 国 語 I (基 礎)		1	
		中 国 語 II (基 礎)		1	
		フ ラ ン ス 語 I (基 礎)		1	
		フ ラ ン ス 語 II (基 礎)		1	
歯科	歯	物 理 学 I	2		6単位修得すること。
		物 理 学 II	2		
		物 理 学 III	2		
	基	化 学 I	2		6単位修得すること。
		化 学 II	2		
		化 学 実 習	1		
		化 学 演 習	1		
	科	生 物 学 I	2		8単位修得すること。
		生 物 学 II	2		
		生 物 学 実 習	2		
		生 物 学 の 基 礎	2		
	目	情 報 統 計 学 I	2		4単位修得すること。
		情 報 統 計 学 II	2		
	外 国 語 科 目	英 語 I a	1		6単位修得すること。
		英 語 I b	1		
		英 語 II a	1		
		英 語 II b	1		
		英 会 話 I	1		
	健 康 総 合 科 学 科 目	ス ポ ー ツ 科 学 I	1		2単位修得すること
		ス ポ ー ツ 科 学 II	1		

部 門	授 業 科 目 名	必修 単位	卒 業 要 件
専 門 教 育 科 目	歯 学 入 門 セ ミ ナ ー I	1	165 単位修得すること
	歯 学 入 門 セ ミ ナ ー II	1	
	歯 学 入 門 セ ミ ナ ー III	1	
	歯 学 入 門 セ ミ ナ ー IV	1	
	歯 学 入 門 セ ミ ナ ー V	1	
	歯 科 基 礎 科 学	1	
	情 報 の 科 学	1	
	人 体 の 構 造	2	
	実 習：人 体 の 構 造	5	
	歯 の 構 造	1	
	実 習：歯 の 構 造	1	
	細 胞 の 構 造 と 機 能	2	
	実 習：細 胞 の 構 造 と 機 能	3	
	人 体 の 機 能	3.5	
	実 習：人 体 の 機 能	1.5	
	生 命 の 分 子 的 基 盤	3.5	
	実 習：生 命 の 分 子 的 基 盤	1.5	
	生 体 材 料 ・ 歯 科 材 料	3	
	実 習：生 体 材 料 ・ 歯 科 材 料	2	
	実 習：歯 冠 形 成	1	
	社 会 と 歯 学 I	1	
	社 会 と 歯 学 II	2	
	社 会 と 歯 学 III	1	
	全 部 欠 損 補 綴	1	
	放射線・画像診断学(画像検査)1	1	
	放射線・画像診断学(画像検査)2	1	
	臨 床 医 学 (外 科 1)	1	
	臨 床 医 学 (外 科 2)	1	
	病 因 ・ 病 態 ・ 診 断	4	
	実 習：病 因 ・ 病 態 ・ 診 断	4	
	感 染 と 免 疫	3	
	実 習：感 染 と 免 疫	2	
	生 体 と 薬 物	3	
	実 習：生 体 と 薬 物	2	
	硬 組 織 疾 患 の 病 態 と 治 療	2	
	実 習：硬 組 織 疾 患 の 病 態 と 治 療	2	
	実 習：全 部 欠 損 補 綴	2	
	臨 床 歯 科 補 綴 学	1	
	冠 ・ 橋 義 歯 補 綴	1	
	顎 顔 面 部 の 成 長 発 育 と 不 正 咬 合	1	
	医 療 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学	1	
	口 腔 ・ 顎 顔 面 領 域 の 疾 患 I -1	1	
	口 腔 ・ 顎 顔 面 領 域 の 疾 患 I -2	1	
	口 腔 ・ 顎 顔 面 領 域 の 疾 患 II -1	1	
	口 腔 ・ 顎 顔 面 領 域 の 疾 患 II -2	1	
	小 児 の 歯 科 治 療 (1)	1	
	小 児 の 歯 科 治 療 (2)	1	
	臨 床 医 学 (内 科)	2	
	部 分 欠 損 補 綴	1	
	不 正 咬 合 の 診 断 と 治 療	1	
	実 習：社 会 と 歯 学	2	
	歯 髓 組 織 の 常 態 と 疾 患	2	
	実 習：歯 髓 組 織 の 常 態 と 疾 患	2	
	歯 周 組 織 疾 患 の 病 態 と 治 療	2	
	実 習：歯 周 組 織 疾 患 の 診 断 と 治 療	2	
	実 習：部 分 欠 損 補 綴	2	
	実 習：冠 ・ 橋 義 歯 補 綴	2	
	実 習：口 腔 ・ 顎 顔 面 領 域 の 疾 患	1	
	歯 科 麻 酔	1	

部 門	授 業 科 目 名	必修 単位	卒 業 要 件
専 門 教 育 科 目	実 習：小 児 の 歯 科 治 療	1	┌ └
	実 習：不正 咬 合 の 診 断 と 治 療	2	
	臨 床 医 学（小 児 科）	1	
	臨 床 予 備 実 習	3	
	高 齢 者 ・ 在 宅 歯 科 治 療	2	
	障 害 者 の 歯 科 治 療	1	
	顎 顔 面 補 綴	1	
	イン プ ラ ン ト 歯 科 学	1	
	実 習：イン プ ラ ン ト 歯 科 学	1	
	歯 科 法 医 学／歯 科 東 洋 医 学／ ス ポ ー ツ 歯 学	1	
	隣 接 臨 床 医 学	3	
	総 合 示 説（基 礎 医 学 示 説・ 臨 床 医 学 示 説）	2	
	臨 床 実 習・総 合 歯 学・総 合 研 修	44	
	実 習：歯 科 臨 床 解 剖 学	2	

別表 12
自由選択科目

自由選択科目				
部 門	分 野	授 業 科 目 名	単 位	備 考
自由 選 択 科 目		キ ャ リ ア ・ デ ザ イ ン	2	文学部、商学部、経営学部、経済学部、法学部、 総合政策学部、心身科学部、心理学部適用
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	文学部適用
		数 学 の 基 礎	2	} 薬学部適用
		生 物 学 の 基 礎	2	
		海 外 事 情 I	2	} 薬学部・歯学部適用
		海 外 事 情 II	2	
		海 外 事 情 III	1	
		海 外 事 情 IV	1	
		サービ斯拉ーニング実習 I	1	} 文学部、商学部、経営学部、 経済学部、法学部、 総合政策学部、心身科学部、心理学部 歯学部、薬学部適用
		サービ斯拉ーニング実習 II	1	
		サービ斯拉ーニング実習 III	1	
		サービ斯拉ーニング実習 IV	1	
		課 題 解 決 型 演 習 I	2	
		課 題 解 決 型 演 習 II	2	
		課 題 解 決 型 演 習 III	2	
		課 題 解 決 型 演 習 IV	2	
		長 期 インターンシップ	4	
		地 域 連 携 学 A	2	
		地 域 連 携 学 B	2	
		地 域 連 携 学 C	2	
		地 域 連 携 学 D	2	
自由選択科目の単位は卒業に必要な単位数に算入されない。 ただし、文学部はキャリアデザイン、インターンシップ、地域連携学A～Dのいずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。 また、商学部、経営学部、経済学部、法学部では課題解決型演習 I および地域連携学Aは自由選択科目として適用されない。				

(甲)教員免許状の種類

学 部	学 科	教 員 免 許 状 の 種 類 (免 許 教 科)	
文 学 部	宗 教 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	宗 教 宗 教
	歴 史 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会 地 理 歴 史 公 民
	英 語 英 米 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語 英 語
	日 本 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	国 語 国 語 書 道
	グローバル英語学科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語 英 語
商 学 部	商 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	商 業 情 報
経 営 学 部	経 営 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	商 業 公 民
経 済 学 部	経 済 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
法 学 部	法 律 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会 公 民
	現 代 社 会 法 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会 公 民
総 合 政 策 学 部	総 合 政 策 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会 公 民 情 報
心 理 学 部	心 理 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 特 別 支 援 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民 知 的 障 害 肢 体 不 自 由 病 弱
心 身 科 学 部	健 康 科 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状 養 護 教 諭 1 種 免 許 状	保 健 体 育 保 健 保 健 体 育 保 健
	健 康 栄 養 学 科	栄 養 教 諭 1 種 免 許 状	
備 考			

(乙)教科及び教職に関する科目、養護及び教職に関する科目、栄養に係る教育及び教職に関する科目(教育の基礎的理解に関する科目等)

中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教 育 原 論	2		
			教 育 思 想 論		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教 職 論 I	2		
			教 職 論 II		2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教 育 行 政 学 I	2		
			教 育 行 政 学 II		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教 育 心 理 学	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	中10 高8	特 別 支 援 教 育	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教 育 課 程 論	2		
	道徳の理論及び指導法		道 徳 教 育 の 理 論 と 実 践	2		中学校免許のみ
	総合的な学習の時間の指導法		特 別 活 動 及 び 総 合 的 な 学 習 の 時 間 の 指 導 法	2		
	特別活動の指導法		教 育 方 法 論	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2		
	生徒指導の理論及び方法		教 育 相 談	2		
教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	中5 高3	教 育 実 習 事 前 事 後 指 導 (中 ・ 高)	1		中免は中学校教育実習必修、高免は中学校教育実習又は高等学校教育実習のいずれか選択必修
	教育実習		中 学 校 教 育 実 習		4	
			高 等 学 校 教 育 実 習		2	
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	2		
大学が独自に設定する科目			教 育 評 価 論		2	

高等学校及び中学校の免許状を得ようとする者は、本学当該学部卒業に必要な単位を修得した上、更に別表12の(乙)及び(丙)の該当科目を修得しなければならない。

養護教諭1種免許状

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教 育 原 論 教 育 思 想 論	2	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教 職 論 I 教 職 論 II	2	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教 育 行 政 学 I 教 育 行 政 学 II	2	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教 育 心 理 学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特 別 支 援 教 育	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教 育 課 程 論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する科目	6	道徳教育の理論と実践	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		
	生徒指導の理論及び方法		教 育 方 法 論	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		生 徒 指 導 論	2		
			教 育 相 談	2		
教育実践に関する科目	養護実習	5	教育実習事前事後指導(養護教諭)	1		
	学校体験活動		養護教育実習	4		
	教職実践演習	2	教 職 実 践 演 習(養護教諭)	2		

養護教諭の免許状を得ようとする者は、本学当該学部卒業に必要な単位を修得した上、更に別表12の(乙)及び(丙)の該当科目を修得しなければならない。

栄養教諭1種免許状

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		備考
				必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教 育 原 論 教 育 思 想 論	2	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教 職 論 I 教 職 論 II	2	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教 育 行 政 学 I 教 育 行 政 学 II	2	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教 育 心 理 学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特 別 支 援 教 育	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教 育 課 程 論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する科目	6	道徳教育の理論と実践	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		
	生徒指導の理論及び方法		教 育 方 法 論	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)		生 徒 指 導 論	2		
			教 育 相 談	2		
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	教育実習事前事後指導(栄養教諭)	1		
	学校体験活動		栄養教諭教育実習	1		
	教職実践演習	2	教 職 実 践 演 習(栄養教諭)	2		

栄養教諭の免許状を得ようとする者は、本学当該学部卒業に必要な単位を修得した上、更に別表12の(乙)及び(丙)の該当科目を修得しなければならない。

(丙)教科及び教科の指導法に関する科目、特別支援教育に関する科目、養護に関する科目、栄養に係る教育に関する科目

学科	免許教科	免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目					
		科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数		備考		
					必修	選択			
文 学 部 宗 教 文 化 学 科	宗	教 科 に 関 す る	宗教学	仏教入門Ⅰ	2				
				仏教入門Ⅱ	2				
				宗教学入門Ⅰ	2				
				宗教学入門Ⅱ	2				
				宗教学と民俗文化Ⅰ		2			
				宗教学と民俗文化Ⅱ		2			
				現代社会と宗教Ⅰ		2			
				現代社会と宗教Ⅱ		2			
				比較宗教思想Ⅰ		2			
				比較宗教思想Ⅱ		2			
				比較宗教社会学Ⅰ		2			
				宗教学社会学Ⅰ		2			
				宗教学心理学Ⅰ		2			
				宗教学心理学Ⅱ		2			
				宗教学人類学Ⅰ		2			
				宗教学人類学Ⅱ		2			
				仏典講読Ⅰ		2			
				仏典講読Ⅱ		2			
				中国仏教の思想Ⅰ		2			
				中国仏教の思想Ⅱ		2			
				仏教の中国的发展Ⅰ		2			
				仏教の中国的发展Ⅱ		2			
				日本仏教の思想Ⅰ		2			
				日本仏教の思想Ⅱ		2			
				仏教の日本的发展Ⅰ		2			
				仏教の日本的发展Ⅱ		2			
				現代社会と仏教Ⅰ		2			
				現代社会と仏教Ⅱ		2			
				禅の思想Ⅰ		2			
				禅の思想Ⅱ		2			
				禅の思想Ⅲ		2			
文 化 学 科	教	専 門 的 事 項	宗教史	仏教の歴史Ⅰ		2			
				仏教の歴史Ⅱ		2			
				宗教学文化史Ⅰ	2				
				宗教学文化史Ⅱ	2				
				比較宗教史Ⅰ	2				
				比較宗教史Ⅱ	2				
				宗教学史Ⅰ		2			
				宗教学史Ⅱ		2			
				日本仏教史Ⅰ		2			
				日本仏教史Ⅱ		2			
				禅の歴史Ⅰ		2			
				禅の歴史Ⅱ		2			
学 科	教	専 門 的 事 項	「教理学、哲学」	禅学入門Ⅰ		2			
				禅学入門Ⅱ		2			
				宗教学理学Ⅰ	2				
				宗教学理学Ⅱ	2				
				禅語録講読Ⅰ		2			
				禅語録講読Ⅱ		2			
				西洋宗教の思想Ⅰ		2			
				西洋宗教の思想Ⅱ		2			
				インドの思想Ⅰ		2			
				インドの思想Ⅱ		2			
				中国の思想Ⅰ		2			
				中国の思想Ⅱ		2			
学 科	教	専 門 的 事 項	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	宗教学科教科法Ⅰ	2				中・高必修
				宗教学科教科法Ⅱ	2				中・高必修
				宗教学科教科法Ⅲ		2			中のみ必修

文学部 英語英米文化学科	英語	専門的関する	異文化理解	Culture through English I a (国際文化入門) Culture through English I b (国際文化入門) 比較文化論 欧米文化特講 II a 欧米文化特講 II b 欧米文化特講 V a 欧米文化特講 V b	2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2	
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		英語科教 育 法 I 英語科教 育 法 II 英語科教 育 法 III 英語科教 育 法 IV	2 2 2 2	2 2 2 2	中・高必修 中・高必修 中のみ必修 中のみ必修
文学部 国語 日本文化学科	国語	教科に	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学 I 日本語学 II 日本語の文法 I 日本語の文法 II 日本語の音声 I 日本語の音声 II 日本語の表現 I 日本語の表現 II	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2	
				日本文学の歴史 I 日本文学の歴史 II 日本文学の近代文学 I 日本文学の近代文学 II 近代文学研究 I 近代文学研究 II 日本の古典文学 I 日本の古典文学 II 古典文学研究 I 古典文学研究 II 講読(言語) I 講読(言語) II 講読(文学) I 講読(文学) II	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
		専門的	漢文学	中国の古典 I 中国の古典 II 日本文化特講 7 日本文化特講 8 講読(思想と芸術) I 講読(思想と芸術) II	2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2	
				書道文化 1 I 書道文化 1 II 書道文化 2 I 書道文化 2 II 書道文化 3 I 書道文化 3 II 書道文化 4 I 書道文化 4 II 書道文化 5 I 書道文化 5 II	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中学校免許のみ
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		国語科教 育 法 I 国語科教 育 法 II 国語科教 育 法 III 国語科教 育 法 IV	2 2 2 2	2 2 2 2	中・高必修 中・高必修 中のみ必修 中のみ必修

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

心身保健	教科に関する専門的事項	体育実技	体育実技（器械運動）	1	1科目以上 選択必修 高等学校免許のみ		
			体育実技（陸上競技）	1			
			体育実技（水泳）	1			
			体育実技（バスケットボール）	1			
			体育実技（サッカー）	1			
			体育実技（ラグビー）	1			
			体育実技（バレーボール）	1			
			体育実技（テニス）	1			
			体育実技（バドミントン）	1			
			体育実技（ソフトボール）	1			
			体育実技（柔道）	1			
			体育実技（剣道）	1			
			体育実技（ダンス）	1			
			レクリエーションスポーツ実習Ⅰ	1			
			レクリエーションスポーツ実習Ⅱ	1			
			学部の健康科	教科に関する専門的事項		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育原理
スポーツ心理学	2						
スポーツ経営学	2						
スポーツ社会学	2						
スポーツ文化論	2						
運動学(運動方法学を含む。)	2						
生理学(運動生理学を含む。)	生理心理学	2					
	運動生理学	2					
	健康スポーツ科学入門	2					
	衛生学・公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学			2		
		環境健康医学			2		
健康統計学	健康統計学	2					
	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健(学校安全等を含む)			2	中・高必修 中・高必修 中のみ必修 中のみ必修	
		小児科学			2		
		精神医学・精神保健学			2		
		小児保健学			2		
ストレス科学論		2					
救急・応急処置	救急・応急処置	2					
	健康脳科学入門	2					
	保健体育科教育法Ⅰ	保健体育科教育法Ⅰ	2				
		保健体育科教育法Ⅱ	2				
		保健体育科教育法Ⅲ	2				
保健体育科教育法Ⅳ		2					
康学科保	教科に関する専門的事項	生理学・栄養学 ※中学校	生 理 学	2	高等学校 免許のみ		
			運 動 生 理 学	2			
			臨 床 栄 養 学	2			
			ス ポー ツ 栄 養 学	2			
			食 物 化 学 (食 品 学 を 含 む)	2			
		栄 養 生 化 学	2				
		「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」※高等学校	微 生 物 ・ 免 疫 学	2	高等学校 免許のみ		
			解 剖 学	2			
		衛生学・公衆衛生学	衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学	2			
			予 防 医 学	2			
		環境健康医学	環 境 健 康 医 学	2			
			健 康 統 計 学	2			
		学部の健康科	教科に関する専門的事項	学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学 校 保 健 (学 校 安 全 等 を 含 む)	2	
					小 児 科 学	2	
					精 神 医 学 ・ 精 神 保 健 学	2	
					ス ト レ ス 科 学 論	2	
喫 煙 と 健 康	2						
救急・応急処置	救 急 ・ 応 急 処 置			2			
	学 校 保 健 演 習			2			
	小 児 保 健 学			2			
	健 康 脳 科 学 入 門			2			
	メ ン タ ル ヘ ル ス			2			
保健科教育法Ⅰ	保 健 科 教 育 法 Ⅰ			2	中・高必修 中・高必修 中のみ必修 中のみ必修		
	保 健 科 教 育 法 Ⅱ			2			
	保 健 科 教 育 法 Ⅲ			2			
	保 健 科 教 育 法 Ⅳ			2			
	保 健 科 教 育 法 Ⅴ			2			
	保 健 科 教 育 法 Ⅵ			2			

心 身 科 学 部 健 康 科 学 科	養 護 に 関 す る 科 目	養	衛生学・公衆衛生学(予防医学を含む。)	衛 生 学 ・ 公 衆 衛 生 学 予 防 医 学 環 境 健 康 医 学 健 康 統 計 学	2 2	2 2	
		護	学校保健	学 校 保 健 (学 校 安 全 等 を 含 む) 小 学 児 科 学 小 学 校 保 健 演 習 学 小 学 児 保 健 学	2 2	2 2	
		に	養護概説	養 護 概 説 I 養 護 概 説 II	2 2		
			健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	健 康 相 談 (カ ウ ン セ リ ン グ) 健 康 情 報 と 医 学	2	2	
		関	栄養学(食品学を含む。)	臨 床 栄 養 学 ス ポ ー ツ 栄 養 学 食 物 化 学 (食 品 学 を 含 む) 栄 養 生 化 学	2 2 2	2 2	
			解剖学・生理学	解 生 剖 学 生 運 動 生 理 学	2 2		
		す	「微生物学、免疫学、薬理概論」	微 生 物 ・ 免 疫 学 薬 理 概 論	2 2		
			精神保健	精 神 医 学 ・ 精 神 保 健 学 臨 床 神 経 学 ス ト レ ス 科 学 論 健 康 心 理 学 入 門 健 康 脳 科 学 入 門 メ ン タ ル ヘ ル ス	2 2 2 2 2	2 2 2 2 2	
		目	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	看 護 演 習 学 看 護 実 習 学 母 性 看 護 学 救 急 ・ 応 急 処 置	2 2 4 2	2	
心 身 科 学 部 健 康 栄 養 学 科	栄 養 教 育 論	栄 養 に 係 る 教 育 に 関 す る 科 目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	学 校 栄 養 教 育 法	2		
			幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項				
			食生活に関する歴史的及び文化的事項				
		栄 養 に 係 る 教 育 に 関 す る 科 目	食に関する指導の方法に関する事項	食 育 指 導 の 法 理 論 と 方 法	2		
			幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項				

別 表 14

(甲)図書館司書に関する科目

群	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
甲 群	生涯学習概論	2		
	図書館概論	2		
	図書館制度・経営論	2		
	図書館情報技術論	2		
	図書館サービス概論	2		
	情報サービス論	2		
	児童サービス論	2		
	情報サービス演習	2		
	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	2		
	情報資源組織演習	2		
乙 群	図書館基礎特論		1	2科目以上選択必修
	図書館サービス特論		1	
	図書館情報資源特論		1	
	図書・図書館史		1	
	図書館施設論		1	

別 表 14

(乙)司書教諭に関する科目

科目	授 業 科 目	単位数		備考
		必修	選択	
司書教諭科目	学校経営と学校図書館	2		
	学校図書館メディアの構成	2		
	学習指導と学校図書館	2		
	読書と豊かな人間性	2		
	情報メディアの活用	2		

別 表 15

(甲)博物館学芸員に関する科目

授 業 科 目	単 位 数		備 考
	必 修	選 択	
生 涯 学 習 概 論	2		
博 物 館 概 論	2		
博 物 館 経 営 論	2		
博 物 館 資 料 論	2		
博 物 館 資 料 保 存 論	2		
博 物 館 展 示 論	2		
博物館情報・メディア論	2		
博 物 館 教 育 論	2		
博物館実習(学内)	2		
博物館実習(館務)	1		

(乙)削除

別表 15

(丙) 社会教育主事に関する科目 (文学部全学科)

科 目 (法 令 上 の 科 目)	単位	相当科目 (大学における開講科目)	単 位 数		備 考
			必修	選択	
生 涯 学 習 概 論	4	生 涯 学 習 社 会 論	2		
		生 涯 学 習 概 論	2		
生 涯 学 習 支 援 論	4	生 涯 学 習 支 援 論 I	2		
		生 涯 学 習 支 援 論 II	2		
社 会 教 育 経 営 論	4	社 会 教 育 経 営 論 I	2		
		社 会 教 育 経 営 論 II	2		
社 会 教 育 特 講	8	機 会 均 等 論		2	8単位以上修得
		格 差 社 会 論		2	
		男 女 共 生 社 会 論		2	
		情 報 社 会 論		2	
		多 文 化 共 生 社 会 論		2	
		コ ミ ュ ニ テ ィ 論		2	
		図 書 館 概 論		2	
		博 物 館 概 論		2	
社 会 教 育 実 習	1	社 会 教 育 実 習 I	1		
	3	社 会 教 育 演 習	2		
社会教育演習、社会教育実習、社会教育 課 題 研 究 の う ち 一 以 上 の 科 目		社 会 教 育 実 習 II	1		

(丁) 社会教育主事に関する科目 (総合政策学科)

科 目 (法 令 上 の 科 目)	単位	相当科目 (大学における開講科目)	単 位 数		備 考
			必修	選択	
生 涯 学 習 概 論	4	生 涯 学 習 社 会 論	2		
		生 涯 学 習 概 論	2		
生 涯 学 習 支 援 論	4	生 涯 学 習 支 援 論 I	2		
		生 涯 学 習 支 援 論 II	2		
社 会 教 育 経 営 論	4	社 会 教 育 経 営 論 I	2		
		社 会 教 育 経 営 論 II	2		
社 会 教 育 特 講	8	機 会 均 等 論		2	8単位以上修得
		格 差 社 会 論		2	
		男 女 共 生 社 会 論		2	
		情 報 社 会 論		2	
		多 文 化 共 生 社 会 論		2	
		コ ミ ュ ニ テ ィ 論		2	
		図 書 館 概 論		2	
		博 物 館 概 論		2	
社 会 教 育 実 習	1	社 会 教 育 実 習 I	1		
	3	社 会 教 育 演 習	2		
社会教育演習、社会教育実習、社会教育 課 題 研 究 の う ち 一 以 上 の 科 目		社 会 教 育 実 習 II	1		

(戊) 社会教育主事に関する科目 (健康科学科)

科 目 (法 令 上 の 科 目)	単位	相当科目 (大学における開講科目)	単 位 数		備 考
			必修	選択	
生 涯 学 習 概 論	4	生 涯 学 習 社 会 論	2		
		生 涯 学 習 概 論	2		
生 涯 学 習 支 援 論	4	生 涯 学 習 支 援 論 I	2		
		生 涯 学 習 支 援 論 II	2		
社 会 教 育 経 営 論	4	社 会 教 育 経 営 論 I	2		
		社 会 教 育 経 営 論 II	2		
社 会 教 育 特 講	8	長 寿 科 学		2	8単位以上修得
		社会福祉・教育（社会保 障制度、リハビリテー ション概論及び関係法規 を 含 む ）		2	
		レ ク リ エ ー シ ョ ン ス ポ ー ツ 論		2	
		ス ポ ー ツ 文 化 論		2	
		環 境 健 康 医 学		2	
		社 会 心 理 学		2	
		ス ポ ー ツ 社 会 学		2	
		ス ポ ー ツ 情 報 論		2	
		図 書 館 概 論		2	
		博 物 館 概 論		2	
		特 別 支 援 教 育		2	
社 会 教 育 実 習	1	社 会 教 育 実 習 I	1		
社会教育演習、社会教育実習、社会教育 課 題 研 究 の う ち 一 以 上 の 科 目	3	社 会 教 育 演 習	2		
		社 会 教 育 実 習 II	1		

別表16-1

(単位:円)

入学検定料

試験種別		金額	備考
※前期試験A・B・M		35,000	2回目以降20,000円
※センタープラス試験		10,000	
※「センター試験」利用試験		20,000	2学科目以降10,000円
※中期試験		35,000	
※後期試験			
推薦入学試験		35,000	
第3学年編入学試験			
第2学年編入学試験			
薬学部・歯学部第2学年編入学試験			
学士入学試験			
帰国生徒入学試験			
アドミッション・オフィス入試	1次選考	15,000	
	2次選考	20,000	
社会人入学試験		25,000	
外国人留学生入学試験		17,000	
留学生別科入学試験		10,000	

※Net出願の場合、5,000円減額

別表16-2

(単位:円)

学納金

学部学科	学費	学 年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
文学部 宗教文化学科 歴史学科 英語英米文化学科 日本文化学科 グローバル英語学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	370,000	380,000	390,000	400,000	—	—
	授業料	670,000	680,000	690,000	700,000	—	—
	計	1,280,000	1,060,000	1,080,000	1,100,000	—	—
商学部 商学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	370,000	380,000	390,000	400,000	—	—
	授業料	640,000	650,000	660,000	670,000	—	—
	計	1,250,000	1,030,000	1,050,000	1,070,000	—	—
経営学部 経営学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	370,000	380,000	390,000	400,000	—	—
	授業料	640,000	650,000	660,000	670,000	—	—
	計	1,250,000	1,030,000	1,050,000	1,070,000	—	—
経済学部 経済学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	370,000	380,000	390,000	400,000	—	—
	授業料	640,000	650,000	660,000	670,000	—	—
	計	1,250,000	1,030,000	1,050,000	1,070,000	—	—
法学部 法律学科 現代社会法学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	370,000	380,000	390,000	400,000	—	—
	授業料	640,000	650,000	660,000	670,000	—	—
	計	1,250,000	1,030,000	1,050,000	1,070,000	—	—
総合政策学部 総合政策学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	370,000	380,000	390,000	400,000	—	—
	授業料	690,000	700,000	710,000	720,000	—	—
	計	1,300,000	1,080,000	1,100,000	1,120,000	—	—
心身科学部 心理学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	施設設備資金	50,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	370,000	380,000	390,000	400,000	—	—
	授業料	690,000	700,000	710,000	720,000	—	—
	実験実習料	別表16-3による				—	—
	計	1,350,000	1,080,000	1,100,000	1,120,000	—	—
心身科学部 健康科学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	施設設備資金	50,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	390,000	400,000	410,000	420,000	—	—
	授業料	690,000	700,000	710,000	720,000	—	—
	実験実習料	別表16-3による				—	—
	計	1,370,000	1,100,000	1,120,000	1,140,000	—	—
心身科学部 健康栄養学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	施設設備資金	50,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	450,000	460,000	470,000	480,000	—	—
	授業料	710,000	720,000	730,000	740,000	—	—
	実験実習料	別表16-3による				—	—
	計	1,450,000	1,180,000	1,200,000	1,220,000	—	—

(単位:円)

学納金

学部学科	学費	学 年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
心理学部 心理学科	入学金	240,000	—	—	—	—	—
	施設設備資金	50,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	370,000	380,000	390,000	400,000	—	—
	授業料	690,000	700,000	710,000	720,000	—	—
	実験実習料	別表16-3による				—	—
	計	1,350,000	1,080,000	1,100,000	1,120,000	—	—
薬学部 医療薬学科	入学金	200,000	—	—	—	—	—
	施設設備資金	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
	教育充実費	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	授業料	1,400,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,600,000	1,600,000
	計	2,300,000	2,200,000	2,200,000	2,200,000	2,300,000	2,300,000
歯学部 歯学科	入学金	600,000	—	—	—	—	—
	歯学教育充実資金	1,600,000	—	—	—	—	—
	歯学教育充実費	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000
	授業料	3,700,000	3,700,000	3,700,000	3,700,000	3,700,000	3,700,000
	計	7,200,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
留学生別科	入学金	100,000	—	—	—	—	—
	教育充実費	150,000	—	—	—	—	—
	授業料	450,000	—	—	—	—	—
	計	700,000	—	—	—	—	—

別表16-3

(単位:円)

心身科学部実験実習料

学科	コース	金額		
		2年	3年	4年
心理学科	公認心理師	—	50,000	50,000
	言語聴覚士	90,000	150,000	180,000
健康科学科	健康開発	30,000	30,000	30,000
	スポーツ	30,000	30,000	30,000
	言語聴覚士	50,000	110,000	140,000
健康栄養学科	管理栄養士	—	36,000	12,000
	栄養士	—	12,000	12,000

心理学部実験実習料

学科	コース	金額		
		2年	3年	4年
心理学科	公認心理師	—	50,000	50,000

別 表 17

専攻生・研究生の納付金

	金 額	備 考
専 攻 生	100,000円	年 額
研 究 生	150,000円	年 額

歯学部専攻生について、継続する2年目は、年額50,000円とし、継続する3年目以降は、年額10,000円とする。

別 表 18

(甲) 文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心身科学部(心理学科)・心理学部共通

〔外国人留学生〕

部 門	分 野	担 当 科 目	必 修 単 位	選 択 単 位	備 考
教 養 教 育 科 目	外 国 語 科 目	日 本 語 I a	1		6単位修得すること。
		日 本 語 II a	1		
		日 本 語 I b	1		
		日 本 語 II b	1		
		日 本 語 I c	1		
		日 本 語 II c	1		
		日 本 語 I d		1	4単位修得すること。(ただし、英語 I a～II cのうち4単位を振り替えることができる。)
		日 本 語 II d		1	
		日 本 語 I e		1	
		日 本 語 II e		1	

外国人留学生については、別表1に定める英語 I a～II cの6単位およびドイツ語 I ～II、中国語 I ～II、フランス語 I ～II、韓国語 I ～II、外国語科目の文化事情、のいずれか4単位に代えて、日本語 I a～II eの10単位を履修することができる。

(乙) 歯学部〔外国人留学生〕

部 門	分 野	担 当 科 目	必 修 単 位	選 択 単 位	備 考
教 養 教 育 科 目	外 国 語 科 目	日 本 語 I a	1		6単位修得すること。
		日 本 語 II a	1		
		日 本 語 I b	1		
		日 本 語 II b	1		
		日 本 語 I c	1		
		日 本 語 II c	1		
		日 本 語 I d		1	2単位修得すること。(但し、英語 I a～II b、英会話 I・II、のうち2単位を振り替えることができる。)
		日 本 語 II d		1	
		日 本 語 I e		1	
		日 本 語 II e		1	

外国人留学生については、別表9に定める英語 I a～II b、英会話 I・IIの6単位およびドイツ語 I・II、中国語 I・II、フランス語 I・II、のいずれか2単位に代えて日本語 I a～II eのうち8単位を履修することができます。

別 表 19

(甲) 文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心身科学部(心理学科)・心理学部共通

〔外国人留学生〕

部 門	分 野	担 当 科 目	必 修 単 位	選 択 単 位	備 考
教 養 教 育 科 目	外 国 語 科 目	日 本 事 情 I a		2	い ず れ か 14 単 位 を 修 得 す る こ と。
		日 本 事 情 II a		2	
		日 本 事 情 I b		2	
		日 本 事 情 II b		2	
		日 本 事 情 I c		2	
		日 本 事 情 II c		2	
		日 本 事 情 I d		2	
		日 本 事 情 II d		2	
		日 本 事 情 I e		2	
		日 本 事 情 II e		2	
外国人留学生については、別表1に定める教養教育科目のいずれか14単位に代えて、日本事情 I a～II eの20単位のうち14単位を履修することができる。					

(乙) 歯学部〔外国人留学生〕

部 門	分 野	担 当 科 目	必 修 位 単 位	選 択 位 単 位	備 考
教 養 教 育 科 目	外 国 語 科 目	日 本 事 情 I a		2	い ず れ か 12 単 位 を 修 得 す る こ と。
		日 本 事 情 II a		2	
		日 本 事 情 I b		2	
		日 本 事 情 II b		2	
		日 本 事 情 I c		2	
		日 本 事 情 II c		2	
		日 本 事 情 I d		2	
		日 本 事 情 II d		2	
		日 本 事 情 I e		2	
		日 本 事 情 II e		2	
外国人留学生については、別表8に定める教養教育科目のいずれか12単位に代えて、日本事情Ⅰa～Ⅱeの20単位のうち12単位を履修することができる。					

変更事項を記載した書類

○変更の事由

1. 心理学部心理学科の設置に伴い、入学定員および収容定員を変更することに伴う変更。

○変更点

1. (第4条) 心身科学部心理学科に関する注意書きおよび心理学部心理学科を追加。
2. (第6条) 心身科学部心理学科(入学定員: 140名/2年次・3年次編入学定員: 1名/収容定員: 565名)を削除し、心理学部心理学科(入学定員: 160名/2年次・3年次編入学定員: 1名/収容定員: 645名)を追加。
3. (第8条) 心理学部心理学科の授業科目の区分(別表9)の追加に伴い、条項番号および別表番号を変更。
4. (第8条第2項) 心理学部心理学科の卒業要件単位数の追加に伴い、条項番号の変更。
5. (第16条の2)(第31条)(第37条) 心理学部を追加。
6. (第38条) 心理学部の学位の称号を追加。
7. (第39条)(第53条の3)(第54条の3) 別表番号を変更
8. (附則) 心理学部設置に伴う施行日を追加

新	旧																																																															
愛知学院大学学則	愛知学院大学学則																																																															
第1章 総 則	第1章 総 則																																																															
～ 略 ～	～ 略 ～																																																															
第4条 本大学に下記の学部及び学科を置き、修業年限は次のとおりとする。	第4条 本大学に下記の学部及び学科を置き、修業年限は次のとおりとする。																																																															
<table><tr><th>学 部</th><th>学 科</th><th>修業年限</th></tr><tr><td>文学部</td><td>宗教文化学科 歴史学科 英語英米文化学科 日本文化学科 グローバル英語学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>商学部</td><td>商学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>経営学部</td><td>経営学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>経済学部</td><td>経済学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>法学部</td><td>法律学科 現代社会法学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>総合政策学部</td><td>総合政策学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>心身科学部</td><td>心理学科（注） 健康科学科 健康栄養学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td><u>心理学部</u></td><td><u>心理学科</u></td><td><u>4 年</u></td></tr><tr><td>薬学部</td><td>医療薬学科</td><td>6 年</td></tr><tr><td>歯学部</td><td>歯学科</td><td>6 年</td></tr></table>	学 部	学 科	修業年限	文学部	宗教文化学科 歴史学科 英語英米文化学科 日本文化学科 グローバル英語学科	4 年	商学部	商学科	4 年	経営学部	経営学科	4 年	経済学部	経済学科	4 年	法学部	法律学科 現代社会法学科	4 年	総合政策学部	総合政策学科	4 年	心身科学部	心理学科（注） 健康科学科 健康栄養学科	4 年	<u>心理学部</u>	<u>心理学科</u>	<u>4 年</u>	薬学部	医療薬学科	6 年	歯学部	歯学科	6 年	<table><tr><th>学 部</th><th>学 科</th><th>修業年限</th></tr><tr><td>文学部</td><td>宗教文化学科 歴史学科 英語英米文化学科 日本文化学科 グローバル英語学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>商学部</td><td>商学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>経営学部</td><td>経営学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>経済学部</td><td>経済学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>法学部</td><td>法律学科 現代社会法学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>総合政策学部</td><td>総合政策学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>心身科学部</td><td>心理学科 健康科学科 健康栄養学科</td><td>4 年</td></tr><tr><td>薬学部</td><td>医療薬学科</td><td>6 年</td></tr><tr><td>歯学部</td><td>歯学科</td><td>6 年</td></tr></table>	学 部	学 科	修業年限	文学部	宗教文化学科 歴史学科 英語英米文化学科 日本文化学科 グローバル英語学科	4 年	商学部	商学科	4 年	経営学部	経営学科	4 年	経済学部	経済学科	4 年	法学部	法律学科 現代社会法学科	4 年	総合政策学部	総合政策学科	4 年	心身科学部	心理学科 健康科学科 健康栄養学科	4 年	薬学部	医療薬学科	6 年	歯学部	歯学科	6 年
学 部	学 科	修業年限																																																														
文学部	宗教文化学科 歴史学科 英語英米文化学科 日本文化学科 グローバル英語学科	4 年																																																														
商学部	商学科	4 年																																																														
経営学部	経営学科	4 年																																																														
経済学部	経済学科	4 年																																																														
法学部	法律学科 現代社会法学科	4 年																																																														
総合政策学部	総合政策学科	4 年																																																														
心身科学部	心理学科（注） 健康科学科 健康栄養学科	4 年																																																														
<u>心理学部</u>	<u>心理学科</u>	<u>4 年</u>																																																														
薬学部	医療薬学科	6 年																																																														
歯学部	歯学科	6 年																																																														
学 部	学 科	修業年限																																																														
文学部	宗教文化学科 歴史学科 英語英米文化学科 日本文化学科 グローバル英語学科	4 年																																																														
商学部	商学科	4 年																																																														
経営学部	経営学科	4 年																																																														
経済学部	経済学科	4 年																																																														
法学部	法律学科 現代社会法学科	4 年																																																														
総合政策学部	総合政策学科	4 年																																																														
心身科学部	心理学科 健康科学科 健康栄養学科	4 年																																																														
薬学部	医療薬学科	6 年																																																														
歯学部	歯学科	6 年																																																														
<u>（注） 令和4年4月から心身科学部心理学科の学生募集を停止し、在学生の卒業を待 って廃止。なお、令和5年4月から同2年次編入、令和6年4月から同3年次編入 の学生募集を停止する。</u>																																																																
～ 略 ～	～ 略 ～																																																															

第6条 本大学各学部の第1年次に入学を許可する学生の定員、第2年次・第3年次に編入学を許可する学生の定員及び収容定員は次のとおりとする。

		入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
文学部	宗教文化学科	70名	1名	1名	285名
	歴史学科	130名	1名	1名	525名
	英語英米文化学科	110名	1名	1名	445名
	日本文化学科	110名	1名	1名	445名
	グローバル英語学科	110名	1名	1名	445名
商学部	商学科	250名	1名	1名	1,005名
経営学部	経営学科	290名	1名	1名	1,165名
経済学部	経済学科	250名	1名	1名	1,005名
法学部	法律学科	190名	1名	1名	765名
	現代社会法学科	105名	1名	1名	425名
総合政策学部	総合政策学科	210名	1名	1名	845名
心身科学部	健康科学科	180名	1名	1名	725名
	健康栄養学科	80名	1名	1名	320名
<u>心理学部</u>	<u>心理学科</u>	<u>160名</u>	<u>1名</u>	<u>1名</u>	<u>645名</u>
薬学部	医療薬学科	145名	若干名		870名
歯学部	歯学科	125名	若干名		750名

第2章 教育課程（授業科目・単位数）

～ 略 ～

第6条 本大学各学部の第1年次に入学を許可する学生の定員、第2年次・第3年次に編入学を許可する学生の定員及び収容定員は次のとおりとする。

		入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
文学部	宗教文化学科	70名	1名	1名	285名
	歴史学科	130名	1名	1名	525名
	英語英米文化学科	110名	1名	1名	445名
	日本文化学科	110名	1名	1名	445名
	グローバル英語学科	110名	1名	1名	445名
商学部	商学科	250名	1名	1名	1,005名
経営学部	経営学科	290名	1名	1名	1,165名
経済学部	経済学科	250名	1名	1名	1,005名
法学部	法律学科	190名	1名	1名	765名
	現代社会法学科	105名	1名	1名	425名
総合政策学部	総合政策学科	210名	1名	1名	845名
心身科学部	<u>心理学科</u>	<u>140名</u>	<u>1名</u>	<u>1名</u>	<u>565名</u>
	健康科学科	180名	1名	1名	725名
	健康栄養学科	80名	1名	1名	320名
薬学部	医療薬学科	145名	若干名		870名
歯学部	歯学科	125名	若干名		750名

第2章 教育課程（授業科目・単位数）

～ 略 ～

第8条 本大学の授業科目の区分は、次のとおりとする。 ～ 略 ～ (4) 心身科学部健康科学科の授業科目の区分は、別表7(乙)のとおりとする。 (5) 心身科学部健康栄養学科の授業科目の区分は、別表7(丙)のとおりとする。 <u>(6) 心理学部心理学科の授業区分は、別表9のとおりとする。</u> <u>(7) 薬学部の授業科目の区分は、別表10のとおりとする。</u> <u>(8) 歯学部の授業科目の区分は、別表11のとおりとする。</u> <u>(9) 文学部歴史学科の授業科目の区分は、別表2(丙)のとおりとする。</u> <u>(10) 文学部グローバル英語学科の授業科目の区分は、別表2(己)のとおりとする。</u> <u>(11) 全学部の授業科目に自由選択科目を置く。自由選択科目及びその単位数は、別表12のとおりとする。</u> 2 本大学の卒業要件単位は、次のとおりとする。 ～ 略 ～ <u>(6) 心理学部</u> <u>心理学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目36単位以上、専門教育科目76単位以上を含め、128単位以上とする。</u> <u>(7) 薬学部</u> <u>薬学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目46単位以上、専門教育科目140単位以上を含め、186単位以上とする。</u> <u>(8) 歯学部</u> <u>歯学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目46単位、専門教育科目174単位、計220単位とする。</u> <u>なお、履修等に関する取り決めは別に定める。</u> ～ 略 ～	第8条 本大学の授業科目の区分は、次のとおりとする。 ～ 略 ～ (4) 心身科学部健康科学科の授業科目の区分は、別表7(乙)のとおりとする。 (5) 心身科学部健康栄養学科の授業科目の区分は、別表7(丙)のとおりとする。 <u>(6) 薬学部の授業科目の区分は、別表9のとおりとする。</u> <u>(7) 歯学部の授業科目の区分は、別表10のとおりとする。</u> <u>(8) 文学部歴史学科の授業科目の区分は、別表2(丙)のとおりとする。</u> <u>(9) 文学部グローバル英語学科の授業科目の区分は、別表2(己)のとおりとする。</u> <u>(10) 全学部の授業科目に自由選択科目を置く。自由選択科目及びその単位数は、別表11のとおりとする。</u> 2 本大学の卒業要件単位は、次のとおりとする。 ～ 略 ～ <u>(6) 薬学部</u> <u>薬学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目46単位以上、専門教育科目140単位以上を含め、186単位以上とする。</u> <u>(7) 歯学部</u> <u>歯学部の卒業に必要な単位数は、教養教育科目46単位、専門教育科目174単位、計220単位とする。</u> <u>なお、履修等に関する取り決めは別に定める。</u> ～ 略 ～
---	--

第4章 入学・休学・退学・転学・留学・復学・再入学・編入学・除籍・転籍

～ 略 ～

第16条の2 本大学の学部第2年次に編入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

(1)文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部(健康栄養学科を除く)・心理学部

- ① 学校教育法による短期大学を卒業した者
- ② 学校教育法による大学に1年以上在学し、32単位以上を修得した者
- ③ 学校教育法による高等専門学校、旧国立養護教諭養成所及び旧国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者
- ④ 学校教育法による専修学校の専門課程修了者で「専門士」の称号を有する者
- ⑤ 学校教育法による専修学校の修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了した者
- ⑥ 学校教育法による大学への編入学資格基準を満たした専攻科の修業年限2年以上で、62単位以上修得した者

(2)薬学部・歯学部

- ① 学校教育法による大学を卒業した者
- ② 学校教育法による大学に2年以上在学し54単位以上を修得した者

～ 略 ～

第31条 学生は、文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部・心理学部においては8年をこえて、薬学部・歯学部においては12年をこえて、在学することができない。ただし、休学期間はこれを算入しない。なお、薬学部・歯学部の進級不可及び卒業不可による、同一学年に在学できる期間は、別に定める。

第4章 入学・休学・退学・転学・留学・復学・再入学・編入学・除籍・転籍

～ 略 ～

第16条の2 本大学の学部第2年次に編入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

(1)文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部(健康栄養学科を除く)

- ① 学校教育法による短期大学を卒業した者
- ② 学校教育法による大学に1年以上在学し、32単位以上を修得した者
- ③ 学校教育法による高等専門学校、旧国立養護教諭養成所及び旧国立工業教員養成所のいずれかを卒業した者
- ④ 学校教育法による専修学校の専門課程修了者で「専門士」の称号を有する者
- ⑤ 学校教育法による専修学校の修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1700時間以上の専門課程を修了した者
- ⑥ 学校教育法による大学への編入学資格基準を満たした専攻科の修業年限2年以上で、62単位以上修得した者

(2)薬学部・歯学部

- ① 学校教育法による大学を卒業した者
- ② 学校教育法による大学に2年以上在学し54単位以上を修得した者

～ 略 ～

第31条 学生は、文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部においては8年をこえて、薬学部・歯学部においては12年をこえて、在学することができない。ただし、休学期間はこれを算入しない。なお、薬学部・歯学部の進級不可及び卒業不可による、同一学年に在学できる期間は、別に定める。

～ 略 ～

第6章 試験・卒業及び称号

～ 略 ～

第37条 文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部・心理学部においては4年以上、薬学部・歯学部においては6年以上在学し、第8条に定める単位を修得した者には、別に定めるところにより、学位を授与する。

第38条 各学部の卒業生には、下記の区別に従い、学士の学位を授与する。

文学部卒業生は	学士（文学）
商学部卒業生は	学士（商学）
経営学部卒業生は	学士（経営学）
経済学部卒業生は	学士（経済学）
法学部卒業生は	学士（法学）
総合政策学部卒業生は	学士（総合政策学）
心身科学部卒業生は	学士（心身科学）
<u>心理学部卒業生は</u>	<u>学士（心理学）</u>
薬学部卒業生は	学士（薬学）
歯学部卒業生は	学士（歯学）

第7章 学納金

第39条 学納金は、別表 16-2 及び別表 16-3 の定めるところとする。

～ 略 ～

～ 略 ～

第6章 試験・卒業及び称号

～ 略 ～

第37条 文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・総合政策学部・心身科学部においては4年以上、薬学部・歯学部においては6年以上在学し、第8条に定める単位を修得した者には、別に定めるところにより、学位を授与する。

第38条 各学部の卒業生には、下記の区別に従い、学士の学位を授与する。

文学部卒業生は	学士（文学）
商学部卒業生は	学士（商学）
経営学部卒業生は	学士（経営学）
経済学部卒業生は	学士（経済学）
法学部卒業生は	学士（法学）
総合政策学部卒業生は	学士（総合政策学）
心身科学部卒業生は	学士（心身科学）
薬学部卒業生は	学士（薬学）
歯学部卒業生は	学士（歯学）

第7章 学納金

第39条 学納金は、別表 15-2 及び別表 15-3 の定めるところとする。

～ 略 ～

第 12 章 科目等履修生・単位互換履修生（特別聴講学生）・ 開放講座聴講生・歯学部専攻生及び研究生 ～ 略 ～ 第 5 3 条の 3 専攻生・研究生は、別表 <u>17</u> により納付金を前納しなければならない。 既納の納付金は、いかなる事由があってもこれを返還しない。 ～ 略 ～ 第 13 章 外国人留学生・帰国学生 ～ 略 ～ 第 5 4 条 ～ 略 ～ 3 外国人留学生・帰国学生のうち、教育上必要があると認めた者の授業科目履修に 関しては、特例として別表 <u>18</u>（甲）（乙）に定める日本語及び別表 <u>19</u>（甲）（乙）に定 める日本事情に関する科目を開設する。 ～ 略 ～ 附則 ～ 略 ～	第 12 章 科目等履修生・単位互換履修生（特別聴講学生）・ 開放講座聴講生・歯学部専攻生及び研究生 ～ 略 ～ 第 5 3 条の 3 専攻生・研究生は、別表 <u>16</u> により納付金を前納しなければならない。 既納の納付金は、いかなる事由があってもこれを返還しない。 ～ 略 ～ 第 13 章 外国人留学生・帰国学生 ～ 略 ～ 第 5 4 条 ～ 略 ～ 3 外国人留学生・帰国学生のうち、教育上必要があると認めた者の授業科目履修に 関しては、特例として別表 <u>17</u>（甲）（乙）に定める日本語及び別表 <u>18</u>（甲）（乙）に定 める日本事情に関する科目を開設する。 ～ 略 ～ 附則 ～ 略 ～
--	--

本学則は、令和4年4月1日から実施する。					～ 新設 ～				
ただし、第6条の規定にかかわらず、令和4年度から令和7年度までの入学定員は、次のとおりとする。									
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度					
	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)	入学定員(収容定員)					
心身科学部									
心理学科	(425)	(284)	(142)	(0)					
心理学部									
心理学科	160 (160)	160 (321)	160 (483)	160 (645)					
※編入学定員									
	第2学年	第3学年							
心理学部									
心理学科	1	1							
別表1					別表1				
文学部（宗教文化学科・英語英米文化学科・日本文化学科）・商学部・法学部・経営学部・心身科学部（心理学科）・心理学部共通					文学部（宗教文化学科・英語英米文化学科・日本文化学科）・商学部・法学部・経営学部・心身科学部（心理学科）共通				
～ 略 ～					～ 略 ～				

別 表 9

心理学部心理学科

部 門	分 野	授 業 科 目 名	必 修 単 位	選 択 単 位	備 考
教養教育科目	宗 教	宗 教 学 I	2		4単位修得すること
		宗 教 学 II	2		
	教養セミナー「学問の発見」	教養セミナー「学問の発見」I		1	
		教養セミナー「学問の発見」II		1	
		教養セミナー「学問の発見」III		1	
		教養セミナー「学問の発見」IV		1	
	人 文 系	心 理 学 I	2		4単位以上修得すること
		心 理 学 II	2		
		哲 学 I	2		
		哲 学 II	2		
		論 理 学 I	2		
		論 理 学 II	2		
		文 学 I	2		
		文 学 II	2		
		美 術 I	2		
		美 術 II	2		
	社 会 系	法 学 I	2		} 日本国憲法 2単位含む
		法 学 II	2		
		政 治 学 I	2		4単位以上 修得すること
		政 治 学 II	2		
		経 済 学 I	2		
		経 済 学 II	2		
		社 会 学 I	2		
		社 会 学 II	2		
		数 育 学 I	2		
		数 育 学 II	2		
	自 然 系	歴 史 学 I	2		4単位以上 修得すること
		歴 史 学 II	2		
		地 理 学 I	2		
		地 理 学 II	2		
		数 学 I	2		
		数 学 II	2		
		統 計 学 I	2		
		統 計 学 II	2		
		物 理 学 I	2		
		物 理 学 II	2		
	主 題 系	化 学 I	2		20単位以上 修得すること(注)
		化 学 II	2		
		生 物 学 I	2		
		生 物 学 II	2		
		情 報 科 学 I	2		
		情 報 科 学 II	2		
		仏 教 と 現 代 社 会 I	2		
		仏 教 と 現 代 社 会 II	2		
		禅 と 人 間 I	2		
		禅 と 人 間 II	2		
	主 題 系	生 命 に 関 する 諸 問 題 I	2		
		生 命 に 関 する 諸 問 題 II	2		
		人 間 行 動 の 理 解 I	2		
		人 間 行 動 の 理 解 II	2		
	主 題 系	人 間 の 尊 厳 と 平 等 I	2		
		人 間 の 尊 厳 と 平 等 II	2		

～ 新設 ～

教養教育科目	主 題 系	日本の文化と社会 I		2	4単位以上 修得すること	
		日本の文化と社会 II		2		
		アジアの文化と社会 I		2		
		アジアの文化と社会 II		2		
		ヨーロッパの文化と社会 I		2		
		ヨーロッパの文化と社会 II		2		
		英語圏の文化と社会 I		2		
		英語圏の文化と社会 II		2		
		人間と環境 I		2		
		人間と環境 II		2		
		情報と社会 I		2		
		情報と社会 II		2		
		産業と科学 I		2		
		産業と科学 II		2		
部門	分野	ソフトウェア概論 I		2		
		ソフトウェア概論 II		2		
教養教育科目	外国語科目	健康の科学		2	備 考	
		英語 I a	1			
		英語 II a	1			
		英語 I b	1			
		英語 II b	1			
		英語 I c	1			
		英語 II c	1			
		ドイツ語 I	1			
		ドイツ語 II	1			
		中国語 I	1			
		中国語 II	1			
		フランス語 I	1			
		フランス語 II	1			
		韓国語 I	1			
		韓国語 II	1			
		ドイツ文化事情	2			
		中国文化事情	2			
		フランス文化事情	2			
		韓国文化事情	2			
		英会話 I	1			
		英会話 II	1			
		英会話 III	1			
		英会話 IV	1			
		メデイア英語 I	1			
		メデイア英語 II	1			
		メデイア英語 III	1			
		メデイア英語 IV	1			
		英語表現法 I	1			
		英語表現法 II	1			
		英語表現法 III	1			
		英語表現法 IV	1			
		英語読解法 I	1			
		英語読解法 II	1			
		英語読解法 III	1			
		英語読解法 IV	1			
		実践英語 I	1			
		実践英語 II	1			
		実践英語 III	1			
		実践英語 IV	1			
		ドイツ語 I (基礎)	1			
		ドイツ語 II (基礎)	1			
		ドイツ語 III (読解)	1			
		ドイツ語 IV (読解)	1			
		ドイツ語 III (表現)	1			
		ドイツ語 IV (表現)	1			

教養教育科目	外国語科目	エレクトیف科目	ドイツ語Ⅲ（総合）		1	}
			ドイツ語Ⅳ（総合）		1	
			ドイツ語会話Ⅰ		1	
			ドイツ語会話Ⅱ		1	
			中国語Ⅰ（基礎）		1	
			中国語Ⅱ（基礎）		1	
			中国語Ⅲ（読解）		1	
			中国語Ⅳ（読解）		1	
			中国語Ⅲ（表現）		1	
			中国語Ⅳ（表現）		1	
			中国語Ⅲ（総合）		1	
			中国語Ⅳ（総合）		1	
			中国語会話Ⅰ		1	
			中国語会話Ⅱ		1	
			フランス語Ⅰ（基礎）		1	
			フランス語Ⅱ（基礎）		1	
			フランス語Ⅲ（読解）		1	
			フランス語Ⅳ（読解）		1	
			フランス語Ⅲ（表現）		1	
			フランス語Ⅳ（表現）		1	
			フランス語Ⅲ（総合）		1	
			フランス語Ⅳ（総合）		1	
			フランス語会話Ⅰ		1	
			フランス語会話Ⅱ		1	
部門	分野	授業科目名	必修単位	選択単位	備考	
教養教育科目	外国語科目	エレクトیف科目	韓国語Ⅰ（基礎）		1	（注）
			韓国語Ⅱ（基礎）		1	
			韓国語Ⅲ（読解）		1	
			韓国語Ⅳ（読解）		1	
			韓国語Ⅲ（表現）		1	
			韓国語Ⅳ（表現）		1	
			韓国語Ⅲ（総合）		1	
			韓国語Ⅳ（総合）		1	
			韓国語会話Ⅰ		1	
			韓国語会話Ⅱ		1	
	健康総合科目	スポーツ科学Ⅰ	1		}2単位修得すること	
		スポーツ科学Ⅱ	1			
		スポーツ科学Ⅲ		1		（注）
		スポーツ科学Ⅳ		1		
	海外事情科目	海外事情Ⅰ		2	（注）	
		海外事情Ⅱ		2		
		海外事情Ⅲ		1		
		海外事情Ⅳ		1		

(注)

- ・ 教養基幹科目
- ・ エレクトیف科目
- ・ 健康総合科学科目の中の必修科目として開講されていない科目
- ・ 海外事情科目

はそれぞれ表中に示された修得単位以外に履修することができ、16単位まで卒業要件単位となる。

部門	分野	授 業 科 目 名	単 位 数		備考
			必修	選択	
専門教育科目	専門基礎科目	心 理 学 概 論 I	2		20単位修得
		心 理 学 概 論 II	2		
		心 理 学 統 計 法 I	2		
		心 理 学 統 計 法 II	2		
		認知心理学 I (知覚・認知心理学)	2		
		発 達 心 理 学 I	2		
		人格心理学 I (感情・人格心理学)	2		
		社会心理学 I (社会・集団・家族心理学)	2		
		ストレスマネジメント入門	2		
	専門基礎科目	心 理 学 研 究 法	2		
		学 習 ・ 言 語 心 理 学		2	
		認 知 心 理 学 II		2	
		発 達 心 理 学 II		2	
		人 格 心 理 学 II		2	
		社 会 心 理 学 II		2	
		生 理 学 I (人体の構造と機能及び疾病)		2	
		生 理 学 II		2	
		神 経 ・ 生 理 心 理 学		2	
		生 理 心 理 学		2	
		心 理 学 史		2	
		ス ポ ー ツ 心 理 学		2	
		ポ ジ テ ィ ブ 心 理 学		2	
		カ レ ン ト ト ビ ッ ク ス a		2	
		カ レ ン ト ト ビ ッ ク ス b		2	
		カ レ ン ト ト ビ ッ ク ス c		2	
		カ レ ン ト ト ビ ッ ク ス d		2	
		カ レ ン ト ト ビ ッ ク ス e		2	
		カ レ ン ト ト ビ ッ ク ス f		2	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ		2	
		調 査 法 I		2	
		調 査 法 II		2	
		ストレスマネジメント演習 I		2	
		ストレスマネジメント演習 II		2	
		心 理 学 特 殊 演 習 I		2	
		心 理 学 特 殊 演 習 II		2	
	専門展開科目	臨床心理学 I (臨床心理学概論)		2	講義科目 4単位以上 修得 ※演習科目 4単位以上を 含むこと 自専攻分野の講義 科目4単位以上を 含め、20単位以上 修得
		多 職 種 連 携 論		2	
		健 康 ・ 医 療 心 理 学		2	
		臨床心理学 II (心理学的支援法)		2	
		心 理 検 査		2	
		司 法 ・ 犯 罪 心 理 学		2	
		精 神 疾 患 と そ の 治 療 I		2	
		精 神 疾 患 と そ の 治 療 II		2	
		発 展 講 義 a		2	
		発 展 講 義 b		2	
		心 理 検 査 演 習 I		2	
		心 理 検 査 演 習 II		2	
		面接法・介入法 (心理的アセスメント)		2	
		人 格 ・ 臨 床 心 理 学 演 習 I		2	
		人 格 ・ 臨 床 心 理 学 演 習 II		2	

専門教育科目	専門展開科目	多文化・共生分野	文化心理学		2	講義科目 4単位以上 修得			
			障害者・障害児心理学		2				
			教育心理学Ⅰ(教育・学校心理学)		2				
			教育心理学Ⅱ		2				
			障害者教育総論		2				
			肢体不自由者の自立活動の理論と実践		2				
			肢体不自由者の心理・生理・看護		2				
			知的障害児指導法		2				
			異文化理解		2				
			ケアマネジメント		2				
部門	分野	授業科目名	単位数		備考				
			必修	選択					
専門教育科目	専門展開科目	多文化・共生分野	発展講義 c		2				
			発展講義 d		2				
			発展講義 e		2				
			発展講義 f		2				
			発展講義 g		2				
			発展講義 h		2				
			発達・教育心理学演習Ⅰ		2				
			発達・教育心理学演習Ⅱ		2				
			社会・産業心理学演習Ⅰ		2				
			社会・産業心理学演習Ⅱ		2				
		情報・ビジネス分野	産業・組織心理学Ⅰ		2	講義科目 4単位以上 修得			
			産業・組織心理学Ⅱ		2				
			データサイエンス入門		2				
			感性工学		2				
			消費者行動論		2				
			製品評価の心理学		2				
			多変量解析Ⅰ		2				
			多変量解析Ⅱ		2				
			行動経済学		2				
			発展講義 i		2				
			発展講義 j		2				
			実験心理学演習Ⅰ		2				
	実験心理学演習Ⅱ		2						
	情報ビジネス心理学演習Ⅰ		2						
	情報ビジネス心理学演習Ⅱ		2						
	デジタルデザイン演習		2						
	専門総合科目	心理学実験Ⅰ	2		12単位修得				
		心理学実験Ⅱ	2						
		プレセミナー	2						
		総合研究演習Ⅰ	2						
		総合研究演習Ⅱ	2						
		総合研究演習Ⅲ	2						
	卒業研究	6							
	専任心理師 専用科目	公認心理師の職責	2		(注1)				
		福祉心理学	2						
		関係行政論	2						
心理演習		2							
心理実習Ⅰ		1							
心理実習Ⅱ		1							
心理実習Ⅲ	1								

資格取得科目	特別支援教育に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理		2	(注2)
		病弱者の心理・生理・病理		2	
		肢体不自由者教育論		2	
		病弱者教育論		2	
		視覚障害者教育総論		2	
		聴覚障害者教育総論		2	
		重複障害・軽度発達障害教育総論		2	

(注1)「公認心理師専用科目」は、卒業要件単位に含めない
(注2)「特別支援教育に関する科目」は、14 単位まで卒業要件単位に含むことができ

～ 略 ～

別 表 12

自由選択科目

部 門	分 野	授 業 科 目 名	単 位	備 考
自由選択科目		キャリア・デザイン	2	文学部、商学部、経営学部、経済学部、法学部、総合政策学部、心身科学部、 <u>心理学部</u> 適用
		インターンシップ	2	文学部適用
		数 学 の 基 礎	2	薬学部適用
		生 物 学 の 基 礎	2	
		海 外 事 情 I	2	薬学部・歯学部適用
		海 外 事 情 II	2	
		海 外 事 情 III	1	
		海 外 事 情 IV	1	
		サービスラーニング実習Ⅰ	1	文学部、商学部、経営学部、経済学部、法学部、総合政策学部、心身科学部、 <u>心理学部</u> 、歯学部、薬学部適用
		サービスラーニング実習Ⅱ	1	
		サービスラーニング実習Ⅲ	1	
		サービスラーニング実習Ⅳ	1	
		課 題 解 決 型 演 習 Ⅰ	2	
		課 題 解 決 型 演 習 Ⅱ	2	
		課 題 解 決 型 演 習 Ⅲ	2	
		課 題 解 決 型 演 習 Ⅳ	2	
		長期インターンシップ	4	
		地 域 連 携 学 A	2	
		地 域 連 携 学 B	2	
		地 域 連 携 学 C	2	
		地 域 連 携 学 D	2	

自由選択科目の単位は卒業に必要な単位数に算入されない。
ただし、文学部はキャリアデザイン、インターンシップ、地域連携学A～Dのいずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。
また、商学部、経営学部、経済学部、法学部では課題解決型演習Ⅰおよび地域連携学Aは自由選択科目として適用されない。

～ 略 ～

別 表 11

自由選択科目

部 門	分 野	授 業 科 目 名	単 位	備 考
自由選択科目		キャリア・デザイン	2	文学部、商学部、経営学部、経済学部、法学部、総合政策学部、心身科学部適用
		インターンシップ	2	文学部適用
		数 学 の 基 礎	2	薬学部適用
		生 物 学 の 基 礎	2	
		海 外 事 情 I	2	薬学部・歯学部適用
		海 外 事 情 II	2	
		海 外 事 情 III	1	
		海 外 事 情 IV	1	
		サービスラーニング実習Ⅰ	1	文学部、商学部、経営学部、経済学部、法学部、総合政策学部、心身科学部、歯学部、薬学部適用
		サービスラーニング実習Ⅱ	1	
		サービスラーニング実習Ⅲ	1	
		サービスラーニング実習Ⅳ	1	
		課 題 解 決 型 演 習 Ⅰ	2	
		課 題 解 決 型 演 習 Ⅱ	2	
		課 題 解 決 型 演 習 Ⅲ	2	
		課 題 解 決 型 演 習 Ⅳ	2	
		長期インターンシップ	4	
		地 域 連 携 学 A	2	
		地 域 連 携 学 B	2	
		地 域 連 携 学 C	2	
		地 域 連 携 学 D	2	

自由選択科目の単位は卒業に必要な単位数に算入されない。
ただし、文学部はキャリアデザイン、インターンシップ、地域連携学A～Dのいずれか2単位のみ卒業要件単位とすることができる。
また、商学部、経営学部、経済学部、法学部では課題解決型演習Ⅰおよび地域連携学Aは自由選択科目として適用されない。

別 表 13

(甲) 教員免許状の種類

学 部	学 科	教 員 免 許 状 の 種 類 (免 許 教 科)	
文 学 部	宗 教 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	宗 教
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	宗 教
	歴 史 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	地 理 歴 史
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
	英 語 英 米 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語
	日 本 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	国 語
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	国 語
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	書 道
	グローバル英語学科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語
商 学 部	商 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	商 業
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	情 報
経 営 学 部	経 営 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	商 業
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
経 済 学 部	経 済 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
法 学 部	法 律 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
	現 代 社 会 法 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
総 合 政 策 学 部	総 合 政 策 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	情 報
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
心 理 学 部	心 理 学 科	特 別 支 援 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	知 的 障 害 肢 体 不 自 由 病 弱
心 身 科 学 部	健 康 科 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	保 健 体 育
		中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	保 健
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	保 健 体 育
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	保 健
		養 護 教 諭 1 種 免 許 状	
	健 康 栄 養 学 科	栄 養 教 諭 1 種 免 許 状	
備 考			

別 表 12

(甲) 教員免許状の種類

学 部	学 科	教 員 免 許 状 の 種 類 (免 許 教 科)	
文 学 部	宗 教 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	宗 教
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	宗 教
	歴 史 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	地 理 歴 史
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
	英 語 英 米 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語
	日 本 文 化 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	国 語
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	国 語
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	書 道
	グローバル英語学科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	英 語
商 学 部	商 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	商 業
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	情 報
経 営 学 部	経 営 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	商 業
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
経 済 学 部	経 済 学 科	高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
法 学 部	法 律 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
	現 代 社 会 法 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
総 合 政 策 学 部	総 合 政 策 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	情 報
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	公 民
心 身 科 学 部	心 理 学 科	高等学校教諭1種免許状	公 民
		特別支援学校教諭1種免許状	知 的 障 害 肢 体 不 自 由 病 弱
	健 康 科 学 科	中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	保 健 体 育
		中 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	保 健
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	保 健 体 育
		高 等 学 校 教 諭 1 種 免 許 状	保 健
	健 康 栄 養 学 科	養 護 教 諭 1 種 免 許 状	
		栄 養 教 諭 1 種 免 許 状	
備 考			

別 表 13

(乙) 教科及び教職に関する科目、養護及び教職に関する科目、栄養に係る教育及び教職に関する科目（教育の基礎的理解に関する科目等）

～ 略 ～

別 表 13

(丙) 教科及び教科の指導法に関する科目、特別支援教育に関する科目、養護に関する科目、栄養に係る教育に関する科目

～ 略 ～

心理学部 心理学科	公民	教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法 学 I	2		
				法 学 II	2		
				政 治 学 I	2		国際政治を含む
				政 治 学 II	2		国際政治を含む
			「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社 会 学 I	2		
				社 会 学 II	2		
				経 済 学 I		2	
				経 済 学 II		2	
				消 費 者 行 動 論		2	
			「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	宗 教 学 I	2		
				宗 教 学 II	2		
				哲 学 I		2	
				哲 学 II		2	
				心 理 学 概 論 I	2		
				心 理 学 概 論 II	2		
				心 理 学 研 究 法		2	
				心 理 学 統 計 法 I		2	
				心 理 学 統 計 法 II		2	

別 表 13

(乙) 教科及び教職に関する科目、養護及び教職に関する科目、栄養に係る教育及び教職に関する科目（教育の基礎的理解に関する科目等）

～ 略 ～

別 表 13

(丙) 教科及び教科の指導法に関する科目、特別支援教育に関する科目、養護に関する科目、栄養に係る教育に関する科目

～ 略 ～

～ 新設 ～

心 理 学 部	公 民 学 科	教 科 に 関 する 専 門 的 事 項	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	認知心理学Ⅰ(知覚・認知心理学)		2	
				認 知 心 理 学 Ⅱ		2	
				学 習 ・ 言 語 心 理 学		2	
				発 達 心 理 学 Ⅰ		2	
				発 達 心 理 学 Ⅱ		2	
				教育心理学Ⅰ(教育・学校心理学)		2	
				教 育 心 理 学 Ⅱ		2	
				人格心理学Ⅰ(感情・人格心理学)		2	
				人 格 心 理 学 Ⅱ		2	
				臨床心理学Ⅰ(臨床心理学概論)		2	
				臨床心理学Ⅱ(心理学的支援法)		2	
				社会心理学Ⅰ(社会・集団・家族心理学)		2	
				社 会 心 理 学 Ⅱ		2	
				産業・組織心理学Ⅰ		2	
				産業・組織心理学Ⅱ		2	
				多 変 量 解 析 Ⅰ		2	
				多 変 量 解 析 Ⅱ		2	
			各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	公 民 科 教 育 法 Ⅰ	2		
				公 民 科 教 育 法 Ⅱ	2		
	特 別 支 援 学 校 教 育 に 関 する 科 目	特 別 支 援 教 育 に 関 する 科 目	特別支援教育の基礎理論に関する科目	障 害 者 教 育 史	2	いずれか1科目選択必修	
				障 害 者 教 育 総 論	2		
		特 別 関 連 する 教 育 領 域 に	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理	2		
				肢体不自由者の心理・生理・病理	2		
				病弱者の心理・生理・病理	2		
				知的障害者教育論	2		
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害児指導法	2		
				肢体不自由者教育論	2		
				肢体不自由者の自立活動の理論と実際	2		
				病弱者教育論	2		
		る 領 と 免 科 域 以 目 以 な 状 外 なる 特 の 定 領 別 め 域 支 たら に 援 れ 関 教 える す 育 こ	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視 覚 障 害 教 育 総 論	2		
				聴 覚 障 害 教 育 総 論	2		
				重複障害・軽度発達障害教育総論	2		
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		障 害 児 教 育 実 習	3		

～ 略 ～

～ 略 ～

別 表 <u>14</u> (甲) 図書館司書に関する科目 ~ 略 ~ 別 表 <u>14</u> (乙) 司書教諭に関する科目 ~ 略 ~ 別 表 <u>15</u> (甲) 博物館学芸員に関する科目 ~ 略 ~ 別 表 <u>15</u> (丙) 社会教育主事に関する科目 ~ 略 ~ 別 表 <u>16-1</u> 入学検定料 ~ 略 ~	別 表 <u>13</u> (甲) 図書館司書に関する科目 ~ 略 ~ 別 表 <u>13</u> (乙) 司書教諭に関する科目 ~ 略 ~ 別 表 <u>14</u> (甲) 博物館学芸員に関する科目 ~ 略 ~ 別 表 <u>14</u> (丙) 社会教育主事に関する科目 ~ 略 ~ 別 表 <u>15-1</u> 入学検定料 ~ 略 ~
--	--

別 表 <u>16-2</u> 学納金 ~ 略 ~ 別 表 <u>16-3</u> 心身科学部実験実習料 ~ 略 ~ 別 表 <u>17</u> 専攻生・研究生の納付金 ~ 略 ~ 別 表 <u>18</u> (甲)文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心身科学部（心理学科）・ <u>心理学部</u> 共通 ~ 略 ~ 別 表 <u>19</u> (甲)文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心身科学部（心理学科）・ <u>心理学部</u> 共通 ~ 略 ~	別 表 <u>15-2</u> 学納金 ~ 略 ~ 別 表 <u>15-3</u> 心身科学部実験実習料 ~ 略 ~ 別 表 <u>16</u> 専攻生・研究生の納付金 ~ 略 ~ 別 表 <u>17</u> (甲)文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心身科学部（心理学科）共通 ~ 略 ~ 別 表 <u>18</u> (甲)文学部・商学部・経営学部・経済学部・法学部・心身科学部（心理学科）共通 ~ 略 ~
--	--

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア 学則変更(収容定員変更)の内容	p.2
イ 学則変更(収容定員変更)の必要性	p.2
1. 愛知学院大学の概要及び経緯	
2. 収容定員変更の必要性	
ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程の変更内容	p.3
(ア) 教育課程の変更内容	p.3
1. 心理学部における教育課程の変更点	
(1)社会・産業構造の変容に伴うストレスマネジメントとコミュニケーションスキル	
(2)進路に応じた高度な知識と技能の修得	
a.心理学実践分野	
b.多文化・共生分野	
c.情報・ビジネス分野	
(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容	p.6
1. 履修単位および卒業要件の変更	
2. 教育方法の変更内容	
a.専門基礎科目と専門展開科目	
b.専門総合科目	
c.専門基幹科目	
d.専門展開科目	
3. 履修指導方法の変更点	
4. カリキュラム変更に伴う教育内容の質的維持	
(ウ) 教員組織の変更内容	p.9
(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容	p.9

ア 学則変更(収容定員変更)の内容

2022(令和4)年4月より本学は心身科学部心理学科を改組し心理学部を設置する。そして心理学部の収容定員を変更することに伴い、次のとおり収容定員を変更する。

学則第6条における記載内容の変更

	学部	学科	入学定員	編入定員		収容定員
				2年次	3年次	
現行	心身科学部	心理学科	140名	1名	1名	565名
変更後	心理学部	心理学科	160名	1名	1名	645名

イ 学則変更(収容定員変更)の必要性

1. 愛知学院大学の概要及び経緯

学校法人愛知学院は、明治9(1876)年に創設され、本年で145年の長い歴史と伝統を有する中部地区で最も由緒ある学園の一つである。愛知学院大学は昭和28(1953)年に創設され、本年で開学68周年を迎える。現在9学部18学科、大学院9研究科(博士前期課程、後期課程)および短期大学部1学科、学生総数約12,000名と、中部地区における最大級の規模と内容を誇る私立総合大学となっている。また、系列校として歯科技工専門学校、愛知高等学校及び愛知中学校などを有し、中学から大学・大学院までの一貫教育を行う私立の総合学園である。

特に平成26(2014)年4月からは新たに名古屋の都心に名城公園キャンパスを開設し、教育研究における互いの連携を強化するだけでなく、中部経済圏の要である名古屋を中心とする地域経済との連携を強化して地域貢献を果たしていく体制を整えた。

愛知学院が創立から今日まで一貫して堅持し続けてきた建学の精神は「行学一体・報恩感謝」である。仏教精神、とくに禅的教養を基礎として、行学一体の人格育成に努め、報恩感謝の生活のできる社会人を養成することが本学の使命である。

行学一体における行とは人間形成を、また学とは真理探究を意味する。行と学が一体であるとは、単に知的な理解にとどまらず、修得した学問を自ら身心を傾けて体得して人間的に立派になることを目指す学修態度を意味する。行と学はそれぞれ別個ではなく、行に徹することは学に徹することであり、学に徹することは行に徹することである。また、釈尊の教えによれば、われわれ一人ひとりあらゆる存在との相互依存の関係においていかされている。ひとは数多くの他者の恩をはじめ、天地自然の多くの恵みや地上すべての生きものから恩恵を受けているがゆえに、このことを自覚して、限りない恩に報いるべく社会のために尽くさねばならないのである。以上の建学の精神のもと、真理探求と人間形成を一体に実践して人格形成に努め、日常生活のなかで報恩感謝を実践できる社会人を養成することが、本学の教育理念である。

2. 収容定員変更の必要性

心理学部では、多種多様に変化する社会からの要請と期待に応えるべく、これまでの心理学の基礎教育を拡張させ、応用的分野まで拡充させた教育システムを構築する必要性を実感している。過去5年間の全国心理学部への入学希望者は微増傾向にある

こと（資料 1）。加えて教育方針の変更と伴に心理学を志す受験者層が変化していくことを予見し、今回の収容定員変更として本申請に至っている。

心理学科は 1970（昭和 45）年に文学部内に創設され、2003（平成 15）年の心身科学部心理学科への改組を経て、現在 50 年の歴史を迎えた。今日までの教育活動において、心理学の幅広い分野における基礎教育を基盤に、これまで臨床心理士や公認心理師の育成を継続的に行ってきた。1998（平成 10）年には大学院博士前期課程において臨床心理士養成指定大学院となっており、心理学実践分野において多くの臨床心理士を輩出してきている。また 2018（平成 30）年より公認心理師のための新カリキュラムを開始している。以上のように、我々は心理学教育の立場から、医療、福祉、教育分野において少なからず貢献してきている。

しかしながら、近年、少子高齢化、グローバル化、デジタル化の影響を受け、産業構造の変化や近年の働き方改革による生活様式の変化（資料 2,3）により、新たな心の問題に直面している。これらの多岐にわたる構造変化は、日常生活に新たな利益をもたらすとともに、従来では把握されなかった新たな心理的諸問題も同時に発生している。また、2020（令和 2）年に発生した新型コロナウイルス感染症は、少なからずコロナ禍による新しい生活様式もそれらの変化を加速させた一因として伺える。すなわち、心理学に対する教育ニーズも時代とともに変化してきており、心理学の高等教育においても更なる多様性が求められている。そこで我々は、社会からの要請と期待に柔軟に対応するためにも教育研究の高度化に邁進しつつ、高等教育の拡充を図っていく一層の努力すべきものと考えている。

以上のとおり、心理学部は多種多様に变化する社会からの要請と期待に柔軟に対応するため、心理学の応用的分野（多文化共生分野、ビジネス情報分野）まで拡充させた教育システムを構築するとともに、多文化共生社会への適応、心理学に感性工学やデータサイエンスを活用したビジネス応用に関する科目を加えることにより、文理融合型の教育カリキュラムを整備した。既存のカリキュラム・ポリシーから応用的教育を加えるなどの変更に伴い、心理学を志す受験者層が変化していくことに対応を図っている。

現代社会の抱える課題を解決できる有為な人材の育成という社会的ニーズに積極的に応える学部として、これを実現するうえで今般の心理学部設置に伴う収容定員の変更は必要不可欠なものである。故に、今回の収容定員変更として本申請に至った。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

1. 心理学部における教育課程の変更点

上述のとおり、心理学部の役割は心理学への学問的興味を育むことに加え、その知識と技術の習得により社会貢献できる人材を育成することにある。すべての心理学部学生は、認知、発達、人格、社会、計量の各分野の心理学の基礎的知識を広く学び、ストレスマネジメント力およびコミュニケーションのスキルを高めていくことにある。さらに個々の進路に応じた専門的知識と技能を現実的諸問題に即して、実践的に応用することによって社会貢献できる人材育成を目指していく。

そこで従来の心理学基礎教育に加え、高度な応用的知識とスキルの修得を想定した

カリキュラムとして、従来の臨床心理学、社会心理学、心理統計学の技能的側面を重視した科目を整備し、学生の進路に応じたスキルを修得させる。その特長は文系のみならず理系出身者が選択しやすいカリキュラムである点である。本学は多様な産業に貢献できる人材育成のための教育課程の変更として文理融合型の心理学部を整備した。なお本学部の学則変更による他学部の教育課程への影響はないことを明記する。

(1)社会・産業構造の変容に伴うストレスマネジメントとコミュニケーションスキル

将来的な社会や産業構造の変化に対して、個々が柔軟に対応すべくストレスマネジメントとコミュニケーションスキルを身につけていく必要性が高まっている。我が国では新型コロナウイルス感染予防対策により強いられた働き方の変革は産業構造を変容させ、あらたなストレスに関する問題を発生させている（資料 3）。このような構造変革に対して、個々の高い対応力が求められている。

本学では坐禅や心理学的手法（マインドフルネス）などの教育を展開し、多様な社会環境における柔軟な適応性を身につけることを目指していく。このようなストレスマネジメント自体は直接的な経済活動ではないが、職場や家庭環境におけるストレスの軽減により労働の生産性を高めることが以前から指摘されている（資料 4）。

認知心理学および社会心理学的視点から、適切なコミュニケーションスキルを修得するための教育を展開する。ネットワークを介したリモートワークは今後も継続されることが予測され、人と人との相互関係も以前とは異なる形態へと変容していくと予測できる。技術革新に伴うコミュニケーション形態の変化は、時には私たちに混乱をもたらすことがある。それ故に、対人コミュニケーションの特性を心理学的観点から改めて顧みることにより、コミュニケーションの形態変化に柔軟に対応できる人材を育成する。

また今日ではデジタルツールを活用したコミュニケーションも重要であることは十分に知られている。そこで人のコミュニケーションの特性を熟知した心理学の知見を活用し、情報の伝達を効率的にするコミュニケーションスキルを修得していく。例えばデータを集約し分かりやすく伝えるプレゼンテーションは、あらゆる様々な業務における相互作用を円滑にし、新しい技術、サービスの提供につなげられることが期待できる。

ストレスマネジメント力やコミュニケーションスキルの向上は、様々な社会／経済活動においても貢献できる。対人関係を原因としたストレス性の疾患や自殺の問題は、社会的、経済的に多大なる不利益をもたらしている（資料 5）。これらのスキルの修得は間接的に社会における生産性を向上し、我が国の発展に貢献できるものと考えている。

(2)進路に応じた高度な知識と技能の修得

心理学的見地から、積極的な社会貢献を実現するための応用的知識と技能の修得するためのカリキュラムを整備する。心理学部では『心理学実践分野（含 公認心理師コース）』、『多文化・共生分野』、『情報・ビジネス分野』の 3 つの応用分野を設定し、心理学部生の進路に応じた専門教育を展開する。

a.心理学実践分野

心理学実践分野では、これまでの公認心理師・臨床心理士の教育を基軸とし、保健医療、福祉、教育、産業等の現場において、心理的援助を施すプロフェッショナルを育成する。本学は主に東海圏において多くの臨床心理士を輩出してきた。今日までの教育経験を活かすとともに地域特性を理解して活動しうる心理臨床家を養成していく。

また大学院進学後の教育を充実かつ円滑にするため、学部において面接法、心理検査法のような実践的科目を加えていく。本学では公認心理師法の施行後に、カリキュラムを改訂したが、心理学部の開設に伴いより良い教育システムを再構築した。学部レベルにおいても早期に実践的内容を経験させることにより、大学院進学の実習、または大学院修了後の現場にスムーズに適応できる人材を養成していく。

b.多文化・共生分野

多文化・共生分野では、多様な分野と連携する視点と技術を持つ人材養成を目的とする。我が国における人種、文化、職種の多様化に伴い、人々の心理・行動特性の理解の多様性も求められる。公務員および民間企業の対面業務において、様々な価値観を共有できるユニバーサルな人材を育成する。

愛知県を中心とした東海圏は異文化コミュニケーションを要する機会も多いと考えられる。他の地域と比べても外国人も多く在住しており（資料 6）、市役所などの公共施設において日本語や英語以外の表記も珍しくない。将来的には在留外国人が増加することも予測され、異なる文化をルーツにもつ人々との円滑なコミュニティを形成することも重要である。東海圏の特異な社会構造において、柔軟に対応できる人材育成を目指す。

c.情報・ビジネス分野

情報・ビジネス分野では、心理学的知見を産業に活かすため、その足がかりとなるデータサイエンス、感性工学、行動経済学の教育を行っていく。心理学は元来、データサイエンスの基礎となる統計分析を得意としてきた。また感性工学や行動経済学は、心理学と密接にかかわる分野であり、製品／商品開発などに貢献してきたといえる。しかしながら、心理学はこのような強みを未だ十分に活かせていない。

そこで心理学を現状よりも積極的に産業応用していくことが求められる。人の行動特性の計測・分析スキルを持ちつつ、ビッグデータ、仮想現実、人工知能の技術を積極的に融合させ、心理学を基軸に現存する産業への貢献、また新しい産業創成を目指す人材を育成する。

データサイエンスまたはビジネス分野へ心理学の教育受けた人材を積極的に輩出していくことは、心理学の社会貢献に通じる。心理学科の就職状況を概括すると、販売・営業職に就く卒業生も多いが、情報分野への就職率が上昇している（資料 7）。また、データサイエンス分野は様々な分野からの需要があるが、特に販売・営業と関連する業務の需要が高まっている（資料 8）。このような現状も踏まえ、心理学とデータサイエンスを融合させ、情報系やビジネスに貢献していくための人材育成は、今後の需要が見込めると考えている。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

1. 履修単位および卒業要件の変更

心理学部への改組に伴い、心理学の基礎分野を幅広く学ぶことを目的として、科目群（専門基礎科目、専門基幹科目、専門総合科目、専門展開科目）の再編を行った。これにより必修科目を 28 単位から 32 単位へ変更した。また学生の進路に応じて応用力を養成できるよう、3 つの分野から構成される専門展開科目を設置し、何れか 1 つの分野を重点的に学修（自専攻分野）することにより卒業要件を満たすことができるカリキュラムを整備した。なお本変更により他学部等に影響を与える科目はない。

卒業要件を以下のとおり定め、以下および下表に記載した。

科目区分			卒業単位数				
			最低限修得すべき単位数				
教養科目							128単位 以上
必修	宗教学Ⅰ・Ⅱ		4単位			36単位 以上	
	外国語科目		10単位				
	健康総合科目		2単位				
選択	教養基幹科目		20単位以上				
専門科目						76単位 以上	
必修	専門基礎科目		20単位		32単位		
	専門総合科目		12単位				
選択	専門基幹科目		44単位以上 ※演習科目を4単位以上を含むこと				
	専門展開科目	心理学実践	講義科目 4単位以上	自専攻分野 16単位 以上			
		多文化共生	講義科目 4単位以上				
		情報ビジネス	講義科目 4単位以上				
	専門総合科目		卒業論文	6単位			

- ・ 教養教育科目 36 単位、専門教育科目 76 単位、グレーゾーン 16 単位と合わせて 128 単位以上修得する。（履修科目の登録の上限：44 単位（年間））
- ・ 教養教育科目 36 単位、または専門教育科目 76 単位を超えて修得した場合、それぞれ最大 16 単位までをグレーゾーン※に算入することができる。

※グレーゾーンとは、「教養教育科目」または「専門教育科目」で必要最低単位数を超えた単位や「他学部・他学科科目」で修得した単位等を算入できる科目群を指す。

専門教育科目は、必修科目の 32 単位および選択科目から 44 単位、計 76 単位を修得する。

- ・ 専門教育科目の選択科目 44 単位において、所定の演習科目から 4 単位以上を含む。
- ・ 専門展開科目のうち、心理学実践分野、多文化共生分野、情報ビジネス分野の全てにおいて、講義科目を 4 単位以上の修得をする。
- ・ 専門展開科目のうち、心理学実践分野、多文化共生分野、情報ビジネス分野のいずれか一つの分野を選択（自専攻分野とする）し、上述の 4 単位を含めて自専攻

分野の科目から 20 単位以上を修得する。

- ・ 特別支援教育に関する科目は、14 単位まで卒業要件単位に含むことができる。

2. 教育方法の変更内容

心理学部では、4 年間の学びを卒業研究や進路選択に円滑につなげるため、以下の科目群を再編している。その詳細は次の通りである。

a. 専門基礎科目と専門展開科目（4 単位）

本科目群では、心理学概論Ⅰ・Ⅱと心理学統計法Ⅰ・Ⅱに、認知心理学Ⅰ、発達心理学Ⅰ、人格心理学Ⅰ、社会心理学Ⅰを必修科目として加えた。これにより全学生が心理学の基礎知識を、偏り無く学ぶことができる。また専門展開科目にて『心理学実践分野（含 公認心理師コース）』、『多文化・共生分野』、『情報・ビジネス分野』の各分野の講義科目を 2 年次までに 4 単位以上取得し、各分野の特性を学べるように配置した。

b. 専門総合科目

心理学実験Ⅰ・Ⅱ、プレセミナー、総合研究演習Ⅰ～Ⅲ（ゼミ）から構成されている。心理学実験Ⅰ・Ⅱでは 1 テーマ辺りのコマ数を 3 から 6 に増加し、各テーマの解説、統計分析、研究レポート指導に十分な時間を費やすことができるよう変更した。これにより心理学の測定技法を反復して学修することができる。なお 1 セメスターにつき 4 手テーマの計 8 つの実験テーマを扱う。また 3 年次前期のプレセミナーでは、専門性に関係なく求められる技能（文献検索、プレゼンテーション、テクニカルライティングなど）について学習すること、専任教員の専門性について学ぶことを中心に、3 年次後期から開始される総合研究演習Ⅰ～Ⅲへの橋渡しを行うことを目的としている。

c. 専門基幹科目

心理学の基礎知識を深めるための、高度な専門的知識と技能を修得するための科目を配置している。心理学史、生理心理学、調査法など心理学の基礎系分野への大学院進学者に必要な教育を展開する。

d. 専門展開科目

すべての学生が個々の進路に応じた専門性を高めるため自選択分野を設定するシステムを導入した。前途したとおり、心理学部では専門展開科目を設置し、心理学実践分野、多文化共生、情報ビジネス分野のうちいずれか一つの分野を 20 単位修得することを卒業要件としている。3 年次以降は選択するゼミも含めて、個別の進路に応じた履修が可能となっている。以上の変更点は、学年を経るに従って心理学の基礎知識を修得し、個々の進路に応じた専門性を高めることを狙いとしている。

3. 履修指導方法の変更点

心理学部のカリキュラム・ポリシーと教育課程について十分に周知させるため、1 年次から 3 年次の学期開始時にガイダンスを実施する。ガイダンスでは、カリキュラムマップ、単位取得状況、単位履修計画について確認および指導する。学年および学期毎に指導方針を定め、自専攻分野の専門性を高めるための履修計画を立てるよう指導を展開する。

主に指導方針は下表に従って実施する。1年次のガイダンスでは、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーを繰り返し説明し、カリキュラムマップを十分理解した上で履修計画を立てるよう指導する。2年次では、希望する資格課程に必要な単位取得や、3年次以降の分野の選択ための準備として履修するよう指導する。2年次までに心理学を幅広く学び、3年次以降のゼミ選択（総合研究演習Ⅰ～Ⅲ）が円滑にできるよう指導する。3年次前期には、プレセミナーにて専任教員の専門性と卒業後の進路について情報収集し、学生自身の進路に適当なゼミ選択をすることを指導する。3年次後期は、進路や卒業研究テーマに応じて必要な科目の履修をゼミ担当教員が指導する。

学年	学期	指導内容	目的
1年次	前期	・卒業要件とカリキュラムマップの説明 ・4年間の履修計画（資格取得を含む） ・資格取得のための履修計画	カリキュラムマップを理解させ、計画的な単位取得を促す
	後期	・履修方法 ・履修状況の確認	
2年次	前期	・卒業要件とカリキュラムマップの説明 ・単位取得状況の確認 ・自専攻分野の選択 ・資格取得のための履修計画（公認心理師，特別支援課程） ・2年次以降の履修計画	資格取得，分野の選択について学生自身に熟慮させ，3年次以降の進路設計のための履修を計画させる
	後期	・単位取得状況の確認 ・自専攻分野の選択と進路 ・資格取得のための履修計画（公認心理師，特別支援課程） ・2～3年次における履修計画	
3年次	前期	・単位取得状況の確認 ・自専攻分野の選択と進路 ・プレセミナーにおける総合研究演習（ゼミ）の選択 ・3年次における履修計画	進路選択および卒業研究について熟考し，得すべき技能と知識を明確にする。
	後期	・単位取得状況の確認 ・自専攻分野における専門性と進路	

4. カリキュラム変更に伴う教育内容の質的向上

上述のごとく、心理学部における教育指導および履修指導の変更後の教育課程（新カリキュラム）は、変更前の心身科学部心理学科の教育課程（旧カリキュラム）に比べ、同等以上の内容を十分に担保している（資料9）。まず科目を統廃合により旧カリキュラムの多くの科目が新カリキュラム上にて読み替えが可能となっている。さらに新規科目を立てたり、開講学年を変更したりすることにより、旧カリキュラムに不足していた教育内容を補うことができた。

また特別支援課程の一部の資格課程科目は卒業要件に含め、履修科目数の抑制を実現した。これにより、教職課程を履修する学生の負担を軽減できると考えている。さ

らに公認心理師取得関連の科目は、全て新カリキュラムに読み替えられており、資格取得および卒業要件の充足に必要な単位取得には、支障はないよう設計されている。

これらの変更は、他学部のカリキュラム運営には一切影響がなく、心理学の教育課程を従来の内容よりも洗練させることができた。

(f)教員組織の変更内容

心理学部（収容定員：645名／学位分野：文学）の大学設置基準上必要な専任教員数は11名（うち教授は6名以上）であり、教員編制は下表の通りとなっている。各教員がそれぞれの専門分野の教育・研究を行うとともに、必要に応じてオムニバス方式、共同方式を導入し横断的な教育・研究を行う。

	現行	変更後	
	心身科学部 心理学科	心理学部 心理学科	
	令和2年度	令和4年度 開設時	令和7年度 学年進行完了時
教授	8名	9名	8名
准教授	4名	5名	5名
講師	1名	3名	3名
合計	13名	17名	16名

専任教員1名辺りの学生数（ST比）は、届出時点の心身科学部心理学科においては43.5名（565÷13）であるが、心理学部心理学科の完成時では40.3名（645÷16）となる。ST比から判断すると変更後の教員配置は現状よりも改善されている。従って、心理学部への改組による教員の補充により、教育の質を維持・改善することができる。また実験助手3名を配置し、実験実習、演習科目、卒業研究等への学術的または技術的サポートが可能であり、十分な教育資源をもって指導を展開できる。

(g)大学全体の施設・設備の変更内容

本学学生の使用するキャンパスは、名古屋市郊外の愛知県日進市と名古屋市千種区楠元・末盛、名古屋市北区名城公園の4キャンパスにわたっている。日進キャンパスには、大学院3研究科（文学・心身科学・総合政策研究科）、大学3学部（文・心身科学・総合政策学部）に教養部（薬学部1年次生を含む）を有している。今回の学生の収容定員の増加を受けても、学生総数一人当たりの面積は、日進及び名城公園キャンパスにおいては校地が約56㎡（総面積502,205㎡）、校舎が約23㎡（総面積207,429㎡）に維持されている。心理学部心理学科の学生が利用する日進キャンパスは大学設置基準面積を大幅に上回るゆとりある学習環境が実現されており、附属施設として、緑豊かな広大な敷地内に講堂（4,186㎡）、体育館（4,855㎡）、スポーツセンター（7,453㎡）、学院会館、学院会館宿舎、合宿所、食堂4棟、研修会館、クラブハウス3棟と、陸上競技場（18,411㎡）・野球場（14,029㎡）・サッカー場（9,075㎡）・テニスコー

ト 14 面 (10,435 m²) の他、多目的グラウンド 3 面 (32,581 m²) が配置されている。名城公園キャンパスは、名古屋都心に位置しており、環境に配慮した最新の都市型キャンパスとして、愛知県庁、名古屋市役所ほかの官公庁、ビジネス街、名古屋駅エリア、栄エリアの躍動する社会が実感・体験できるほか、名古屋城、名城公園など緑も多く自然の安らぎが得られる良質な環境となっている。楠元及び末盛キャンパスは、両キャンパス合わせて学生総数一人当たりの面積が、校地 は約 25 m² (総面積 41,038 m²)、校舎は約 39 m² (総面積 63,863 m²) であり、大学設置基準面積を上回るキャンパスを備えている。

心理学部専用施設としては、9 号館地階に設けているポリグラフ室、データ解析室、全視野刺激室、工作室と、6 つの実験演習室を有しており重要な実験器具が揃う環境である。

また、心理的問題の解決や改善を支援する専門家としての臨床心理士を育成するうえで重要なのが愛知学院大学心理臨床センターである。臨床研修生 (大学院生) は、ここに関する理論や支援の方法について、実践を通して体験的に学ぶことができ、公認心理師・臨床心理士養成のための実践的訓練の場として、指導教員や専任カウンセラーの指導のもと、実際の相談業務に携わり、臨床経験を積むことができる。

心理学部心理学科設置に伴い、より施設設備を充実すべく、他学部で使用していた研究室を複数の中規模教室として改修する計画である。教員・学生ともに多様化するニーズに対応すべく、レイアウト調整が可能なフレキシブルな仕様をすることを目的としており、授業の効率化はもとより、授業時間外では国家試験を控えた学生の自習環境の改善にもつなげる。自習環境が、教員研究室や、専門書を有する資料室により近い場所で整備されることにより、学習環境のさらなる改善を図る。

図書館機能の充実強化については、本学の建学の精神に基づき「教育・研究を支えるための基盤的施設として活動する」などのもと、その機能強化を図るため、施設設備の充実に取り組んできた。蔵書数は全館合わせ図書約 115 万冊、雑誌約 1 万 1 千タイトル、電子ジャーナル約 1 万 5 千タイトル、データベース 30 タイトル、電子書籍約 1 万 4 千タイトル、マイクロ資料約 7 千タイトル、視聴覚資料約 2 万 5 千タイトル所蔵している。座席数は 1,551 席、その中にはキャレル席も含まれている。各キャンパスに図書館 (分館) を設置するとともに、電子ジャーナル、データベース、電子書籍の充実を図り、歯学・薬学図書館、MKC 分館とも連携を取り、それぞれが所蔵する紙資料、電子資料なども利用が可能となっている。

学術情報へのアクセスについては、館内に設置された 45 台のパソコン、館外については、学内ネットワークに接続されたパソコンから閲覧・ダウンロードすることが可能となっている。また、VPN 接続により、自宅、外出先などからインターネットを通じて安全に接続可能となっている。ホームページには **My Library** を開設し、自宅などから、個人の貸出状況をはじめ、学生の希望図書の購入依頼も受け付けが可能となっている。

専門的知識については、専任職員及び派遣スタッフを含め 45 名中 39 名が司書 (補) の資格を有し、国立国会図書館を始め、国内、海外の図書館とも連携し、レファレンス関係も充実している。

心理学部の学生が主に利用する日進キャンパス図書館の総床面積は、13,478 m² に及ん

でいる。「自律的な学習を支援し、知識の創造を促すための新しい学習空間」を目指し、1階にはラーニング・コモンズが設置されている。この施設は機能別にエリアが区分されており、多様化する学びのスタイルに対応した場所として、それぞれの特性、機能に応じた学修支援を展開している。3階には視聴覚学習センターも整備されており、DVD、CDなどに対応した機種と、学術分野から一般教養まで幅広い資料を収集しており、授業を始め、自己学習などに利用されている。授業実施日の平日は9時より20時まで、土曜日は13時まで祝日も含め開館している。図書館資料を貸し出す形で、心理学に関係する資料を所蔵する資料室を設置、直接図書館に来なくても図書館資料の利用が可能となっている。

さらには、意見箱の設置など、利用者の意見、要望を取り入れ、常に利用者目線に立ったサービスに努め、予算配分を始め、雑誌、電子ジャーナルなどの継続購入資料の見直しを常に行い、学修、研究に必要な資料の充実に努めている。心理学部の完成年度である令和7年度には図書合計約120万冊を超える資料を所蔵する予定である。

以上の通り、施設・設備については十分に整備されている。収容定員変更前と比べても、十分な内容が担保されていると考えている。

教育課程等の概要(添付資料)-1

教 育 課 程 等 の 概 要

(心理学部心理学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	多文化・共生分野	文化心理学		2		○					1			兼1 兼1
		障害者・障害児心理学		2		○			1		1			
		教育心理学Ⅰ（教育・学校心理学）		2		○								兼1 兼1
		教育心理学Ⅱ		2		○								
		障害者教育総論		2		○			1					兼1 兼1
		肢体不自由者の自立活動の理論と実際		2		○			1					
		肢体不自由者の心理・生理・病理		2集中		○			1					兼1 オムニバス
		知的障害児指導法		2		○			1					
		異文化理解		2		○					1			兼1 兼1 兼1 兼1
		異文化理解		2		○								
		ケアマネジメント		2		○			1					兼1 兼1 兼1 兼1
		発展講義c		2		○								
		発展講義d		2		○								
		発展講義e		2		○								
		発展講義f		2		○								
		発展講義g		2		○					1			兼1 兼1 兼1
		発展講義h		2		○								
		発達・教育心理学演習Ⅰ		2			○							兼1 兼1 兼1
		発達・教育心理学演習Ⅱ		2			○							
		社会・産業心理学演習Ⅰ		2			○		1					兼1 兼1 兼1
		社会・産業心理学演習Ⅱ		2			○		1					
	情報・ビジネス分野	産業・組織心理学Ⅰ		2		○			1					兼1 兼1 兼1
		産業・組織心理学Ⅱ		2		○			1					
		データサイエンス入門		2		○					1			兼1 兼1 兼1
		感性工学		2		○			1					
		消費者行動論		2		○								兼1 兼1 兼1
		製品評価の心理学		2		○			1					
		多変量解析Ⅰ		2		○				1				兼1 兼1 兼1
		多変量解析Ⅱ		2		○				1				
		行動経済学		2		○								兼1 兼1 兼1
		発展講義i		2		○								
		発展講義j		2		○								兼1 兼1 兼1
		実験心理学演習Ⅰ		2			○		1					
	専門総合科目	実験心理学演習Ⅱ		2			○		1					兼1 兼1 兼1
		情報ビジネス心理学演習Ⅰ		2			○				1			
		情報ビジネス心理学演習Ⅱ		2			○			1	1			共同
		デジタルデザイン演習		2			○		1					
		小計(50科目)		0	100	0	-		9	3	2	0	0	兼16
	専門総合科目	心理学実験Ⅰ		2				○	4		2			兼2 共同
		心理学実験Ⅱ		2				○	4		2			兼2 共同
		プレセミナー		2			○		9	3	3			オムニバス・共同（一部）
		総合研究演習Ⅰ		2			○		9	3	3			兼2 共同
		総合研究演習Ⅱ		2			○		9	3	3			
		総合研究演習Ⅲ		2			○		9	3	3			兼2 共同
		卒業研究		6			○		9	3	3			
		小計（7科目）		12	6	0	-		9	3	3	0	0	兼2

教 育 課 程 等 の 概 要

(心理学部心理学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
公認心理師 専 用 科 目	公認心理師の職責	2後		2			○		4	1				兼1 オムニバス・ 共同（一部） 共同 共同 共同 共同
	福祉心理学	3後		2		○			1					
	関係行政論	3前		2		○								
	心理演習	3前		2			○		5	1				
	心理実習Ⅰ	3後		1				○	1	2				
	心理実習Ⅱ	4前		1				○	1	2				
	心理実習Ⅲ	4後		1				○	1	2				
	小計（7科目）		0	11	0	-			6	2	0	0	0	兼1
資格 取得 科目 に 特 別 の 支 援 教 育 科目	知的障害者の心理・生理・病理	2集中		2		○								兼2 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1 オムニバス
	病弱者の心理・生理・病理	2後		2		○								
	肢体不自由者教育論	2集中		2		○								
	病弱者教育論	2集中		2		○								
	視覚障害教育総論	2集中		2		○								
	聴覚障害教育総論	2前		2		○								
	重複障害・軽度発達障害教育総論	2後		2		○								
	小計（7科目）		0	14	0	-			0	0	0	0	0	兼7

教 育 課 程 等 の 概 要

(心理学部心理学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	宗教学Ⅰ	1前	2			○								兼2
	宗教学Ⅱ	1後	2			○								兼2
	教養セミナー「学問の発見」Ⅰ	1前		1			○							兼4
	教養セミナー「学問の発見」Ⅱ	1後		1			○							兼4
	教養セミナー「学問の発見」Ⅲ	2前		1			○							兼5
	教養セミナー「学問の発見」Ⅳ	2後		1			○							兼5
	人文系	哲学Ⅰ	1前	2		○								兼2
		哲学Ⅱ	1後	2		○								兼2
		論理学Ⅰ	1前	2		○								兼2
		論理学Ⅱ	1後	2		○								兼2
		文学Ⅰ	1前	2		○								兼2
		文学Ⅱ	1後	2		○								兼2
		美術Ⅰ	1前	2		○								兼2
		美術Ⅱ	1後	2		○								兼2
	社会系	法学Ⅰ	1前	2		○								兼2
		法学Ⅱ	1後	2		○								兼2
		政治学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		政治学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		経済学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		経済学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		社会学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		社会学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		教育学Ⅰ	1前	2		○								兼2
		教育学Ⅱ	1後	2		○								兼2
		歴史学Ⅰ	1前	2		○								兼2
		歴史学Ⅱ	1後	2		○								兼2
	自然系	地理学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		地理学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		数学Ⅰ	1前	2		○								兼2
		数学Ⅱ	1後	2		○								兼2
		統計学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		統計学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		物理学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		物理学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		化学Ⅰ	1前	2		○								兼3
		化学Ⅱ	1後	2		○								兼3
		生物学Ⅰ	1前	2		○								兼2
		生物学Ⅱ	1後	2		○								兼2
	主題系	情報科学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		情報科学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		仏教と現代社会Ⅰ	2前	2		○								兼1
		仏教と現代社会Ⅱ	2後	2		○								兼1
		禅と人間Ⅰ	2前	2		○								兼1
		禅と人間Ⅱ	2後	2		○								兼1
		生命に関する諸問題Ⅰ	2前	2		○								兼1
		生命に関する諸問題Ⅱ	2後	2		○								兼1
		人間行動の理解Ⅰ	2前	2		○								兼1
		人間行動の理解Ⅱ	2後	2		○								兼1

教 育 課 程 等 の 概 要

(心理学部心理学科)

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養基幹科目	主題系	人間の尊厳と平等Ⅰ	2前		2		○									兼1
		人間の尊厳と平等Ⅱ	2後		2		○									兼1
		日本の文化と社会Ⅰ	2前		2		○									兼1
		日本の文化と社会Ⅱ	2後		2		○									兼1
		アジアの文化と社会Ⅰ	2前		2		○									兼1
		アジアの文化と社会Ⅱ	2後		2		○									兼1
		ヨーロッパの文化と社会Ⅰ	2前		2		○									兼1
		ヨーロッパの文化と社会Ⅱ	2後		2		○									兼1
		英語圏の文化と社会Ⅰ	2前		2		○									兼1
		英語圏の文化と社会Ⅱ	2後		2		○									兼1
		人間と環境Ⅰ	2前		2		○									兼1
		人間と環境Ⅱ	2後		2		○									兼1
		情報と社会Ⅰ	2前		2		○									兼1
		情報と社会Ⅱ	2後		2		○									兼1
		産業と科学Ⅰ	2前		2		○									兼1
		産業と科学Ⅱ	2後		2		○									兼1
	ソフトウェア概論Ⅰ	2前		2		○									兼1	
	ソフトウェア概論Ⅱ	2後		2		○									兼1	
	健康の科学	2前		2		○									兼2	
		小計（67科目）	—	4	126	0	—			0	0	0	0	0	兼46	—
教養教育科目	英語	英語Ⅰa	1前	1			○									兼3
		英語Ⅱa	1後	1			○									兼3
		英語Ⅰb	1前	1			○									兼4
		英語Ⅱb	1後	1			○									兼4
		英語Ⅰc	2前	1			○									兼4
		英語Ⅱc	2後	1			○									兼4
	ドイツ語	ドイツ語Ⅰ	1前		1		○									兼2
		ドイツ語Ⅱ	1後		1		○									兼2
	中国語	中国語Ⅰ	1前		1		○									兼2
		中国語Ⅱ	1後		1		○									兼2
	フランス語	フランス語Ⅰ	1前		1		○									兼1
		フランス語Ⅱ	1後		1		○									兼1
	韓国語	韓国語Ⅰ	1前		1		○									兼2
		韓国語Ⅱ	1後		1		○									兼2
	文化事情	ドイツ文化事情	1前・後		2		○									兼1
		中国文化事情	1前・後		2		○									兼1
		フランス文化事情	1前・後		2		○									兼1
		韓国文化事情	1前・後		2		○									兼1
	エレクトティブ	英会話Ⅰ	1前		1		○									兼1
		英会話Ⅱ	1後		1		○									兼1
英会話Ⅲ		2前		1		○									兼1	
英会話Ⅳ		2後		1		○									兼1	
メディア英語Ⅰ		1前		1		○									兼1	
メディア英語Ⅱ		1後		1		○									兼1	
メディア英語Ⅲ		2前		1		○									兼1	
メディア英語Ⅳ		2後		1		○									兼1	
英語表現法Ⅰ		1前		1		○									兼1	
英語表現法Ⅱ		1後		1		○									兼1	
英語表現法Ⅲ		2前		1		○									兼1	
英語表現法Ⅳ		2後		1		○									兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

(心理学部心理学科)

科目 区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養教育科目	外国語科目	エレクトティブ	英語読解法Ⅰ	1前		1		○								兼1			
			英語読解法Ⅱ	1後		1		○								兼1			
			英語読解法Ⅲ	2前		1		○								兼1			
			英語読解法Ⅳ	2後		1		○								兼1			
			実践英語Ⅰ	1前		1		○								兼1			
			実践英語Ⅱ	1後		1		○								兼1			
			実践英語Ⅲ	2前		1		○								兼1			
			実践英語Ⅳ	2後		1		○								兼1			
			ドイツ語Ⅰ（基礎）	1前		1		○								兼1			
			ドイツ語Ⅱ（基礎）	1後		1		○								兼1			
			ドイツ語Ⅲ（読解）	2前		1		○								兼1			
			ドイツ語Ⅳ（読解）	2後		1		○								兼1			
			ドイツ語Ⅲ（表現）	2前		1		○								兼1			
			ドイツ語Ⅳ（表現）	2後		1		○								兼1			
			ドイツ語Ⅲ（総合）	2前		1		○								兼1			
			ドイツ語Ⅳ（総合）	2後		1		○								兼1			
			ドイツ語会話Ⅰ	2前		1		○								兼1			
			ドイツ語会話Ⅱ	2後		1		○								兼1			
			中国語Ⅰ（基礎）	1前		1		○								兼1			
			中国語Ⅱ（基礎）	1後		1		○								兼1			
			中国語Ⅲ（読解）	2前		1		○								兼1			
			中国語Ⅳ（読解）	2後		1		○								兼1			
			中国語Ⅲ（表現）	2前		1		○								兼1			
			中国語Ⅳ（表現）	2後		1		○								兼1			
			中国語Ⅲ（総合）	2前		1		○								兼1			
			中国語Ⅳ（総合）	2後		1		○								兼1			
			中国語会話Ⅰ	2前		1		○								兼1			
			中国語会話Ⅱ	2後		1		○								兼1			
			フランス語Ⅰ（基礎）	1前		1		○								兼1			
			フランス語Ⅱ（基礎）	1後		1		○								兼1			
			フランス語Ⅲ（読解）	2前		1		○								兼1			
			フランス語Ⅳ（読解）	2後		1		○								兼1			
			フランス語Ⅲ（表現）	2前		1		○								兼1			
			フランス語Ⅳ（表現）	2後		1		○								兼1			
			フランス語Ⅲ（総合）	2前		1		○								兼1			
			フランス語Ⅳ（総合）	2後		1		○								兼1			
			フランス語会話Ⅰ	2前		1		○								兼1			
			フランス語会話Ⅱ	2後		1		○								兼1			
			韓国語Ⅰ（基礎）	1前		1		○								兼1			
			韓国語Ⅱ（基礎）	1後		1		○								兼1			
			韓国語Ⅲ（読解）	2前		1		○								兼1			
			韓国語Ⅳ（読解）	2後		1		○								兼1			
			韓国語Ⅲ（表現）	2前		1		○								兼1			
			韓国語Ⅳ（表現）	2後		1		○								兼1			
			韓国語Ⅲ（総合）	2前		1		○								兼1			
			韓国語Ⅳ（総合）	2後		1		○								兼1			
			韓国語会話Ⅰ	2前		1		○								兼1			
			韓国語会話Ⅱ	2後		1		○								兼1			
			小計（78科目）			—	6	76	0	—			0	0	0	0	0	兼27	—

教 育 課 程 等 の 概 要

(心理学部心理学科)

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養 教育 科目	科学健康 総合 科目	スポーツ科学Ⅰ	1前	1					○							兼5	
		スポーツ科学Ⅱ	1後	1					○							兼5	
		スポーツ科学Ⅲ	2前		1				○							兼5	
		スポーツ科学Ⅳ	2後		1				○							兼5	
		小計（4科目）	—	2	2	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—	
	海外 事情 科目	海外事情Ⅰ	1集中		2				○							兼1	
		海外事情Ⅱ	1集中		2				○							兼1	
		海外事情Ⅲ	1集中		1				○							兼1	
		海外事情Ⅳ	1集中		1				○							兼1	
		小計（4科目）	—	0	6	0	—			0	0	0	0	0	兼4	—	
合計（257科目）			—	44	391	0	—			10	5	3	0	0	兼106		
学位又は称号		学士（心理学）		学位又は学科の分野				文学関係									
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
【教養教育科目】 ・宗教学Ⅰ・Ⅱ（4単位修得） ・教養基幹科目から20単位以上修得（人文系・社会系・自然系・主題系から各4単位以上修得） ・外国語科目（10単位修得）（英語6単位、4言語の中から1言語を選択して2単位修得。加えて文化事情を2単位修得） ・健康総合科学科目（2単位修得） 合計36単位以上取得 【専門教育科目】 ・必修科目の32単位および選択科目から44単位、計76単位以上修得 ・選択科目44単位において、所定の演習科目から4単位以上を含むこと ・専門展開科目のうち、心理学実践分野、多文化共生分野、情報ビジネス分野の全てにおいて、講義科目を4単位以上を修得 ・専門展開科目のうち、心理学実践分野、多文化共生分野、情報ビジネス分野のいずれか一つの分野において20単位以上を修得 ・特別支援教育に関する科目は、14単位まで卒業要件単位に含むことができる 合計76単位以上修得 【卒業要件単位】 教養教育科目36単位以上、専門教育科目76単位以上を含め、計128単位以上修得 （履修科目の登録の上限：44単位（年間））								1学年の学期区分				2学期					
								1学期の授業期間				15週					
								1時限の授業時間				90分					

資 料 一 覧

- 資料 1 全国の心理学部の志願者および入学者動向
- 資料 2 2019 年 ビジネスパーソンが抱えるストレスに関する調査／チューリッヒ生命
- 資料 3 「テレワークの方が従業員のメンタルケアが難しい」／株式会社月間総務プレスリリース
- 資料 4 「ストレス」と「生産性」の関係をご存じですか？ 欧州 24 か国のデータから／ストレスケア・コム
- 資料 5 自殺の GDP 損失は 1 兆円／中央調査社
- 資料 6 在留外国人及び外国人労働者の状況等について
- 資料 7 卒業生の就職先の職種の分類：心理学科と経営学科の比較
- 資料 8 データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果
- 資料 9 心身科学部心理学科（旧）から心理学部心理学科（新）への科目の読替表

資料1. 全国の心理学部の志願者および入学者動向

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	平均
学部数	14	14	18	18	21	17
入学定員（人）	2195	2185	2723	2713	2968	2556
志願者数（人）	15051	17324	23026	28076	29548	22605
志願倍率	6.8	7.9	8.4	10.3	9.9	8.6
入学者数（人）	2198	2405	2935	2832	3098	2693
入学定員充足率（％）	100.1	110.0	107.7	104.3	104.3	105.28

令和2年度～平成29年度 私立大学・短期大学等入学志願動向より引用して作成

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

ビジネスパーソンが抱えるストレスに関する調査（【資料 2】）

2（出典）

チューリッヒ生命保険株式会社

3（引用範囲）

https://www.zurichlife.co.jp/aboutus/pressrelease/2019/20190424_01

1（書類等の題名）

「テレワークの方が従業員のメンタルケアが難しい」（【資料3】）

2（出典）

株式会社月刊総務

3（引用範囲）

「メンタルヘルスケアに関する調査」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000060066.html%20https://www.g-soumu.com/news/2020/10/mentalhealthcare.php>

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

「ストレス」と「生産性」の関係をご存じですか？ 欧州24か国のデータから
（【資料4】）

2（出典）

株式会社メンティグループ

3（引用範囲）

「職場のストレス」（ストレスケア・コム）

https://www.stresscare.com/report/stress_productivity.html

1（書類等の題名）

「自殺の GDP 損失は 1 兆円」（【資料 5】）

2（出典）

一般社団法人中央調査社

3（引用範囲）

「中央調査報（No.535）」より

<https://www.crs.or.jp/backno/old/No553/5532.htm>

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

在留外国人及び外国人労働者の状況等について（【資料 6】）

2（出典）

愛知県

3（引用範囲）

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/263540.pdf>

資料7 卒業生の就職先の職種の分類: 心理学科と経営学科の比較

職種	学科	年度				
		2015	2016	2017	2018	2019
事務職	心理	18.7%	16.8%	16.5%	21.6%	21.4%
	経営	11.4%	16.3%	11.6%	16.8%	10.9%
営業職・販売職	心理	18.7%	16.8%	16.5%	21.6%	21.4%
	経営	69.7%	65.2%	70.5%	65.6%	78.2%
サービス職	心理	51.4%	48.7%	59.6%	41.2%	35.0%
	経営	3.9%	2.5%	5.2%	3.6%	3.2%
保安職 (警察・消防・警備員等)	心理	2.8%	0.9%	1.8%	0.0%	2.9%
	経営	2.4%	4.3%	2.2%	1.4%	0.8%
教員	心理	3.7%	1.8%	0.0%	2.0%	1.9%
	経営	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%
製造技術者	心理	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	2.9%
	経営	0.0%	1.8%	3.0%	3.9%	1.2%
情報通信技術者 (SE・プログラマー等)	心理	1.9%	0.9%	2.8%	6.9%	10.7%
	経営	3.6%	3.3%	4.1%	4.3%	2.8%
その他	心理	1.9%	2.7%	8.3%	14.7%	9.7%
	経営	9.0%	6.2%	3.0%	4.3%	2.8%
言語聴覚士	心理	11.2%	12.4%	6.4%	9.8%	1.0%
	経営	-	-	-	-	-

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果（【資料 8】）

2（出典）

一般社団法人データサイエンティスト協会 調査・研究委員会

3（引用範囲）

https://www.datascientist.or.jp/common/docs/c-research_2019.pdf

資料9 心身科学部心理学科(旧)から心理学部心理学科(新)への科目の読替表

新(令和4年度入学生適用) 読替後の科目										旧(令和3年度入学生以前)	
科目区分	科目名	備考	単位数	開講学年	講義期間	必修	公認心理師	特別支援		科目名	開講学年
専門教育科目	専門基礎科目	心理学概論I		2	1	春	○	○		心理学概論I	1
		心理学概論II		2	1	秋	○	○		心理学概論II	1
		心理学統計法I	※3	2	1	春	○	○		心理学統計法I	2
		心理学統計法II	※3	2	1	秋	○	○		心理学統計法II	2
		認知心理学I(知覚・認知心理学)	※3	2	1	秋	○	○		認知心理学a(知覚・認知心理学)	2
		発達心理学I		2	2	春	○	○		発達心理学b	2
		人格心理学I(感情・人格心理学)		2	2	春	○	○		人格心理学b(感情・人格心理学)	2
		社会心理学I(社会・集団・家族心理学)		2	2	春	○	○		社会心理学b(社会・集団・家族心理学)	2
		ストレスマネジメント入門	※1	2	2	秋	○				
	専門基幹科目	心理学研究法		2	3	春	○	○		心理学研究法I	3
		学習・言語心理学	※3	2	1	春		○		行動心理学a(学習・言語心理学)	2
		認知心理学II		2	2	春				認知心理学b	2
		発達心理学II		2	2	秋				発達心理学a(生涯発達心理学)	2
		人格心理学II		2	2	秋				人格心理学a	2
		社会心理学II		2	2	秋				社会心理学a	2
		生理学I(人体の構造と機能及び疾病)	※3	2	2	春		○		人体の構造と機能及び疾病	1
		生理学II		2	2	秋					
		神経・生理心理学		2	3	春		○		神経・生理心理学	3
		生理心理学		2	3	秋				生理心理学	3
		心理学史		2	3	秋				心理学史	3
		スポーツ心理学		2	3	春				スポーツ心理学	3
		ポジティブ心理学		2	3	秋				発展講義2a(ポジティブ心理学)	3
		カレントピックスa	感情の生理心理学	2	3	春				発展講義1a(感情の生理心理学)	3
		カレントピックスb	感情の生理心理学	2	3	秋				発展講義1b(感情の生理心理学)	3
		カレントピックスc	深層心理学	2	3	春				発展講義6a(深層心理学)	3
		カレントピックスd	臨床実務論	2	3	秋				発展講義2b(臨床実務論)	3
		カレントピックスe	※1	2	3	春					
		カレントピックスf	※1	2	3	秋					
		調査法I	※3	2	2	春				データ解析b	3
		調査法II	※3	2	2	秋				心理学研究法II	3
		ストレスマネジメント演習I	パイオフィードバック法 ※1	2	3	春					
		ストレスマネジメント演習II	臨床動作法 ※1	2	3	秋					
	心理学実践科目	臨床心理学I(臨床心理学概論)		2	2	春		○		臨床心理学a(臨床心理学概論)	2
		多職種連携論		2	2	秋					
		健康・医療心理学	※3	2	2	秋		○		健康・医療心理学	1
		臨床心理学II(心理学的支援法)	※3	2	3	秋		○		臨床心理学b(心理学的支援法)	2
		司法・犯罪心理学		2	3	春		○		司法・犯罪心理学	3
		精神疾患とその治療I		2	3	春		○		精神疾患とその治療a	3
		精神疾患とその治療II		2	3	秋		○		精神疾患とその治療b	3
		発展講義a	乳幼児心理学	2	3	春				乳幼児心理学	3
		発展講義b	心理療法 ※1	2	3	秋					
		心理検査演習I	知能検査他	2	3	春				心理的アセスメントa	
		心理検査演習II	ロールシャッハ	2	3	秋				心理的アセスメントa	3
		面接法・介入法(心理的アセスメント)		2	3	秋		○		心理的アセスメントb	3
		人格・臨床心理学演習I	※2,3	2	3	春				人格心理学演習a・臨床心理学演習a	2
		人格・臨床心理学演習II	※2,3	2	3	秋				人格心理学演習b・臨床心理学演習b	2
	多文化・共生分野	文化心理学	※1	2	2	春					
		障害者・障害児心理学	※3	2	2	春		○		障害者・障害児心理学	1
		教育心理学I(教育・学校心理学)		2	2	春		○		教育心理学a(教育・学校心理学)	2
		教育心理学II		2	2	秋				教育心理学b	2
		障害者教育総論	※4	2	2	春			○		
		肢体不自由者の自立活動の理論と実際	※4	2	2	春			○		
		肢体不自由者の心理・生理・病理	※4	2	2	秋			○		
	多文化・共生分野	知的障害児指導法	※4	2	2	春			○		
		異文化理解	※1	2	3	秋					
		ケアマネジメント	※1	2	3	春					
		発展講義c	高齢期心理学 ※1	2	3	春					
		発展講義d	青年心理学	2	3	秋				青年心理学	3
		発展講義e	社会的認知	2	3	春				発展講義4a(社会的認知)	3
		発展講義f	社会的認知	2	3	秋				発展講義4b(社会的認知)	3

新(令和4年度入学生適用) 読替後の科目											旧(令和3年度入学生以前)	
科目区分			科目名	備考	単位数	開講学年	講義期間	必修	公認心理師	特別支援	科目名	開講学年
専門教育科目	多文化・共生分野		発展講義g	コミュニケーション ※2	2	3	春				現代社会とコミュニケーションa、b	3
			発展講義h	生物学的適応の心理学 ※3	2	3	秋				行動心理学b	2
			発達・教育心理学演習I	※2,3	2	3	春				発達心理学演習a・教育心理学演習a	2
			発達・教育心理学演習II	※2,3	2	3	秋				発達心理学演習b・教育心理学演習b	2
			社会・産業心理学演習I	※2,3	2	3	春				社会心理学演習a・産業心理学演習a	2
			社会・産業心理学演習II	※2,3	2	3	秋				社会心理学演習b・産業心理学演習b	2
	情報ビジネス分野	専門展開科目	産業・組織心理学I		2	2	春				産業心理学a	2
			産業・組織心理学II		2	2	秋		○		産業心理学b(産業・組織心理学)	2
			データサイエンス入門	※3	2	2	春				データ解析a	3
			感性工学	※1	2	2	秋					
			消費者行動論	※3	2	2	秋				社会行動論a	3
			製品評価の心理学	※1	2	3	春					
			多変量解析I	※3	2	3	春				計量心理学a	2
			多変量解析II	※3	2	3	秋				計量心理学b	2
			行動経済学	※1	2	3	春					
			発展講義i	住環境の心理学	2	3	春				発展講義6b(住環境の心理学)	3
			発展講義j	応用認知心理学 ※1	2	3	秋					
			実験心理学演習I	実験計測 ※3	2	3	春				認知心理学演習a・行動心理学演習a	2
			実験心理学演習II	プログラミング演習 ※3	2	3	秋				認知心理学演習b・行動心理学演習b	2
			情報ビジネス心理学演習I	機械学習	2	3	春				計量心理学演習a	
			情報ビジネス心理学演習II	ビッグデータ分析	2	3	秋				計量心理学演習b	
			デジタルデザイン演習	※1	2	3	秋					
	専門総合科目		心理学実験I	※3	2	2	春	○	○		基礎実験演習I・II(心理学実験I・II)	1
			心理学実験II		2	2	秋	○	○		一般実験演習I・II(心理学実験III・IV)	2
			プレセミナー		2	3	春	○			総合研究演習I	3
			総合研究演習I		2	3	秋	○			総合研究演習II	3
			総合研究演習II		2	4	春	○			総合研究演習III	4
			総合研究演習III		2	4	秋	○			総合研究演習IV	4
			卒業研究			4	集中				卒業論文	4
	公認心理師専用科目		公認心理師の職責		2	2	秋		○		公認心理師の職責	2
			福祉心理学		2	3	秋		○		福祉心理学	3
			関係行政論		2	3	春		○		関係行政論	3
			心理演習		2	3	春		○		心理演習	3
			心理実習I		1	3	秋		○		心理実習I	3
			心理実習II		1	4	春		○		心理実習II	4
			心理実習III		1	4	秋		○		心理実習III	4
資格取得科目	特別支援教育に関する科目		知的障害者の心理・生理・病理		2					○		
			病弱者の心理・生理・病理		2					○		
			肢体不自由者教育論		2					○		
			病弱者教育論		2					○		
			視覚障害教育総論		2					○		
			聴覚障害教育総論		2					○		
			重複障害・軽度発達障害教育総論		2					○		
				廃止	2						発展講義3a	3
				廃止	2						発展講義3b	3
				廃止	2						発展講義5a	3
				廃止	2						発展講義5b	3
				廃止 ※5	2						健康医学入門(医学総論を含む)	1
				廃止 ※5	2						健康医学(内科学を含む)	2
				廃止 ※5	2						リハビリテーション医学	2
				廃止 ※5	2						社会福祉・教育(社会保障制度、リハビリテーション概論及び関係法規を含む)	3
				廃止 ※5	2						言語学総論・各論	2
				廃止 ※5	2						学習認知心理学	2
				廃止 ※5	2						言語発達学	2
				廃止 ※5	2						心理測定法	3
				廃止 ※5	2						音声学総論・各論	2
				廃止 ※5	2						音響学・聴覚心理学	2
				廃止 ※5	2						失語症 I	2
				廃止 ※5	2						失語症 II	3

新(令和4年度入学生適用) 読替後の科目											旧(令和3年度入学生以前)		
科目区分				科目名	備考	単位数	開講 学年	講義 期間	必修	公認 心理師	特別 支援	科目名	開講 学年
					廃止 ※5	2						高次脳機能障害学	3
					廃止 ※5	2						言語発達障害学Ⅰ	2
					廃止 ※5	2						言語発達障害学Ⅱ	3
					廃止 ※5	2						脳性麻痺・学習障害論	3
					廃止 ※5	2						小児科学	3
					廃止 ※5	2						音声・言語・聴覚系神経医学	2
					廃止 ※5	12						臨床実習	4
					廃止 ※5	2						解剖学	1
					廃止 ※5	2						生理学	1
					廃止 ※5	2						病理学	2
					廃止 ※5	2						口腔機能論 (臨床歯科医学を含む)	1
					廃止 ※5	2						耳鼻咽喉学	3
					廃止 ※5	2						臨床神経学	2
					廃止 ※5	2						形成外科学	2
					廃止 ※5	2						口腔外科学	2
					廃止 ※5	2						音声・言語・聴覚医学 (神経系の構造、機能及び病態を含む)	2
					廃止 ※5	2						言語聴覚障害総論	1
					廃止 ※5	2						言語聴覚障害診断学	4
					廃止 ※5	2						発声発語障害学Ⅰ(音声障害)	3
					廃止 ※5	2						発声発語障害学Ⅱ (機能性構音障害総論・各論)	2
					廃止 ※5	2						発声発語障害学Ⅲ (器質性構音障害総論・各論)	3
					廃止 ※5	2						発声発語障害学Ⅳ (運動障害性構音障害総論・各論)	3
					廃止 ※5	2						嚥下障害総論・各論	3
					廃止 ※5	2						吃音	3
					廃止 ※5	2						聴覚障害・視覚聴覚二重障害(小児聴覚障害、成人聴覚障害を含む)	3
					廃止 ※5	2						聴力検査	2
					廃止 ※5	2						補聴器	3
					廃止 ※5	2						人工内耳	3
					廃止 ※5	2						心理診断学演習	3
					廃止 ※5	2						言語聴覚心理評価学	4
					廃止 ※5	2						言語機能評価学演習	3
					廃止 ※5	2						言語聴覚学基礎演習	2
					廃止 ※5	2						言語聴覚学総合演習	2
					廃止 ※5	2						特殊演習1a (コミュニケーション障害学)	3
					廃止 ※5	2						特殊演習1b(コミュニケーション障害学)	3
					廃止 ※5	2						特殊演習2a(言語聴覚嚥下障害学)	3
					廃止 ※5	2						特殊演習2b(言語聴覚嚥下障害学)	3
					廃止 ※5	2						健康科学総合演習	3

※1 心理学部心理学科(新カリキュラム)にて新規に開講する科目
※2 心身科学部心理学科(旧カリキュラム)における複数の科目を統合し、心理学部心理学科(新カリキュラム)にて開講する科目
※3 開講学年を変更した科目
※4 教職課程(特別支援)の科目から、専門科目に移行された科目
※5 言語聴覚士資格課程の廃止に伴う変更

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	p. 2
① 学生確保の見通し	
ア 定員充足の見込み	
(ア) 定員設定の考え方	
(イ) 定員充足の見込み	
a. 心身科学部心理学科の受験動向	
b. 心理学部の需要と社会的期待	
c. 理系学生を対象とした受験方式の設置	
d. 地域密着型大学の強みを活かす	
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータ概要	p. 4
(ア) 既設の心身科学部心理学科の入学実績	
(イ) 全国心理学部の受験者動向と近隣大学の傾向	
(ウ) 高校生を対象とした事前アンケートと結果と選択科目の傾向	
(エ) 愛知学院大学の出身都道府県と東海4県の進学・就職の傾向	
② 学生確保に向けて具体的な取り組み状況	p. 5
(ア) 紙媒体、SNS等を利用した活動	
(イ) 高等学校への訪問	
(ウ) オープンキャンパス	
(エ) 高校内ガイダンスの実施	
(オ) 進学相談会	
(カ) 高校教員対象入試説明会	
(キ) 高等学校への出張講義	
(2) 人材需要の動向等社会の要請	p. 7
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	
(ア) 養成する人物像	
(イ) 学生に習得させる能力等の教育研究上の目的	
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであること の客観的な根拠	p. 8
(ア) 大学全体の求人件数	
(イ) 養成する人材像の特長と社会的ニーズ	
(ウ) 人材需要の根拠となる調査結果の概要	

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

(ア) 定員設定の考え方

心理学部心理学科の入学定員設定は、後述する 4 つの理由により 1 学年 160 名（2 年次編入学定員 1 名、3 年次編入学定員 1 名）に設定した。はじめに既設の心身科学部心理学科の志願状況から、本学部定員の妥当性を示すことができる（資料 1）。現在の心身科学部心理学科は、受験倍率も高い水準で保たれており、この状況を心理学部において引き継ぐものと考えている。次に、現在における心理学部に対して社会的需要が高いことがあげられる。全国における心理学部の受験者動向（資料 2）と企業等の人材需要を鑑みると、心理学部への高い期待が伺える（資料 3,4）。3 つ目に今回の教育課程の変更は、既存の分野に加え心理学をデータサイエンス、感性工学まで拡張を明示させることにより、理系の受験生の増加を見込んでいる。もともと心理学は数理統計学、情報科学、認知科学など自然科学的要素を多く含むこと、または密接に関連していることは受験生にはあまり知られていない。そこでこれら特徴を理系クラスの学生に積極的にアピールしていく。そして 4 つ目に本学の立地条件と地域特性の強みを活かすことができる。本学の在校生の多くは東海 4 県（愛知、岐阜、三重、静岡）からの出身者が多く、当該地域における高等学校および中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況から十分に定員充足を期待できる。以上の状況を総合的に勘案した上で、心理学部で設定した定員が妥当であるものと判断している。

心身科学部心理学科			⇒	心理学部心理学科		
入学定員	編入学定員	収容定員		入学定員	編入学定員	収容定員
人	人	人		人	人	人
	2 年次 3 年次				2 年次 3 年次	
140	1 1	565		160	1 1	645

(イ) 定員充足の見込み

本学部は心身科学部心理学科の受験動向、社会的需要と期待、新しい教育課程の設置、立地条件と地域特性の点から、定員充足が可能であると判断している。

a. 心身科学部心理学科の受験動向

本学既設の心理学科の直近 5 年（平成 28～令和 2 年度）の総志願者数は、定員に対して十分に確保されている。心理学科の 5 年間ににおける平均志願者数 1,551 名であり、平均志願倍率は 10.9 となっている。また実質的な競争倍率となる受験者数に対する合格者数の平均倍率は 2.9 を維持し、心理学を専門的に学びたいという受験生は安定的に存在する。なお当該期間の平均入学定員超過率は 1.05 倍となっているが、高い志願者率、受験倍率のバランスを維持しながら適切な定員管理を行っている（資料 1）。

b. 心理学部の需要と社会的期待

直近 5 年間の全国における心理学部志願者・入学者動向から鑑みると、心理学部の定員の充足は十分に期待できる（資料 2）。また、直近の 5 年間に於いて心理学部を設置

する大学は、14校から21校へと増加し、入学定員数も5年間で約1.35倍と増加している。それに対して志願者数は1.96倍と定員増加率に比べて高く、平均志願者倍率も8.6倍と高い水準を維持している。これは公認心理師法が施行され心理的支援の専門職が国家資格化されたことも一因となっている。また高校生を対象とした進路調査ではカウンセラー・臨床心理士は上位にランキングされており、高校生にとっても魅力的な職種の一つ（資料5）であるといえ、職業の選択肢として心理の専門職を目指す受験線が一定数存在する。従って、ここ数年間において本学も含め心理学部の志望者数が増加傾向にあると予測される。

また本学の新しい心理学部のコンセプトは、多くの高校生にとって魅力的に感じていることが伺える。東京都および東海4県の高校生を対象に行った事前アンケートの調査結果では、調査対象者（11,697名）において「受験したい&入学したい」と回答した割合は13.3%に達している（資料3,6）。このことから、本学の心理学部への入学を希望する受験生はかなりの割合で存在しており、その需要の高さを裏付けるものである。

さらに受験者を東海4県に限定した場合でも、長期的かつ安定的に定員数を確保できると考えている（資料7）。資料3,11のデータに基づき、「受験したい&入学したい」を希望する東海4県の受験者数の推移を算出した。18歳未満の人口減少によって受験者数も減少傾向にあるが、2030年度時点でも1400名以上を維持できると予測している。これらの結果は、将来的にも定員160名を十分に維持できることを示唆している。

加えて、心理学部の卒業生の採用においても、企業側からの魅力および期待も高いといえる（資料8）。企業を対象とした事前アンケートにおいて、本学の特色の4項目についての魅力を調査したところ、多くの企業から「魅力的である」との回答を得ている（70.8%～93.1%）。また「社会的必要性（94.4%）」や「卒業生の採用意向（80.8%）」についても、高い評価を得ており、心理学部のカリキュラムによって育成した人材の社会的需要も十分にあるといえる。このような結果は、心理学部にとって良好な就職率を維持できる地盤があると考えられる。

c.理系学生を対象とした受験方式の設置

理系出身者を積極的に取り込むことにより、入学希望者の増加をねらいとしている。事前アンケートにおいて、理系クラス（理系コース）に所属する高校生において心理学部に魅力を感じる割合は66.9%と高く、同項目における文系クラス（コース）の割合（74.0%）と同程度であることが示されている（資料3）。これは今まで把握できていなかった理系出身者のニーズを反映したものと考えられる。本心理学部は文理融合型のカリキュラムが特長であり、データサイエンスや感性工学など理系出身者にも学びやすい講義・演習を整備していることが十分に理解されたものといえる。

また既設の心理学科の受験では、選択科目に数学を選択する受験生は他の文系学部よりも多い傾向にあった（資料9）。しかし実際の志望者は文系出身者が多く、理系の受験者を十分に取り込めていない。その理由に、現在の受験方式では国語・外国語（英語）を必須とし、選択科目を社会（日本史、世界史）または数学（数学Ⅰ・A・Ⅱ）に設定していることも起因する。このような方式では文系科目の得点比重が高いため、理系の受験生が受験しやすい科目セットにはなっていない。

そこでこれらの問題点を解消するために、理数系科目の比重を高くした受験方式を設定する。具体的には、英語、数学Ⅰ・A・Ⅱを必須、理科（生物基礎、化学基礎）を

選択科目に加えた受験方式を追加し、理系科目を得意とする学生を積極的に取り込むことを行っていく。

以上の対応策により、従来心理学系学部を受験しなかった理系出身者を取り込むことが可能となり、定員充足に寄与できると考えている。

d.地域密着型大学の強みを活かす

本学の特長である地域密着型を維持し、学生確保に努めていく。本学における入学者の出身都道府県、人口推移、大学進学率、大卒者の県内就職率の観点から総合的に判断すると、他の都道府県に比べ、学生確保において好条件である。

本学における入学者は愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の東海 4 県からの出身者が約 87%となり大半を占めている（資料 10）。心理学部の学生募集では従来と同様に東海 4 県を中心に学生募集を展開し、学生確保に努める。東海地区の 18 歳未満の人口推移は 2019 年度を基準にすると、2030 年までに約 10%の減少が生じることが予測されている（資料 11）。しかし 2020 年度の国勢調査によると 2015 年に比べ愛知県の人口はわずかに増加しており、当面は十分な人口が維持されていくものと考えられる。

また愛知県は県内への進学率が高い点は特徴的であり、県内の大学進学への意向が強いエリアである（資料 12）。地元への進学率が約 70%と高く、高校卒業後の進学先として、地元の大学を優先的に選択する傾向にあるといえる。

さらに愛知県の大学進学者の就職において愛知県内の就職率も高い（資料 13）。愛知県、岐阜県および三重県は第 2 次産業が中心となっており、このような産業構造のおかげで経済活動も比較的安定している。加えて完全失業率も低水準を維持している（資料 9）。財政力指数も 0.91 と東京都に続き高い水準を維持していることから、他の都道府県に比べ産業活動が良好であり、学生が就職しやすい環境である。以上の地域特性を十分に活かし、愛知県内に進学することの利点を受験生にアピールできるものと考えている。

イ.定員充足の根拠となる客観的なデータ概要

(7)既設の心身科学部心理学科の入学実績（資料 1）

本学入試広報課の資料に基づき、心理学科の直近 5 年（平成 28～令和 2 年度）の総志願者数を集計した表である。心理学科の 5 年間における平均志願者数 1,551 名であり、平均志願倍率は 10.9 となっている。また実質的な競争倍率となる受験者数に対する合格者数の平均倍率は 2.9 を維持している。定員に対する入学者数は適切に確保されている。

(4)全国心理学部の受験者動向と近隣大学の傾向（資料 2, 5）

過去 5 年の私立大学・短期大学等入学志願動向、および過去 3 年間の近隣かつ類似の学部学科を有する大学の志願者動向を集計した（資料 2）。全国的な特徴としては平成 29 年度の公認心理師法の施行も影響し、直近の 5 年間において心理学部を設置する大学が 14 校から 21 校へと増加している。それに伴い入学定員数も 5 年間で約 1.35 倍と増加しているが、志願者数は 1.96 倍と定員増加率に比べて高くなっている。また平均志願者倍率も 8.6 倍と高い水準を維持している。

近隣の心理学系学部・学科を有する大学に限って見てみると、どの大学も募集定員に対する志願者数も高い水準となっていることがわかる。本学においては 140 名のと

ころ 160 名として算出したが、本申請前においても 160 名の定員を充足できたことが分かる。

また心理系職種への興味関心の高さを示す補足資料として「中高生が思い描く将来についての意識調査（資料 5）」を添付した。心理カウンセラーや臨床心理師（現在では公認心理師に相当）への希望は女子生徒に多いことがわかる。

(ウ)高校生を対象とした事前アンケートと結果と選択科目の傾向（資料 3,6,7,9）

心理学部の概要を示すリーフレット（資料 6）とともに、調査用紙を用いて事前アンケートを行った。対象は東京都、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の高等学校に通う高校生 11,697 名（男：女＝5,360：6,284）を対象とした（資料 3）。

各質問項目について集計した主な結果は次の通りである。心理学部の 4 つの特色について、「とても魅力を感じる。」または「ある程度魅力を感じる。」を回答している比率は 66.5%～73.3%となっており、高校生にとって魅力的と感じる構想であることがわかる。また全回答者に対して、「受験且つ入学したい。」と回答した割合は 13.1%（1,528 件）となり、定員の確保が十分に期待できる。また資料 7 ではアンケート結果と東海 4 県における 18 歳未満の人口推移から、2030 年度入試までの受験および入学意向のある受験生を予測したところ、十分な定員確保が見込めることを示している。

さらに回答内容に応じたクロス集計を実施した。まず所属クラス毎の回答を分類したところ、文系クラスと同様に理系クラスにおいても特色に魅力ありと回答していた。また「受験且つ入学したい。」と回答した割合は、文系クラスで 14.7%、理系クラスで 8.7%となり文系クラスで高い比率であったが、理系クラスにも受験および入学を前向きに検討する層が一定数存在することが確認できた。

そして過去の心理学科の受験者には理系科目を得意とする学生の割合を調査した（資料 9）。心理学科と同じ受験科目選択が可能な文系学部との比較するため、文学部、総合政策学部、経営学部、経済学部、商学部、法学部の数学選択者の割合を比較した。その結果、心理学科の受験者では他の文系学部よりも数学選択の割合が高く、もともと理系科目を得意とする学生が他の文系学部よりも多く存在することが示されている。

(エ)愛知学院大学の出身都道府県と東海 4 県の進学・就職の傾向（資料 10～13）

本学における過去 3 年間の入学者出身都道府県を示した（資料 10）。愛知県からの入学が 60%を占めており、岐阜、三重、静岡の東海 4 県を含めると、約 87%程度となり、地域密着型の大学であることがわかる。これらのデータは、東海 4 県を中心に学生募集活動を展開し、定員確保に努めることが望ましいことを示している。

また東海 4 県の 18 歳未満の人口推移は、2019 年度を基準とすると 2030 年まで約 10%の減少が生じている。しかし、もともと人口規模の大きい愛知県では、他の 3 県に比べやや高い水準を維持しており、愛知県出身者が 60%となる本学においては、当面は十分な人口を維持しているといえる（資料 11）。また愛知県は県内への大学進学率（資料 12）や県内への就職率（資料 13）が高く、進路先が地域内に留まる意向が強いエリアである。このような状況は愛知県の特徴であり、定員確保のための大学へ進学者を開拓する余地が十分にあるエリアといえる。

②学生確保に向けて具体的な取り組み状況

本学は、9 学部を擁する総合大学として、過去 5 年平均で 25,162 人以上の志願者を

集めている。そうした数多くの本大学を志望しようとする生徒・保護者をはじめ、高校・予備校などへ対応するため、全学をあげて組織的な学生募集活動を展開している。特に愛知・岐阜・三重の東海三県においては、ほぼ全ての高校から志願者、入学者の実績があり、東海三県以外においても広範なエリアの高校から志願者、入学者を獲得している。心理学部においても、東海三県に留まらず、全国から心理学分野を志願する学生の受け入れを想定している。

本学では、学生募集の専門部署として入試センターを設置しており、入試センターを中心として様々な広報活動を展開している。学生確保に向けた主な取り組みとして、オープンキャンパス、高校訪問、出張模擬講義、本学独自の入試説明会、各地区での進学相談会などを実施している。また、大学案内や学部紹介リーフレットの作成・配布、受験情報誌、受験情報 WEB サイト等の各種媒体への広告出稿も行っている。また、大学全体での広報活動のほか、心理学部に特化した広報活動も新学部設置に向けて計画している。

なお、主な学生確保の取り組みは、次のとおりである。

(ア)紙媒体、SNS 等を利用した活動

受験情報雑誌、交通広告、TV-CM や受験生サイト STARTLINE、LINE、Instagram を通して、受験生に役立つ情報を定期的に配信している。アイガク PR 大使（本学の魅力を発信する学科代表学生）によるキャンパスと学部学科の魅力発信、アイガクの幅広い学びを学部学科教員が動画を通して伝えるアイガクにマナベ！など独自の取り組みにより、他大学と差別化を図り、相乗効果の高い訴求を実施している。

(イ)高等学校への訪問

高等学校への訪問活動は入試業務全般を所感する入試センター所属職員が中心となって、中部地区、北陸地区の高校を対象として年間延べ 3 回程度の高校訪問を実施している。訪問した際には、入試概要・前年度入試結果、本学の教育研究活動の取り組み等について説明し、本学の状況を理解いただいている。また、継続的な訪問活動によって、高等学校の教員との信頼関係を構築している。

(ウ)オープンキャンパス

オープンキャンパスは、日進・名城公園・楠元キャンパスの 3 キャンパスで、年 3 回開催している。各学部の特長を活かした模擬授業や体験実習から、本学自慢の施設を巡るスタンプラリーやクラブ・サークル紹介、外部講師による英語・小論文の入試対策講座まで、盛りだくさんのイベントを実施している。キャンパスツアーにおいては、在校生をガイドとすることで、本学学生と高校生が触れ合う機会を設け、本学への興味関心を高める取り組みを行っている。2020 年度はコロナ禍であり、従来のスタイルで実施出来なかったことから、オンラインによる個別相談・入試対策講座、LIVE（Web 型）イベント、動画の配信等を企画し、WEB OPEN CAMPUS として実施した。

(エ)高校内ガイダンスの実施

高等学校で実施される進路ガイダンスや入試説明会等に本学の教職員が参加し、大学の教育研究内容の紹介や、学生生活、入試制度等について説明をおこなっている。これにより、大学での学びについて興味・関心を持ってもらうとともに、本学を知っても

らう機会にも繋げている。

(㉔)進学相談会

全国の主要都市で開催される民間業者が主催する進学相談会に参加し、大学の教育研究内容の紹介や、学生生活、入試制度等について説明することにより、東海圏以外の地域からの受験生の獲得にも繋げている。

(㉕)高校教員対象入試説明会

例年、愛知・三重・岐阜・静岡の4県を対象に8会場を設けて高等学校の教員を対象に入試説明会を実施している。本学の教育・研究活動等に関する理解を深めてもらうための情報提供の機会を設けることにより、高等学校の教員が本学への進学を希望する生徒に対する進路指導の際に役立ててもらう効果が期待される。

(㉖)高等学校への出張講義

高等学校からの依頼に基づき、大学教員がおこなう模擬講義を各高校で実施している。教員の理解と協力を得ながら、今後も実施していく予定であり、本内容を通じて、大学の教育・研究内容を紹介する中で、本学へ興味・関心を持ってもらう機会にも繋げている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

(㉗)養成する人物像

心理学部では個人または集団の行動特性と取り巻く環境要因を客観的に評価し、心理学的知見を活用し解決策を導くことができる人材を養成すること主目的としている。それは帰属するコミュニティの問題解決に能動的に取り組むこと、高いコミュニケーション能力とストレスマネジメント能力を備えること、建学の精神である「行学一体・報恩感謝」に基づきその実力を職業・地域生活・家庭運営等に活用・応用できることである。

そして心理学の基礎的知識と技能を基軸としつつ、心理学実践分野、多文化共生分野、情報ビジネス分野の何れかの専門知識と技術を兼備し、心理学の新しい活用法を立案、展開できる人材養成を目的とする。さらに個々の専門分野において、現代社会が直面する「こころ」に関する諸問題を科学的かつ客観的な視座から研究し、未来のより良き人間社会の構築に学術的に貢献しうる研究者を養成することも重要であると考えている。

(㉘)学生に習得させる能力等の教育研究上の目的

心理学部では基礎教育と専門教育の2つの観点から人材養成のための方針を定めている。まず基礎教育として、心理学実験や心理学の各論による心理学の基礎教育を介して、人の心理的問題を解明または解決するための科学的アプローチを理解し、学生個人のストレスマネジメントとコミュニケーション能力を高め、多種多様な職種や現場で柔軟に適応できる人材を育成することである。

そして専門的知識と技能を活用し、多様な場面における新規の諸問題に対して、多角的かつ科学的に分析し、解決へ導くことのできる人材育成を目的とする。心理学実

実践分野では、保健医療、福祉、教育、産業等の現場において、心理的援助のできる人材育成を目的とする。本学は主に東海圏において多くの臨床心理士を輩出し、これまでの教育実績を活かした心理臨床家を養成する。多文化・共生分野では、多様な分野と連携する視点と技術を持つ人材養成を目的とする。我が国における人種、文化、職種の多様化に伴い、人々の心理・行動特性の理解の多様性も求められる。公務員および民間企業の対面業務において、様々な価値観を共有できるユニバーサルな人材を育成する。情報・ビジネス分野では、データサイエンス、感性工学、行動経済学等の知識と技術を修得し、心理学的知見をビジネスに応用できる人材養成を目的とする。人の行動特性の評価に加え、ビッグデータ、仮想現実、人工知能の技術を融合させ、多様な産業に有効活用できる教育を展開する。

以上の教育システムにより、臨床心理学の基礎知識と技能に加え、高度な専門知識と技能の修得のために公認心理師、公的機関または民間企業において、生育環境や価値観の異なる多様な人々を対象に、包括的なマネジメントを求められる対人業務を担う専門家、社会・市場調査と分析、デザイン、対人サービスなどの産業において企画・開発を担う業務に従事する専門職、理学分野または隣接諸科学分野（神経科学、情報科学等）の研究者の育成をねらいとしていく。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(ア)大学全体の求人件数

本学は現在、文学部、心身科学部、商学部、経営学部、経済学部、法学部、総合政策学部、薬学部、歯学部の9学部16学科を有し、東海地区有数の総合大学として位置づけられている。この強みを活かして様々な分野からの求人募集を受けることができ、高い就職実績を維持している（資料14）。既設の心理学科においても、大学院への進学者1割を除くと約95%程度の就職率を保っており、就職希望者に対して十分な求人募集を得られている。

さらに全国社長の出身大学（東京商工リサーチ、2020）に関する調査によると、企業の社長職に就く数が全国でも18位にランキングされており（資料15）、愛知県ではトップとなっている。すなわち愛知県内の様々な分野の企業において、リーダー的役割を果たす卒業生も多いといえる。これは本学の人材養成および教育上の目的が、地域の人材需要の動向等の社会の要請に今日まで応えてきたことを反映してきたと考えている。

以上のように良好な求人数を保することにより、社会貢献できる人材を輩出する高等教育機関として高い期待に応えていくことを目指していく。

(イ)養成する人材像の特長と社会的ニーズ

前述した心理学部の養成する人材は、まずはストレスマネジメントの観点から高いニーズが期待できる。ストレスマネジメントとコミュニケーションのスキルは、分野を問わず様々な現場で求められるスキルである。メンタルヘルス不調により連続1か月以上の休業をした労働者がいた事業所割合は事業所の規模に応じて増加し、1000人以上では91.9%の事業所が該当している（資料16）。多くの職場環境において、メンタルヘルスのサポートを必要とする現場は多く、円滑な組織運営において重要な要素と位置づけることができる。ストレスの軽減は、労働生産性を高めることは周知の事実であ

り、本学部の教育課程では、当人自身および周辺の人たちへの支援できる人材育成を目指している。またストレスマネジメントとコミュニケーションスキルへの教育に関心をもつ企業は 93.1%と高い（資料 8）。ストレスマネジメントとコミュニケーション力は、間接的に労働生産性を高めることにも貢献でき、様々な産業からのニーズも十分に期待できる。

心理学実践分野は主に公認心理師を目指す学生であり、これまで同様、心理臨床家を必要とする分野において、安定的にニーズが見込まれる。前述に示した通り多くの外国人が在留する東海圏において、異なる価値観が混在することを理解しながら柔軟に対応できる人材の必要性が増すものと考えている。公認心理師や臨床心理士もこのような多様性を熟知し、心理臨床活動を務めることが求められる。

そして多様性の理解は、教育現場、地方自治体の市民サービス、民間の対面業務においても必要である。言葉の違いのみならず、ルーツが異なる人々と協力するために、相手の文化を理解し、私たち固有の文化との違いを理解しなければならない。愛知県では各地の社会システムの一員として生活を営んでいる在留外国人も多く（資料 17）、互いに共存するための社会的規範の構築は必要となってくる。異文化に対して高い寛容性をもつ人材は、職場や地域社会において重要な役割を果たすことができる。

データサイエンス分野は、文部科学省において、「**Society5.0**の実現及びウィズコロナ・ポストコロナに向けた人材育成の強化」の政策として立案されており、その推進が図られている（資料 18）。同時にその需要は既に高まりつつあり（資料 4）、心理学部もこの産業構造の変化に対して寄与していく。データサイエンスはこれまで認識困難であった相関関係を検出し、新しい利益を生み出す技術として期待されている。その一方で各変数の因果関係を示すものではないことも同時に注意喚起している。心理学部の強みは、人を対象とした適切な調査項目の設定、行動実験を立案できることであり、人を対象とする客観的なデータ計測を基本としている。すなわち、信頼性の高い計測方法により、分析結果の信頼性や妥当性を十分に担保するためのスキルを備える人材となり、データサイエンスを専門とする学部の人材育成とは一線を画す。データサイエンス分野の人材の需要は高いが、他とは異なる人材を輩出する。これまで主に理学系または工学系分野の出身の分野に、人の観察することのできる専門家を配置することにより、新しい技術、サービスの開発に貢献できる。

（ウ）人材需要の根拠となる調査結果の概要

心理学部における人材需要への見通しを測定するために、本学への求人実績や卒業生の採用実績がある民間企業・団体等に対して、事前アンケートを実施し（資料 8）、卒業生の採用が期待できる事業所 480 団体から回答を得た。なお 91.9%の団体が人事選考に関わっている担当者からの回答があった。また全体の 82.9%は東海 4 県に所在する事業所とし、これまでの卒業生の進路先が反映されている。

約半数の団体は卒業生の学問分野についてこだわらない（51.5%）との回答であったが、そのような状況においても心理学分野の学生を採用したいと回答した団体は 17.5%であった。「心理学部心理学科の必要性」の問いにおいては、94.4%の団体が必要であると回答している。また「心理学部 心理学科 卒業生に対する採用意向」については、80.8%の団体が採用の意向を示しており、想定される求人募集数も 661 名と算出された。

心理学部の特色によって育成された人材は、企業にとっても高い魅力を感じている

ことが分かる。本学の特色の 4 項目についての魅力度に関する問いでは、多くの企業から「魅力的である」との回答を得ており（70.8% ～ 93.1%）、心理学部のカリキュラムによって育成した人材の社会的需要も十分に期待できる。以上の結果から、卒業後の進路において十分な見通しがあると考えられる。

資 料 目 次

- 資料 1 心身科学部心理学科の入学実績
- 資料 2 全国の心理学部の志願者・入学者動向および近隣の類似学科の志願者動向
- 資料 3 心理学部設置に関するニーズ調査【高校生対象調査】
- 資料 4 データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果
- 資料 5 中高生が思い描く将来についての意識調査 2019
- 資料 6 新学部構想のリーフレット
- 資料 7 東海 4 県における「受験および入学意向」を示す受験生の予測値
- 資料 8 心理学部設置に関するニーズ調査【企業対象調査】
- 資料 9 本学の選択受験科目における数学選択の傾向
- 資料 10 本学の出身都道府県データ
- 資料 11 東海 4 県の 18 歳未満の人口予測推移
- 資料 12 都道府県データでみる大学進学・初職就職時の地域間移動
- 資料 13 都道府県別の県内就職率
- 資料 14 全国および本学における求人件数
- 資料 15 2020 年「全国社長の出身大学」調査：東京商工リサーチ
- 資料 16 厚生労働省 平成 30 年労働安全衛生調査(実態調査)
- 資料 17 愛知県の外国人の状況
- 資料 18 数理・データサイエンス・AI 教育の全国展開の推進

資料1 心身科学部心理学科の入学実績（平成28年度-令和2年度）

○心身科学部心理学科（入学定員：20名増）

	旧入学定員	新入学定員
入学定員	140	160

学部名	学科名		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	平均
心身科学部	心理学科	志願者	1247	1470	1275	1819	1945	1551
		受験者	1211	1412	1253	1770	1895	—
		合格者	570	464	463	523	540	—
		入学者	149	151	144	155	136	—
		志願倍率	8.9	10.5	9.1	13.0	13.9	9.7
		定員充足率	1.06	1.08	1.03	1.11	0.97	—
		歩留率	0.26	0.33	0.31	0.30	0.25	0.29
		新定員を充足するために必要な合格者数	612	492	514	540	636	559

・過去5年間の志願者数から、予想される志願倍率を算出。（平均志願者数÷新入学定員）

・合格者数に対する入学者数の割合から、歩留率を算出（入学者÷合格者）し、新入学定員を充足するために必要な合格者数を算出。（新入学定員÷歩留率）

⇒新入学定員を充足するために必要な合格者数と過去5年間の志願者数を比較し、適切な入試選考を実施できる志願倍率を維持できるか検証することで、学生確保の見通しを示した。

新定員を充足するために必要な合格者数

=（新定員－入学者）× 歩留率の逆数+ 各年度の合格者数

資料2 全国の心理学部の志願者・入学者動向および近隣の類似学科の志願者動向

1. 全国の心理学部の志願者および入学者動向

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	平均
学部数	14	14	18	18	21	17
入学定員（人）	2195	2185	2723	2713	2968	2556
志願者数（人）	15051	17324	23026	28076	29548	22605
志願倍率	6.8	7.9	8.4	10.3	9.9	8.6
入学者数（人）	2198	2405	2935	2832	3098	2693
入学定員充足率（%）	100.1	110.0	107.7	104.3	104.3	105.28

令和2年度～平成29年度 私立大学・短期大学等入学志願動向より引用して作成

2. 近隣の類似学科の志願者動向（2018年度－2020年度）

	2020年度			2019年度			2018年度		
	募集人員	志願者数	志願倍率	募集人員	志願者数	志願倍率	募集人員	志願者数	志願倍率
愛知学院大学 心身科学部 心理学科	160	1917	11.9	160	1830	11.4	160	1258	7.8
中京大学 心理学部 心理学科	175	3225	18.4	175	3056	17.4	175	2893	16.5
愛知淑徳大学 心理学部 心理学科	180	2008	11.1	180	2001	11.1	180	1668	9.2
中部大学 人文学部 心理学科	90	585	6.5	90	763	8.4	90	654	7.2
南山大学 人文学部 心理人間学科	110	1415	12.8	110	1475	13.4	110	1508	13.7

各大学ホームページおよび「2019-2021 大学の真の実力」より引用

本学の志願倍率は定員160名へ増加したと仮定して算出した。

愛知学院大学
「心理学部 心理学科」
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

令和3年2月
株式会社 進研アド

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の愛知学院大学「心理学部 心理学科」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

高校生対象調査		
調査対象		高校2年生
調査エリア		東京都、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	16,657人(89校)
	有効回収数 (回収校数)	11,697人(75校) 有効回収率:70.2%
調査時期		2020年11月5日(木)～2020年12月1日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
・性別 ・高校所在地 ・高校種別 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・興味のある学問系統 ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度 ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」への受験意向 ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」への入学意向

高校生対象 調査結果まとめ

高校生対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、愛知学院大学の「心理学部 心理学科」に対する需要を確認するための調査として設計。愛知学院大学の主な学生募集エリアである東京都、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、11,697人から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が45.8%、「女性」が53.7%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が57.8%、「私立」が42.2%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、愛知学院大学の所在地である「愛知県」が75.0%を占め、最も多い。次に「静岡県」が10.8%、「岐阜県」が8.9%と続く。
- 回答者の所属クラスは「文系クラス(文系コース)」が67.5%で最も多い。次に多い「理系クラス(理系コース)」は21.3%である。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」の割合が65.4%で最も高い。次いで「国公立大学に進学」が29.2%、「専門学校・専修学校に進学」が21.9%と続く。「私立大学に進学」の割合が最も高いことから、愛知学院大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「経済・経営・商学」が21.2%で最も高い。次いで、心理学部 心理学科の学びと関連する「心理学」が18.8%である。さらに「看護・保健学」が15.6%と続く。

高校生対象 調査結果まとめ

愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度

- 愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目において6割を超える。
- 「心理学部 心理学科」の特色で最も魅力度が高いのは、「B. 世代間差、障がいの有無、LGBT、外国人との習慣の違いなどの多様性を理解し、他者と共存できる人材を養成します。」(73.3%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も26.4%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「A. 心理学のエビデンスに基づいたストレスマネジメントとコミュニケーション能力を身につけ、多種多様な業種において活躍できる人材を育成します。」(71.9%)、さらに「C. 心理学を感性工学やデータサイエンスまで拡張させ、市場調査から商品開発までビジネスに求められるスキルを持った人材を養成します。」(66.8%)、「D. これまでの実績を礎に洗練されたカリキュラムを通じて、的確かつ柔軟に心理的支援のできる専門家(公認心理師 等)を育成します。」(66.5%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

高校生対象 調査結果まとめ

愛知学院大学「心理学部 心理学科」への受験意向・入学意向

- ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、15.1% (11,697人中、**1,771人**)である。
- ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」を「受験したいと思う」と答えた1,771人のうち、愛知学院大学「心理学部 心理学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、86.3% (**1,528人**)である。

愛知学院大学「心理学部 心理学科」への入学意向者数

※ここからは、愛知学院大学「心理学部 心理学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を愛知学院大学「心理学部 心理学科」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- ・回答者全体における入学意向は13.1% (**1,528人**)で、予定されている入学定員160人を大きく上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- ・「男性」の入学意向は13.3% (5,360人中、**715人**)、「女性」の入学意向は12.8% (6,284人中、**805人**)と、それぞれ予定している入学定員数を男性は4倍以上、女性は5倍以上上回る入学意向者がみられた。

◇高校所在地別

- ・「岐阜県」に所在地のある高校在籍者からの入学意向は20.9% (1,046人中、**219人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。愛知学院大学の所在地である「愛知県」の高校在籍者からの入学意向は12.6% (8,777人中、**1,110人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

◇所属クラス別

- 「文系クラス(文系コース)」に所属している回答者の入学意向は14.7%(7,898人中、**1,162人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。
- また、「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向は8.4%(2,494人中、**209人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇高校卒業後の希望進路別

- 愛知学院大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は15.7%(7,655人中、**1,204人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

◇興味のある学問系統別

- 愛知学院大学「心理学部 心理学科」の学びと関連する「心理学」に興味がある回答者の入学意向は44.5%(2,197人中、**978人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

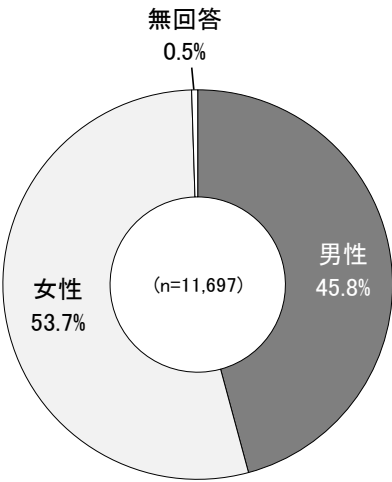
◇愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度別

- 愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色でも16%を超えており、入学意向者数はすべて、予定している入学定員数を大きく上回っている。

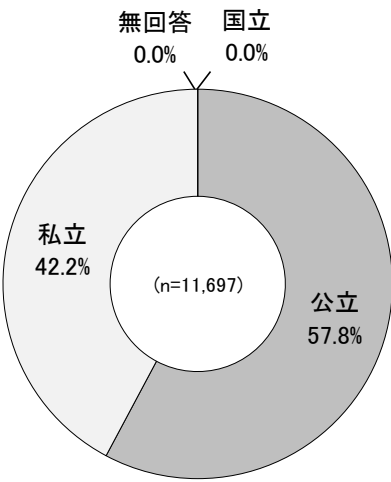
高校生対象 調査結果

回答者の属性(性別／高校種別／高校所在地／所属クラス)

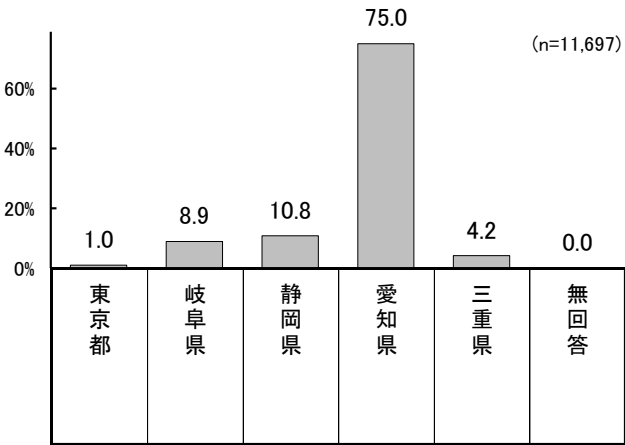
性別



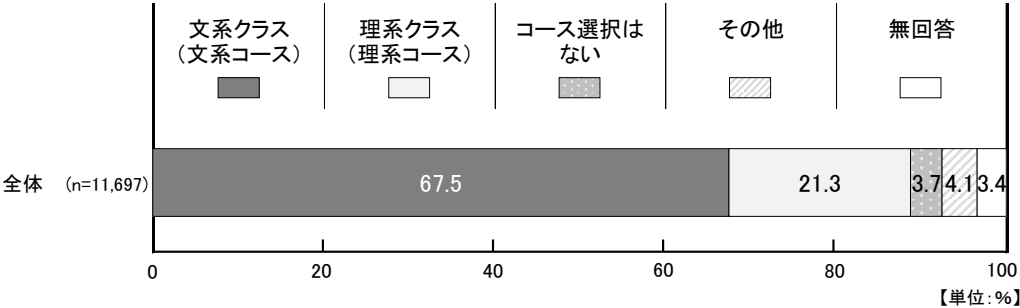
高校種別



高校所在地



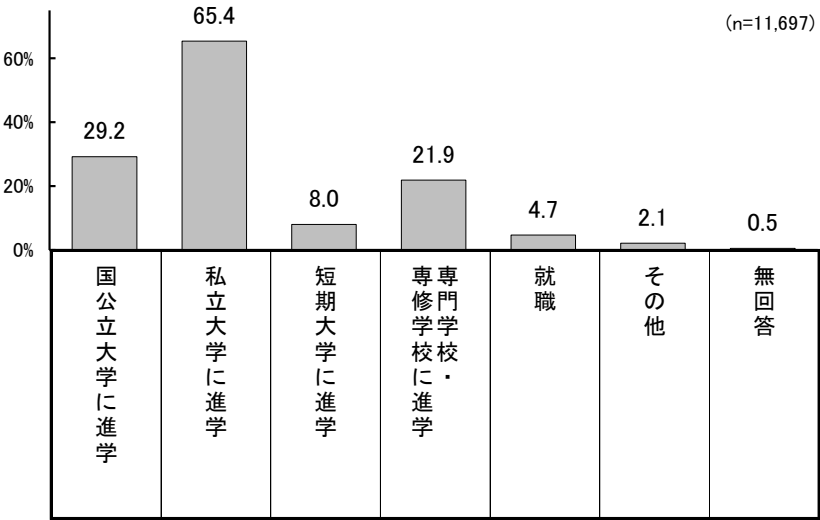
所属クラス



高校卒業後の希望進路

■高校卒業後の希望進路

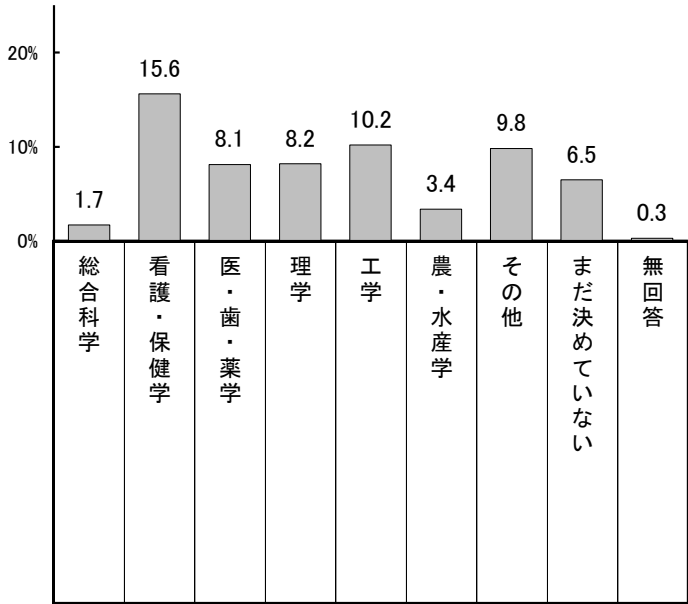
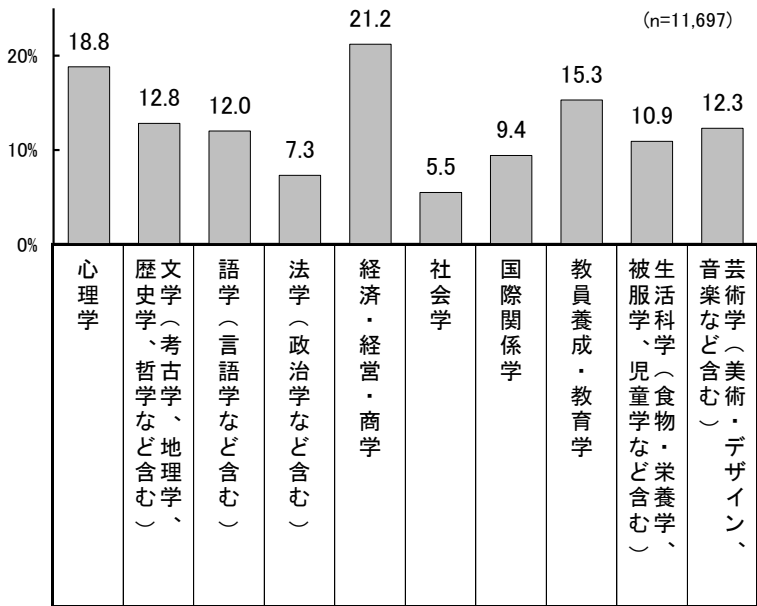
Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



興味のある学問系統

■興味のある学問系統

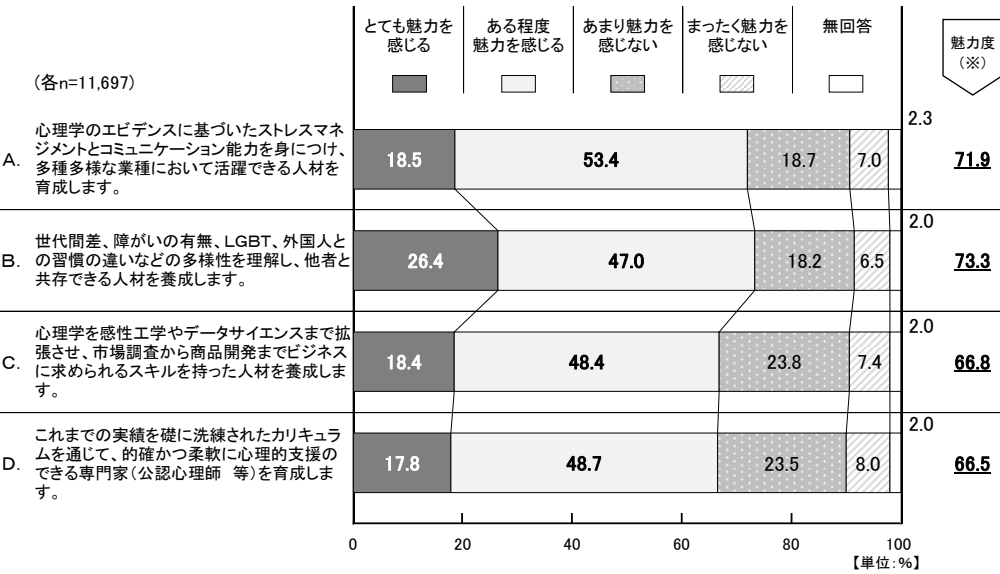
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度

■愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度

Q3. 愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

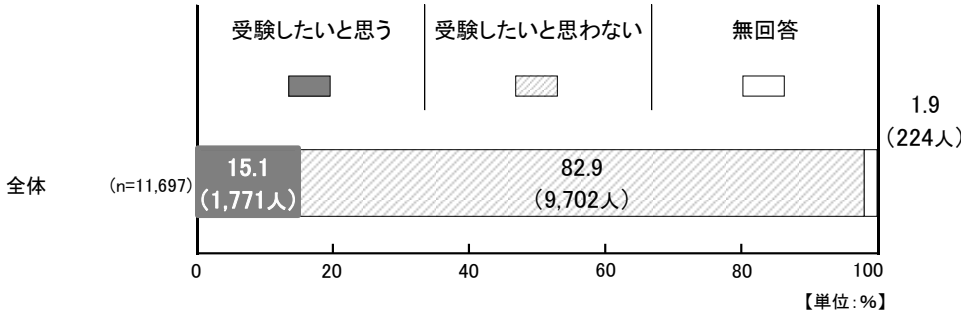


※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値
※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

愛知学院大学「心理学部 心理学科」への受験意向／ 入学意向／受験意向別入学意向

■愛知学院大学「心理学部 心理学科」への受験意向

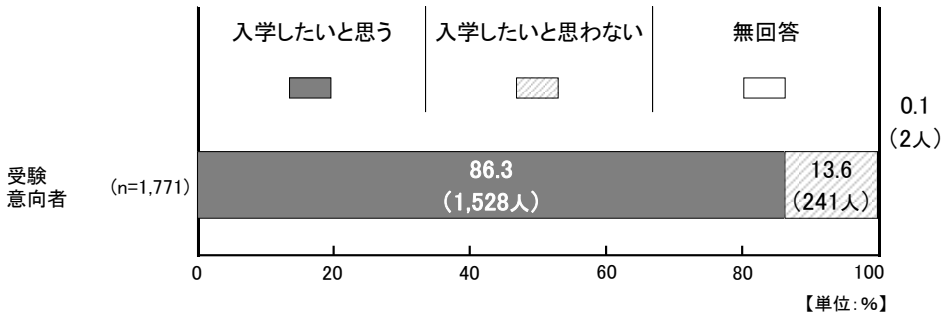
Q4. あなたは、愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つにQをつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた1,771人のみ抽出

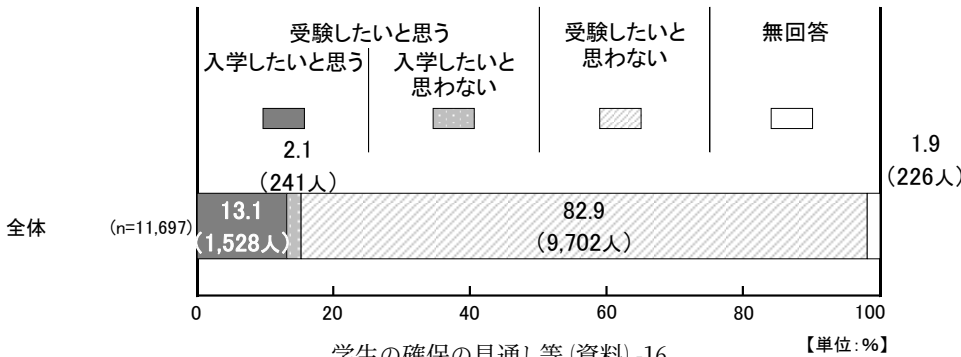
■愛知学院大学「心理学部 心理学科」への入学意向

Q5. あなたは、愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つにQをつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

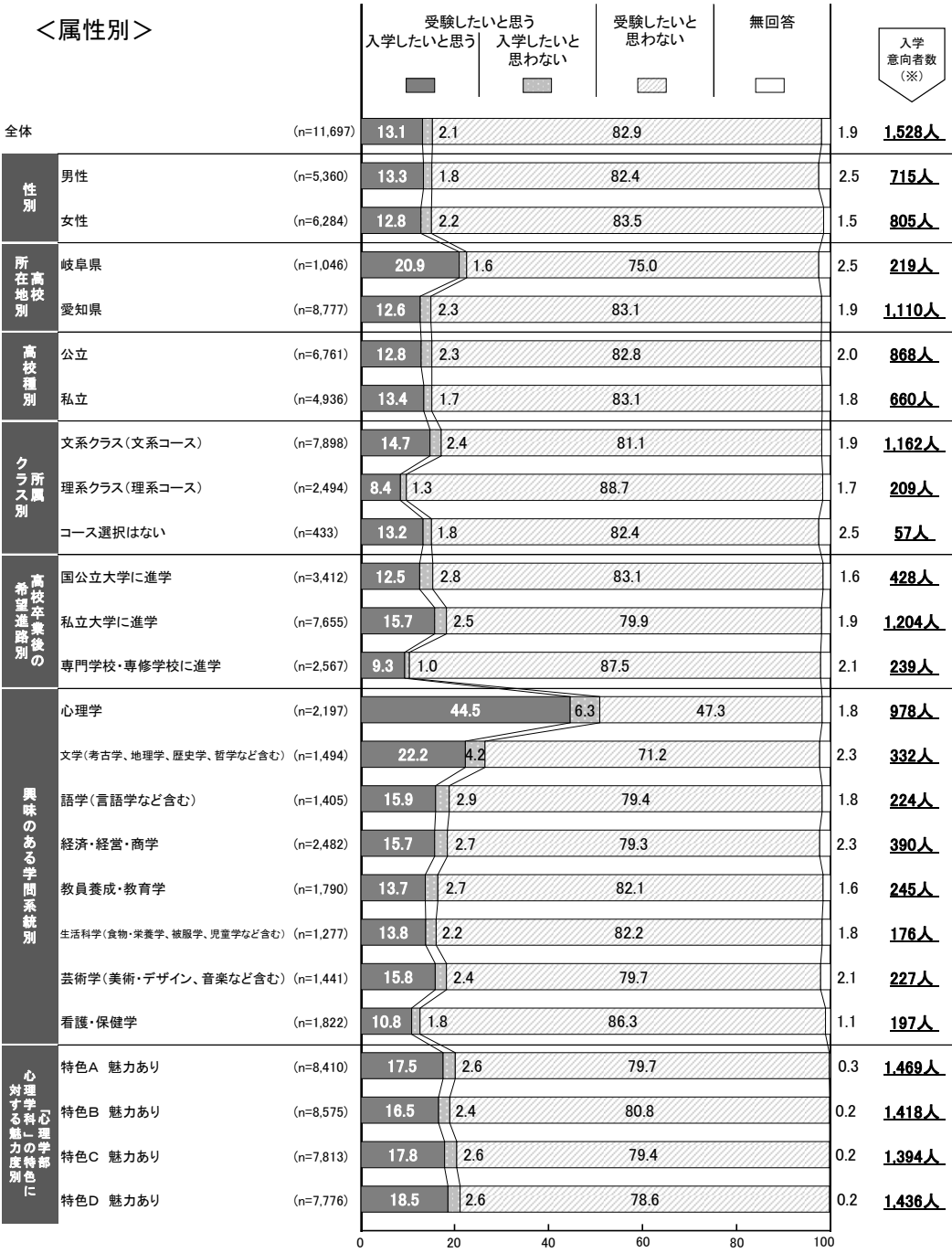
■愛知学院大学「心理学部 心理学科」への受験意向別入学意向



愛知学院大学「心理学部 心理学科」への
受験意向別入学意向<属性別>

■愛知学院大学「心理学部 心理学科」への受験意向別入学意向<属性別>

※愛知学院大学「心理学部 心理学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を愛知学院大学「心理学部 心理学科」の入学意向者と定義する。



※ 入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

＜特色に対する魅力度 文系 vs. 理系＞

		文系クラス	理系クラス
各所属の件数		7898	2494
「魅力あり」 の回答			
特色A	件数	5841	1669
	%	74.0%	66.9%
特色B	件数	5956	1686
	%	75.4%	67.6%
特色C	件数	5336	1654
	%	67.6%	66.3%
特色D	件数	5383	1561
	%	68.2%	62.6%

巻末資料 調査票

愛知学院大学 心理学部 心理学科（仮称、設置構想中）
に関するアンケート

愛知学院大学では2022年(令和4年)4月より、「心理学部 心理学科」(仮称)を新設することを構想しています。このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、愛知学院大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートと同封した資料に記載されている「心理学部 心理学科」（仮称、設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

1. 回答は、**あてはまる番号に「○」印**をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず鉛筆又はシャープペンシルで濃く書いてください。
4. 下記の【**良い記入例**】にしたがって記入してください。
特に、「○」印は、番号丸枠からはみ出さないようにつけてください。

ここに○印をつけてください

➡ 心理学

ID	12
----	----

この欄には記入しないでおく

良い
記入例

悪い
記入例

①	心理学
②	文学

① 心理学
② 文学

● 心理学
② 文学

① 心理学
② 文学

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	① 男性 ② 女性	学年 (1つに○)	① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [] 都・道・府・県 ① 国立 ② 公立 ③ 私立 (←1つに○) [] 高等学校		
所属クラス (1つに○)	① 文系クラス（文系コース） ② 理系クラス（理系コース）	③ コース選択はない ④ その他	

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- ① 国公立大学に進学 ③ 短期大学に進学 ⑤ 就職
② 私立大学に進学 ④ 専門学校・専修学校に進学 ⑥ その他

あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

① 心理学	⑦ 国際関係学	⑬ 医・歯・薬学
② 文学	⑧ 教員養成・教育学	⑭ 理学
(考古学、地理学、歴史学、哲学など含む)	⑨ 生活科学	⑮ 工学
③ 語学(言語学など含む)	(食物・栄養学、被服学、児童学など含む)	⑯ 農・水産学
④ 法学(政治学など含む)	⑩ 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む)	⑰ その他
⑤ 経済・経営・商学	⑪ 総合科学	⑱ まだ決めていない
⑥ 社会学	⑫ 看護・保健学	

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

データサイエンティストの採用に関するアンケート調査結果（【資料 4】）

2（出典）

一般社団法人データサイエンティスト協会 調査・研究委員会

3（引用範囲）

https://www.datascientist.or.jp/common/docs/c-research_2019.pdf

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

中高生が思い描く将来についての意識調査 2019 （【資料 5】）

2（出典）

ソニー生命保険株式会社

3（引用範囲）

https://www.sonylife.co.jp/company/news/2019/nr_190806.html

4（その他の説明）

高校生の目指す進路として将来になりたい職業を示すため、上記調査の図 13 を引用した。

設置概要

- ☐ 修業年限：4年
- ☐ 開設時期：2022年4月
- ☐ 入学定員：160名
- ☐ 学位：学士（心理学）
- ☐ 初年度納付金（入学金含む）：1,409,000円（予定）

近隣の類似学部・学科

- ☐ 中京大学／心理学部 心理学科
- ☐ 愛知淑徳大学／心理学部 心理学科
- ☐ 中部大学／人文学部 心理学科
- ☐ 南山大学／人文学部 心理人間学科

日進 キャンパス

広大な敷地に、学習・スポーツ施設も充実。
活気あふれるメインキャンパス。

住みやすい街として人気の藤が丘エリアからほど近い、学園都市である日進市に位置し、敷地面積は東京ドーム11個分に相当する約50万㎡。スポーツ施設や駐車場（1,900台）なども充実し、学生の活気に満ちています。

Access

- ☐ 地下鉄東山線「藤が丘」駅から名鉄バス「愛知学院大学前」行きで約10分
- ☐ リニモ「長久手古戦場」駅からは無料シャトルバスが運行（約7分）
- ☐ 名古屋駅の名鉄バスセンターから高速バスで約40分
- ☐ 地下鉄鶴舞線「赤池」駅から名鉄バスで約40分



つながる力。動かす力。
愛知学院大学
AICHI GAKUIN UNIVERSITY

◇文学部：歴史学科・日本文学科・英語英米文化学科・グローバル英語学科・宗教文化学科◇心身科学部：心理学科※・健康科学科・健康栄養学科◇商学部：商学科
◇経営学部：経営学科◇経済学部：経済学科◇法学部：法律学科・現代社会法学科◇総合政策学部：総合政策学科◇薬学部：医療薬学科（6年制）◇歯学部：歯学科
◇短期大学部：歯科衛生学科（3年制）◇歯科技工専門学校 ※2022年4月 心理学部 心理学科（仮称）に改組（設置構想中）

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12 TEL.0561-73-1111（代） E-mail:nyushi@dpc.agu.ac.jp https://www.agu.ac.jp

心理学部 心理学科

[仮称・設置構想中]

2022年
開設予定

50年の系譜を継ぎ、新しい心理学がはじまる。

時代は変わる。
人のこころはどうだろう。

※記載の内容は計画中の予定であり、変更の可能性がありますのでご了承ください。

つながる力。動かす力。
愛知学院大学
AICHI GAKUIN UNIVERSITY

変わる時代へ。 伝統の学びをベースに 新しい心理学で社会へ貢献。

少子高齢化、在留外国人、LGBTなど、社会の多様化・複雑化。
ビッグデータ、AI、IoTなど、世界に押し寄せる情報技術の波。
時代の変化が人の「こころ」に与える影響の解明や、
それをビジネス・産業に活かすための新しい心理学が今、求められています。
半世紀の歴史と伝統を持つ愛知学院大学の心理学科が、
現代社会の期待に応える、新しい心理学部 心理学科として生まれ変わります。

養成する人材像

地域社会、ビジネス、医療・教育分野において
幅広く貢献できる人材育成をめざします。

変わり続ける私たちの生活様式において、「こころ」の
諸問題も多様化しています。心理学部では、そうしたさまざまな
心理社会的事象に対して客観的な観察と分析をもって、
問題の本質を的確に把握し、課題解決のための方略を
構想できる学術的素養を備えた社会人を養成します。

学びのPOINT 1

心理学の基礎を学びスキルを磨く。

心理学の5つの領域から人の「こころ」の基礎を理解する。

愛知学院大学では、心理学の5つの領域から基礎教育に取り組んでいます。
実験、調査、検査、面接法など客観的な評価方法をもって、
「こころ」のしくみを探求していきます。
さらに、これらの心理学のエビデンスを活用し、アクティブラーニングを通じて、
ストレスマネジメントやコミュニケーションスキルを身につけていきます。

ストレスマネジメント

現代社会の中で生きていく上で、避けては
通れないのが「ストレス」に関する
問題。ストレス要因と心身の健康との
関係や、よりよく生きるためのポジティブ
心理学を学び、各々に最適なストレス
マネジメント法の修得をめざします。

コミュニケーションスキル

自分や他者を正しく理解し、よりよい
人間関係を築くために。ビジネスや
社会生活において必要な表現力や
交渉力、説得力を高め、幅広く活躍
していくためのコミュニケーション
スキルを磨きます。

認知

こころの
探求の基礎

発達

社会

統計

アクティブラーニング

課題研究やグループワークなど、アクティブラーニング形式の学修スタイルを積極的に取り入れて
います。ワークショップやプレゼンテーションなど、実践的かつ能動的な学びを通して、自ら学び、
主体的に考える力を自然と身につけることができます。

学びのPOINT 2

3つの分野で専門性を極める。



さまざまな人と
共に生きる・支える

多文化・共生分野

世代の違い、障がいの有無、LGBT、外国人との習慣の
違いなど、現代社会は多様性にあふれています。環境や
社会状況が人の「こころ」のしくみに与える影響を学ぶことで、
多様な他者と共存できる人材を育成します。

科目 Pick up

「異文化理解」

「あの人たちは〇〇だからわかってくれない。」こう断定
するとき、人は多種多様であるはずの他者を、相いれ
ない価値観を持つ「異文化」として拒絶してしまっ
ています。異文化として分け隔てる人の心理を学ぶことを
通して、多様な価値観への理解と実社会への応用を
めざします。



【関連科目】異文化理解、文化心理学、障害者・障害児心理学



科学的知見を
多様な産業に活かす

情報・ビジネス分野

商品開発、ビッグデータ、VR、AIなどの最先端の技術にも、
人の「こころ」の働きが関わっています。心理学を感性工学、
データサイエンスまで拡張させ、ビジネスに強い人材を養成。
私たちの生活に関わるさまざまな分野において、心理学的
実証データを有効活用するためのスキル修得をめざします。

科目 Pick up

「感性工学、消費者行動論」

例えば、「かわいい腕時計が欲しい」または「高級感の漂う
バッグを作りたい」と思ったりします。このような商品をVR
技術によって3Dで表現し、「かわいい」または「高級感」
という感性を視線の動きを測定し、客観的に評価していく。
これらの工程を学ぶことにより、プロダクトデザインの
エキスパートをめざします。



【関連科目】感性工学、消費者行動論、ビッグデータ分析



支援を必要とする人を支える

心理学実践分野

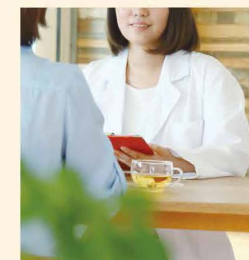
(含 公認心理師コース)

保健医療をはじめ福祉、教育などの分野で心理的支援の
できる人材育成をめざします。これまでの臨床心理士育成の
豊富な実績と経験を活かし、心理的支援の理論とスキル
について実践的に学び、さまざまなニーズに柔軟に対応できる
公認心理師を養成します。

科目 Pick up

「臨床心理学」

心理的な問題の解決をめざす「臨床心理学」。実際に
「クライアント(相談者)」に有効な支援をするためには
「こころ」の成り立ちやしくみをしっかり理解すると同時に、
具体的な援助法を身につける必要があります。この授業
では、人間の感情、思考、行動のどこに不調があるのかを
見極めて、問題解決に向かう心理支援の基礎を学びます。



【関連科目】心理学的支援法、健康・医療心理学、多職種連携

学びのPOINT 3

広がる活躍のフィールド。

【めざせる進路】

- ◆教育・相談機関
- ◆福祉関連
- ◆地域における外国人への支援業務
- ◆心理学または関連分野の研究者、大学教員

【取得をめざす資格】

- ◆高等学校教諭一種免許状(公民)
- ◆特別支援学校教諭一種免許状
(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)
- ◆認定心理士

【めざせる進路】

- ◆プロダクトデザイン(商品開発)
- ◆システムエンジニア ◆広告デザイン
- ◆マーケティングリサーチ
- ◆心理学または関連分野の研究者、大学教員

【取得をめざす資格】

- ◆社会調査士 ◆カラーコーディネーター
- ◆福祉住環境コーディネーター
- ◆認定心理士

【めざせる進路】

- ◆医療機関で働く心理士
- ◆スクールカウンセラー
- ◆公的機関の心理職(警察、法務技官など)
- ◆児童養護施設指導員
- ◆心理学または関連分野の研究者、大学教員

【取得をめざす資格】

- ◆公認心理師※ ◆臨床心理士※ ◆認定心理士
- ◆児童福祉司 ◆児童心理司
- ◆児童指導員任用資格

※大学院修了を必要とする。

資料 7 東海 4 県における受験および入学意向を示す受験生の予測値 (2022 年～2030 年)

	年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
東海4県における18人口	人数 (名)	140,422	138,255	133,282	136,990	137,732	136,346	134,321	134,406	132,217
	変化率 (%)	100.0	98.5	94.9	97.6	98.1	97.1	95.7	95.7	94.2
受験および入学意向を示す受験生	予測値 (名)	1,512	1,489	1,435	1,475	1,483	1,468	1,446	1,447	1,424

本予測値は「高校生アンケート結果（資料3）」および「東海エリアの18歳人口の予測推移（資料11）」のデータを利用し、各年度の「受験&入学意向」を示す受験生の予測値を算出した。なお基準値となる2022年度の値は、東海4県からの受験者数（ $1528 \times 0.99 \div 1512$ 名）から予測した。

愛知学院大学
「心理学部 心理学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】

令和3年2月
株式会社 進研アド

企業対象 調査概要

1. 調査目的

2022年4月開設予定の愛知学院大学「心理学部 心理学科」新設構想に関して、企業のニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア (発送エリア)		北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	1,595社
	回収数(回収率)	480社(30.1%)
調査時期		2020年11月5日(木)～2020年11月30日(月)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
・人事採用への関与度 ・本社所在地 ・業種 ・従業員数 ・正規社員の平均採用人数 ・本年度の採用予定数 ・採用したい学問分野 ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度 ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」の社会的必要性 ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生に対する採用意向 ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生の毎年の採用想定人数

企業対象 調査結果まとめ

企業対象 調査結果まとめ

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、愛知学院大学「心理学部 心理学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。愛知学院大学「心理学部 心理学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、480社から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は25.0%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が66.9%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、愛知学院大学の所在地である「愛知県」が68.5%を占め、最も多い。次いで「東京都」「岐阜県」が同率で7.9%である。
- 回答企業の業種としては「卸売・小売業」が28.8%で最も多い。次いで「医療・福祉」が15.2%、「製造業」が12.9%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が39.8%で最も多い。次いで「1,000名～5,000名未満」が16.5%、「500名～1,000名未満」が16.0%である。

回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が24.4%で最も多い。次いで「10名～20名未満」が23.1%、「5名～10名未満」が13.1%である。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が56.3%で最も多い。次いで「増やす」が16.3%である。回答企業の多くで昨年と同等かそれ以上の採用が予定されている様子である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「学んだ学問分野にはこだわらない」の割合が51.5%で最も高い。次いで「経済・経営・商学」が26.0%、「工学」が17.7%である。また、「心理学部 心理学科」の学びに関連のある「心理学」も17.5%と高い。

企業対象 調査結果まとめ

愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度

- 愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で7割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「A. 心理学のエビデンスに基づいたストレスマネジメントとコミュニケーション能力を身につけ、多種多様な業種において活躍できる人材を育成します。」(93.1%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も42.3%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「B. 世代間差、障がいの有無、LGBT、外国人との習慣の違いなどの多様性を理解し、他者と共存できる人材を養成します。」(86.0%)、さらに「C. 心理学を感性工学やデータサイエンスまで拡張させ、市場調査から商品開発までビジネスに求められるスキルを持った人材を養成します。」(81.9%)、「D. これまでの実績を礎に洗練されたカリキュラムを通じて、的確かつ柔軟に心理的支援のできる専門家(公認心理師 等)を育成します。」(70.8%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

企業対象 調査結果まとめ

愛知学院大学「心理学部 心理学科」の社会的必要性

- ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」の社会的必要性についての評価は、94.4% (480社中、**453社**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、80.8% (480社中、**388社**)である。
- ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた388社へ愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**661名**で、予定している入学定員数160名を4倍以上上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- ・「中部」エリアに本社がある企業からの採用意向は、79.5% (414社中、**329社**)。採用想定人数の合計は**530人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。「愛知県」に本社がある企業からの採用意向は、79.9% (329社中、**263社**)。採用想定人数の合計は**399人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

◇業種別

- ・「卸売・小売業」の企業からの採用意向は、87.7% (138社中、**121社**)。採用想定人数の合計は**255人**で、予定している入学定員数を上回っている。

企業対象 調査結果まとめ

◇従業員数別

- ・従業員数が「100名～500名未満」の企業からの採用意向は82.7% (191社中、**158社**)。採用想定人数の合計は**242人**で、予定している入学定員数を上回っている。

◇本年度の採用予定数別

- ・本年度の採用予定数を「昨年度並み」と回答した企業からの採用意向は、86.3% (270社中、**233社**)。採用想定人数の合計は**419人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

◇採用したい学問分野別

- ・心理学部 心理学科の学びに関連のある「心理学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、98.8% (84社中、**83社**)。採用想定人数の合計は**151人**で、採用意向が高いことがうかがえる。

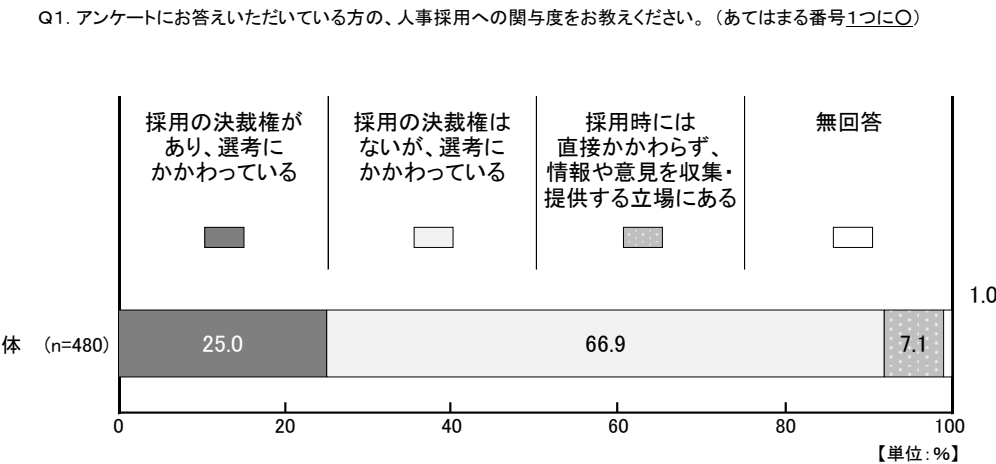
◇愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度別

- ・愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも8割を超えており、採用想定人数の合計もすべて500人以上と、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

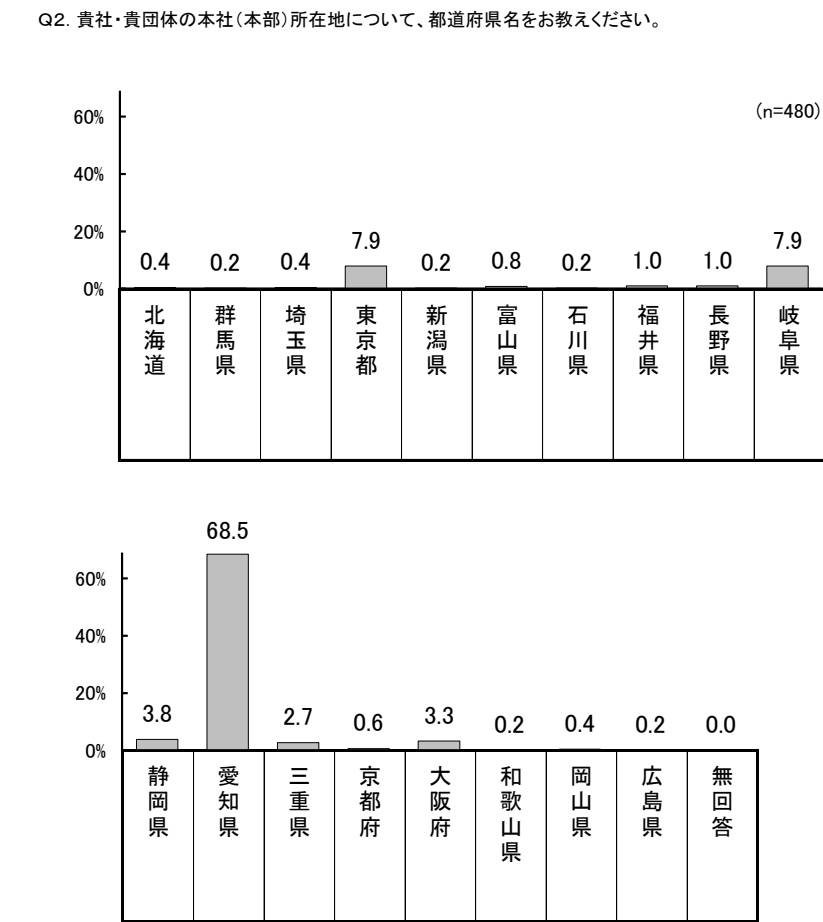
企業対象 調査結果

回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度／本社所在地)

■人事採用への関与度



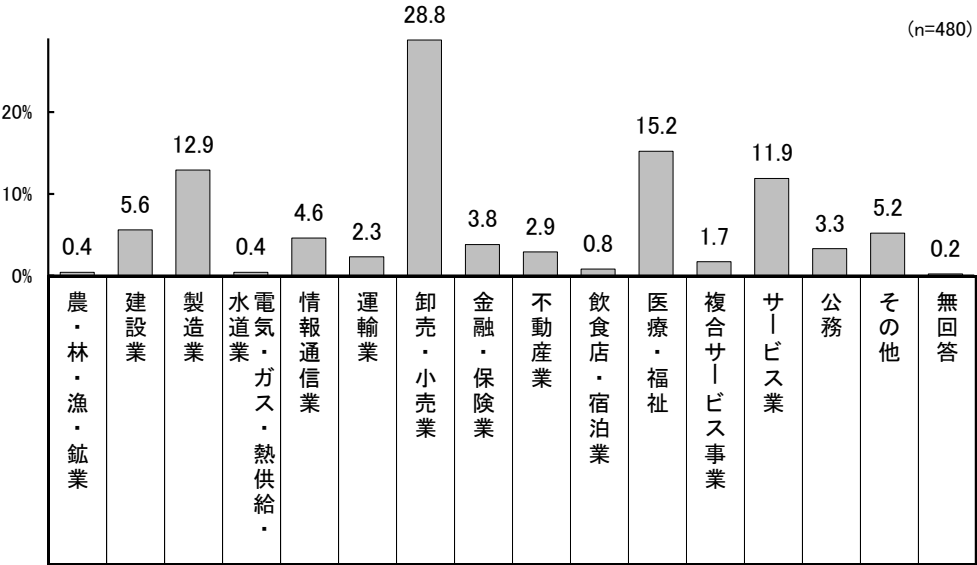
■本社所在地



回答企業(回答者)の属性(業種／従業員数)

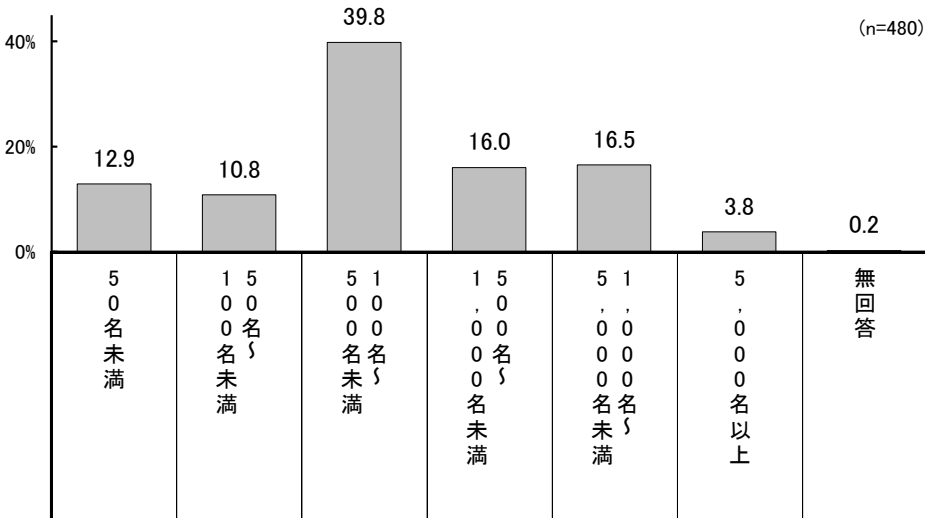
業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



従業員数

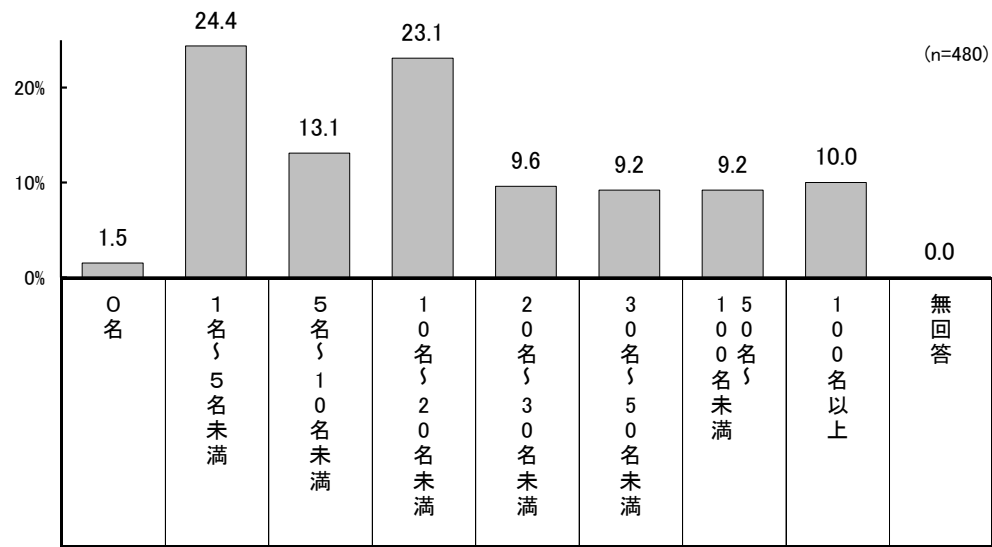
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

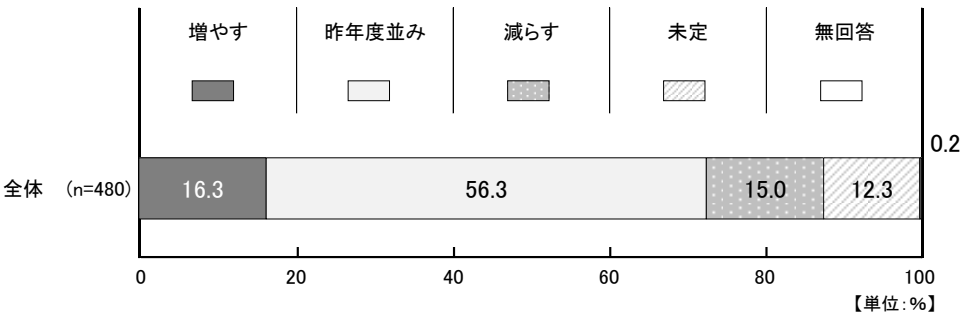
■ 正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■ 本年度の採用予定数

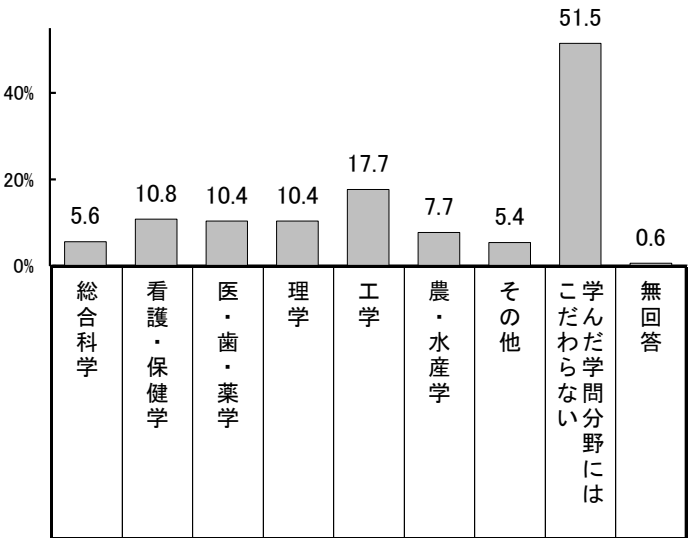
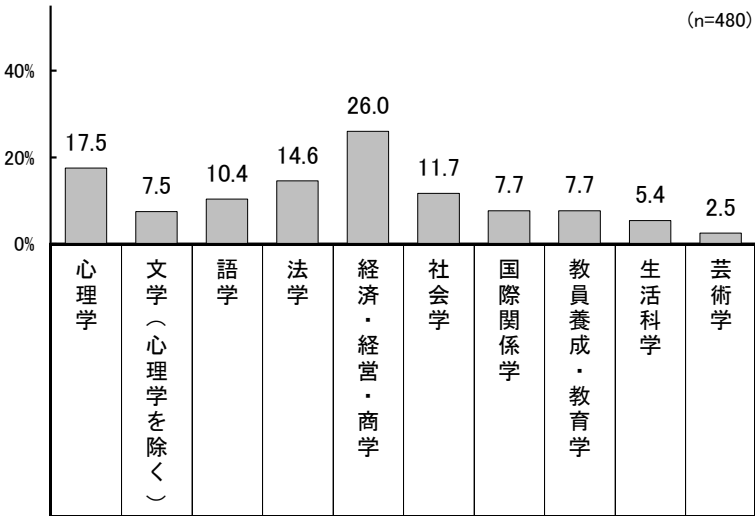
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



採用したい学問分野

採用したい学問分野

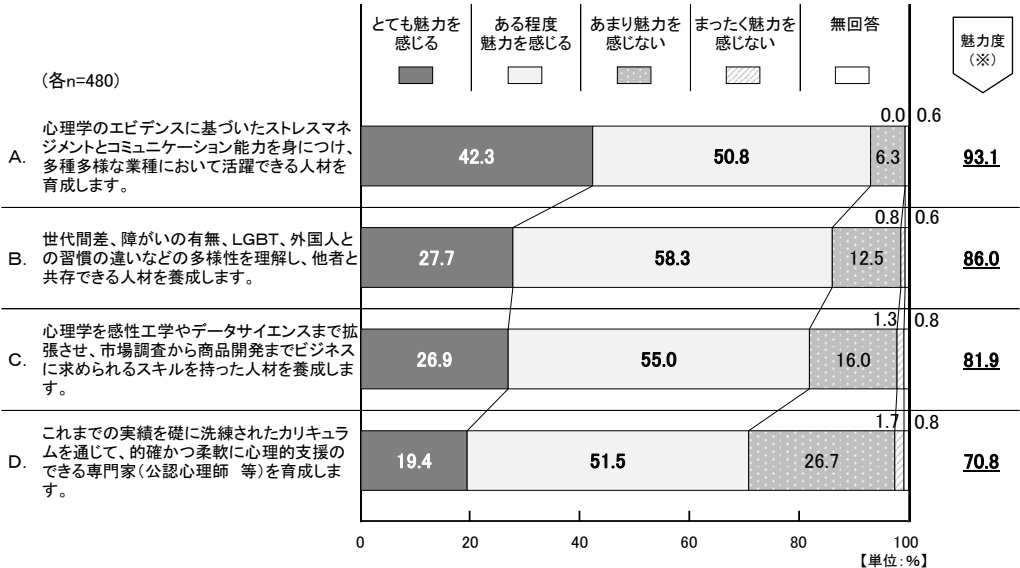
Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)



愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度

■愛知学院大学「心理学部 心理学科」の特色に対する魅力度

Q8. 愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

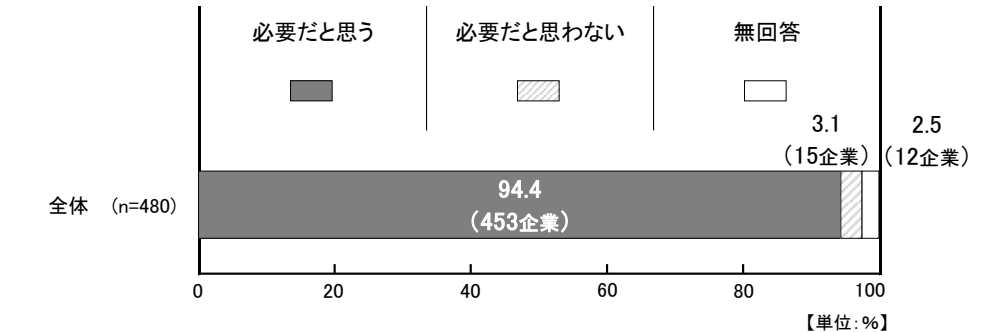


※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値
※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

愛知学院大学「心理学部 心理学科」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

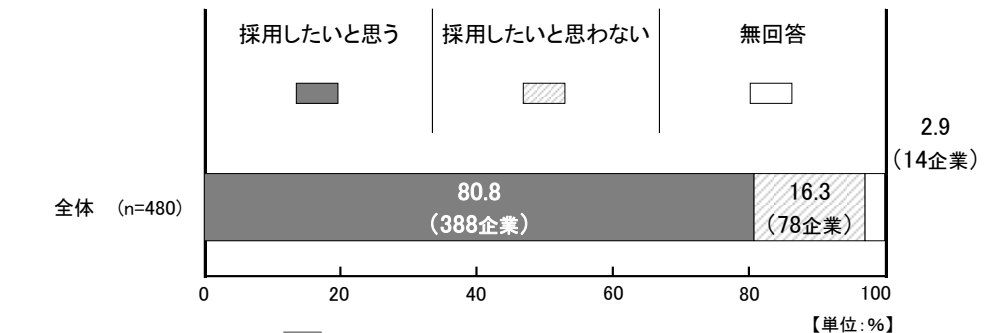
愛知学院大学「心理学部 心理学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた388社のみ抽出

愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

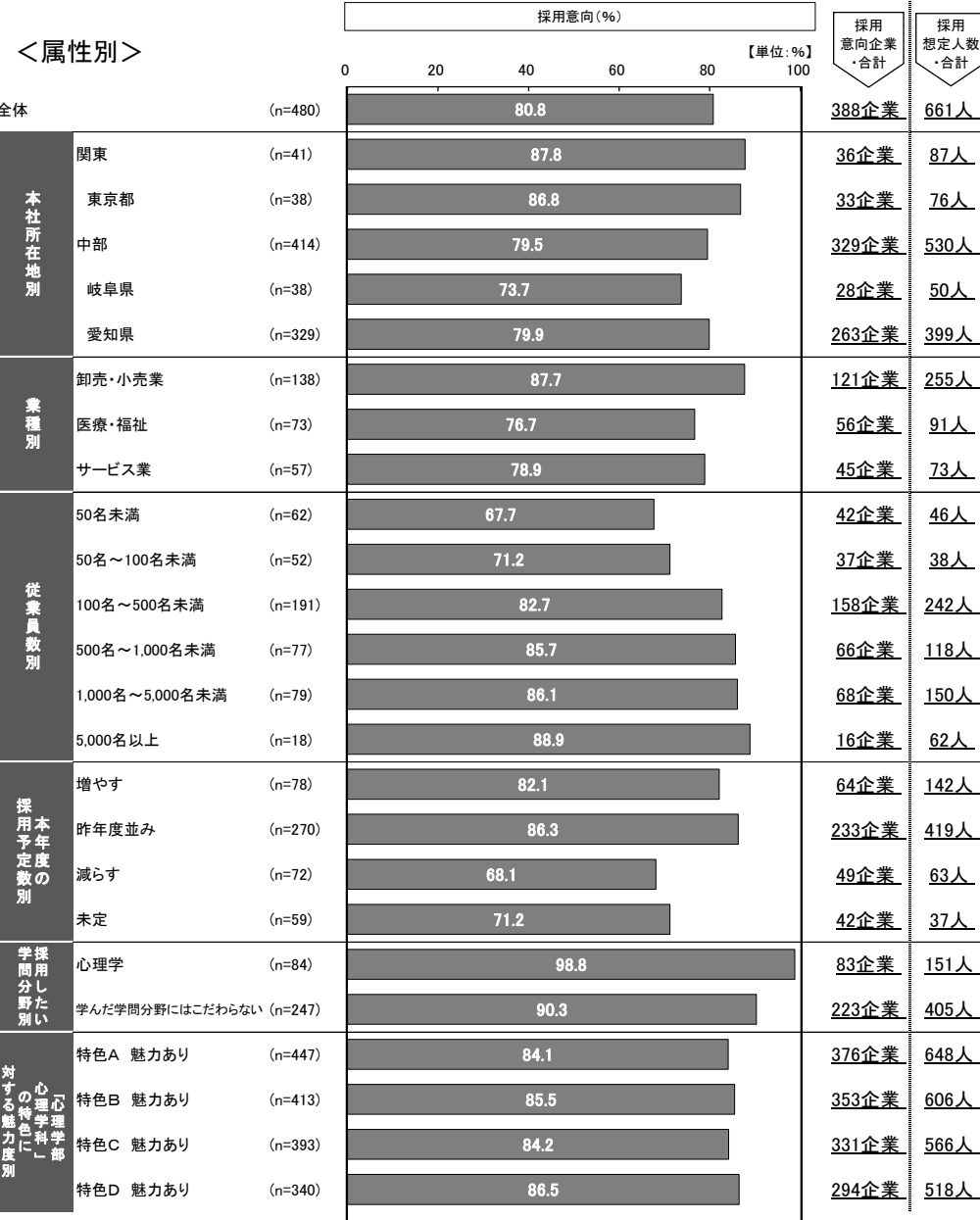
標本数	単位	1名2名3名4名5名〜9名10名以上							計
		%							
全体	388	%	58.8	12.4	12.6	1.3	5.2	1.8	⇒ 357 661
		企業数	228	48	49	5	20	7	
		名	228	96	147	20	100	70	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名〜9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

■愛知学院大学「心理学部 心理学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※愛知学院大学「心理学部 心理学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

巻末資料 調査票

愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)
に関するアンケート

愛知学院大学では2022年(令和4年)4月より、「心理学部 心理学科」(仮称)を新設することを構想しています。
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや同封した資料に記載されている「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- 1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
- 2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
- 3. 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業 | 6. 運輸業 | 11. 医療・福祉 |
| 2. 建設業 | 7. 卸売・小売業 | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業 | 8. 金融・保険業 | 13. サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業 | 14. 公務 |
| 5. 情報通信業 | 10. 飲食店・宿泊業 | 15. その他 |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名 | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満 | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上 |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 | |

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 増やす | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 |

裏面へ続く→

調査票

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|---------------|-------------|---------------------|
| 1. 心理学 | 7. 国際関係学 | 13. 医・歯・薬学 |
| 2. 文学(心理学を除く) | 8. 教員養成・教育学 | 14. 理学 |
| 3. 語学 | 9. 生活科学 | 15. 工学 |
| 4. 法学 | 10. 芸術学 | 16. 農・水産学 |
| 5. 経済・経営・商学 | 11. 総合科学 | 17. その他 |
| 6. 社会学 | 12. 看護・保健学 | 18. 学んだ学問分野にはこだわらない |

愛知学院大学では、2022年(令和4年)4月に、
新しく「心理学部 心理学科」(仮称)を設置することを構想しています。
※ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください※

Q8. 愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。

貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
例.	〇〇である。	→ 1	2	3	4
A.	心理学のエビデンスに基づいたストレスマネジメントとコミュニケーション能力を身につけ、多種多様な業種において活躍できる人材を育成します。	→ 1	2	3	4
B.	世代間差、障がいの有無、LGBT、外国人との習慣の違いなどの多様性を理解し、他者と共存できる人材を養成します。	→ 1	2	3	4
C.	心理学を感性工学やデータサイエンスまで拡張させ、市場調査から商品開発までビジネスに求められるスキルを持った人材を養成します。	→ 1	2	3	4
D.	これまでの実績を礎に洗練されたカリキュラムを通じて、的確かつ柔軟に心理的支援のできる専門家（公認心理師 等）を育成します。	→ 1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)は、

これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用したいと思う 2. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、愛知学院大学「心理学部 心理学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1名 3. 3名 5. 5名～9名
2. 2名 4. 4名 6. 10名以上

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

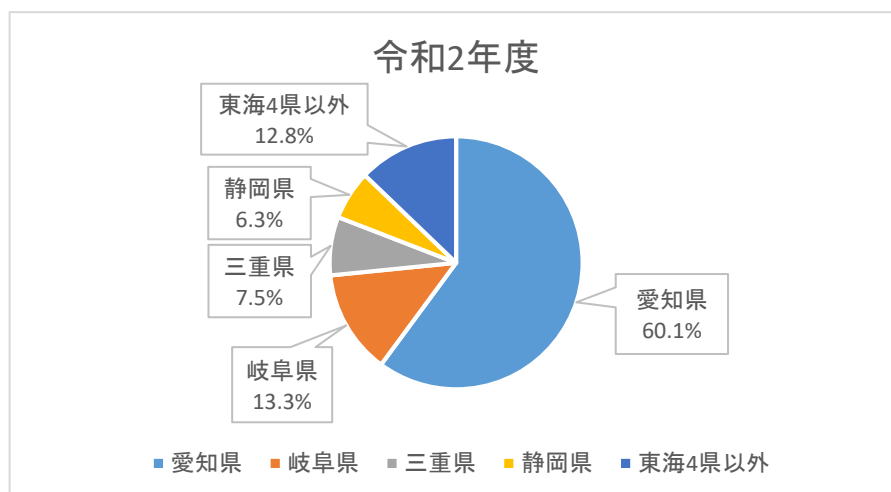
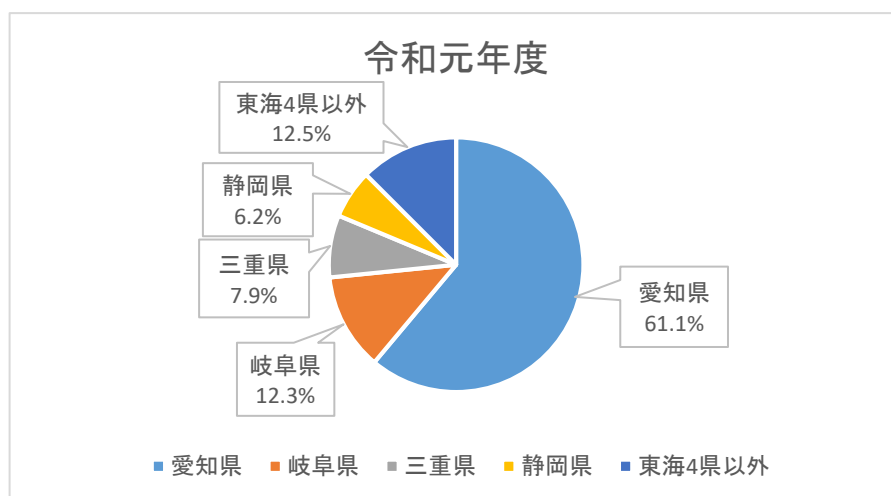
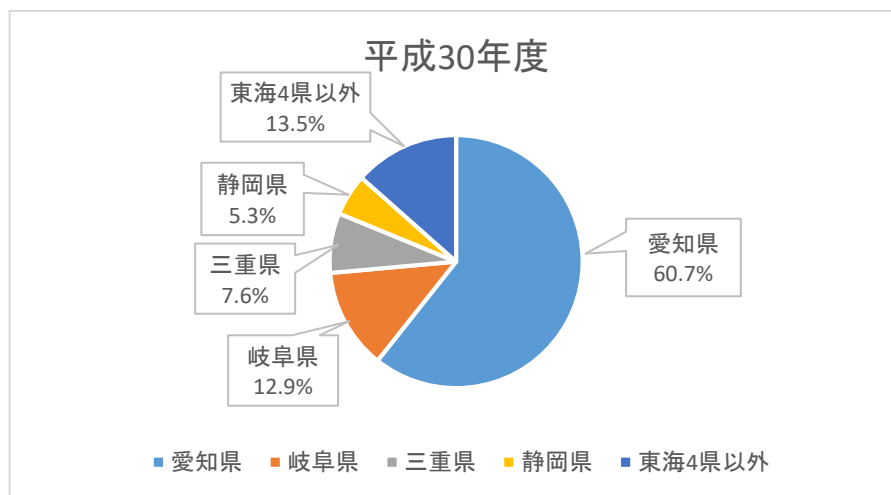
資料9 本学の選択受験科目における数学選択の傾向

年度	2016	2017	2018	2019	2020	5年間 平均比率
心理学科	26.8%	22.5%	18.3%	17.2%	15.7%	19.3%
その他の文系学部	16.7%	13.1%	12.1%	13.0%	12.3%	13.3%

その他の文系学部とは、同受験方式を採用する本学文系学部（文，総合政策，経済，経営，商，法）とした

資料10 本学の出身都道府県データ(平成30年度～令和2年度)

都道府県	入学者数			構成比		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
愛知県	1,501	1,616	1,528	60.7%	61.1%	60.1%
岐阜県	319	326	338	12.9%	12.3%	13.3%
三重県	189	208	190	7.6%	7.9%	7.5%
静岡県	132	164	160	5.3%	6.2%	6.3%
小計	2,141	2,314	2,216	86.5%	87.5%	87.2%
東海4県以外	333	331	326	13.5%	12.5%	12.8%
計	2,474	2,645	2,542	100.0%	100.0%	100.0%



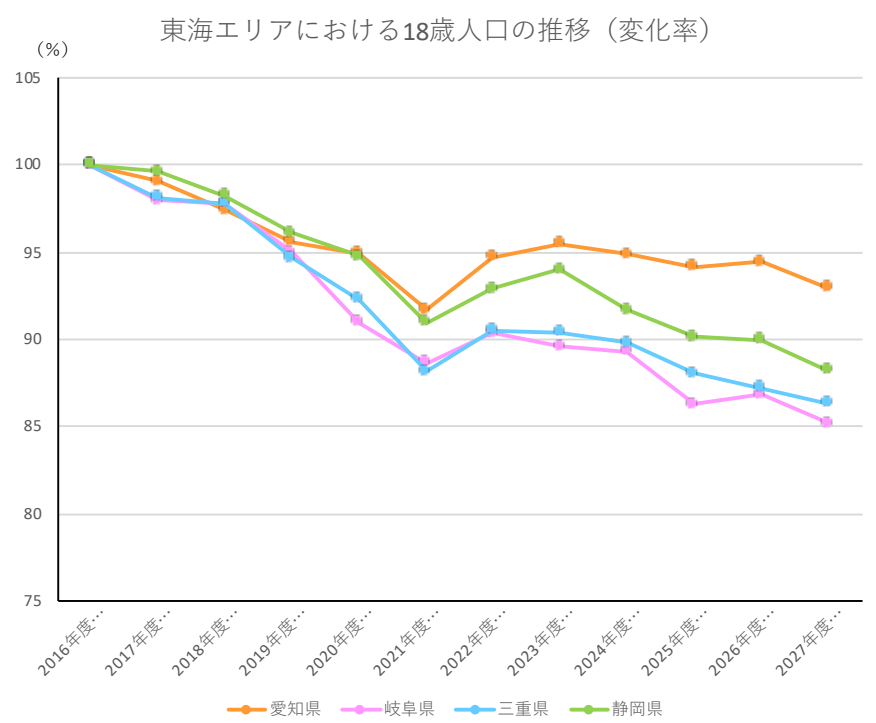
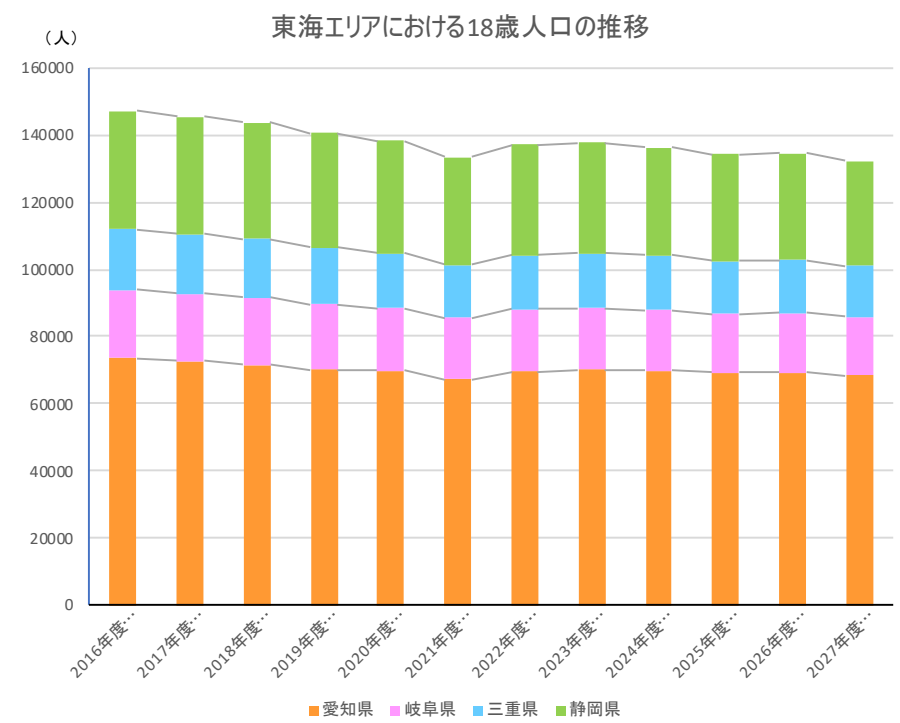
資料11 東海4県の18歳未満の人口予測推移（1/2）

		2019年度 (2019.3中卒)	2020年度 (2019.3中卒)	2021年度 (2019.3中卒)	2022年度 (2019年度中3)	2023年度 (2019年度中2)	2024年度 (2019年度中1)	2025年度 (2019年度小6)	2026年度 (2019年度小5)	2027年度 (2019年度小4)	2028年度 (2019年度小3)	2029年度 (2019年度小2)	2030年度 (2019年度小1)
愛知県	人数	73,454	72,784	71,537	70,201	69,740	67,330	69,571	70,118	69,703	69,164	69,342	68,275
	変化率	100.0	99.1	97.4	95.6	94.9	91.7	94.7	95.5	94.9	94.2	94.4	92.9
岐阜県	人数	20,490	20,069	20,034	19,463	18,641	18,163	18,514	18,349	18,298	17,677	17,788	17,450
	変化率	100.0	97.9	97.8	95.0	91.0	88.6	90.4	89.6	89.3	86.3	86.8	85.2
三重県	人数	17,852	17,513	17,458	16,894	16,477	15,740	16,162	16,143	16,027	15,718	15,567	15,413
	変化率	100.0	98.1	97.8	94.6	92.3	88.2	90.5	90.4	89.8	88.0	87.2	86.3
静岡県	人数	35,245	35,112	34,622	33,864	33,397	32,049	32,743	33,122	32,318	31,762	31,709	31,079
	変化率	100.0	99.6	98.2	96.1	94.8	90.9	92.9	94.0	91.7	90.1	90.0	88.2
東海4県	人数	147,041	145,478	143,651	140,422	138,255	133,282	136,990	137,732	136,346	134,321	134,406	132,217
	変化率	100.0	98.9	97.7	95.5	94.0	90.6	93.2	93.7	92.7	91.3	91.4	89.9
全国	人数	1,174,801	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,105	1,061,961	1,089,005	1,093,565	1,085,011	1,068,978	1,066,720	1,048,177
	変化率	100.0	99.4	97.1	95.4	93.4	90.4	92.7	93.1	92.4	91.0	90.8	89.2

※変化率は、2019年を100として算出。

(リクルート進学総研 18歳人口・進学率推移より)

資料11 (2/2)



- 愛知県：2019年 73,454名→2030年 68,275名 (5,179名減) (減少率 7.1%)
- 東海4県：2019年 147,041名→2030年 132,217名 (14,824名減) (減少率 10.1%)
- 全国：2019年 1,174,801名→2030年 1,048,177名 (126,624名減) (減少率 10.8%)

著作権者の許諾が得られない書類等について

1 (書類等の題名)

「都道府県データでみる大学進学・初職就職時の地域間移動」(【資料 12】)

2 (出典)

後河 正浩 著

3 (引用範囲)

「若者の地域間移動の傾向と要因 ―都道府県データでみる大学進学・初職就職時の地域間移動―」 (京都産業大学経済学レビューNo.6) (9 ページ、23 ページ)

https://ksu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&ite49&item_no=1&page_id=13&block_id=21_m_id=102

高等教育に関する基礎データ(都道府県別)②

※数値精査中

(特に、埼玉県、神奈川県、山梨県については
入学定員充足率(H45)の数値が実際よりも高
なっている可能性があるため、精査が必要。)

	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
18歳人口【H28】	104,632	79,242	22,347	10,098	11,055	7,983	8,748	21,154	20,560	35,404	72,998	18,120
高校等卒業者数【H28】	101,558	66,037	20,059	9,161	10,203	7,348	8,595	18,988	18,029	32,058	63,656	15,952
大学進学者数【H28】	76,039	43,077	9,459	4,527	5,435	3,817	4,930	9,194	9,292	16,890	38,244	7,969
大学進学率【H28】	72.7%	54.4%	42.3%	44.8%	49.2%	47.8%	56.4%	43.5%	45.2%	47.7%	52.4%	44.0%
短大進学率【H28】	6.4%	3.8%	3.0%	4.7%	7.6%	5.8%	6.5%	6.7%	8.5%	3.1%	5.3%	4.1%
専門学校進学率(現役) 【H28】	12.2%	15.8%	25.3%	16.5%	13.8%	13.8%	18.2%	21.3%	13.3%	16.8%	12.9%	14.9%
大学数【H28】	137	31	18	5	12	5	7	9	12	14	50	7
大学数(国公私別) 【H28】	12 2 123	2 2 27	3 3 12	1 1 3	2 3 7	1 2 2	1 2 4	1 1 7	1 3 8	2 2 10	4 4 42	1 1 5
入学定員【H28】	154,853	36,641	5,835	2,370	5,827	2,095	3,225	3,368	4,820	7,865	40,098	3,030
入学定員(国公私別) 【H28】	10,031 1,570 143,252	1,662 1,070 33,909	2,487 583 2,765	1,800 250 320	1,726 350 3,751	855 425 815	825 950 1,450	1,978 80 1,310	1,240 200 3,380	2,145 890 4,830	3,992 1,708 34,398	1,310 100 1,620
大学入学者数【H28】	149,860	48,328	5,948	2,387	5,895	2,285	4,269	3,496	4,608	8,000	42,047	3,149
県外から流入【H28】	99,934	30,898	2,643	1,587	3,542	1,185	2,957	1,928	2,856	3,284	14,759	1,531
県内から流出【H28】	26,113	25,647	6,154	3,727	3,082	2,717	3,618	7,626	7,540	12,174	10,956	6,351
流出入差(流入-流出) 【H28】	73,821	5,251	-3,511	-2,140	460	-1,532	-661	-5,698	-4,684	-8,890	3,803	-4,820
大学進学者数推計 【H45】	86,793	35,357	6,906	3,397	4,379	2,913	3,698	6,803	7,116	13,950	33,279	6,358
大学入学者数推計 【H45】	135,913	42,682	4,502	1,843	4,640	1,728	3,512	2,725	3,691	6,600	35,511	2,627
入学定員充足率推計 【H45】	87.8%	116.5%	77.2%	77.8%	79.6%	82.5%	108.9%	80.9%	76.6%	83.9%	88.6%	86.7%
県内就職率(国公私別) 【H26】	75.0% 73.5% 66.4%	16.8% 34.0% 23.6%	44.5% 72.4% 66.5%	39.2% 39.0% 47.0%	35.3% 40.7% 47.0%	51.6% 45.3% 47.0%	33.5% 24.3% 66.5%	43.2% 62.3% 66.5%	40.0% 35.0% 54.9%	52.3% 64.5% 54.9%	62.9% 61.3% 54.9%	35.3% 78.7% 58.2%
地域内就職率(国私別) 【H26】	82.2% / 81.5%	76.5% / 79.0%	60.1% / 70.9%	78.9% / 61.5%	74.7% / 61.5%	78.1% / 61.5%	63.9% / 70.9%	63.9% / 70.9%	80.6% / 71.5%	73.2% / 71.5%	71.2% / 71.5%	45.2% / 73.2%

高等教育に関する基礎データ(都道府県別)について

《注》※数値については精査が必要なものもあり、今後修正の可能性がある。特に、埼玉県、神奈川県、山梨県については入学定員と大学入学者数をカウントする都道府県が一致していない等の理由により、入学定員充足率【H45】の数値が実際よりも高くなっている可能性があるため、精査が必要。

- 18歳人口:各県における3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数
- 高校等卒業者数:各県における当該年度の高等学校卒業者数及び中等教育学校後期課程修了者数
- 大学進学者数:各県に所在する高校等を卒業した者で当該年度に全国いずれかの大学に進学した者の数(過年度卒業者等を含む)
- 大学進学率:各県における18歳人口に占める大学進学者数の割合(過年度卒業者等を含む)
- 短大進学率:各県における18歳人口に占める短大進学者数の割合(過年度卒業者等を含む)
- 専門学校進学率(現役):各県における高校等卒業者数のうち、直ちに専門学校へ進学した者の割合(現役進学者のみ)
- 大学数:各県に所在する大学の数(※大学本部の所在地による)
- 入学定員:各県に所在する大学の入学定員(※学部 of 所在地による)
- 大学入学者数:当該年度に、各県に所在する大学(※入学した学部の所在地による)に入学した者の数(過年度卒業者、高卒認定試験合格者、外国の学校の課程を修了した者等を含む)
- 県外から流入:当該大学の所在する県以外の高校等卒業者で当該大学へ入学した者(過年度卒業者等を含む)
- 県内から流出:当該大学の所在する県内の高校等卒業者で当該県(自県)以外の大学へ入学した者(過年度卒業者等を含む)
- 流出入差(流入-流出):「県外から流入」-「県内から流出」
※《出典》上記のうち、入学定員以外:文部科学省「学校基本統計(平成28年度)」を元に作成、入学定員:文部科学省調べ
- 大学進学者数推計【H45】:各県におけるH45の大学進学率がH27と同率と仮定した場合の各県におけるH45の大学進学者数(国立教育政策研究所による推計)
- 大学入学者数推計【H45】:各県におけるH45の大学進学率がH27と同率と仮定した場合の各県におけるH45の大学入学者数(国立教育政策研究所による推計)
- 入学定員充足率推計【H45】:H45の入学定員がH28と同じ場合の入学定員充足率(国公立合計)
- 県内就職率(国公立別)【H26】:H26年8月に文部科学省が各大学に対して行ったアンケートにおいて、各県の大学を卒業して就職した者のうち、当該大学の所在県内に就職した者の数。私立大学については学校法人に対する任意のアンケートに対して回答があったものを集計しており、個別大学ごとではなく集計値で公表することを前提にアンケートを実施したため地域単位で括ったデータとなっており、また、各大学が保有する就職地に関するデータは、各大学によって、「学生が就職した本社所在地」で把握している場合と、「学生が配属された地域」で把握している場合の両方があり、集計方法が異なっているため、単純に比較することはできない(例:北海道に本社のある企業の東京支社に配属された場合、「北海道」とカウントするか「東京」とカウントするかが大学によって異なっている)。
- 地域内就職率(国公立別)【H26】:H26年8月に文部科学省が各大学に対して行ったアンケートにおいて、各県の大学を卒業して就職した者のうち、当該大学の所在地域内(※)に就職した者の数。

(※)地域区分…(国立)「北海道・東北」…北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島「関東」…栃木、群馬、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川

「中部」…新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知「近畿」…三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

「中国」…鳥取、島根、岡山、広島、山口「四国」…香川、徳島、愛媛、高知「九州」…福岡、佐賀、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

(私立)「北海道」…北海道「東北」…青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島「北関東」…茨城、栃木、群馬「南関東」…埼玉、千葉、東京、神奈川

「甲信越」…新潟、山梨、長野「北陸」…富山、石川、福井「東海」…岐阜、静岡、愛知、三重「近畿」…滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

「中国」…鳥取、島根、岡山、広島、山口「四国」…香川、徳島、愛媛、高知「九州」…福岡、佐賀、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※公立大学については地域内就職者のデータがない。

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

全国および本学における求人件数（【資料 14】 1 ページ）

2（出典）

リクルートワークス研究所

3（引用範囲）

第 37 回ワークス大卒求人倍率調査（2021 卒）

https://www.works-i.com/research/works-report/item/200806_kyujin.pdf

4（その他の説明）

- ・ 2016年度から2020年度を対象として、求人総数および民間企業就職希望者数、求人倍率の推移を引用した。

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

2020 年「全国社長の出身大学」調査（【資料 15】）

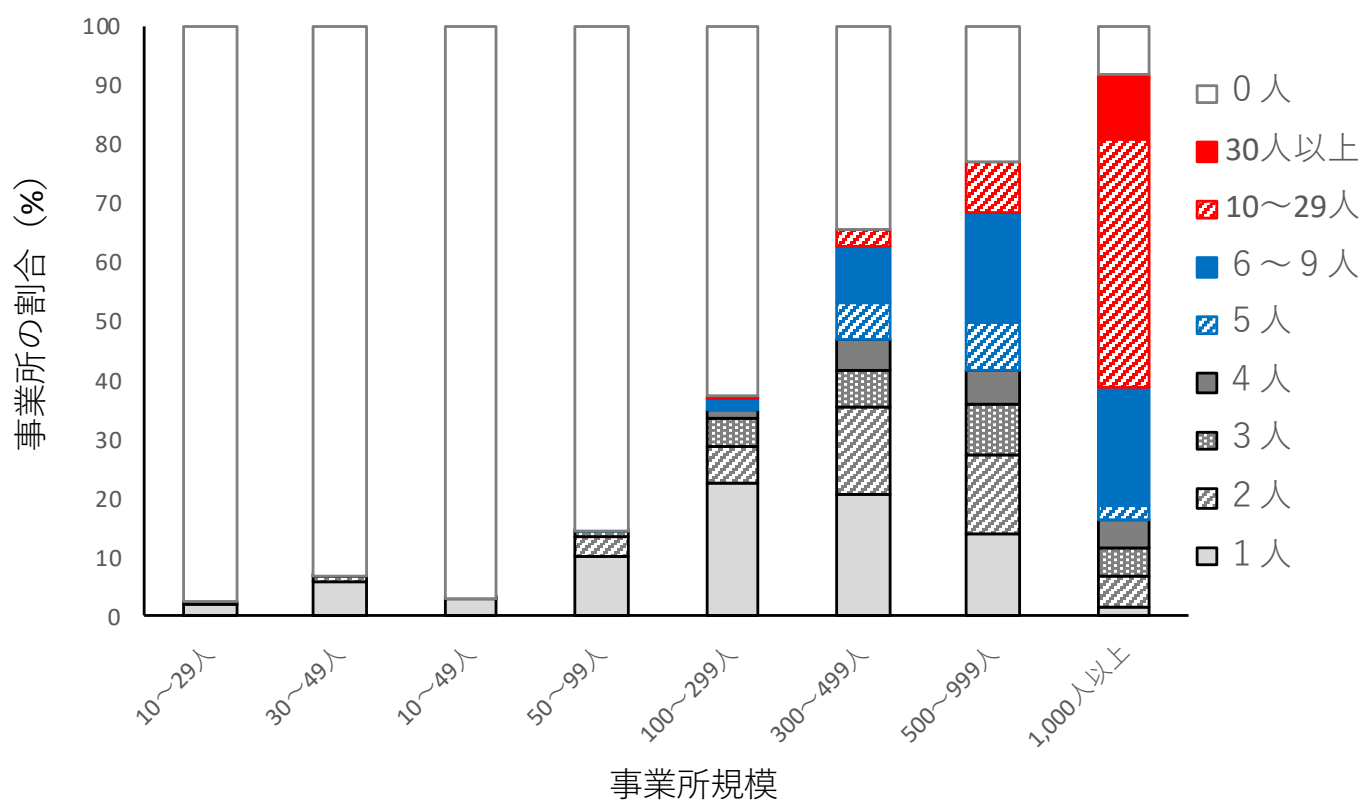
2（出典）

株式会社東京商工リサーチ

3（引用範囲）

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20201202_03.html

資料16 厚生労働省 平成30年労働安全衛生調査 (実態調査)



メンタルヘルスの不調により連続1か月以上の休業者がいた事業所の割合。厚生労働省による労働安全衛生調査(実態調査) 事業所平成30年労働安全衛生調査(実態調査)よりデータを引用して作図

著作権者の許諾が得られない書類等について

1（書類等の題名）

図表で見る愛知県の外国人の状況（【資料 17】）

2（出典）

愛知県

3（引用範囲）

https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/175300_347158_misc.pdf

数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進

令和3年度要求・要望額 10億円
(前年度予算額 10億円)

※国立大学法人運営費交付金の内数 文部科学省



● 背景・課題

- ✓ デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力を全ての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍する環境を構築する必要
- ✓ AI戦略2019では、**2025年度を目標年度**として、①**文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人 卒/年）**が初級レベルの能力を習得すること、②**大学・高専生（約25万人 卒/年）**が、自らの専門分野への応用基礎力を習得することが掲げられている

⇒ ・上記目標に向け、国公立大学等への展開を引き続き取り組む必要

・全国への普及・展開をより一層加速するため、数理・データサイエンス・AI教育に必要な教材開発や教育リソースの整備を進めるとともに、教育の実施体制の強化など図る必要

取組内容

- **6大学を拠点校**として、全学的な数理・データサイエンス・AI教育を先行的に実施するとともに、拠点校を中心に形成するコンソーシアムにおいて、**モデルカリキュラム**を踏まえた**教材等の開発**や、教育に活用可能な**社会の実課題・実データの収集・整備**等を実施

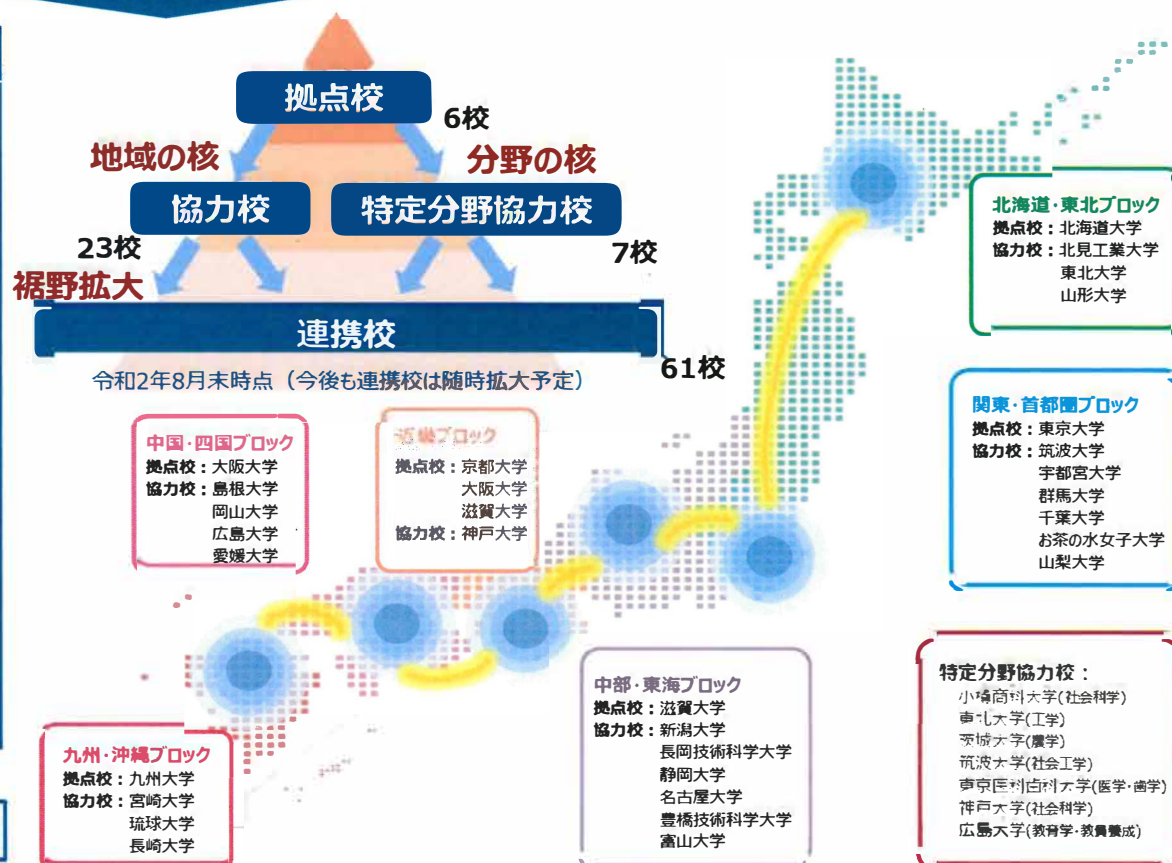
- **30大学を協力校・特定分野協力校**として、**全国の国公立大学等への普及・展開**を図るとともに、教育連携ネットワークを形成し、**教えることができる教員を増やすためのワークショップやFD活動等を実施**

※協力校と特定分野協力校は重複している大学あり

- **61大学を連携校**として、自らの教員を養成するとともに、ワークショップやFDに積極的に参画し、数理・データサイエンス・AI教育の普及・促進の観点から、地域における大学との連携等を主体的に実施

+

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度の構築・運用



教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	ヒキタ ヨウドウ 引田 弘道 ＜令和2年4月＞		博士 (文学)		愛知学院大学 学長 (令和2.4～令和4.3) ※愛知学院大学短期大学部 学長 (令和2.4～令和4.3)